

UDR -XL40 / XL40e

パネル操作マニュアル



目次

1 本体前面パネル各部の呼称	6
2 パネル画面操作概要	7
2.1 主な機能.....	7
3 .HOME 画面	9
3.1 HOME 主画面	9
3.2 横方向フルサイズモニター表示画面	10
3.3 ビデオ入力状況表示画面.....	11
4 MENU-TOP 画面	12
5 CLIP 画面	13
5.1 CLIP 主画面.....	13
5.2 CLIP-INFO 画面.....	14
5.2.1 TC.....	14
5.2.2 FRAME-RATE	15
5.2.3 WRITE-PROTECT.....	15
5.2.4 DROP-FRAME	16
5.2.5 TC.....	16
5.2.6 CLIP-NAME	17
5.2.7 LENGTH (FRAME).....	19
5.2.8 LENGTH (TC).....	19
5.2.9 TC-OFFSET.....	20
5.2.10 COMMENT.....	20
5.3 CLIP-VIEW 画面	21
5.3.1 SHRINK TC (ON)	21
5.3.2 SHRINK TC (OFF).....	21
5.3.3 MODE CHANGE	22
5.3.4 FULL	22
5.3.5 WIPE.....	23
5.3.6 HISTOG.....	23
5.3.7 FRAME SET	24
5.3.8 TC SET.....	24
5.4 CLIP-TOOL 画面	25
5.5 NEW-CLIP 画面.....	26
5.5.1 SIZE	27
5.5.2 TYPE.....	28
5.5.3 Hz	29
5.5.4 DEPTH	30
5.5.5 CH.....	31
5.5.6 AUDIO-SAMPLE-RATE.....	32
5.5.7 LENGTH (FRAME).....	33
5.5.8 LENGTH (TC).....	33
5.5.9 NewClip (NAME).....	34
5.5.10 NewClip (Dir).....	35
5.6 DELETE.....	36
5.7 DELETE (複数)	37

6 VIDEO 画面	38
6.1 VIDEO 主画面.....	39
6.2 SIZE.....	40
6.3 TYPE.....	41
6.4 SCAN.....	42
6.5 Hz.....	43
6.6 DEPTH.....	44
6.7 CH.....	45
6.8 SDI.....	46
6.9 COLOR.....	47
6.10 AUDIO.....	48
6.11 4k.....	49
6.12 DualGreen.....	50
7 REFERENCE 画面	53
8 REC-MODE 画面	55
8.1 NEW-CLIP モード.....	56
8.2 APPEND モード.....	59
8.3 IN/OUT モード.....	61
9 TCG 画面	62
9.1 PRESET.....	62
9.2 TCG-RUN-MODE.....	63
9.3 REGEN.....	63
9.4 TCG-SOURCE.....	64
9.5 NEW TC.....	64
10 FRAME-COPY 画面	65
10.1 初期画面.....	65
10.2 クリップ選択画面例.....	66
10.3 クリップ選択後画面例.....	66
10.4 ビデオチャンネル指定.....	67
10.5 複数チャンネルクリップの場合.....	69
10.6 オーディオチャンネル指定.....	70
11 CLIP-THUMBNAIL 画面	71
11.1 フレーム番号指定モード.....	72
12 TEST-PATTERN 画面	75
13 CLIP CLEAR 画面	77
14 CLIP DUPLICATE 画面	78
15 CLIP REFRESH 画面	80
16 SCRIPT 画面	82
17 LOOP 画面	86
18 PHONES 画面	87
19 UP/DOWNLOAD 画面	88
19.1 UPLOAD (画像データ).....	90
19.2 UPLOAD (音声データ).....	96
19.3 DOWNLOAD (画像データ).....	100
19.4 DOWNLOAD (音声データ).....	105

20 OPTION 画面	110
20.1 MATRIX-OPTION 画面.....	111
20.2 FORMAT-OPTION 画面.....	113
20.2.1 DPX.....	113
20.2.2 TIFF.....	115
20.2.3 YUV.....	117
20.2.4 UDR.....	120
21 FILE 画面	122
21.1 FILE 画面 (画像データ).....	124
21.2 FILE-INFO 画面 (画像データ).....	125
21.3 IMAGE-VIEW 画面.....	126
21.3.1 SHRINK.....	126
21.3.2 FULL.....	127
21.3.3 WIPE.....	127
21.3.4 HISTOG.....	128
21.4 FILE 画面 (音声データ).....	129
21.5 FILE-INFO 画面(音声データ).....	129
21.6 WAV-VIEW 画面.....	130
21.7 DELETE.....	131
21.8 NewDir.....	132
22 AUDIO-LEVEL 画面	133
23 INFO 画面	134
23.1 TEMPERATURE 画面.....	135
23.2 VERSION DETAILS 画面.....	135
23.3 LEGAL NOTICES 画面.....	136
24 MULTI 画面	137
25 LIBRARY 画面	140
26 SYSTEM 画面	142
26.1 NETWORK 画面.....	143
26.1.1 ホスト名の設定.....	144
26.1.2 ネットワークの設定.....	145
26.2 CLOCK 画面.....	149
26.3 PANEL BRIGHTNESS 画面.....	151
26.4 PREFERNCES 画面.....	152
26.5 LOG 画面.....	154
26.6 MAINTENANCE 画面.....	156
26.6.1 MEDIA REFRESH 画面.....	157
26.6.2 FACTORY DEFAULT 画面.....	159
26.6.3 LIBRARY 画面.....	160
26.6.4 CALIBRATION 画面.....	162
26.6.5 UPDATE 画面.....	164
26.7 BACKUP 画面.....	168
26.8 RESTORE 画面.....	173
27 ご利用のヒント・リンク	177
27.1 ビデオフォーマット指定.....	177
27.2 再生クリップ指定.....	177
27.3 デュアルグリーン.....	177
27.4 ビデオ同期.....	177

27.5 録画モード.....	177
27.6 タイムコードジェネレータ.....	178
27.7 ループ再生.....	178
27.8 スクリプト再生.....	178
27.9 アップロード&ダウンロード進捗.....	178
27.10 画像アップロード（インジェスト）.....	178
27.11 WAV アップロード（インジェスト）.....	178
27.12 画像ダウンロード.....	178
27.13 WAV ダウンロード.....	178
27.14 画像ファイルフォーマットオプション.....	179
27.15 画像ファイル対応フォーマット.....	181
27.16 WAV ファイルフォーマット.....	183
27.17 マトリックス係数.....	183
27.18 クリップ名と階層構造.....	184
27.19 クリップ間データ転送.....	185
27.20 クリップ複写.....	185
27.21 クリップ データクリア.....	185
27.22 テストパターン描画.....	185
27.23 クリップサムネイル.....	185
27.24 クリップパラメータ変更.....	186
27.25 クリップバックアップ.....	186
27.26 クリップリストア.....	186
27.27 システム情報一括確認.....	186
27.28 ログ.....	187
27.29 マニュアル・ソフトのUSB メディア経由取得.....	187
27.30 USB メディア接続.....	187
27.31 前パネルマウス操作.....	187
27.32 120p 画像ファイル対応.....	188
28 更新履歴.....	189

1 本体前面パネル各部の呼称



①表示・タッチパネル

静電容量タイプのタッチパネルです。

②電源 SW

停止中に SW を押すと起動開始します。

動作中に SW を 3 秒間押し続けると停止します。

③LOCK-SW

下側にスライドした状態で前パネル操作可能です。

上側にスライドすると前パネル操作が禁止されます。

④ロータリーノブ

垂直に押し込むことでジョグ・シャトルモードが切り替わります。

回すと各モードで動作します

⑤USB3.0

このポートに接続された USB メディアとの間で画像データを転送できます。

⑥PHONE

ステレオのヘッドホン出力です。

⑦再生・録画 SW

左から REW, STOP, PLAY, FF, REC のボタンです。

REC のみ押し続けるとスローモードが ON/OFF します。

REC を押し続けたまま PLAY を押し続けると録画開始します。

FF と REW により再生中の速度に応じた速度に切り替わります。

2, 5, 10, 20, 50, 100, 200, 500

500 倍速以上で FF は終端、REW は先頭にジャンプします。

STOP を押し続けたまま REW を押し続けるとクリップの先頭にジャンプします。

STOP を押し続けたまま FF を押し続けるとクリップの終端にジャンプします。

⑧MENU-SW

HOME 画面と MENU 画面の切り替えをします。

[目次に戻る](#)

2 パネル画面操作概要

2.1 主な機能

• 動画モニターリング表示	HOME
• オーディオレベルインジケータ	
• システム情報表示	INFO
• ビデオフォーマット指定	VIDEO
画角サイズ	1920x1080 / 2048x1080 / 3840x2160 / 4096x2160 / 7680x4320
データタイプ	4:2:2 / 4:4:4 / DualGreen
スキャンモード	Progressive / Interlace / PsF
フレーム周波数	60 / 59 / 50 / 30 / 29 / 25 / 24 / 23
画素ビット数	8 / 10 / 12
SDI モード	HD / 3GB / 3GA / 12G / 8KDG
チャンネル数	1-N (他のパラメータに依存)
カラースペース	709 / 2020
4k モード	SquareDivision / 2sample interleave
• クリップ操作	
一覧表示	
ビデオ入出力クリップ選択	CLIP
画像表示	CLIP-VIEW
新規作成	NEW-CLIP
削除	CLIP-DELTETE
パラメータ表示・変更	
名称	CLIP-NAME
フレーム数	CLIP-FRAME-NUM
フレーム周波数	
書き込み禁止フラグ	
ドロップフレームモード	
タイムコードオフセット	TC-OFFSET
オーディオチャンネル数 (変更不可)	
オーディオサンプリング周波数 (変更不可)	
コメント	COMMENT
作成日時	
サムネイル指定	CLIP-THUMBNAIL
フォームコピー	FRAME-COPY
データクリア	CLIP-CLEAR
クリップ複写	CLIP-DUPLICATE
テストパターン描画	TEST-PATT
• ビデオリファレンス指定	REFERENCE
• 録画モード	REC-MODE
• タイムコードジェネレータ設定	TCG
• ヘッドホン出力設定	PHONES
• オーディオレベルメータ設定	AUDIO-LEVEL

[目次に戻る](#)

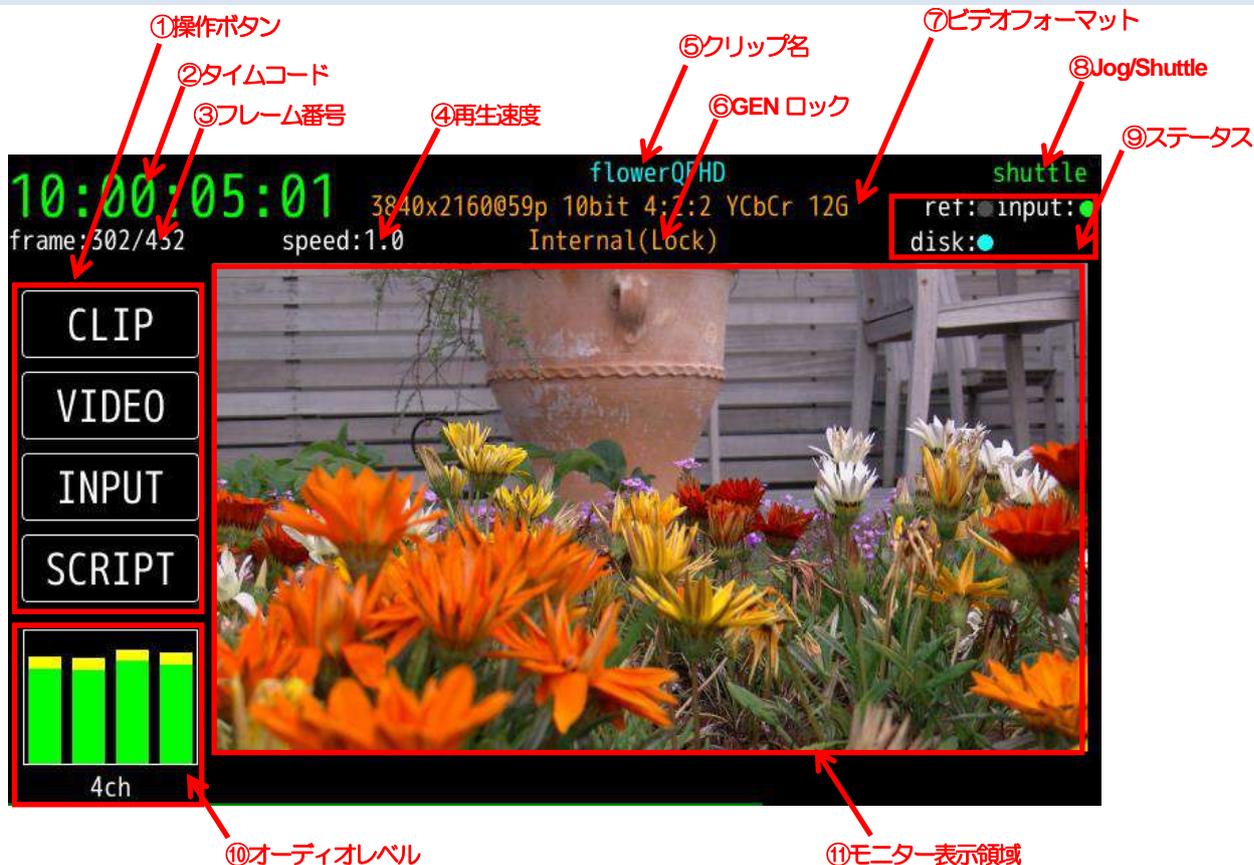
- 画像・WAV ファイルアップロード・ダウンロード
- 画像ファイルオプション指定
- USB メディア画像・WAV ファイル参照
- スクリプト再生
- ループ再生
- 同期連転設定
- ネットワーク設定
- 日時設定
- パネル輝度設定
- 操作環境設定
- ログ参照・保存
- マニュアル・PC アプリケーション取得
- クリップデータ USB バックアップ
- USB クリップデータリストア
- 静電容量タイプパネルキャリブレーション
- ファームウェアアップデート

- UP/DOWNLOAD**
- FILE-OPT**
- FILE-VIEW**
- SCRIPT**
- LOOP**
- MULTI**
- NETWORK**
- CLOCK**
- BRIGHTNESS**
- PREFERENCES**
- LOG**
- LIBRARY**
- BACKUP**
- RESTORE**
- CALIBRATION**
- UPDATE**

[目次に戻る](#)

3 .HOME 画面

3.1 HOME 主画面



①操作ボタン

CLIP 再生クリップを選択します。
VIDEO ビデオフォーマットを指定します。
INPUT ビデオ入力状態表示を ON/OFF します。
SCRIPT スクリプト再生を指定します。

②タイムコード

*CLIP/VIDEO/SCRIPT はトップメニューのボタンと同じ画面に遷移します。
 フレーム周波数 59p/60p の奇数フレーム番号再生時に右端にドットが付きま
 再生クリップ未選択で —— : —— : —— : —— を表示します。

⑤クリップ名

再生クリップ未選択で “no clip selected.” を表示します。

⑧Jog/Shuttle

Shuttle モードで shuttle を Jog モードで jog を表示します。

⑨ステータス

クリップデータにアクセス中は disk 右側に水色のランプが点灯します。

入力信号で必要なチャンネルすべてが入ると input 右が緑点灯します。

A-ch 入力があり他の必要チャンネルが無信号で緑点滅します。

ビデオ同期状態に合わせ ref 右側に次の色でランプが点きます。

ロックで点灯、未ロックで点滅です。

Internal 濃灰

SDI-A 緑

Ext-ref 橙

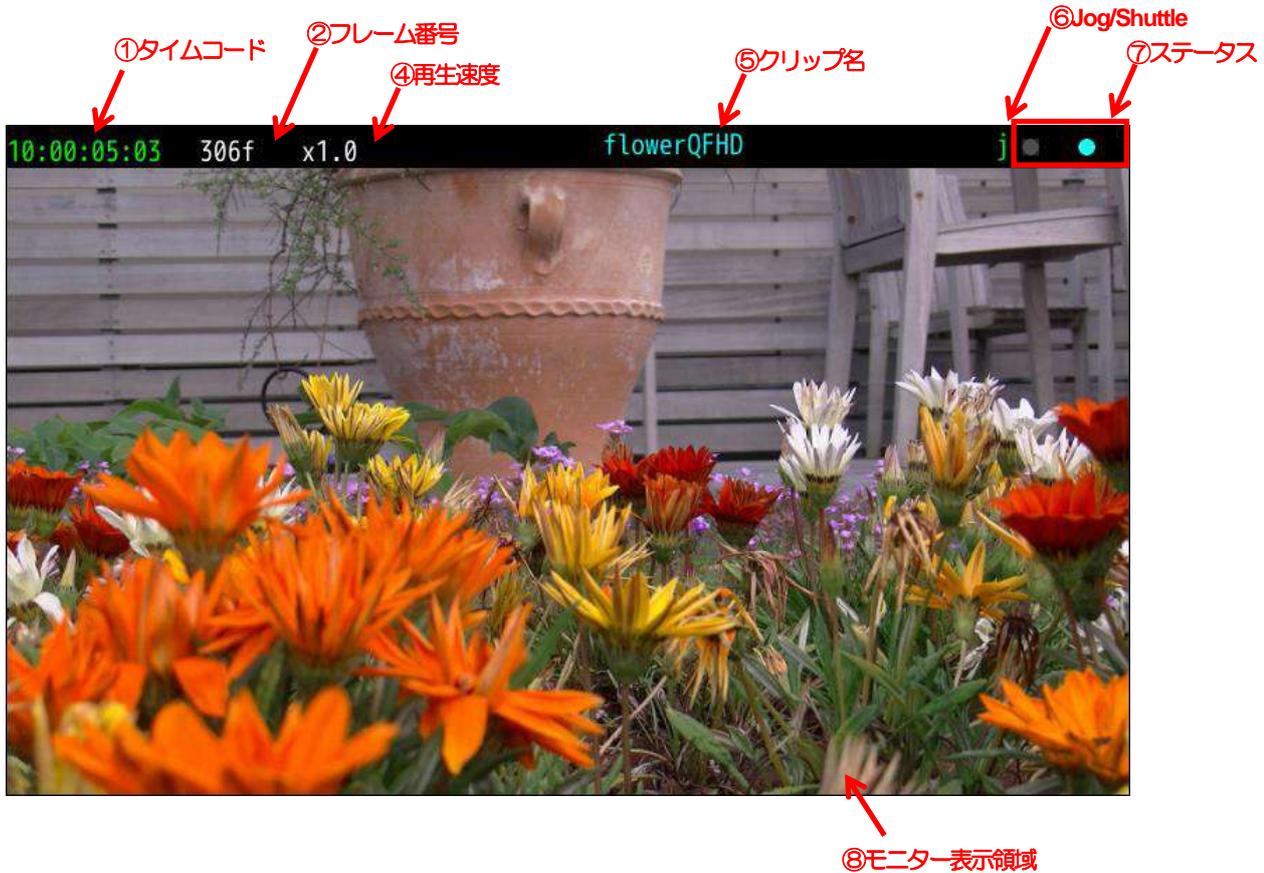
UDRLink 黄

⑪モニター表示領域

タップで横方向フルサイズのモニター表示モードに切り替わります。

[目次に戻る](#)

3.2 横方向フルサイズモニター表示画面



⑧モニター表示領域 タップでメイン画面表示モードに切り替わります。

①タイムコード フレーム周波数 59p/60p の奇数フレーム番号再生時に右端にドットが付きます。再生クリップ未選択で —— : —— : —— : —— を表示します。

⑤クリップ名 再生クリップ未選択で “no clip selected.” を表示します。

⑥Jog/Shuttle Shuttle モードで s を Jog モードで j を表示します

⑦ステータス クリップデータにアクセス中は水色のランプが点灯します。

ビデオ同期状態に合わせ次の色でランプが点きます。

入力信号で必要なチャンネルすべてが入ると緑点灯します。

A-ch 入力があり他の必要チャンネルが無信号で緑点滅します。

ロックで点灯、未ロックで点滅です。

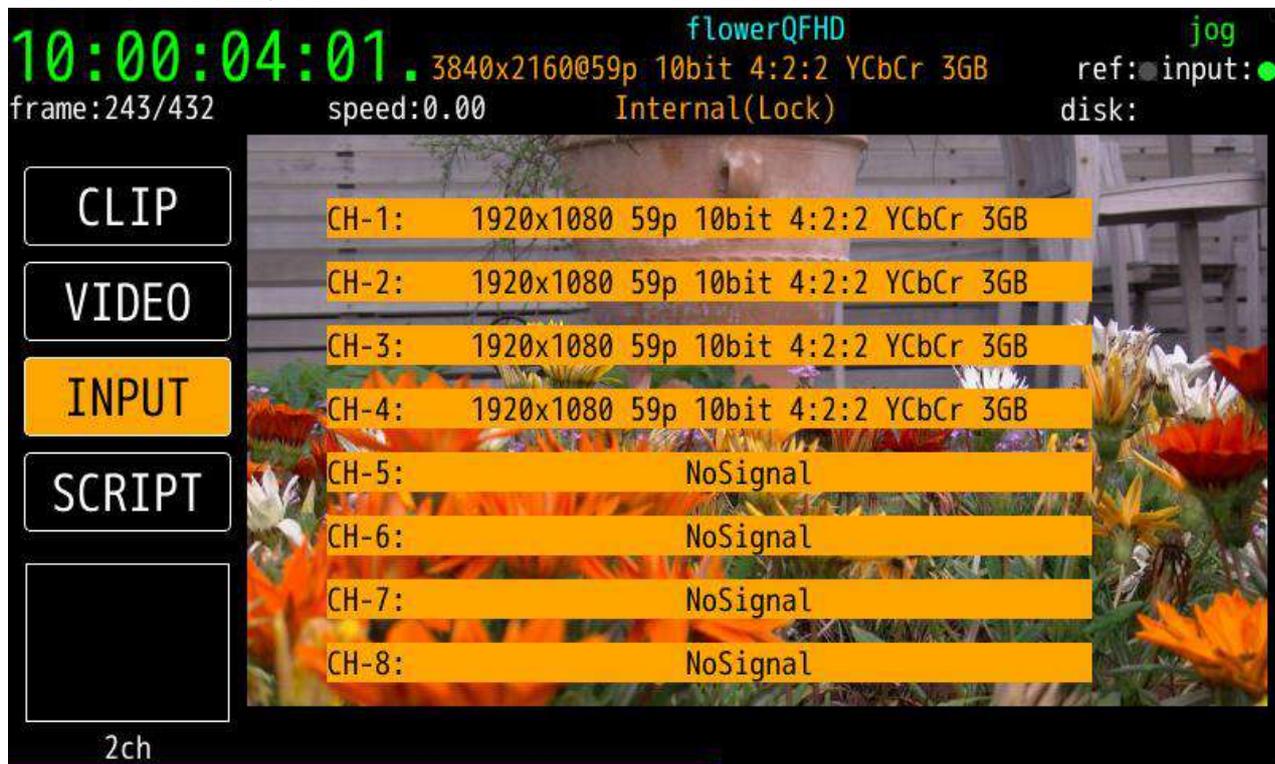
Internal	濃灰
SDI-A	緑
Ext-ref	橙
UDRLink	黄

3.3 ビデオ入力状況表示画面

機能

HOME 画面 INPUT ボタンのタップでビデオ入力状況表示をします。

HD-SDI x 4 本入力時の画面例です。



10:00:04:01 . 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB
 frame: 243/432 speed: 0.00 Internal(Lock) ref: jog input: ● disk: ●

flowerQFHD

CH-1:	1920x1080 59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB
CH-2:	1920x1080 59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB
CH-3:	1920x1080 59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB
CH-4:	1920x1080 59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB
CH-5:	NoSignal
CH-6:	NoSignal
CH-7:	NoSignal
CH-8:	NoSignal

CLIP
 VIDEO
 INPUT
 SCRIPT

2ch

4 MENU-TOP 画面

機能

画面右下の MENU ボタンクリックで HOME 画面と MENU 画面の切り替えができます。

画面左下 MENU-TOP ボタンタップで MENU 下位画面からこの TOP 画面に戻ります。



- | | |
|----------------|---|
| ①MENU-TOP ボタン | メニュー下位画面からこの画面に戻ります。 |
| ②戻りボタン | 1つ上位の画面に戻ります。 |
| ③再実行ボタン | 直前に利用の下位画面に戻ります。 |
| ④モニター表示チャンネル指定 | HOME 画面のモニター表示チャンネルを切り替えます。
(ビデオフォーマットが複数チャンネルに設定されている時のみ表示します。) |
-
- | | |
|--------------------|----------------------------|
| CLIP | クリップ選択・操作 |
| VIDEO | ビデオ選択 |
| REF. | ビデオ同期モード選択 |
| REC_MODE | 録画動作設定 |
| TCG | タイムコードジェネレータ設定 |
| SCRIPT | スクリプト再生 |
| LOOP | ループ再生 |
| PHONES | イヤホンジャック出力チャンネル指定 |
| UP/DOWNLOAD | 画像・音声ファイル入出力 |
| FILE-OPT | 画像フォーマット別オプション指定 |
| FILE-VIEW | 画像ファイルビューア |
| AUDIO-LEVEL | HOME 画面オーディオインジケータ チャンネル指定 |
| INFO | 情報表示 |
| MULTI | 同期重畳設定 |
| LIBRARY | マニュアル・ソフトウェア取り出し |
| SYSTEM | システム設定 |

[目次に戻る](#)

5 CLIP 画面

操作画面

VIDEO-CLIP

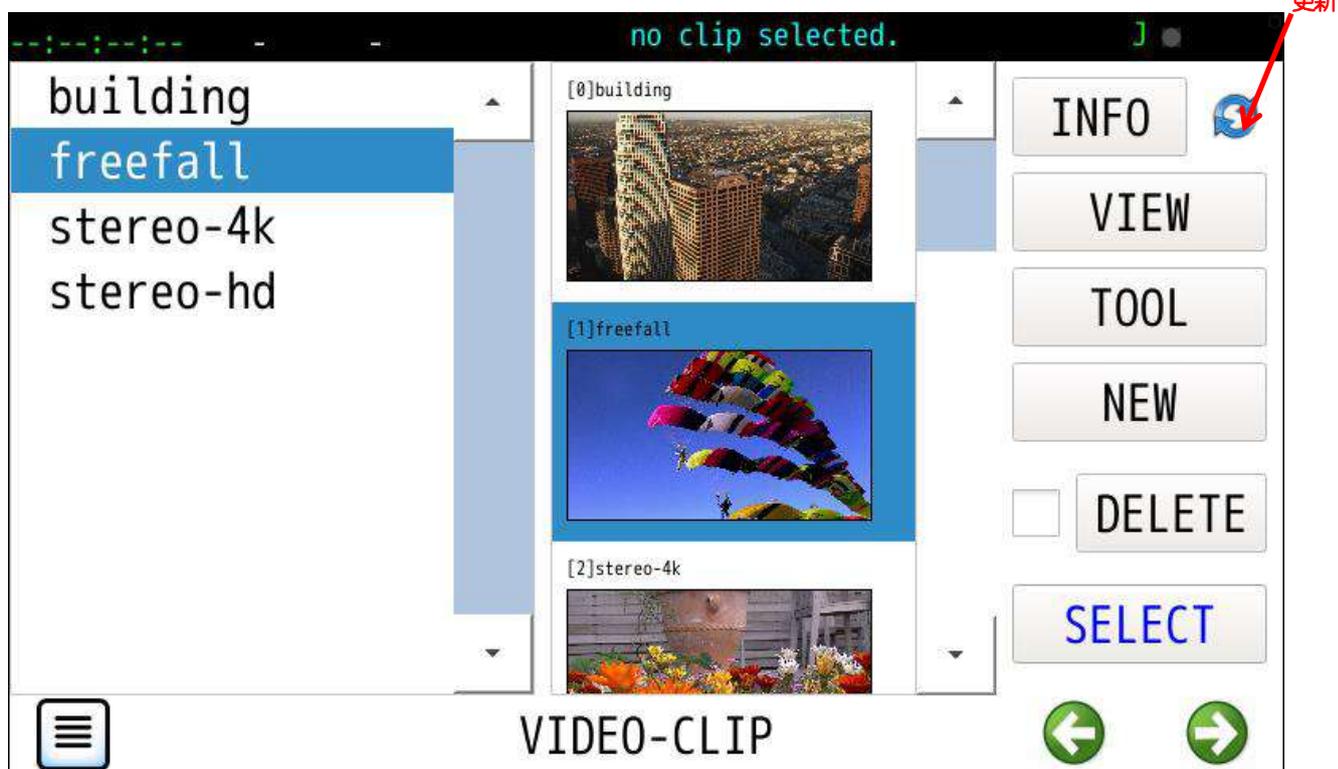
機能

クリップ選択およびクリップの各種操作を行います。

HOME 画面から直接この画面に移動した場合はクリップ選択成功で自動的に HOME 画面に戻ります。

5.1 CLIP 主画面

ビデオ出力するクリップの選択がメインの機能です。



画面表示初期のクリップ選択

再生クリップが選択済みかつ HOME 画面または MENU-TOP 画面で CLIP ボタンが押された場合

クリップ名一覧とサムネイル画像一覧でそのクリップ背景に選択色が付きます。

クリップ選択操作

クリップ名一覧とサムネイル画像一覧のいずれかをタップします。

各ボタン動作

- INFO** クリップ情報を表示します。
- VIEW** クリップのビュー画面になります。
- TOOL** クリップ操作画面になります。
- NEW** 新規クリップ登録画面になります。
- DELETE** 選択クリップを削除します。(削除の実行確認画面になります)
- SELECT** ビデオ出力するクリップを確定します。
- 更新** PC 等の外部操作でクリップが追加された場合などにご利用いただけます。

[目次に戻る](#)

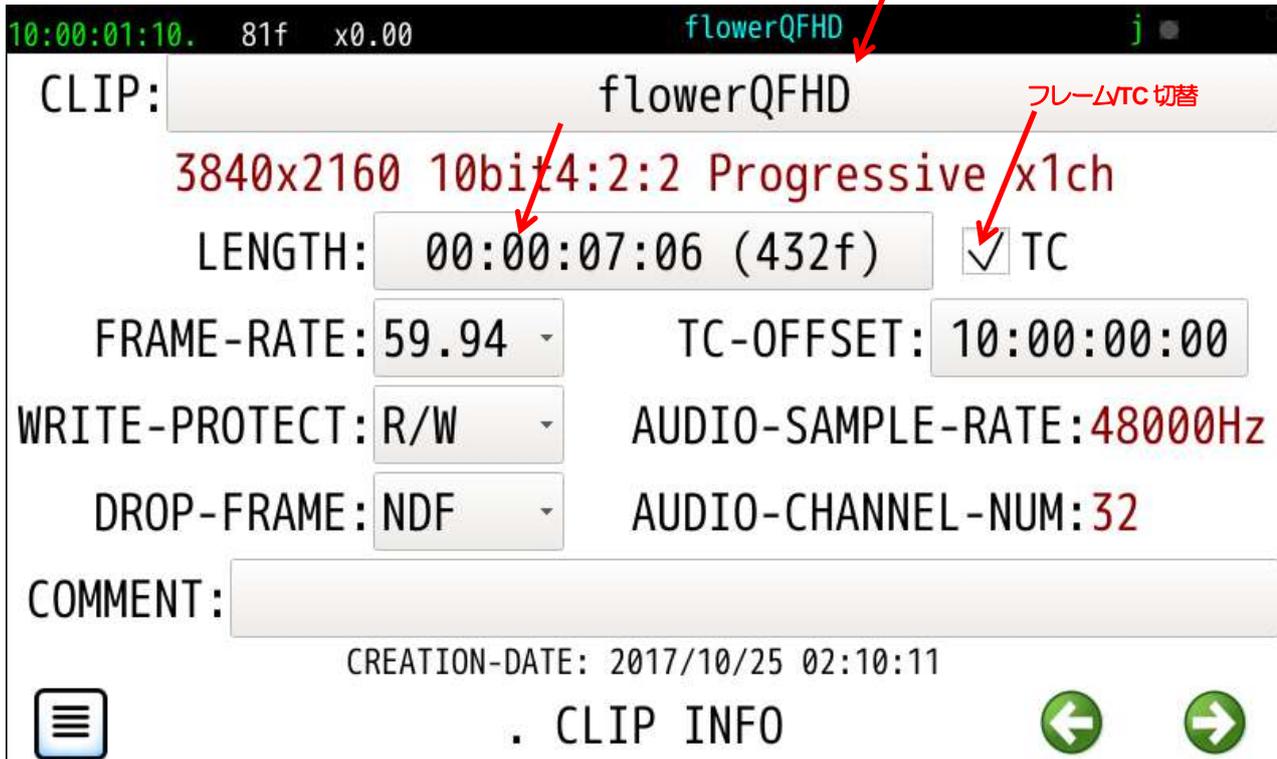
5.2 CLIP-INFO 画面

操作画面

CLIP-INFO

5.2.1 TC

TC チェックボックス ON の画面例です。



各ボタンおよびプルダウンメニュー動作

CLIP 名	クリップ名変更画面になります。
LENGTH	クリップのフレーム数を変更します。 TC チェックボックス OFF でフレーム数変更画面になります。
FRAME-RATE	クリップのフレーム周波数を指定します。
TC-OFFSET	タイムコードオフセット
WRITE-PROTECT	クリップの RW と R/O モードを切り替えます。
DROP-FRAME	ドロップフレームモードを ON/OFF します。
COMMENT	コメント入力画面になります。

[目次に戻る](#)

5.2.2 FRAME-RATE

no clip selected. J

CLIP: flowerQFHD

3840x2160 60.00 4:2:2 Progressive x1ch

LENGTH: 59.94 (00:00:07:06) TC

FRAME-RATE: 30.00 TC-OFFSET: 10:00:00:00

WRITE-PROTECT: 29.97 AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

DROP-FRAME: 25.00 AUDIO-CHANNEL-NUM: 32

COMMENT: 24.00

CF 23.98 E: 2017/10/25 02:10:11

50.00 CLIP INFO

5.2.3 WRITE-PROTECT

no clip selected. J

CLIP: flowerQFHD

3840x2160 10bit 4:2:2 Progressive x1ch

LENGTH: 432f (00:00:07:06) TC

FRAME-RATE: 59.94 TC-OFFSET: 10:00:00:00

WRITE-PROTECT: R/W AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

DROP-FRAME: R/O AUDIO-CHANNEL-NUM: 32

COMMENT:

CREATION-DATE: 2017/10/25 02:10:11

. CLIP INFO

[目次に戻る](#)

5.2.4 DROP-FRAME

no clip selected. J

CLIP: flowerQFHD

3840x2160 10bit4:2:2 Progressive x1ch

LENGTH: 432f (00:00:07:06) TC

FRAME-RATE: 59.94 TC-OFFSET: 10:00:00:00

WRITE-PROTECT: R/W AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

DROP-FRAME: NDF AUDIO-CHANNEL-NUM: 32

COMMENT: DF

CREATION-DATE: 2017/10/25 02:10:11

. CLIP INFO

5.2.5 TC

TC チェックボックスOFF の画面例です

10:00:03:24 228f x0.00 flowerQFHD j

CLIP: flowerQFHD

3840x2160 10bit4:2:2 Progressive x1ch

LENGTH: 432f (00:00:07:06) TC

FRAME-RATE: 59.94 TC-OFFSET: 10:00:00:00

WRITE-PROTECT: R/W AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

DROP-FRAME: NDF AUDIO-CHANNEL-NUM: 32

COMMENT:

CREATION-DATE: 2017/10/25 02:10:11

. CLIP INFO

[目次に戻る](#)

5.2.6 CLIP-NAME

操作画面

CLIP-NAME

HINT

機能

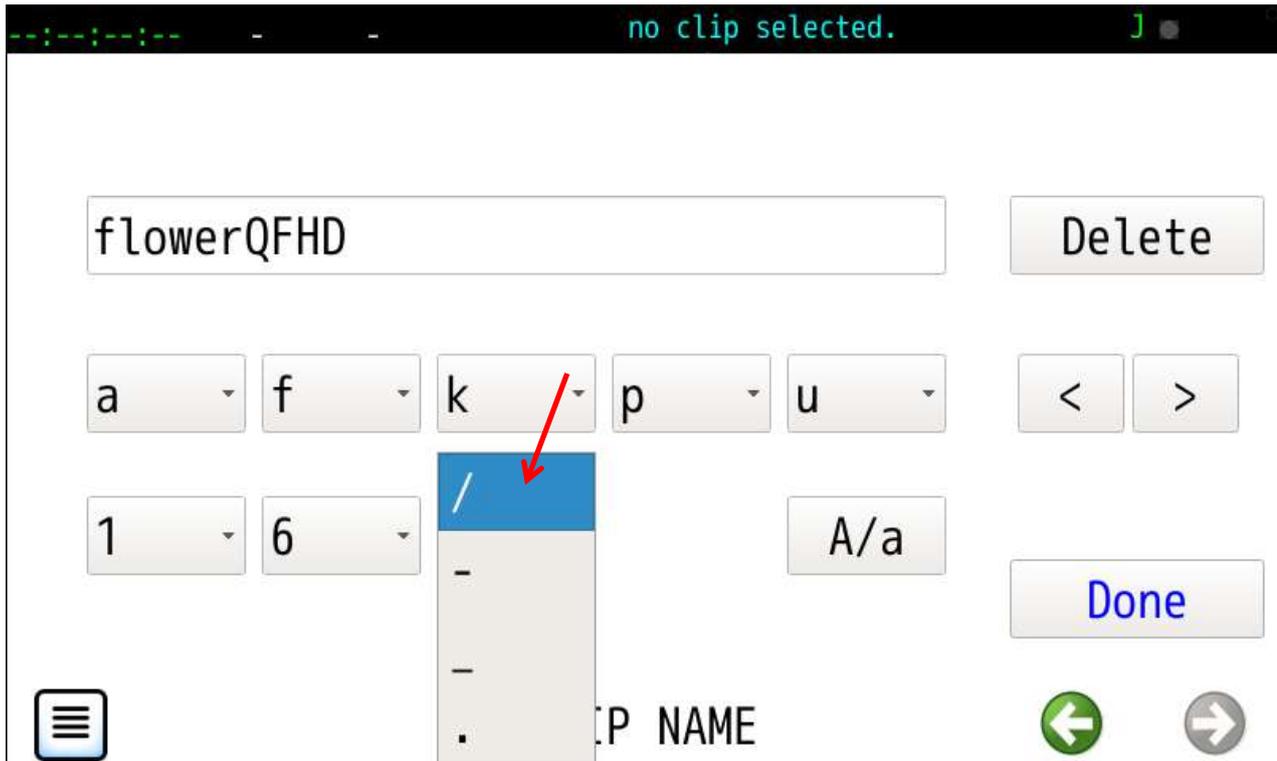
クリップ名を入力・変更します。



ボタンの動作

Done	クリップ名変更を確定します。
戻りボタン	変更をキャンセルします。
Delete ボタン	カーソル右の文字を削除します。
<> ボタン	カーソルを移動します。
A/a ボタン	大文字小文字を切り替えます。

[目次に戻る](#)



クリップ名は英数字とスラッシュ・ハイフン・アンダースコア・ドットを含む最大63文字です。

5.2.7 LENGTH (FRAME)

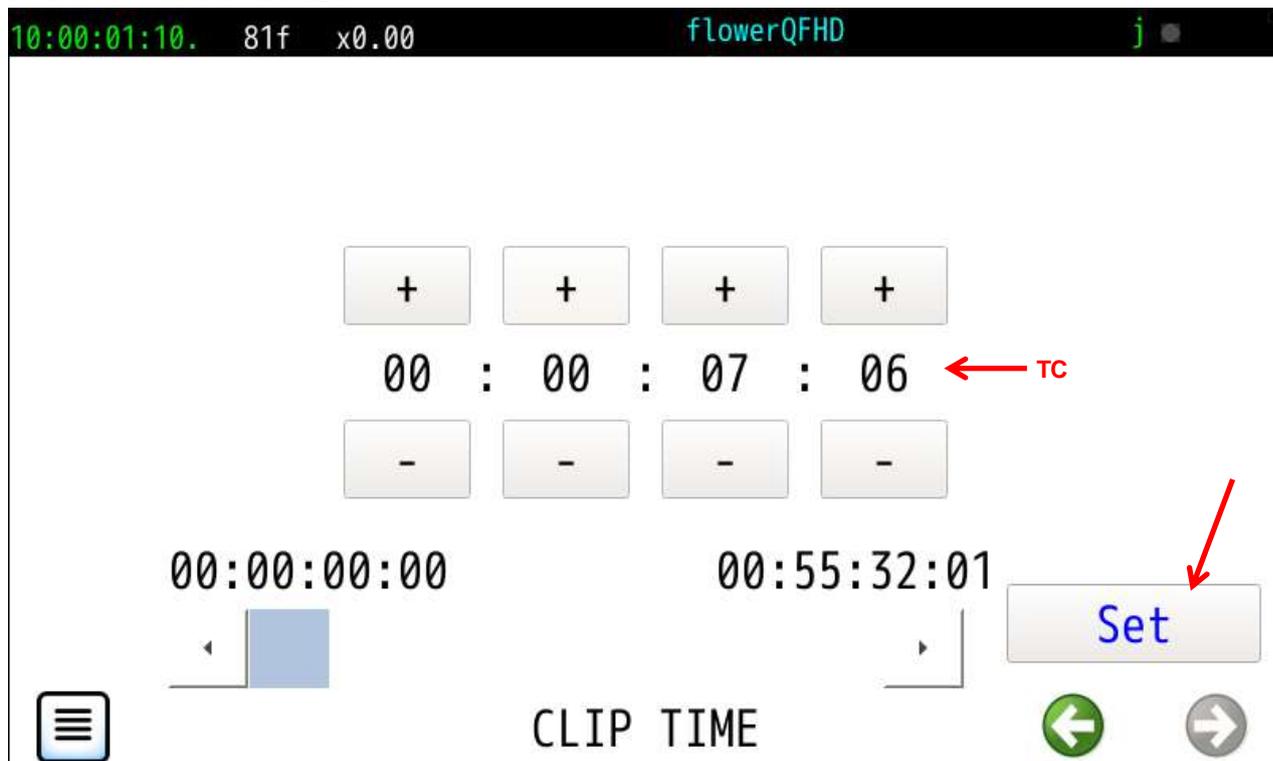
フレーム数変更

フレーム数



5.2.8 LENGTH (TC)

タイムコードベースフレーム数変更

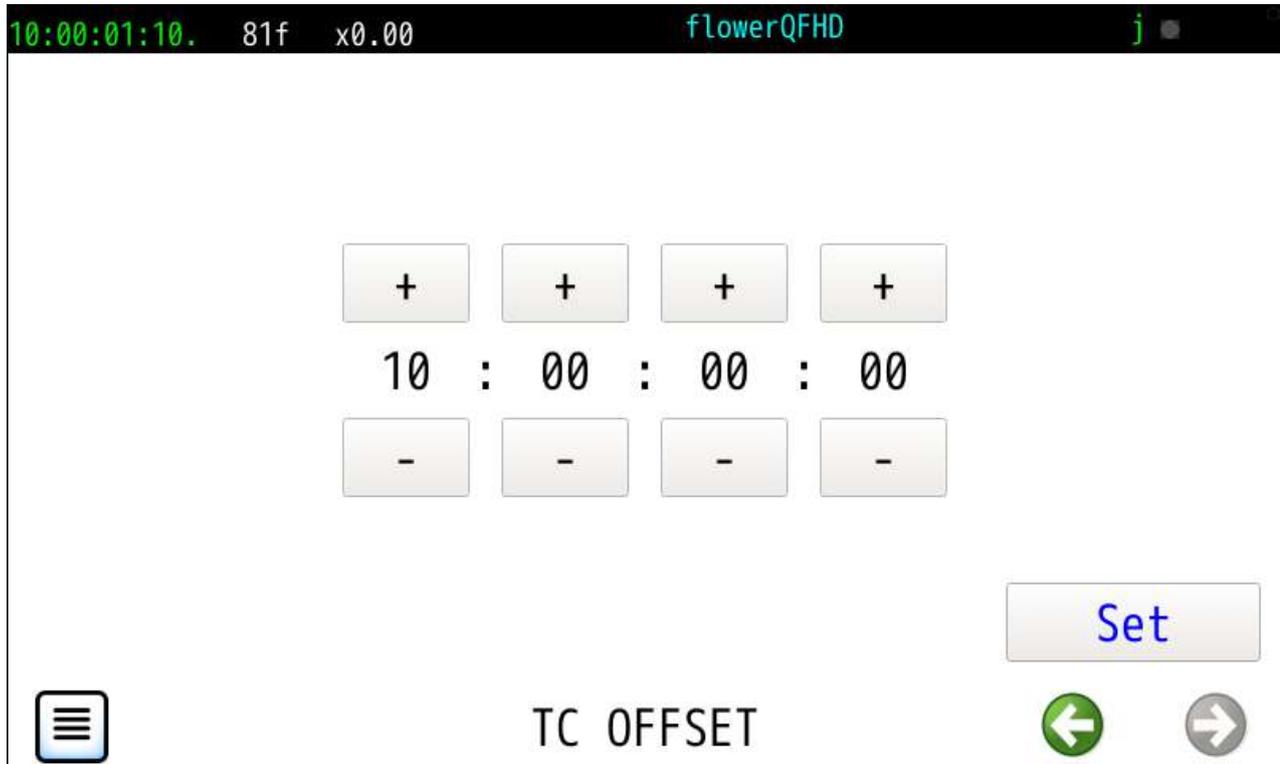


フレーム周波数 59p/60p の場合は2フレーム単位になり結果は偶数フレームになります。

[目次に戻る](#)

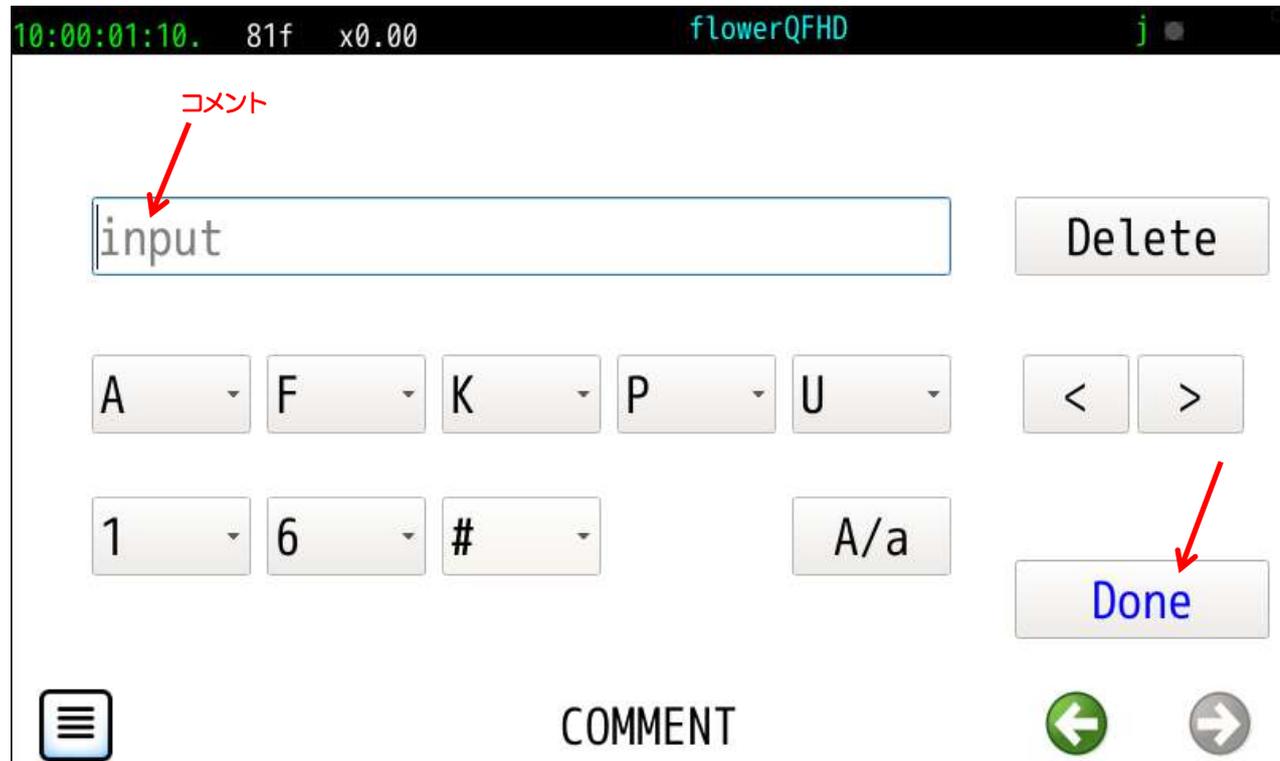
5.2.9 TC-OFFSET

タイムコードオフセット



5.2.10 COMMENT

コメント変更

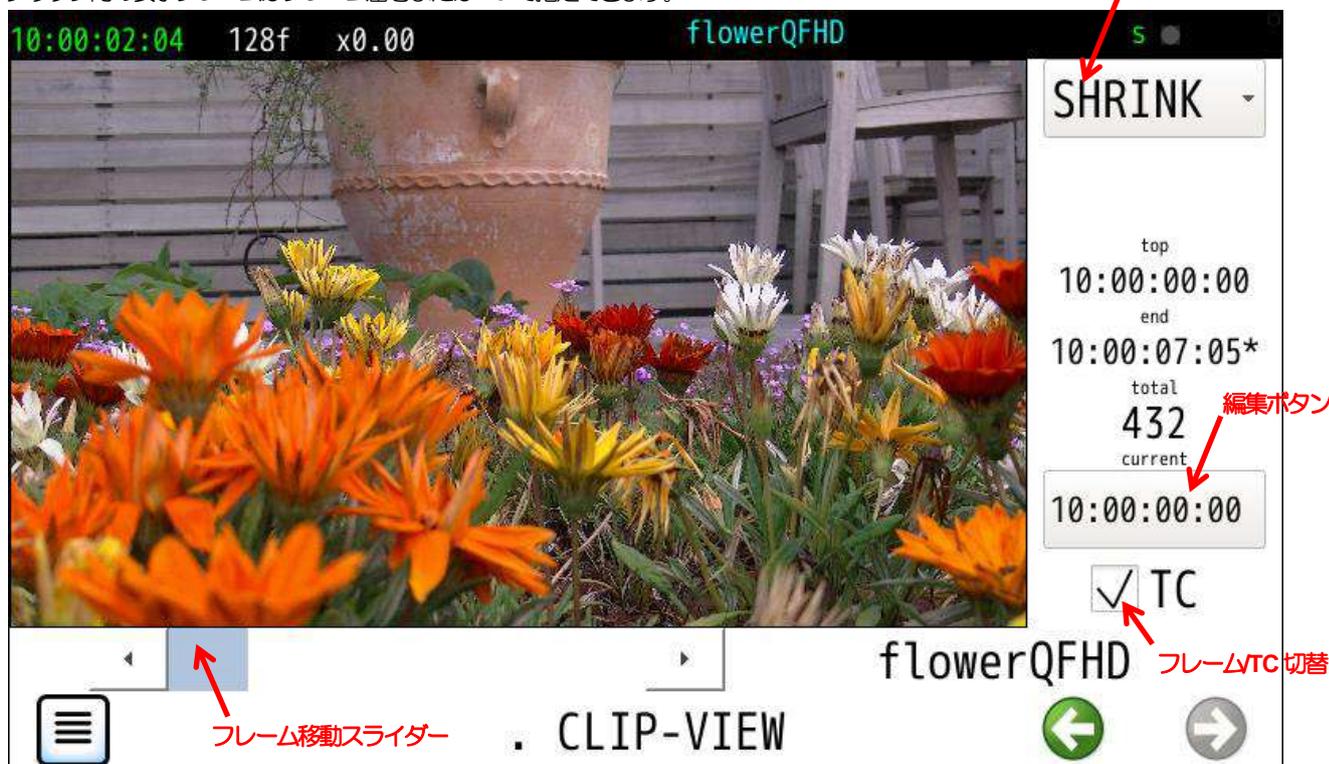


[目次に戻る](#)

5.3 CLIP-VIEW 画面

5.3.1 SHRINK TC (ON)

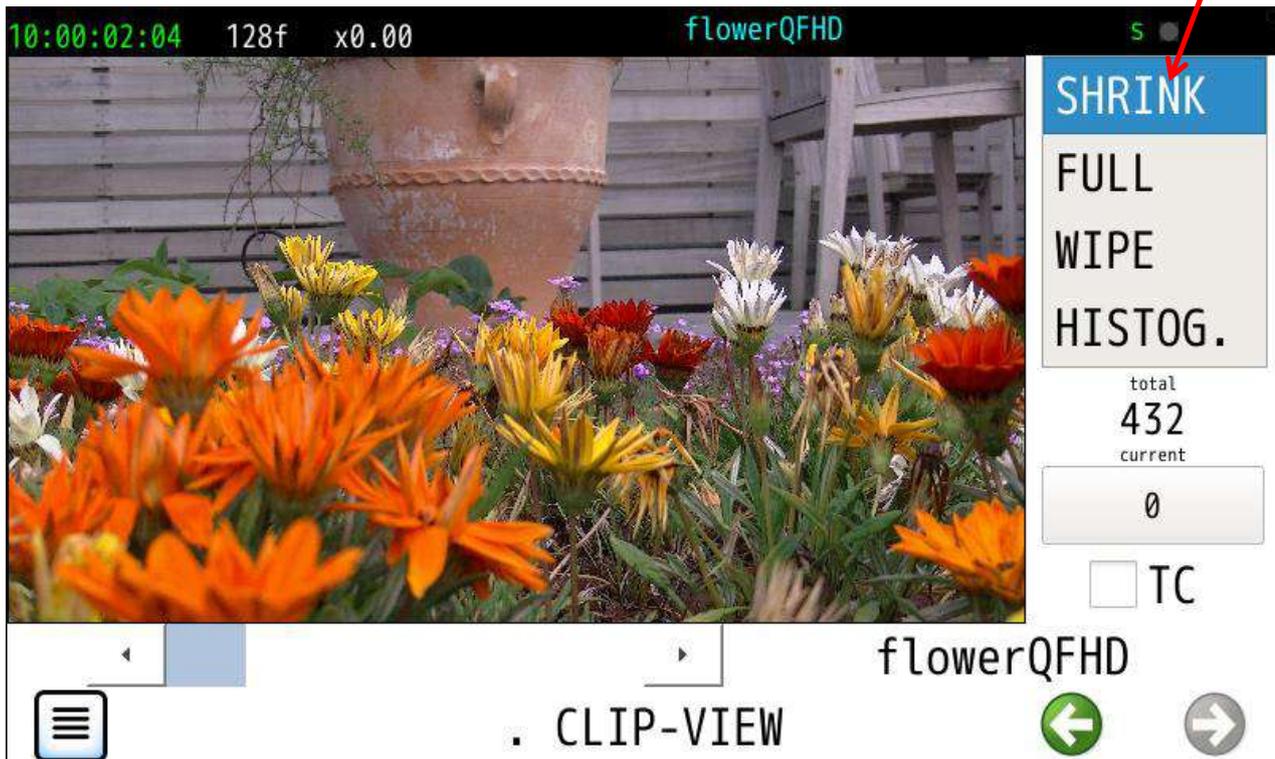
クリップ内の表示フレームはフレーム番号またはTCで指定できます。



5.3.2 SHRINK TC (OFF)



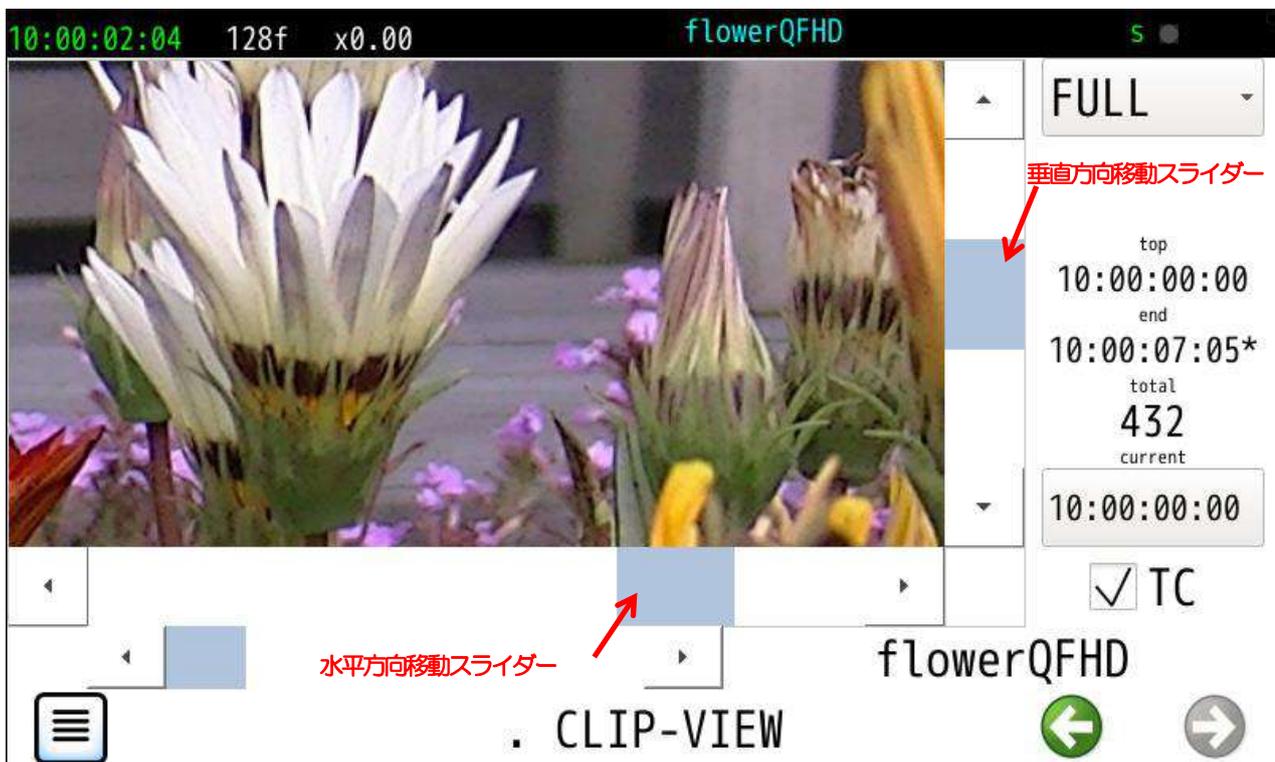
5.3.3 MODE CHANGE



SHRINK
FULL
WIPE
HISTOG.

画像フレーム全体をリサイズして表示します。
ドットバイドット表示です。(スクロールバーで表示位置移動)
ドットバイドット表示です。(スワイプで表示位置移動)
ヒストグラム表示です。

5.3.4 FULL



水平方向移動スライダー

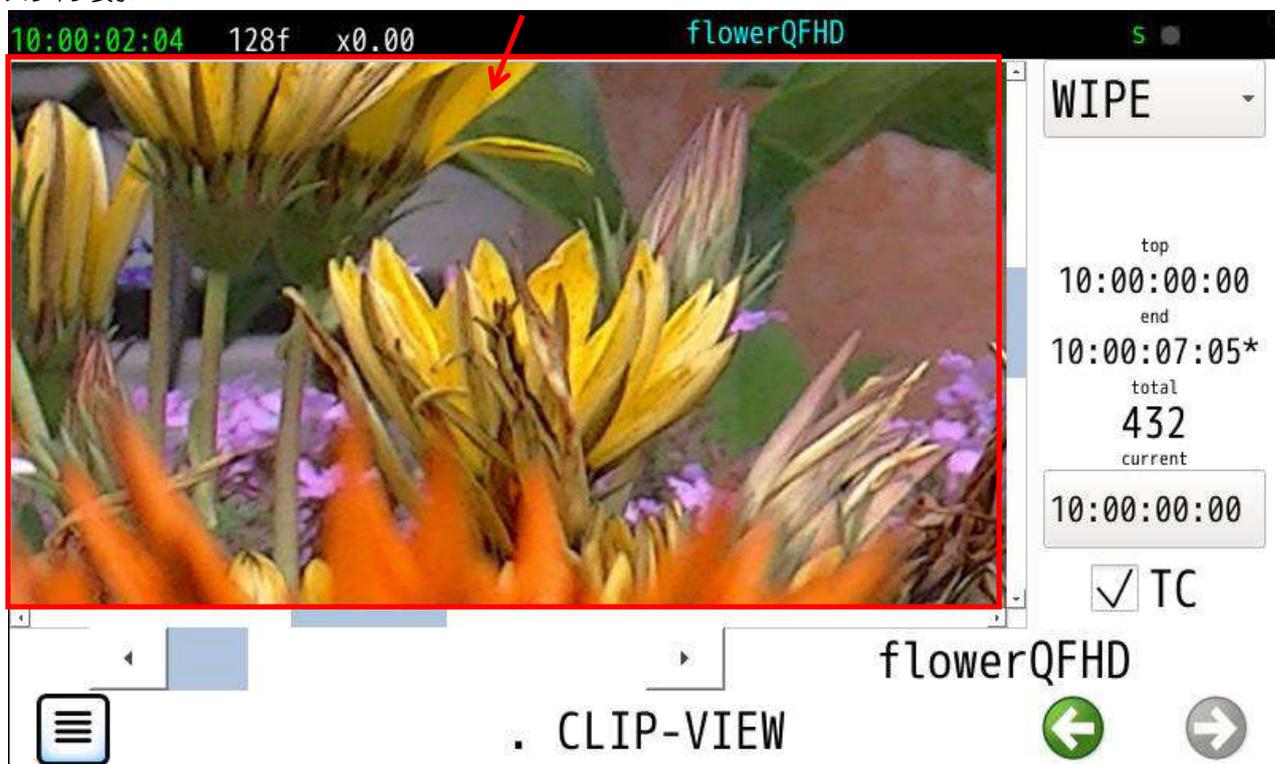
垂直方向移動スライダー

[目次に戻る](#)

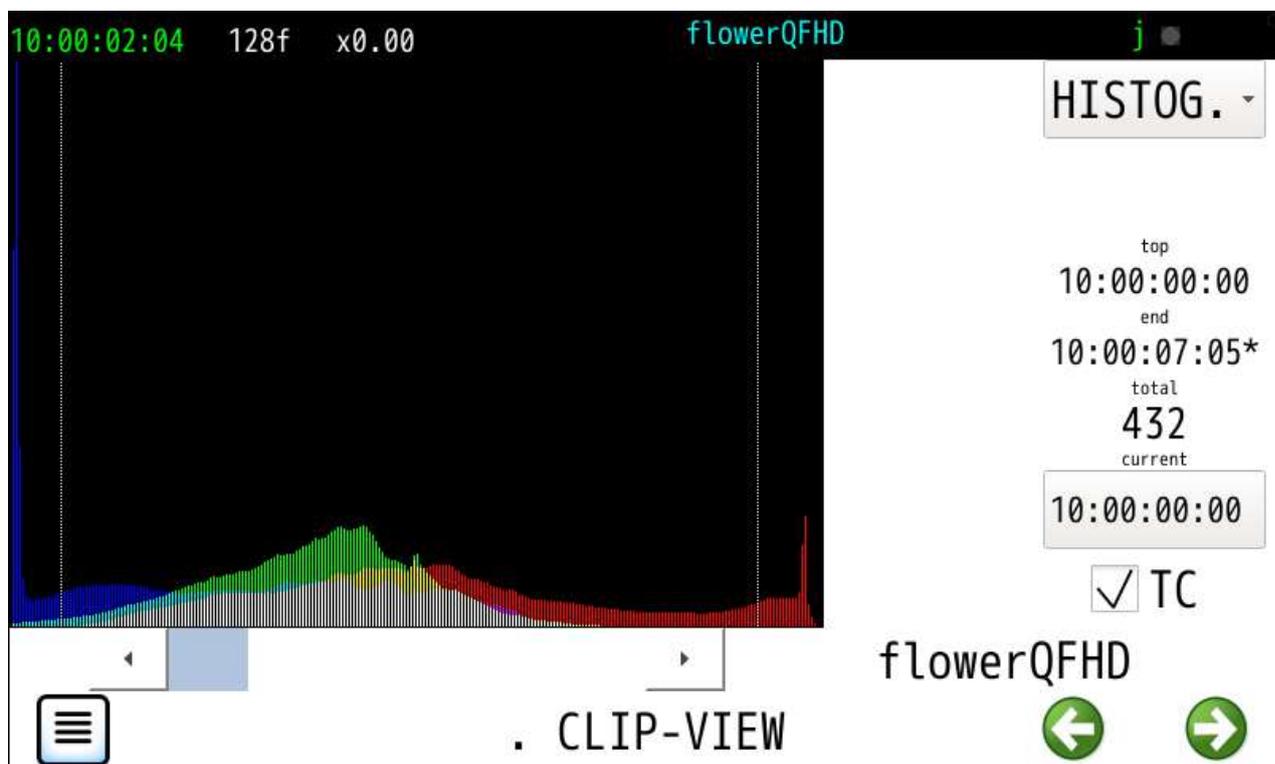
5.3.5 WIPE

スワイプ操作領域

スワイプ表示

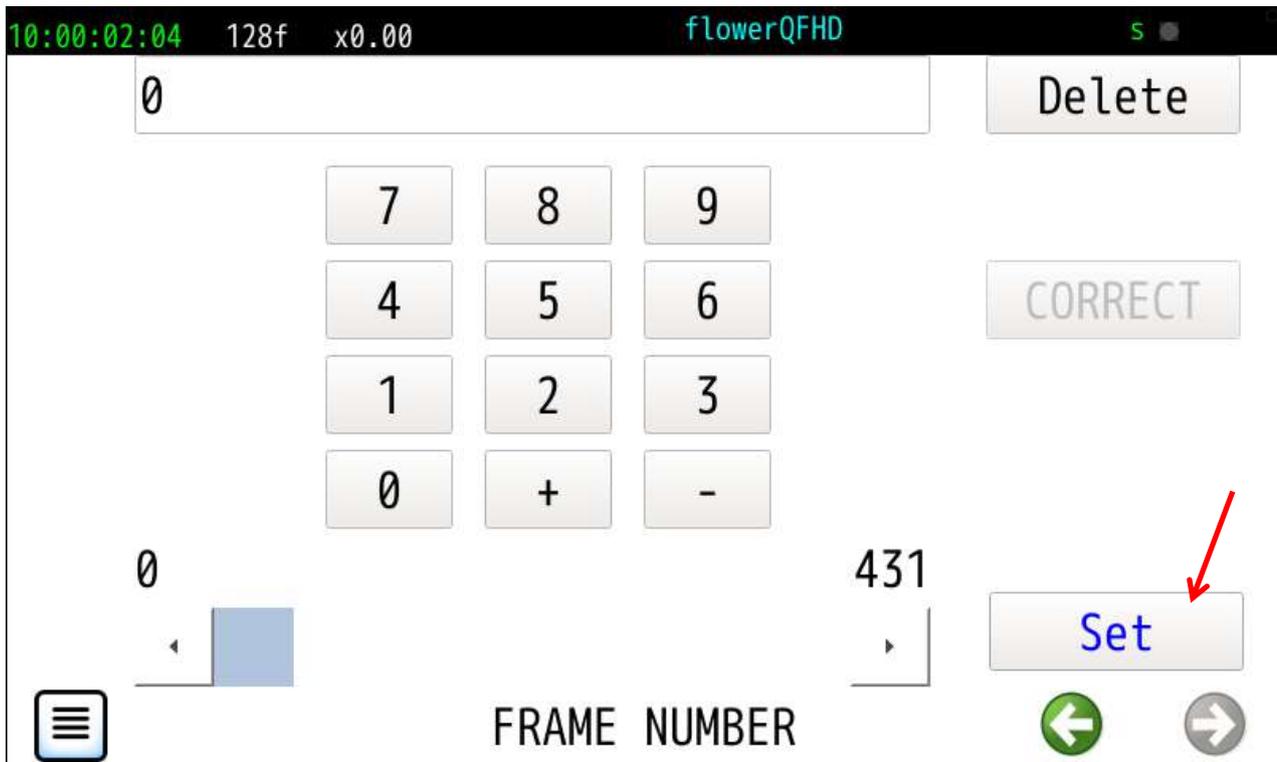


5.3.6 HISTOG

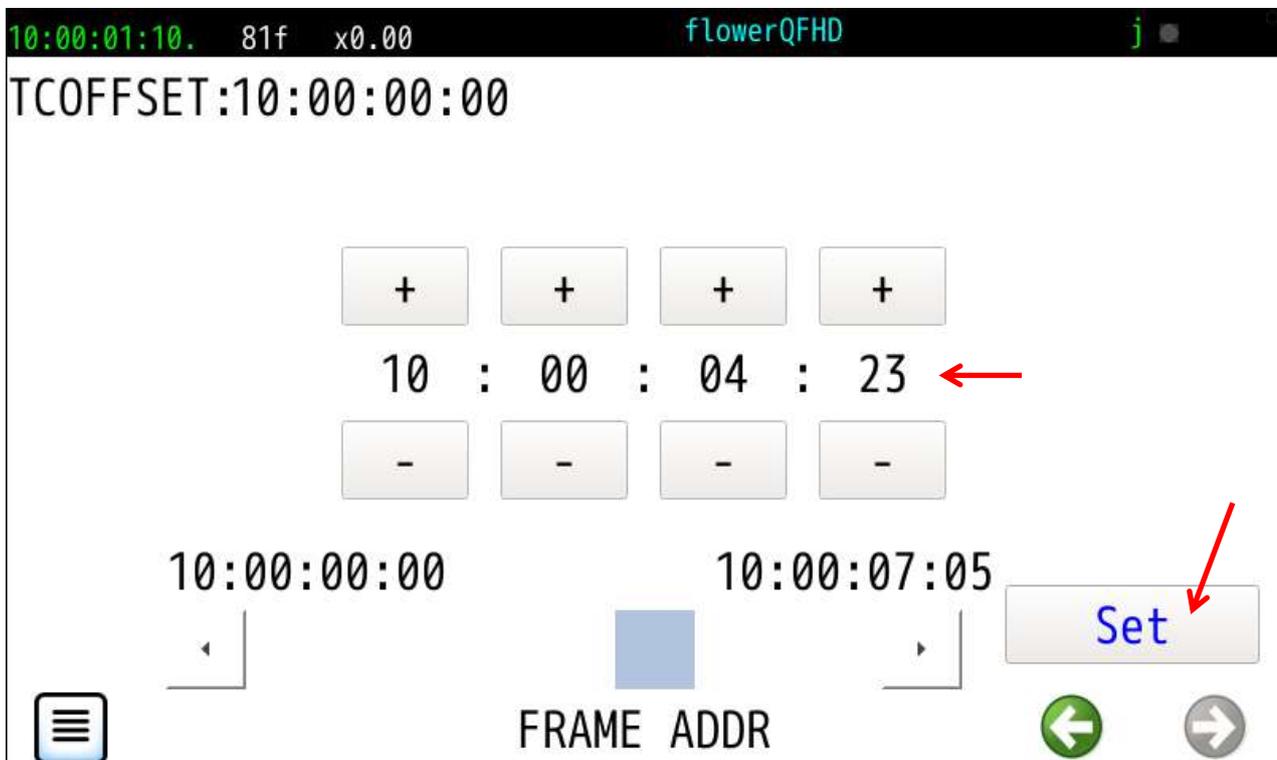


[目次に戻る](#)

5.3.7 FRAME SET



5.3.8 TC SET



[目次に戻る](#)

5.4 CLIP-TOOL 画面

ここから各種クリップデータ処理画面に移動します。



FRAME-COPY

CLEAR

THUMBNAIL

TEST-PATTERN

DUPLICATE

REFRESH



CLIP-TOOL



各ボタン動作

FRAME-COPY	クリップ間の映像・音声データのフレーム単位転送を行う、FRAME-COPY 画面に移動します。
THUMBNAIL	クリップ選択時に表示するサムネイル画像を登録する、CLIP-THUMBNAIL 画面に移動します。
TEST-PATTERN	テストパターン画像をクリップに書き出す、TEST-PATTERN 画面に移動します。
CLEAR	クリップの映像音声データを消去する、CLIP CLEAR 画面に移動します。
DUPLICATE	クリップを複写する、CLIP DUPLICATE 画面に移動します。
REFRESH	クリップを同じデータで上書きするクリップリフレッシュ画面に移動します。

5.5 NEW-CLIP 画面

操作画面

NEW-CLIP

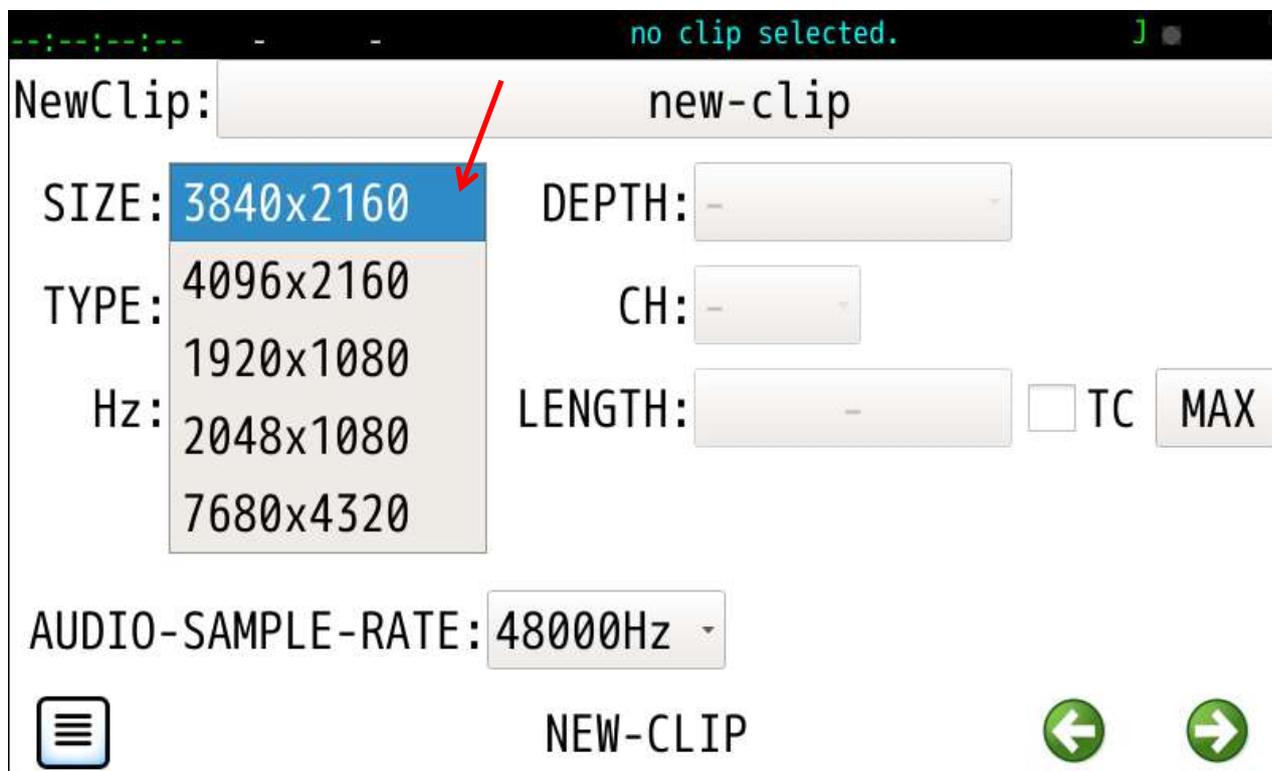
主画面

新規にクリップを登録する画面です。

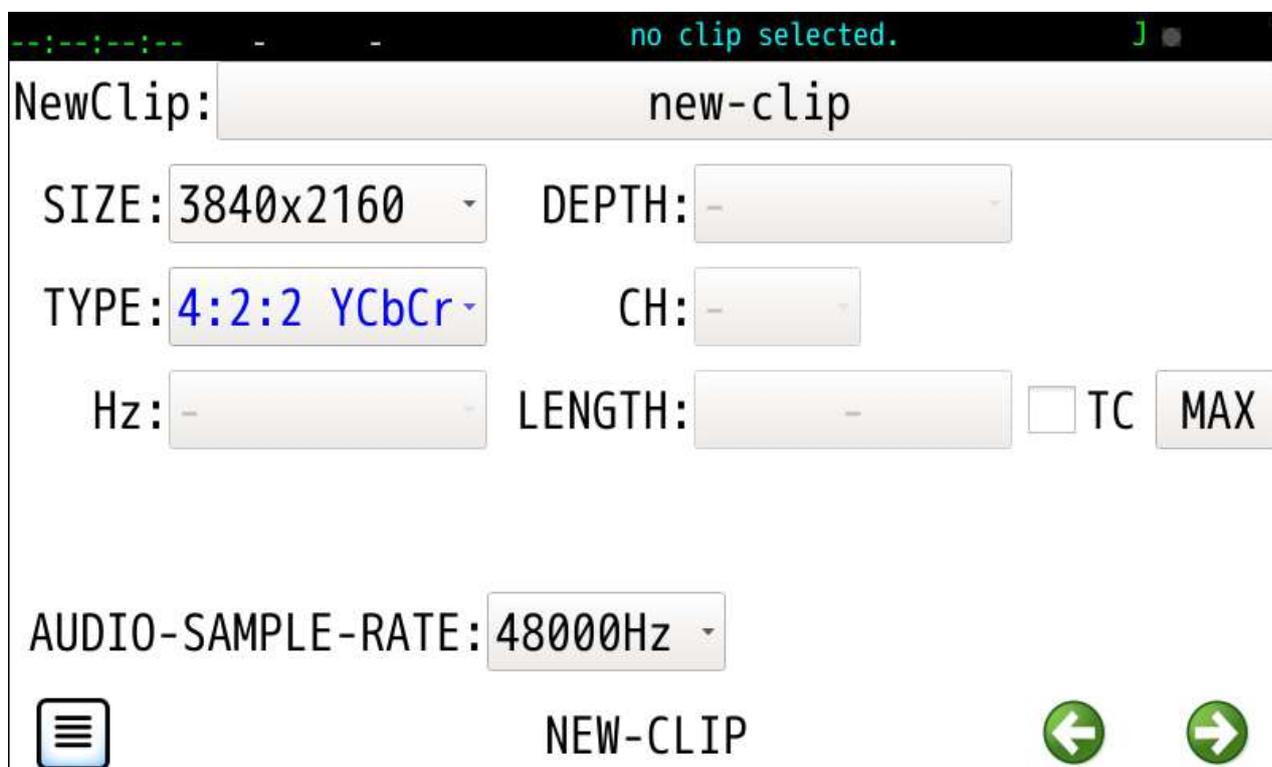
The screenshot shows the 'NewClip' configuration window. At the top, it says 'no clip selected.' and 'J'. The window title is 'NewClip: new-clip'. The configuration fields are: SIZE: 3840x2160, DEPTH: 10bit, TYPE: 4:2:2 YCbCr, CH: 1, Hz: 59.94, LENGTH: 194321. There are two radio buttons for 'TC' and 'MAX', with 'MAX' selected. A 'CREATE' button is at the bottom right. Navigation arrows are at the bottom. Red arrows point to the 'TC' and 'MAX' options with labels 'フレーム番号TC切替' and '最大値指定' respectively.

NewClip	クリップ名指定
SIZE	画角サイズ
TYPE	データタイプ
CH	チャンネル数
DEPTH	ビット深さ
Hz	フレーム周波数
LENGTH	フレーム数 (TC 指定もできます)
AUDIO-SAMPLE-RATE	オーディオサンプル周波数
TC	クリップ長さのフレーム数またはタイムコード切り替え
MAX	最大値
CREATE	クリップ登録実行

5.5.1 SIZE

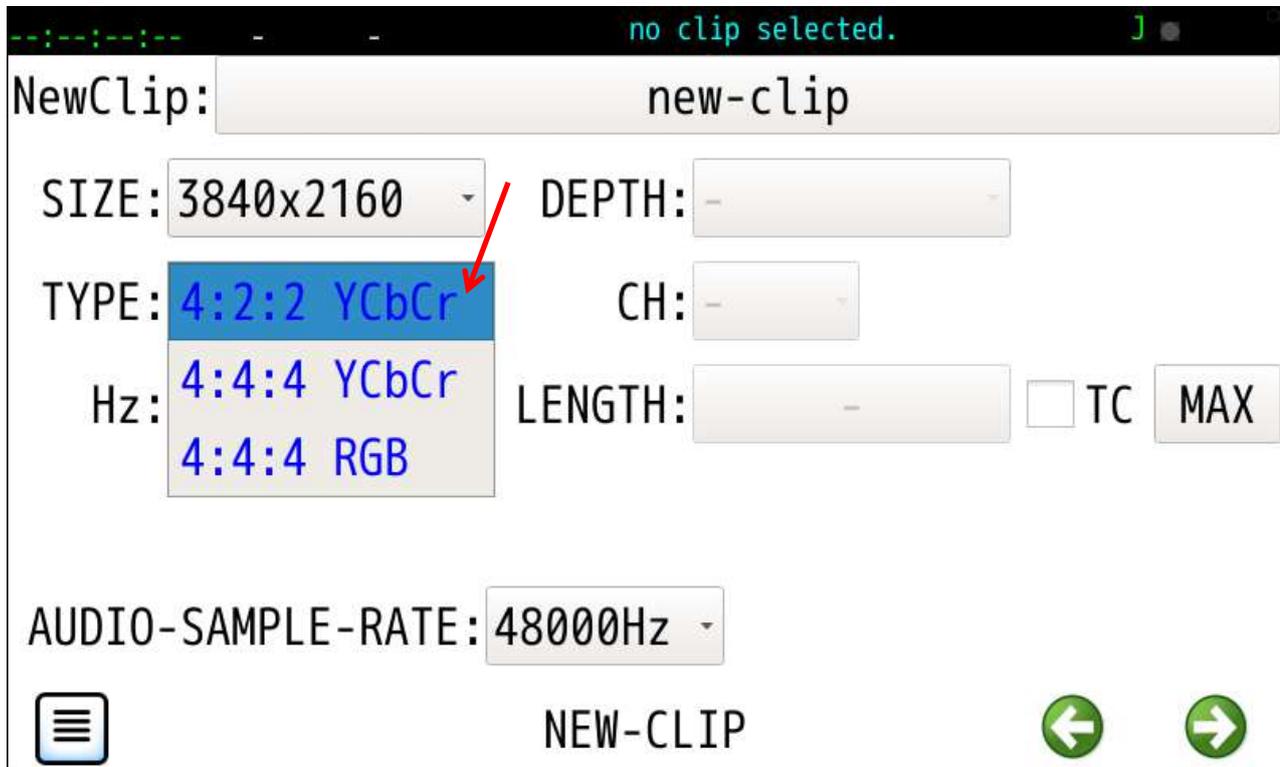


サイズ確定でデータタイプ選択画面になります。

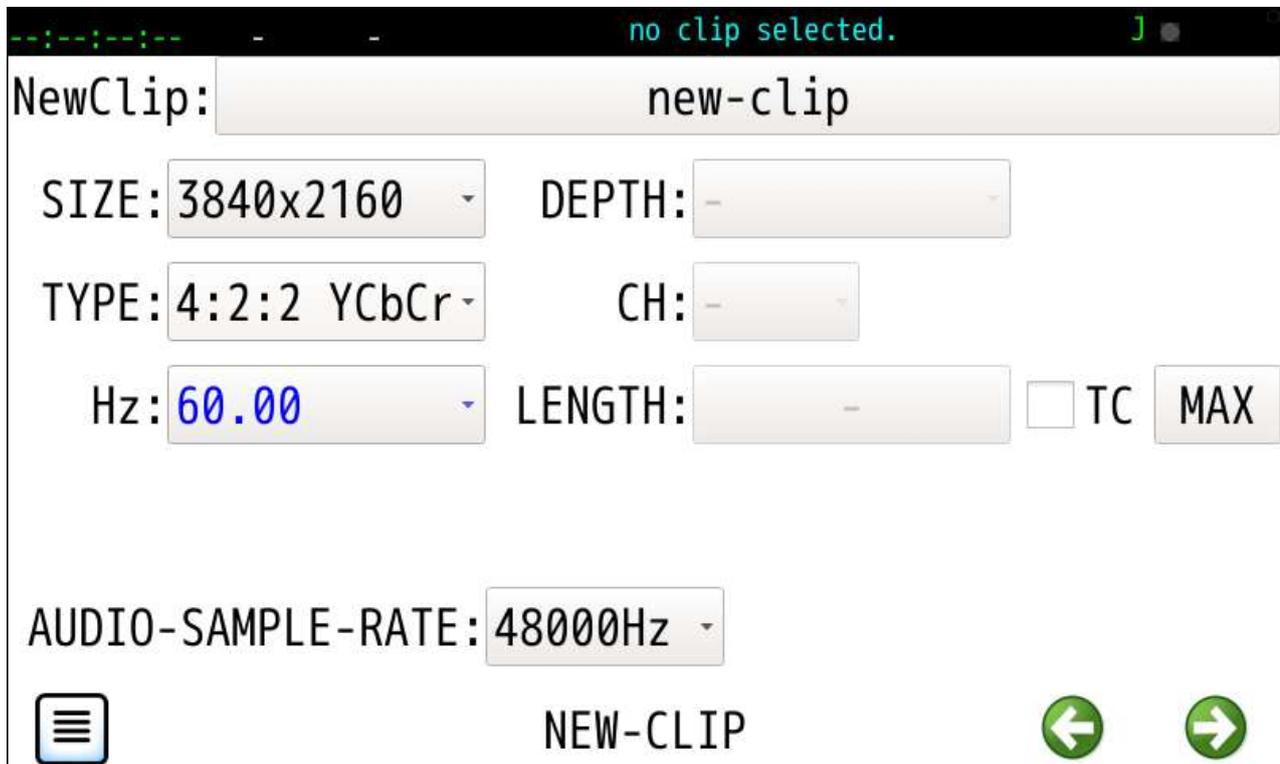


[目次に戻る](#)

5.5.2 TYPE

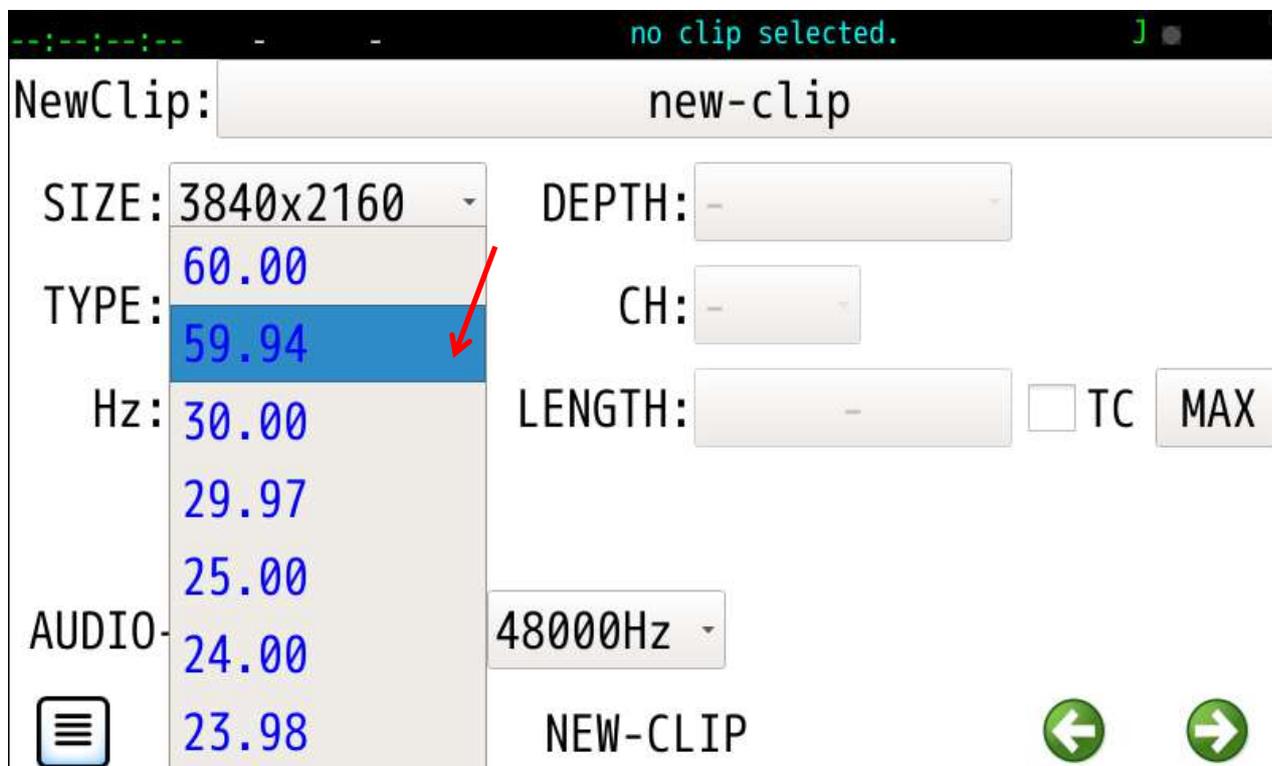


データタイプ確定でフレーム周波数選択画面になります。

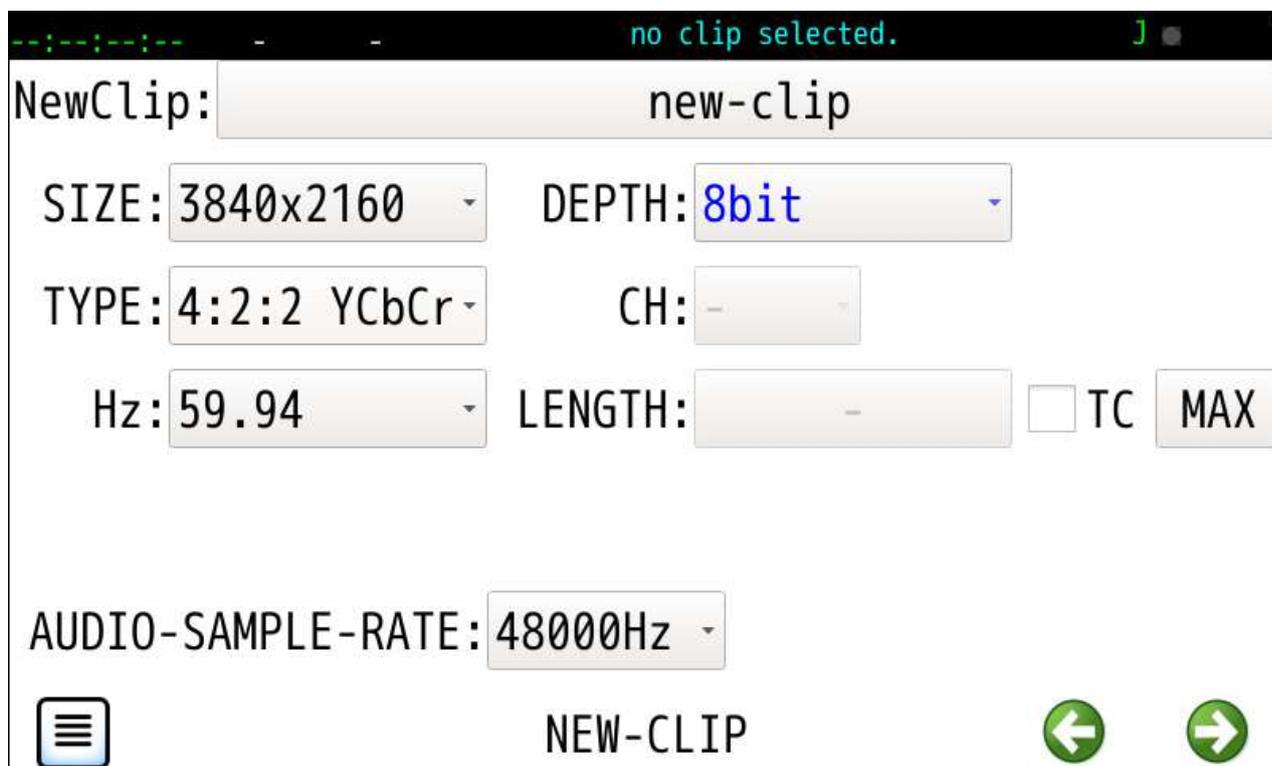


[目次に戻る](#)

5.5.3 Hz



でフレーム周波数確定でビット数選択画面になります。



[目次に戻る](#)

5.5.4 DEPTH

no clip selected. J

NewClip: new-clip

SIZE: 3840x2160 DEPTH: 8bit

TYPE: 4:2:2 YCbCr CH: 10bit

Hz: 59.94 LENGTH: - TC MAX

AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

NEW-CLIP

ビット数確定で SET ボタンが表示されます。

no clip selected. J

NewClip: new-clip

SIZE: 3840x2160 DEPTH: 10bit

TYPE: 4:2:2 YCbCr CH: 1

Hz: 59.94 LENGTH: 194321 TC MAX

AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz

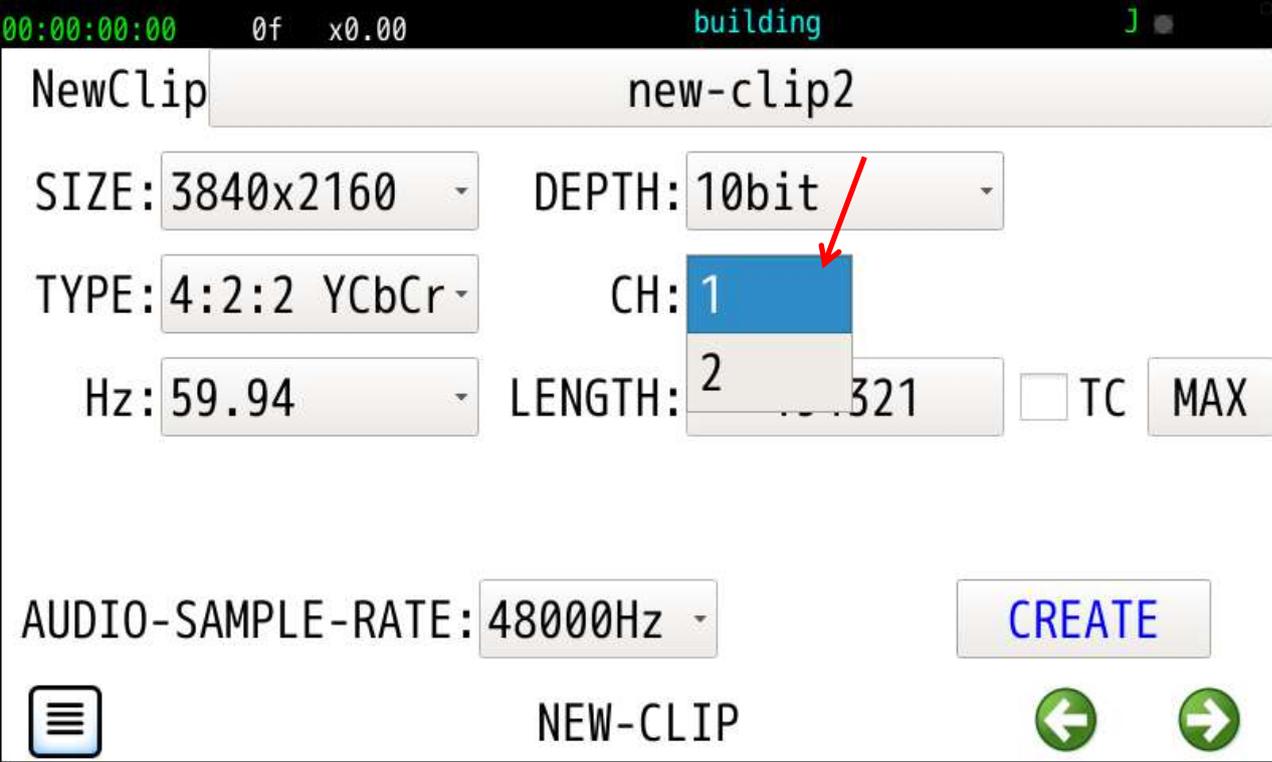
CREATE

NEW-CLIP

[目次に戻る](#)

5.5.5 CH

選択可能なチャンネル数は他のパラメータにより変化します。



00:00:00:00 0f x0.00 building J

NewClip new-clip2

SIZE: 3840x2160 DEPTH: 10bit

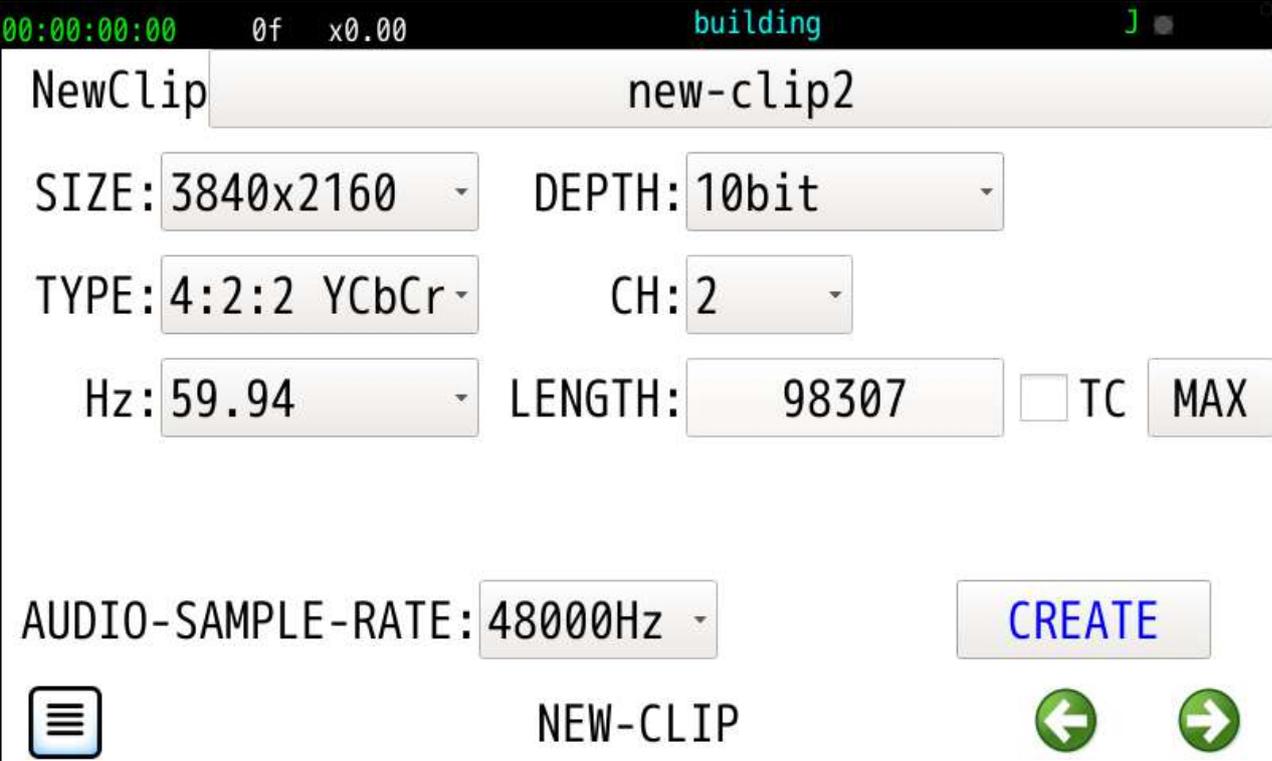
TYPE: 4:2:2 YCbCr CH: 1

Hz: 59.94 LENGTH: 2 321 TC MAX

AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz CREATE

NEW-CLIP

最大フレーム数の変化に追従します。



00:00:00:00 0f x0.00 building J

NewClip new-clip2

SIZE: 3840x2160 DEPTH: 10bit

TYPE: 4:2:2 YCbCr CH: 2

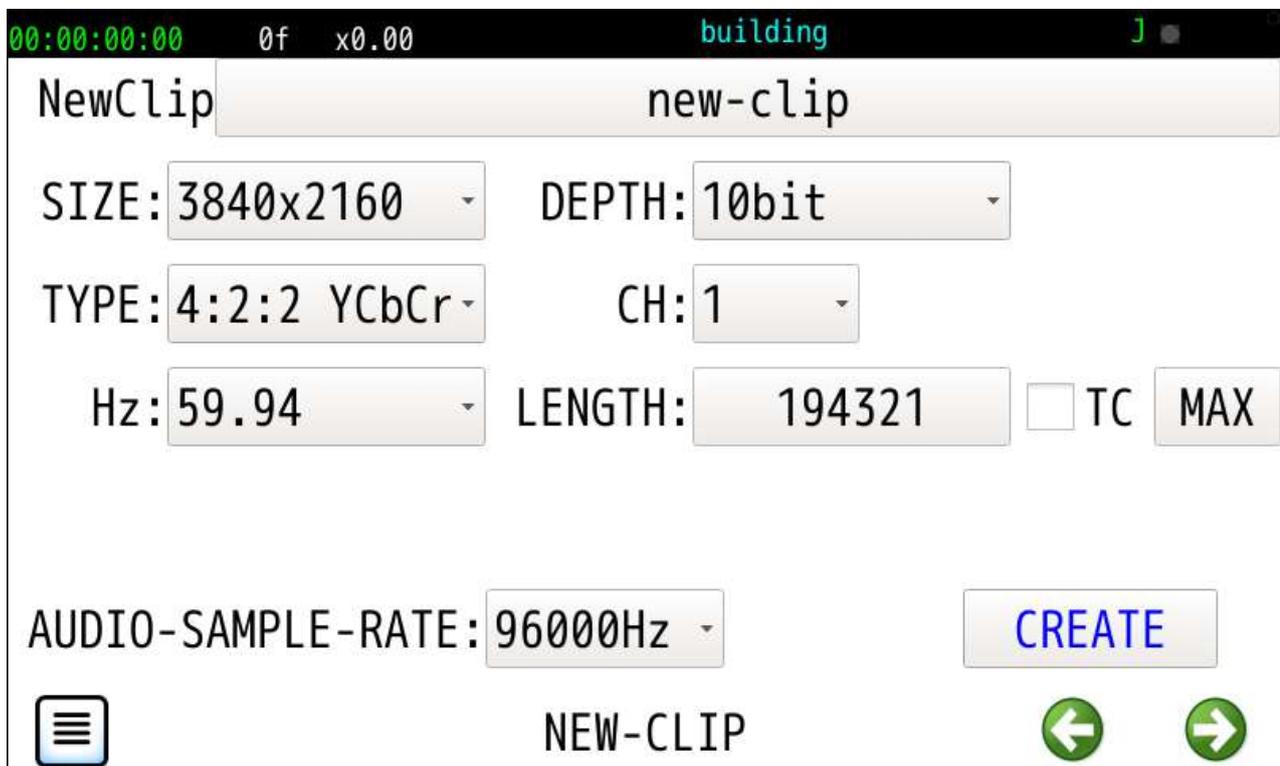
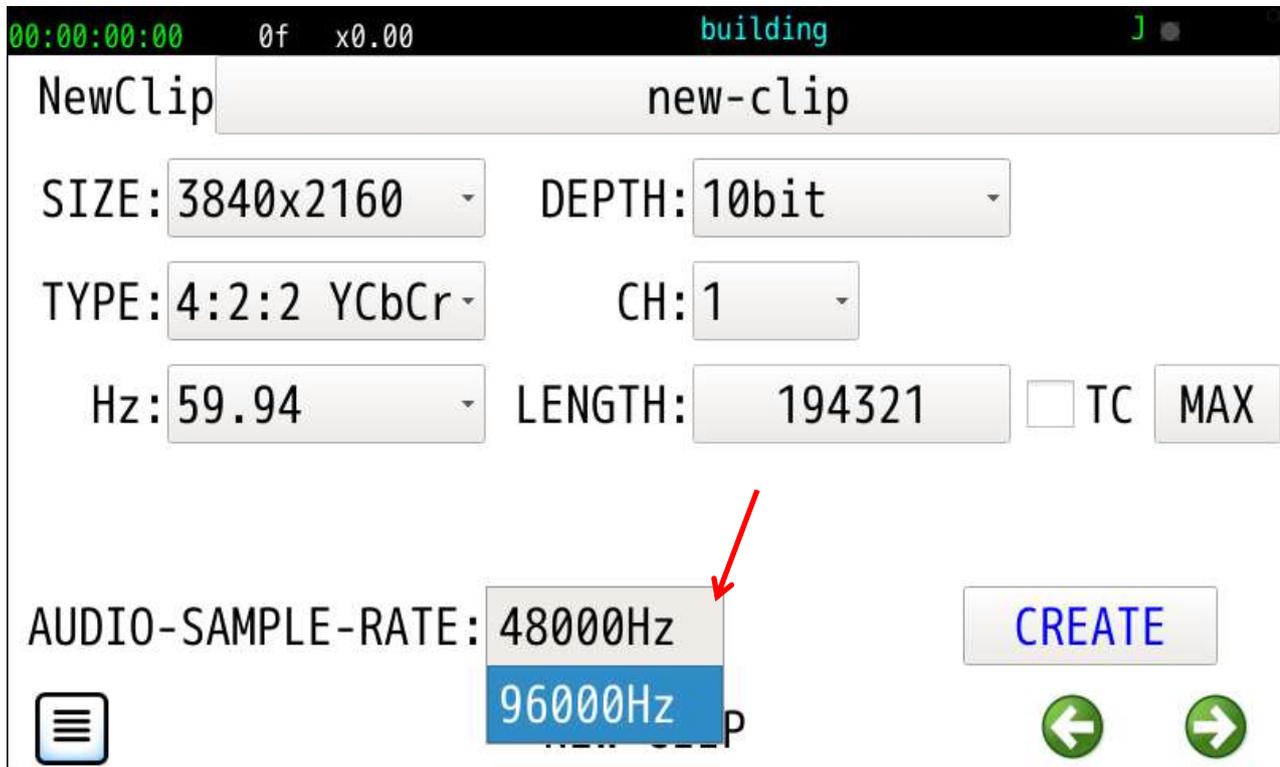
Hz: 59.94 LENGTH: 98307 TC MAX

AUDIO-SAMPLE-RATE: 48000Hz CREATE

NEW-CLIP

[目次に戻る](#)

5.5.6 AUDIO-SAMPLE-RATE



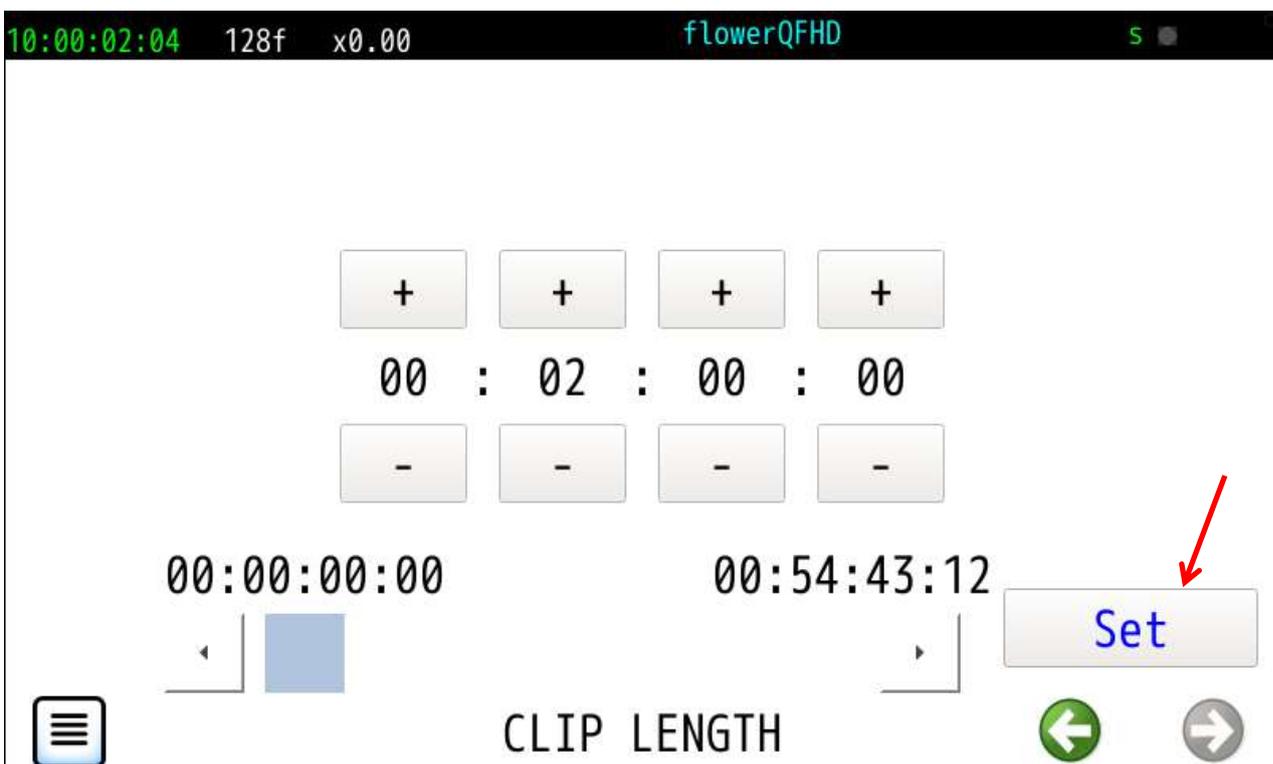
[目次に戻る](#)

5.5.7 LENGTH (FRAME)

他のパラメータから算出の最大フレーム数が初期値になります。

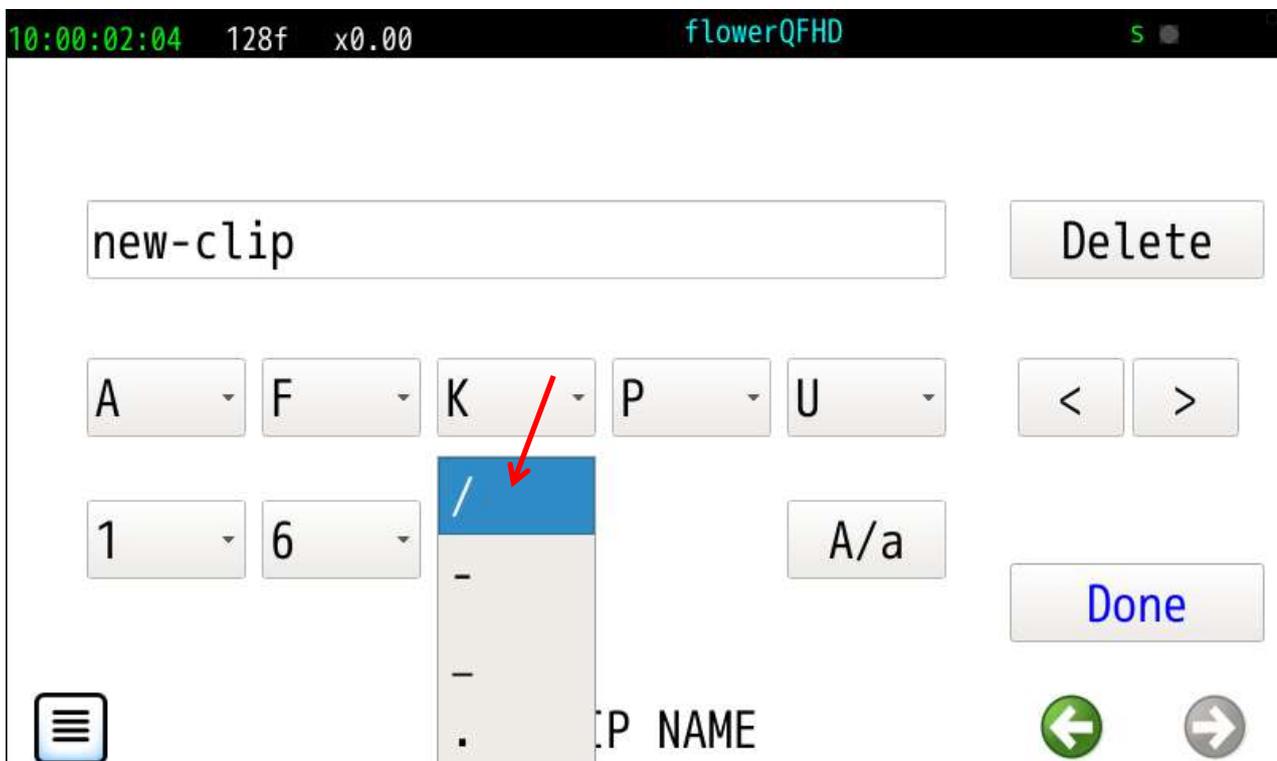
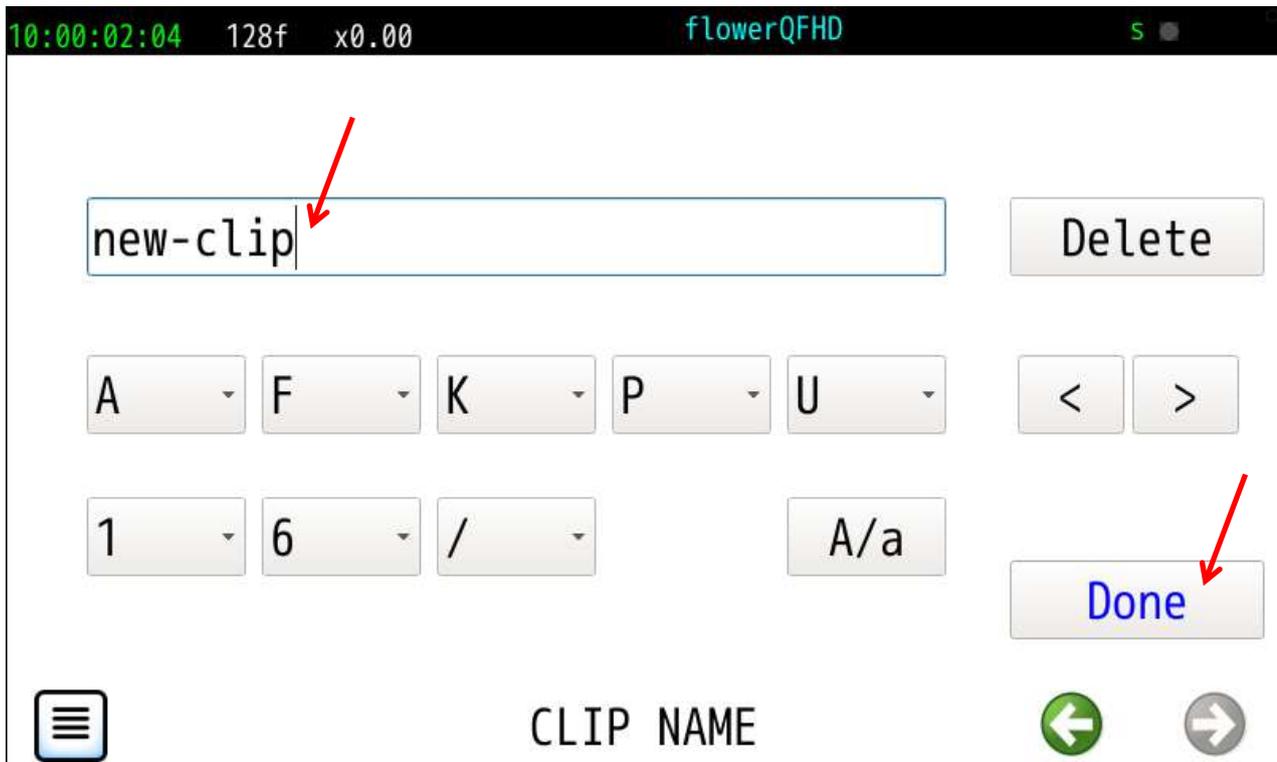


5.5.8 LENGTH (TC)



[目次に戻る](#)

5.5.9 NewClip (NAME)



クリップ名は英数字とスラッシュ・ハイフン・アンダースコア・ドットを含む最大63文字です。

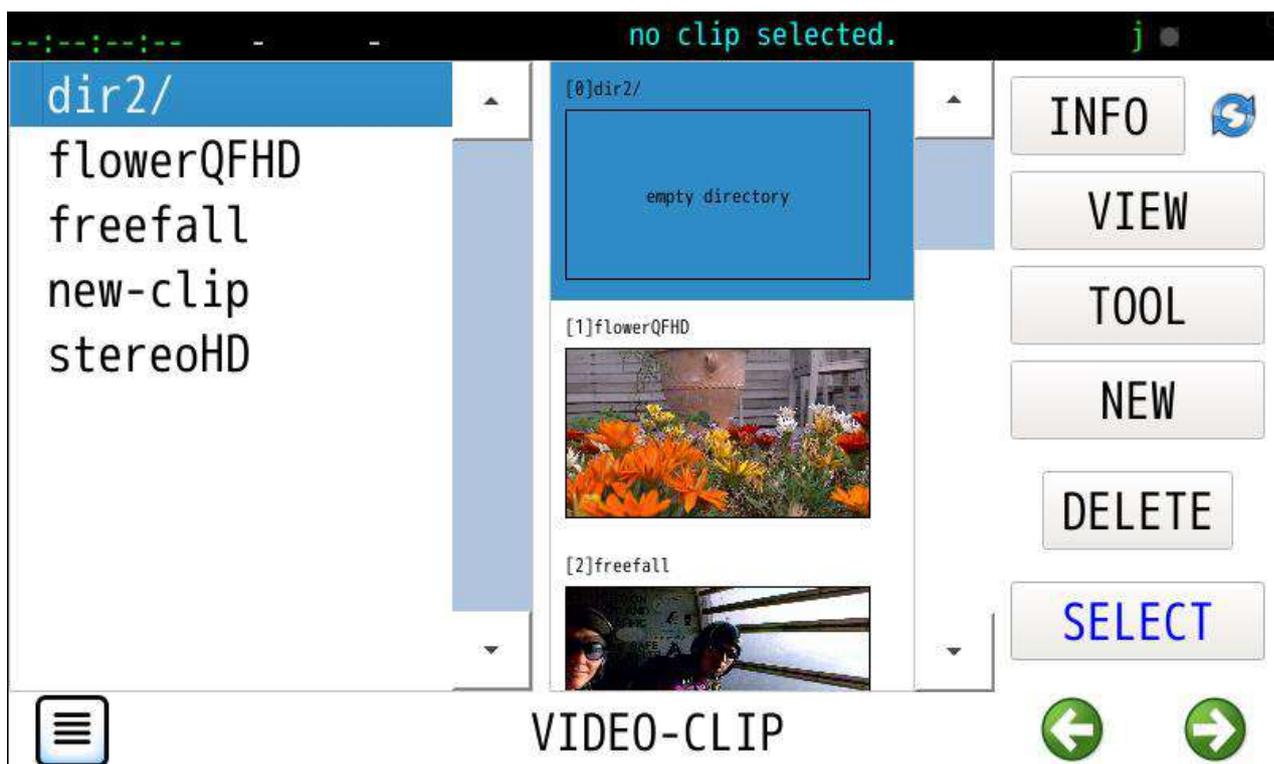
5.5.10 NewClip (Dir)

クリップ名にスラッシュを入れ仮想的な階層構造をとることができます。

新規クリップ作成画面でクリップ名の最後部にスラッシュを入れると

この名称の空のクリップディレクトリを作れます。

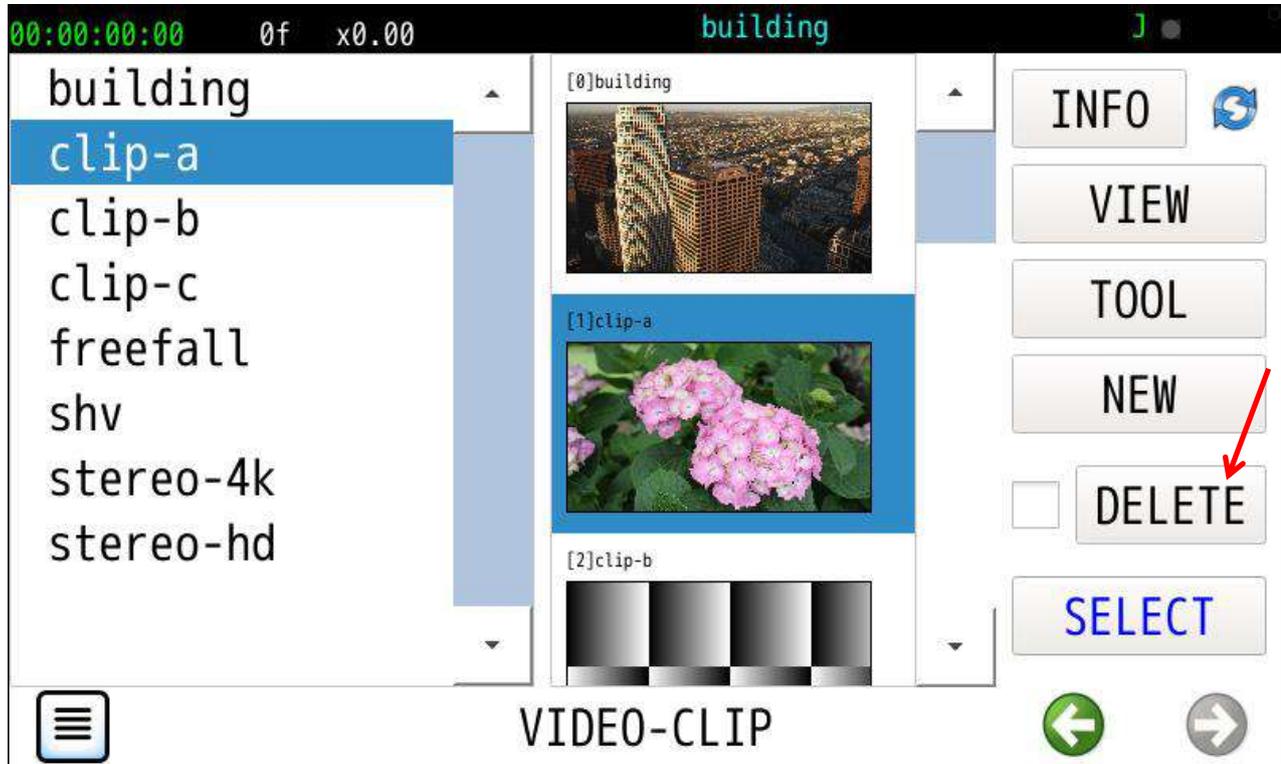
リストア機能でこのディレクトリを指定することができます。



[目次に戻る](#)

5.6 DELETE

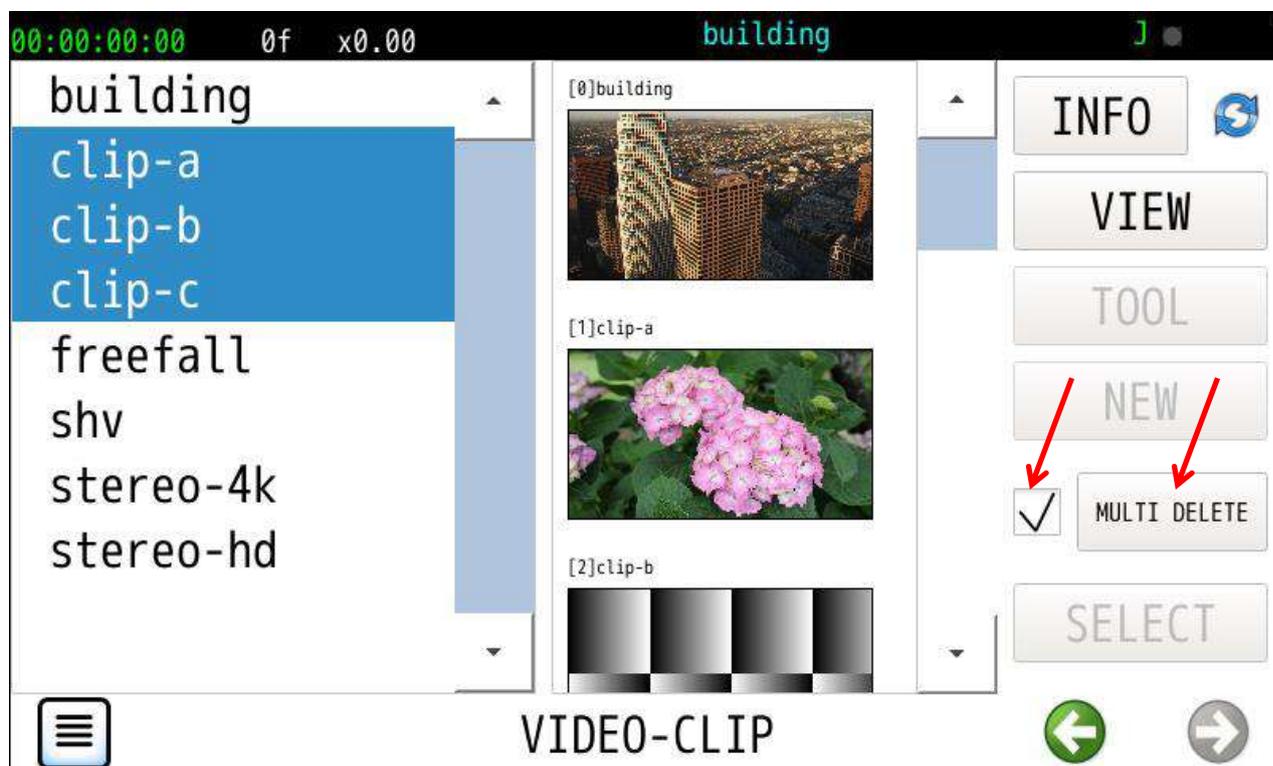
指定クリップの削除です。



[目次に戻る](#)

5.7 DELETE（複数）

DELETE ボタン左のチェックボックスオンで複数クリップの削除モードになります。



6 VIDEO 画面

操作画面

VIDEO

機能

ビデオフォーマットを指定します。

サイズを先頭に各項目を順次指定します。

自動 HOME 画面戻り

HOME 画面から直接この画面に移動した場合はビデオフォーマット選択成功で自動的に HOME 画面に戻ります。

初期画面

現在のビデオフォーマット設定値が表示されます。

再生可能クリップ

クリップとビデオフォーマットの次の各パラメータが一致した場合のみ再生可能です。

画角サイズ

画像データタイプ 4:2:2 / 4:4:4RGB / 4:4:4YcbCr / DualGreen

画像チャンネル数 1-N

パラメータ不一致で再生クリップ指定は解除されます。

SDI モード

HD、3GA、3GB、8KDG または 12G が選べます。

機種別のモード対応表は以下の通りです。

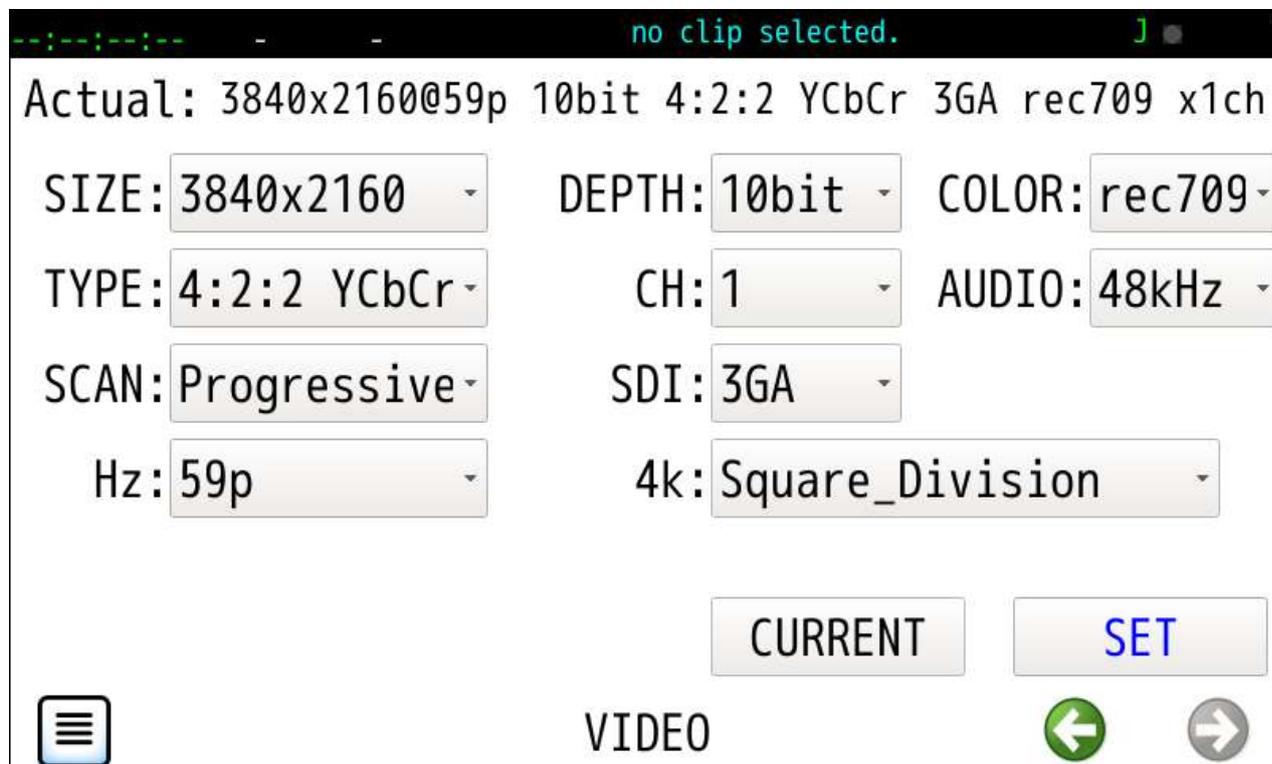
	UDR-XL40	UDR-XL40e
HD	○:対応	○:対応
3GB	○:対応	○:対応
3GA	○:対応	○:対応
8KDG	○:対応 (DualGreen 参照)	×:非対応
12G	×:非対応	○:対応

4k オプション

画角が 3840x2160 または 4096x2160 の場合のみ 2sample interleave または Square Division を選択できます。

6.1 VIDEO 主画面

ビデオフォーマットを指定します。

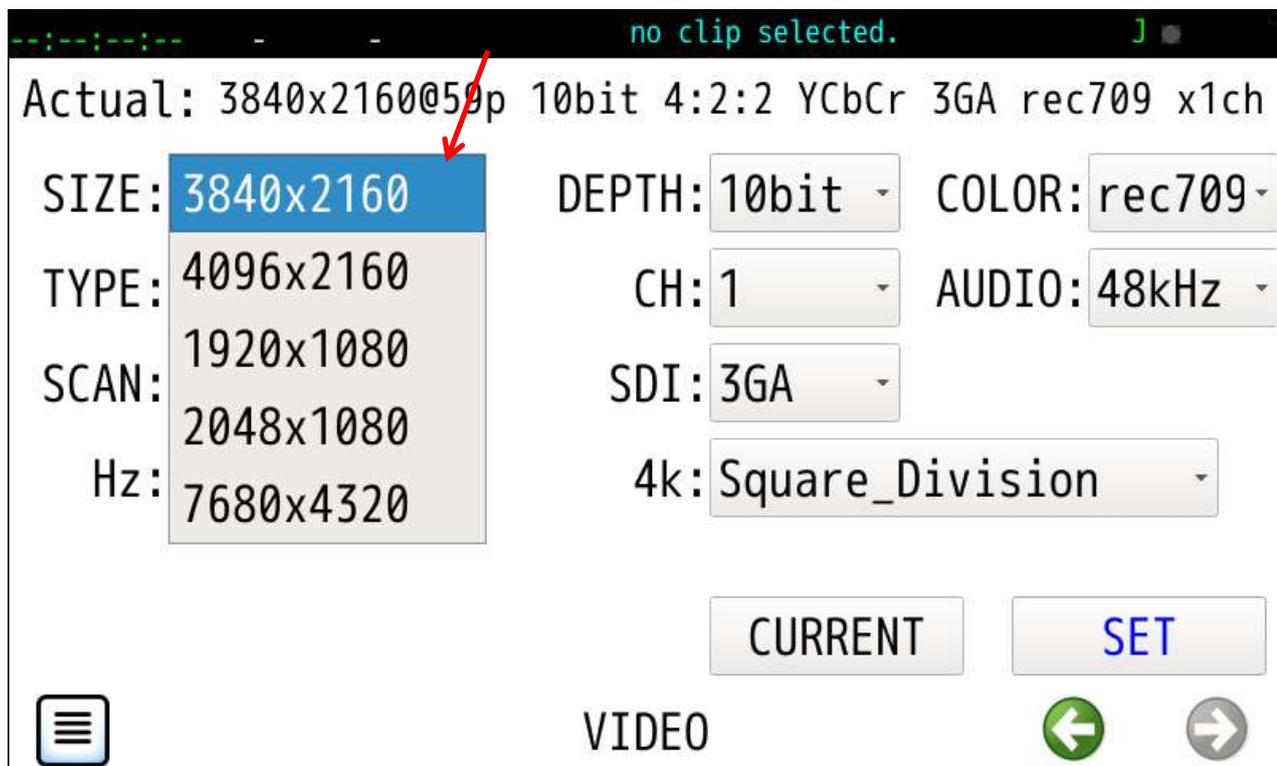


各プルダウンメニュー・ボタン動作

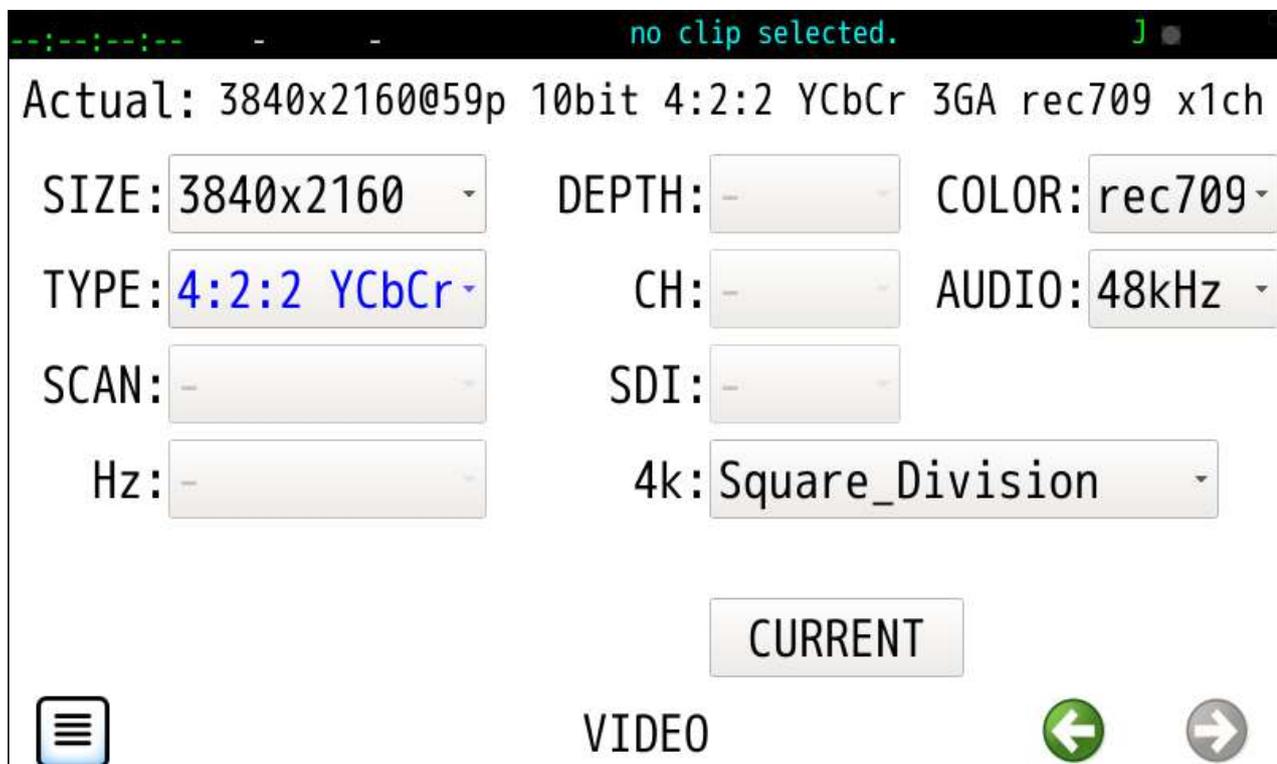
SIZE	画角サイズ (画素単位)
TYPE	データタイプ
SCAN	スキャンモード
Hz	フレーム周波数
CH	チャンネル数
DEPTH	画素 bit 深さ
SDI	SDI モード
4k	4k モード
COLOR	カラースペース
AUDIO	オーディオサンプル周波数
CURRENT	表示を現在値に戻します
SET	設定値確定

[目次に戻る](#)

6.2 SIZE

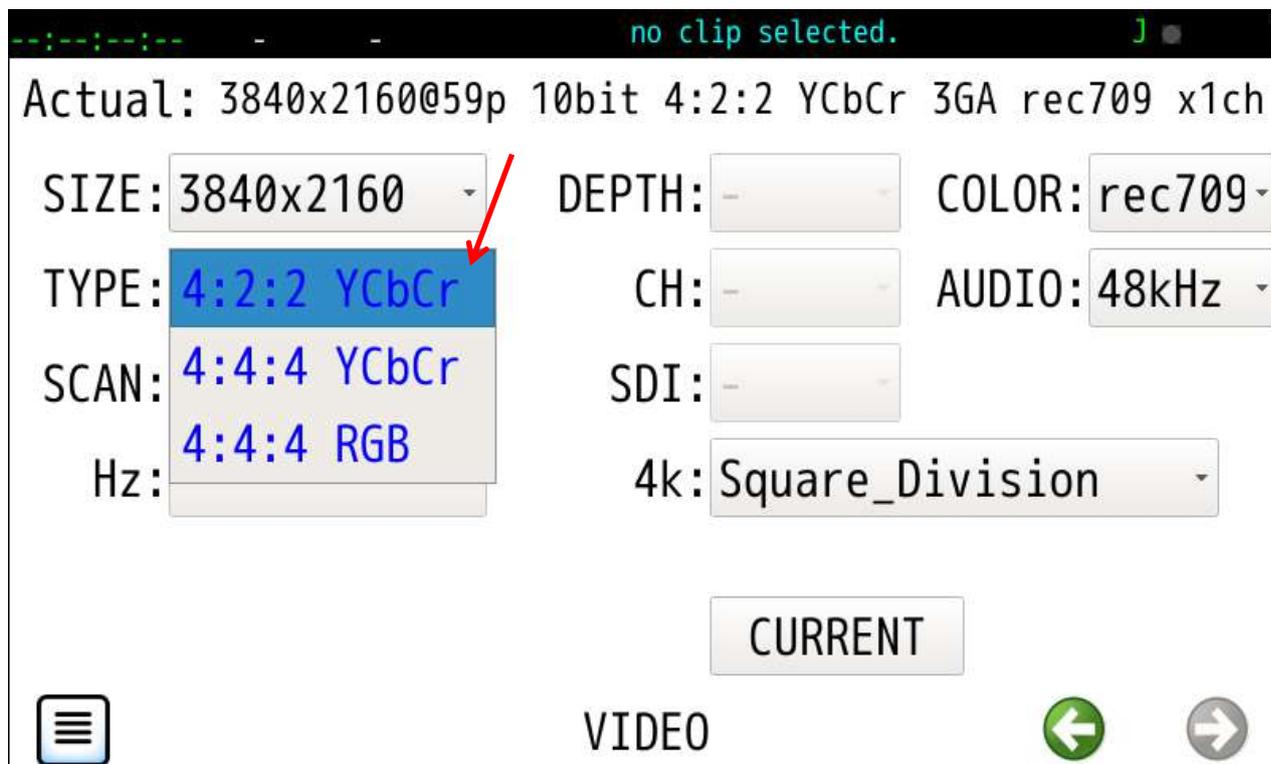


サイズが確定しデータタイプ選択画面になります。

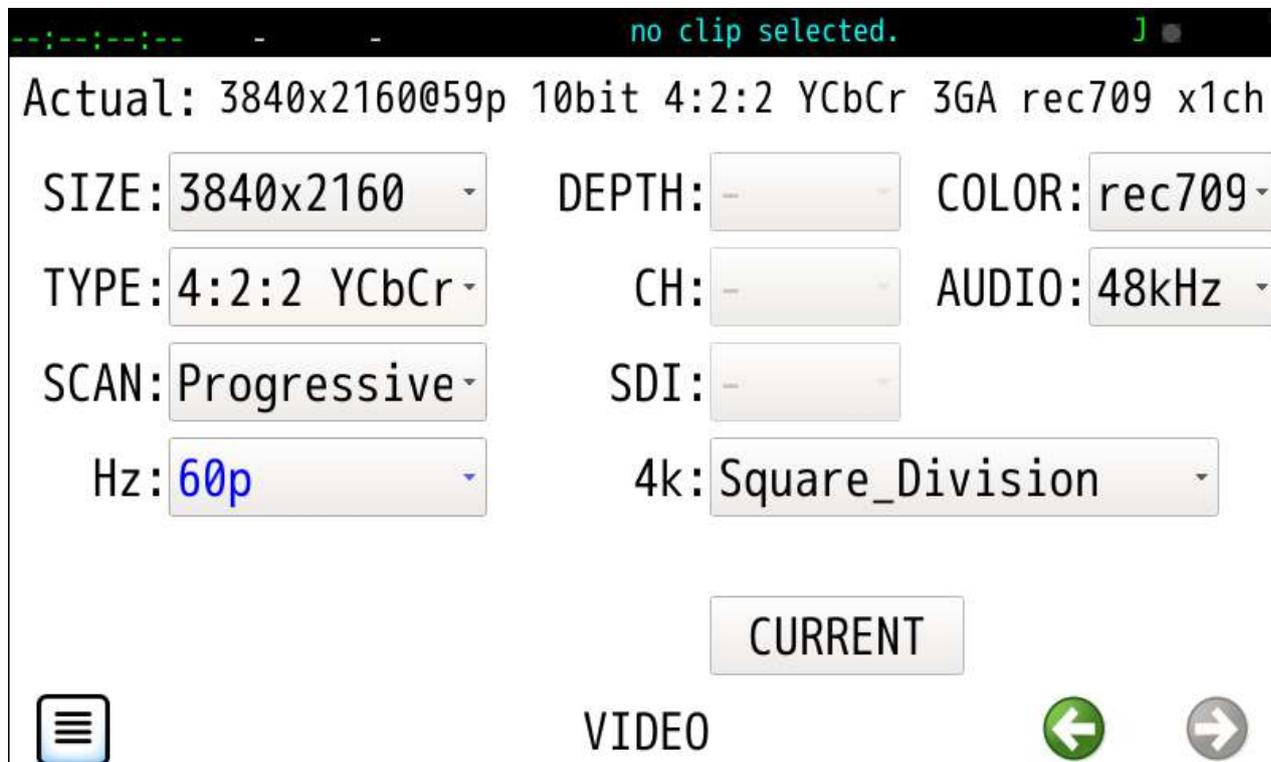


[目次に戻る](#)

6.3 TYPE



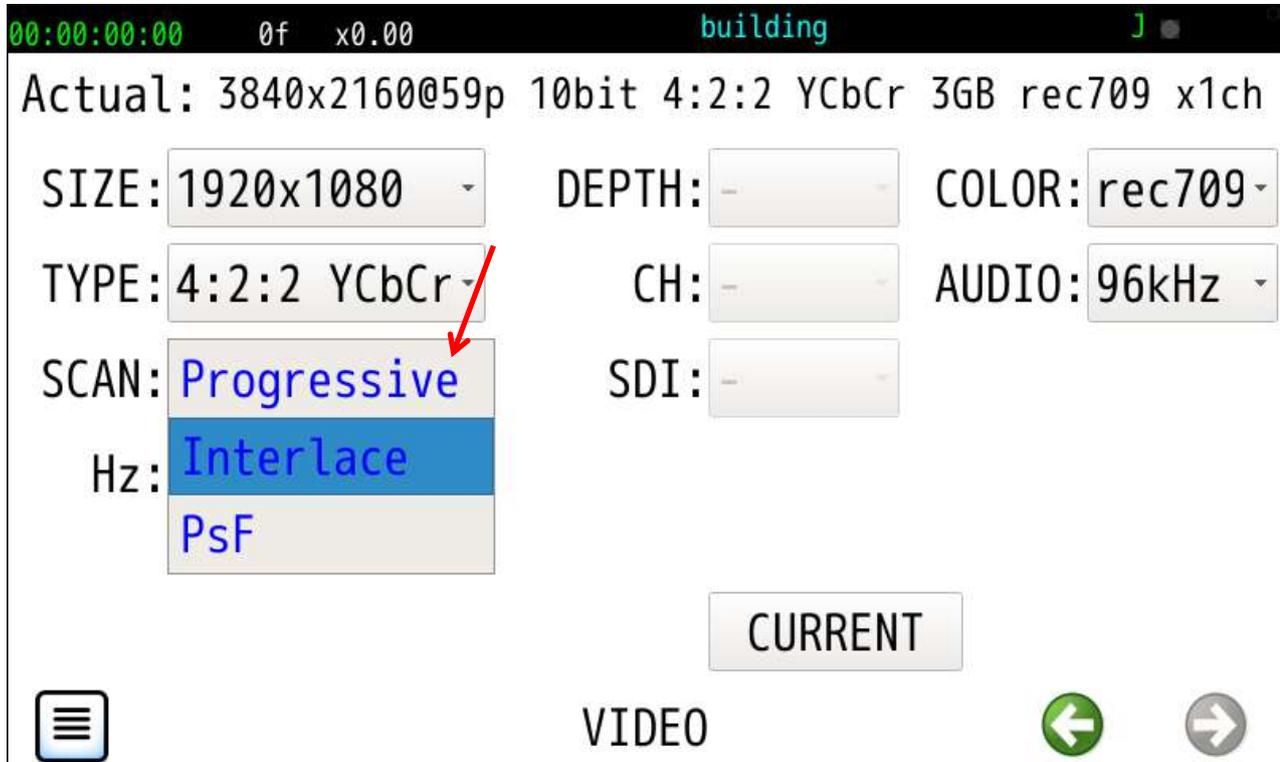
3840x2160 の場合スキャンモードは Progressive のみのためフレーム周波数選択画面になります。



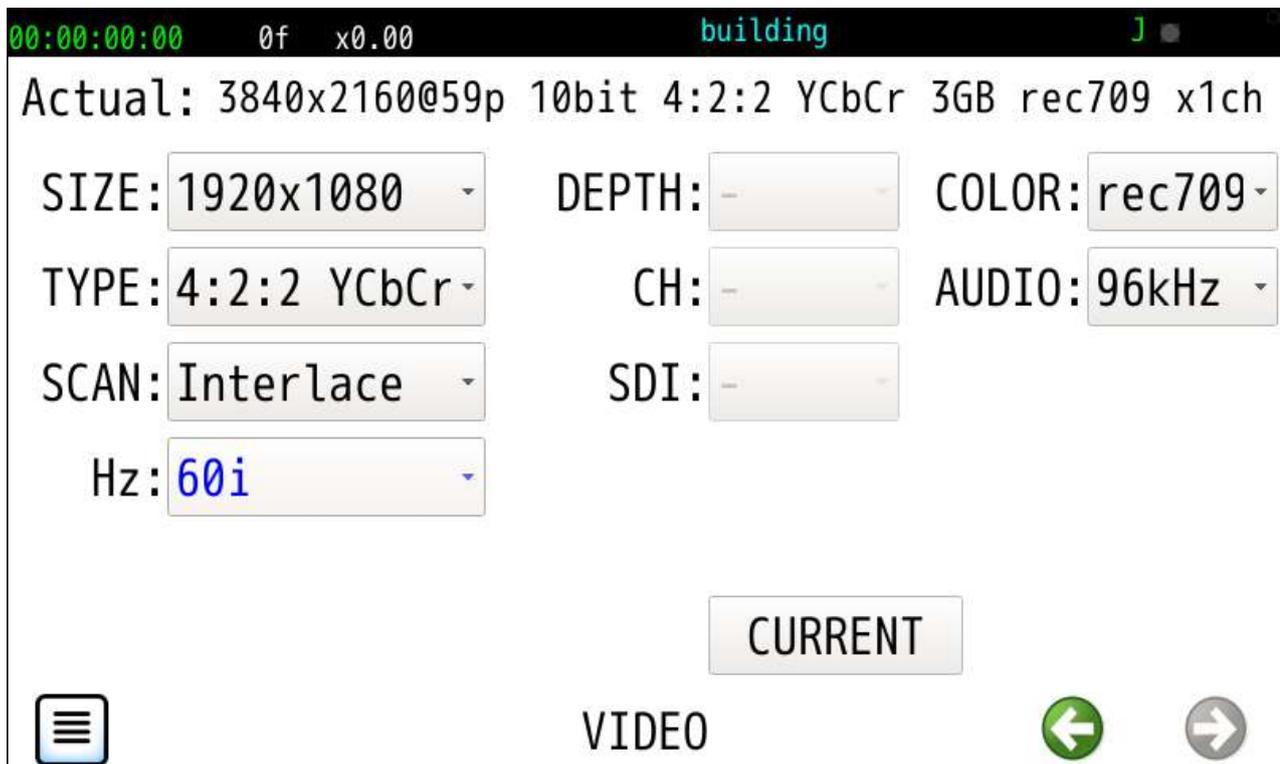
[目次に戻る](#)

6.4 SCAN

3840x2160, 4096x2160, 7680x4320 サイズは Progressive のみです。
1920x1080, 2048x1080 では Interlace 等が選択可能です。

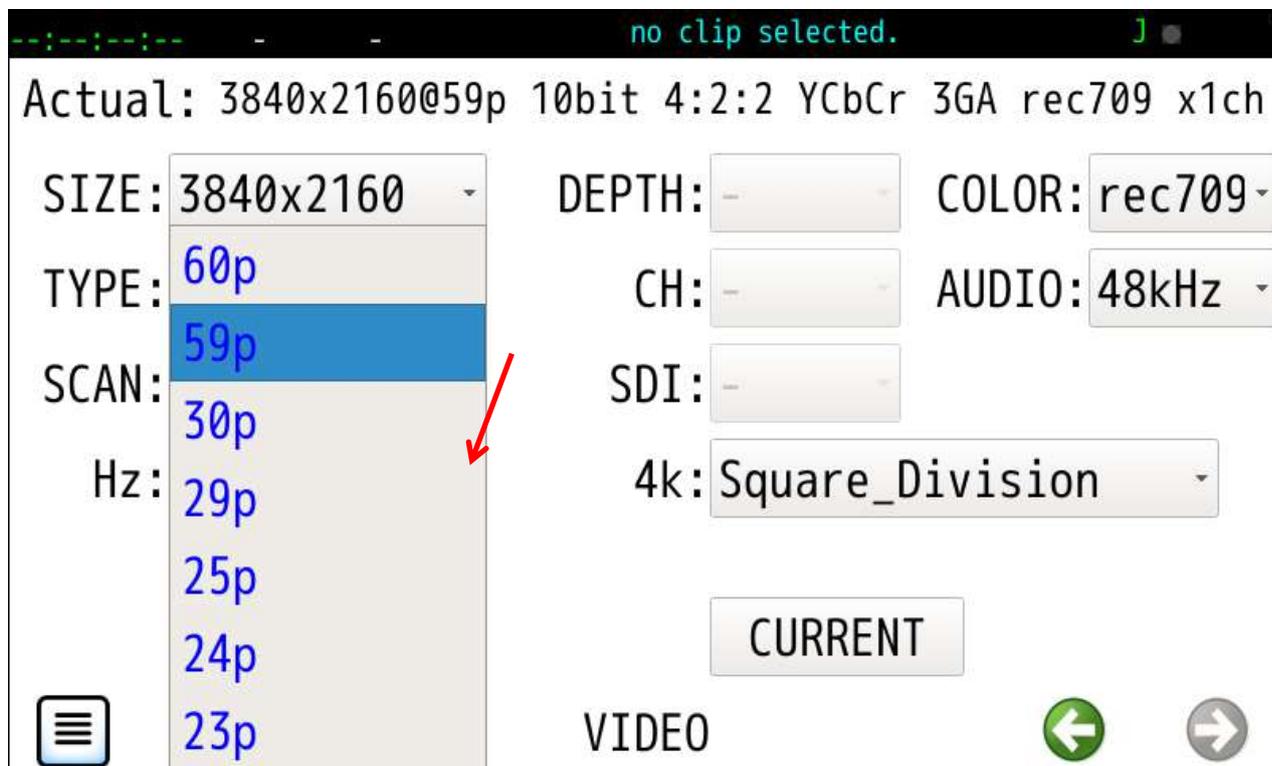


1920x1080 の場合はスキャンモード確定でフレーム周波数選択画面になります。

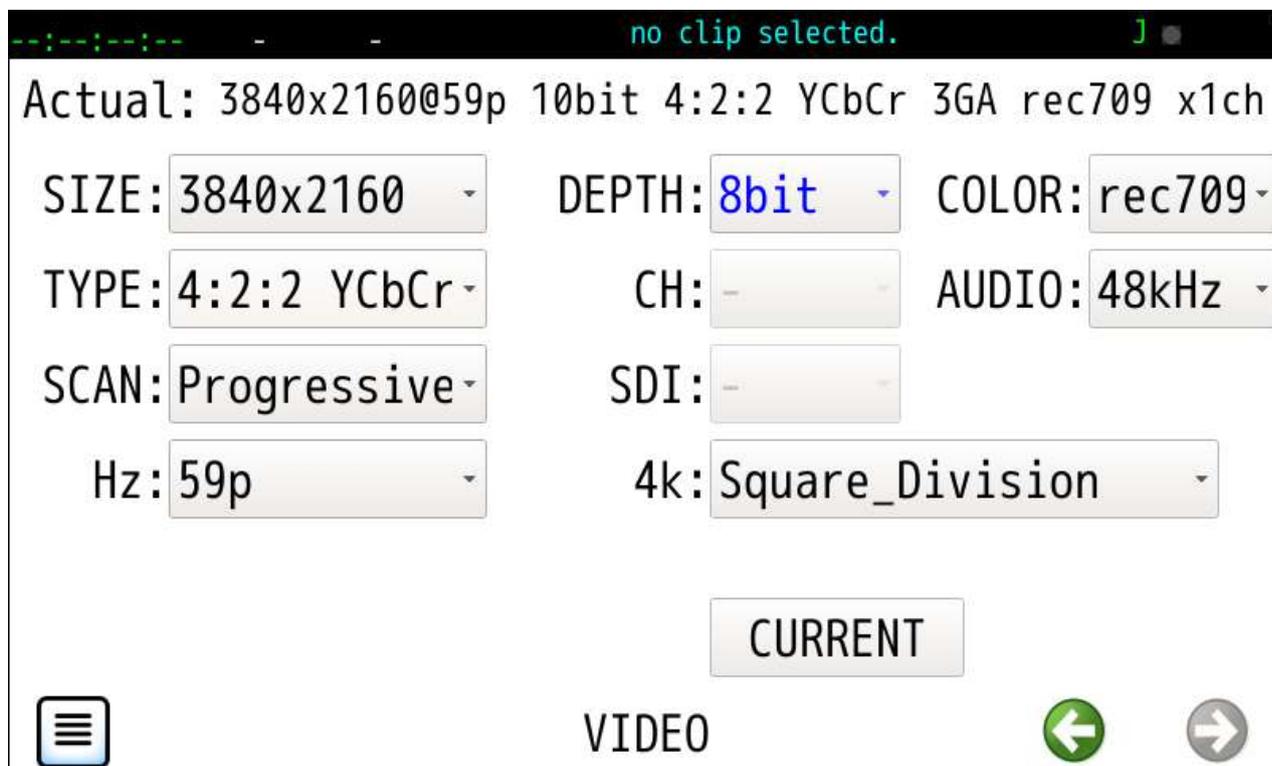


[目次に戻る](#)

6.5 Hz

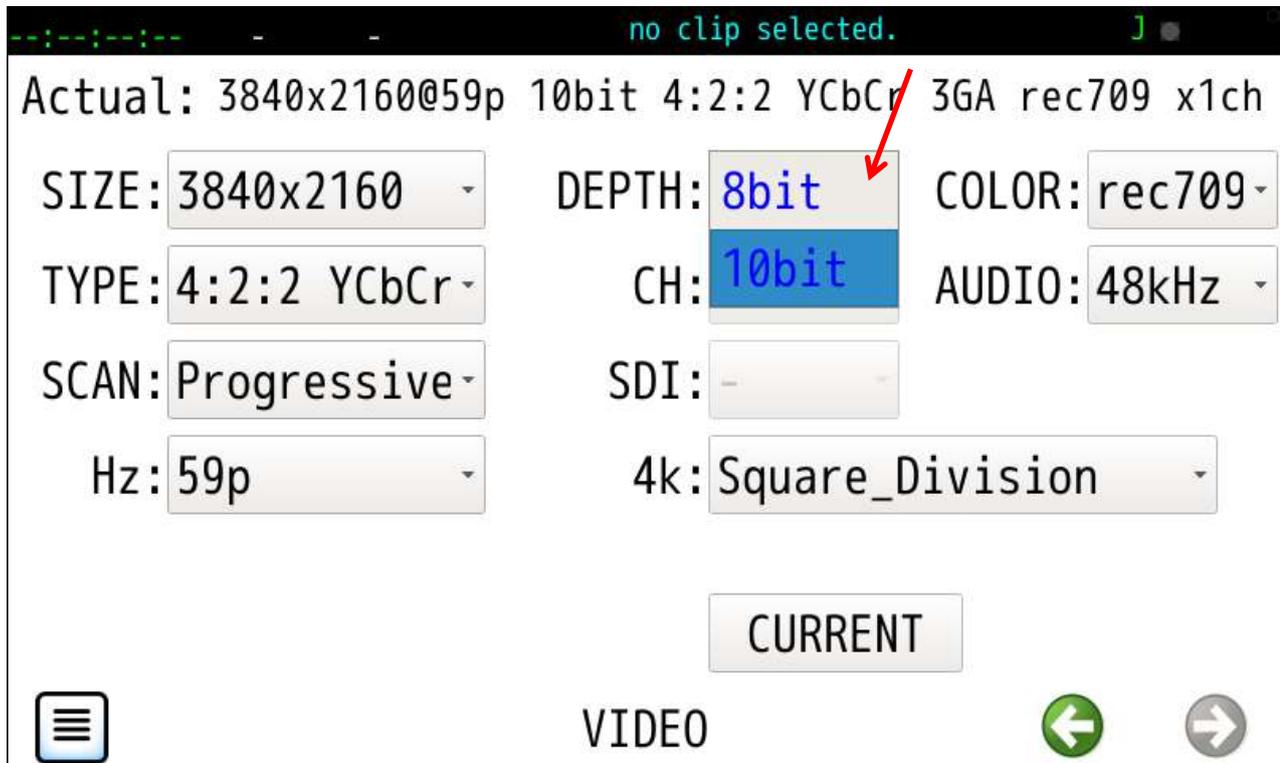


フレーム周波数確定でビット数選択画面になります。

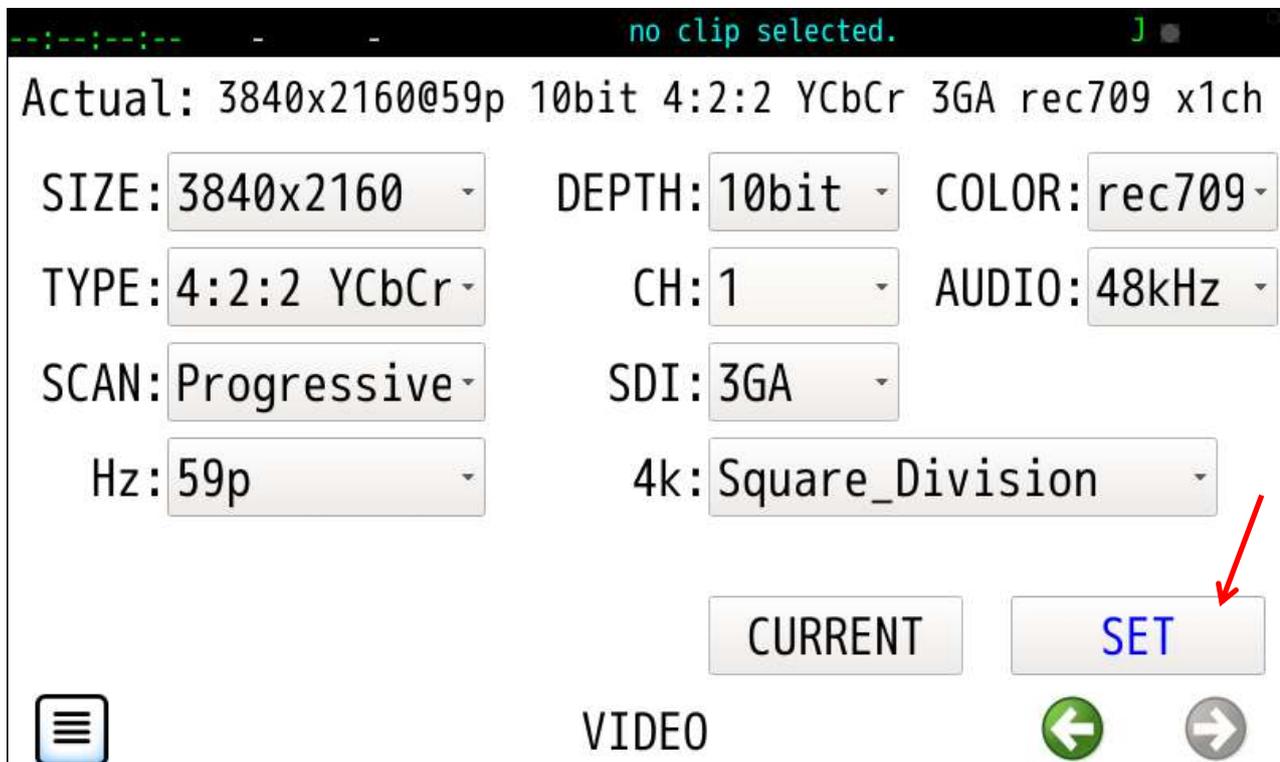


[目次に戻る](#)

6.6 DEPTH

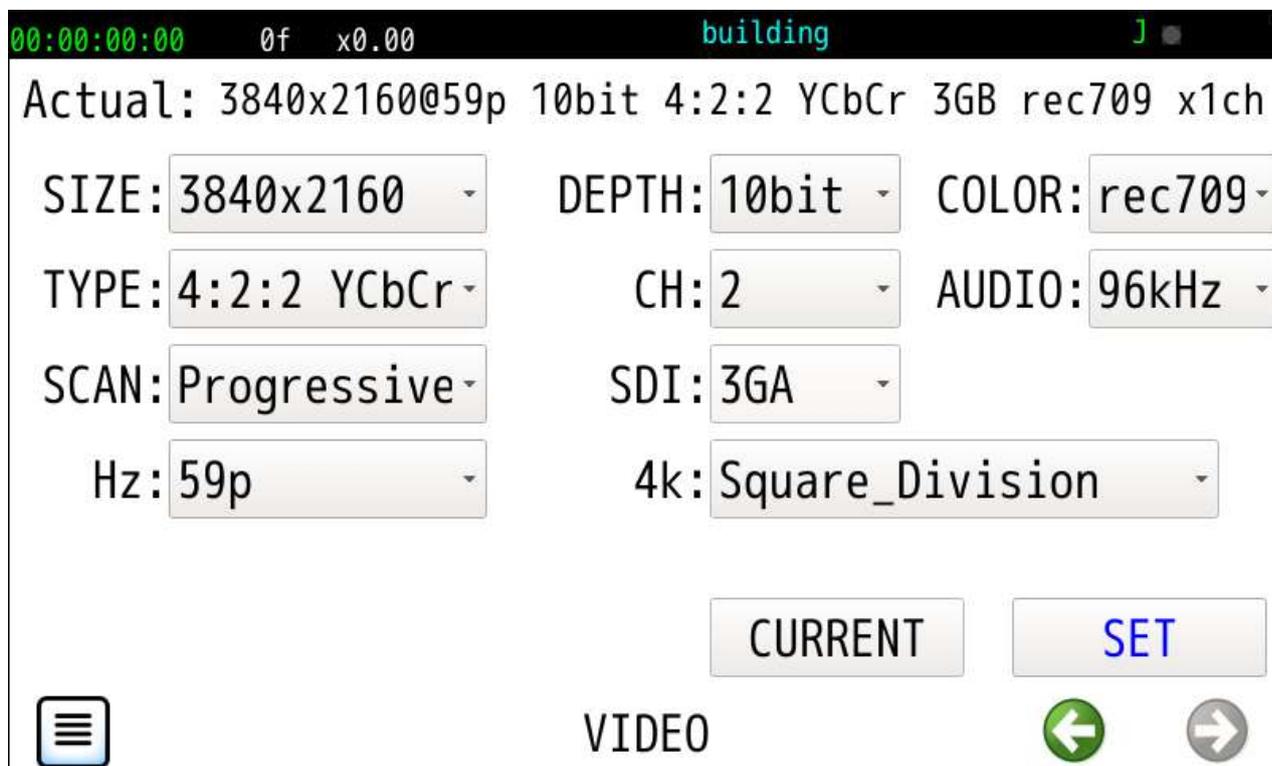
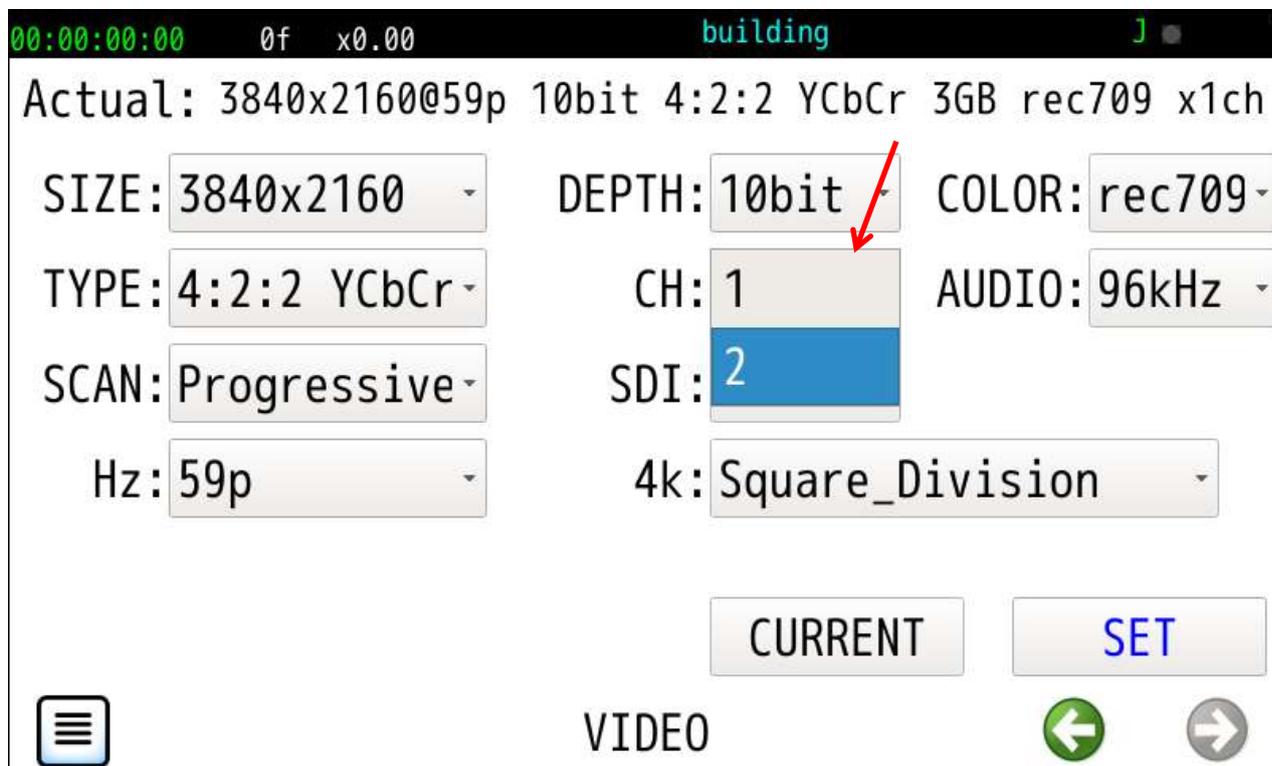


ビット数確定で設定項目が揃うと SET ボタンが表示されます。



6.7 CH

ステレオなど複数画面の場合に1以外を選択します。



[目次に戻る](#)

6.8 SDI

12GはUDR-XL40eのみ選択可能です。

00:00:00:00 0f x0.00 building J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB rec709 x1ch

SIZE: 3840x2160 ▾ DEPTH: 10bit ▾ COLOR: rec709 ▾

TYPE: 4:2:2 YCbCr ▾ CH: 1 ▾ AUDIO: 96kHz ▾

SCAN: Progressive ▾ SDI: 12G ▾

Hz: 59p ▾ 4k: 3GA Division ▾

3GB

HD T SET

VIDEO ← →

00:00:00:00 0f x0.00 building J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GB rec709 x1ch

SIZE: 3840x2160 ▾ DEPTH: 10bit ▾ COLOR: rec709 ▾

TYPE: 4:2:2 YCbCr ▾ CH: 1 ▾ AUDIO: 96kHz ▾

SCAN: Progressive ▾ SDI: 3GB ▾

Hz: 59p ▾ 4k: Square_Division ▾

CURRENT SET

VIDEO ← →

[目次に戻る](#)

6.9 COLOR

no clip selected. J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GA rec709 x2ch

SIZE: 3840x2160	DEPTH: 10bit	COLOR: rec709
TYPE: 4:2:2 YCbCr	CH: 2	AUDIO: bt2020
SCAN: Progressive	SDI: 3GA	
Hz: 59p	4k: Square_Division	

CURRENT SET

VIDEO ← →

no clip selected. J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GA rec709 x2ch

SIZE: 3840x2160	DEPTH: 10bit	COLOR: bt2020
TYPE: 4:2:2 YCbCr	CH: 2	AUDIO: 48kHz
SCAN: Progressive	SDI: 3GA	
Hz: 59p	4k: Square_Division	

CURRENT SET

VIDEO ← →

[目次に戻る](#)

6.10 AUDIO

no clip selected. J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GA rec709 x2ch

SIZE: 3840x2160 - DEPTH: 10bit - COLOR: rec709 -

TYPE: 4:2:2 YCbCr - CH: 2 - AUDIO: 48kHz

SCAN: Progressive - SDI: 3GA - 96kHz

Hz: 59p - 4k: Square_Division -

CURRENT SET

VIDEO ← →

no clip selected. J

Actual: 3840x2160@59p 10bit 4:2:2 YCbCr 3GA rec709 x2ch

SIZE: 3840x2160 - DEPTH: 10bit - COLOR: rec709 -

TYPE: 4:2:2 YCbCr - CH: 2 - AUDIO: 96kHz -

SCAN: Progressive - SDI: 3GA -

Hz: 59p - 4k: Square_Division -

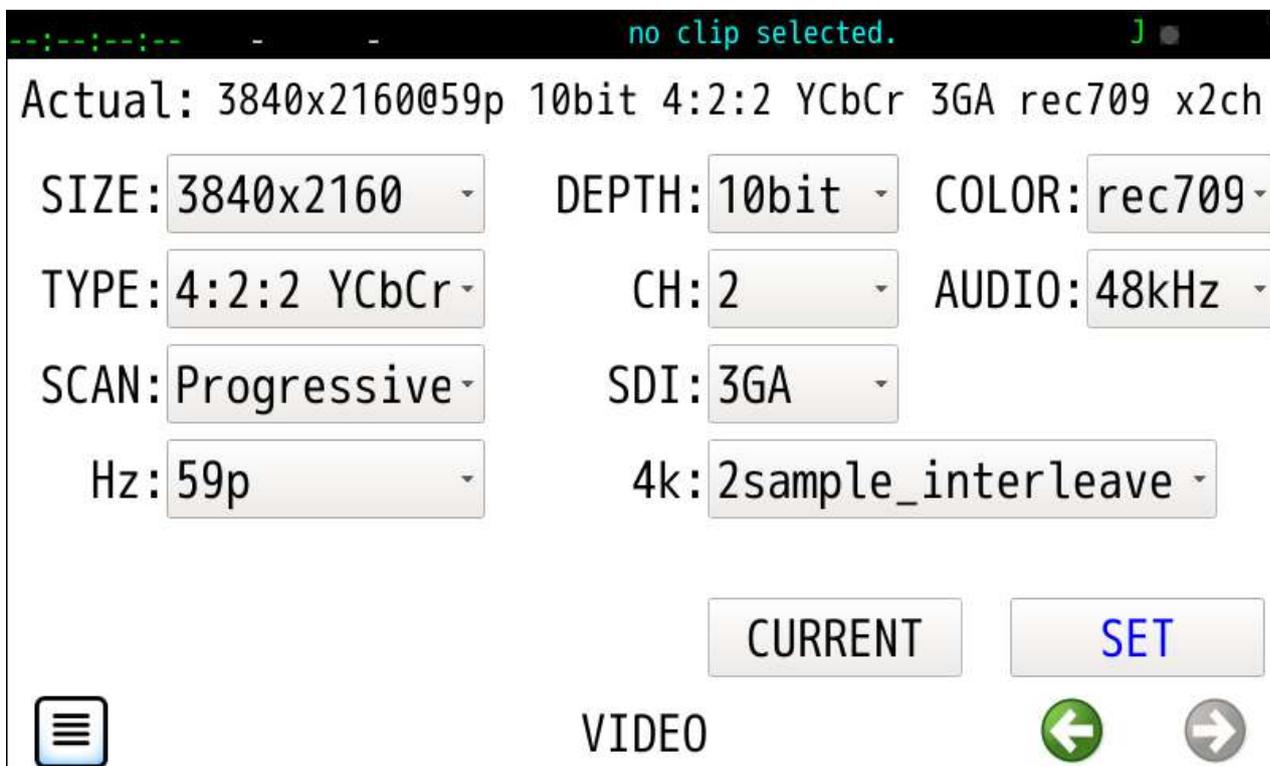
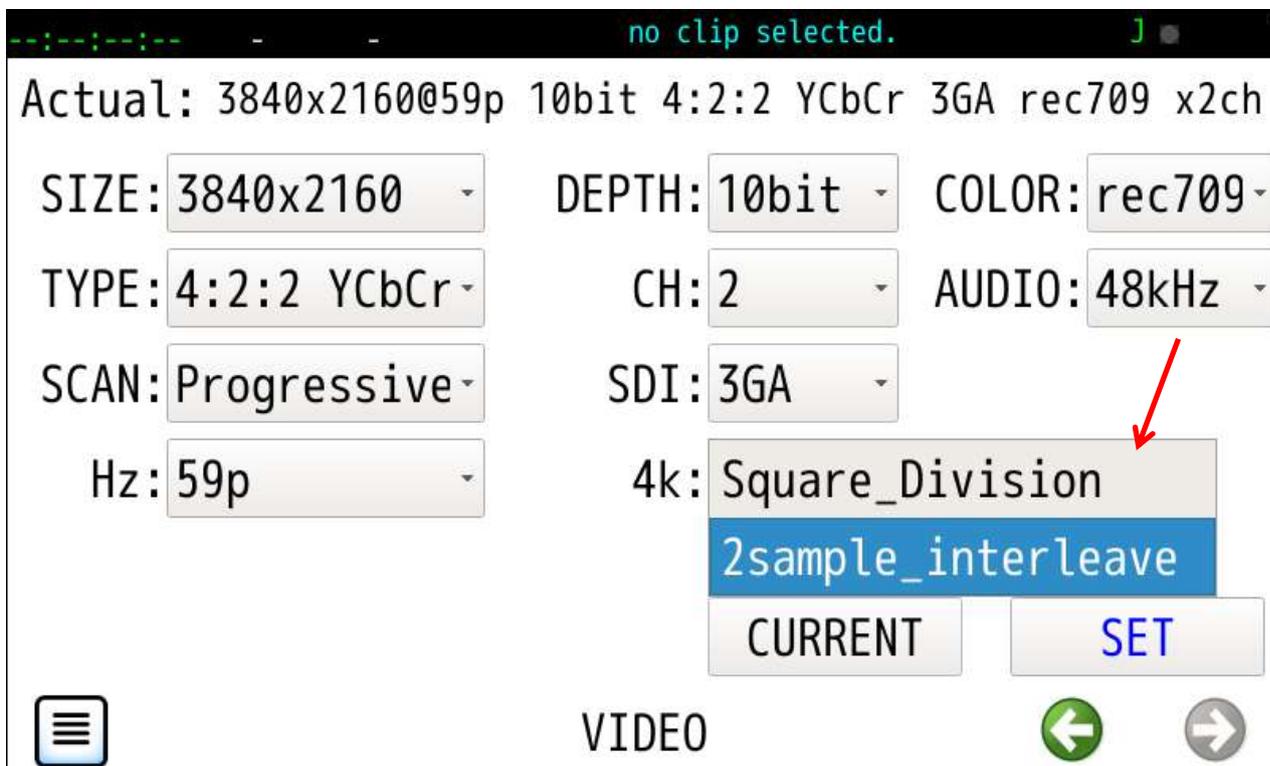
CURRENT SET

VIDEO ← →

[目次に戻る](#)

6.11 4k

画角が3840x2160 または 4096x2160 の場合のみ選択可能です。



[目次に戻る](#)

6.12 DualGreen

UDR-XL40 のみ設定可能です。

デュアルグリーンのビデオとクリップ設定は次の通りです。

ビデオフォーマット

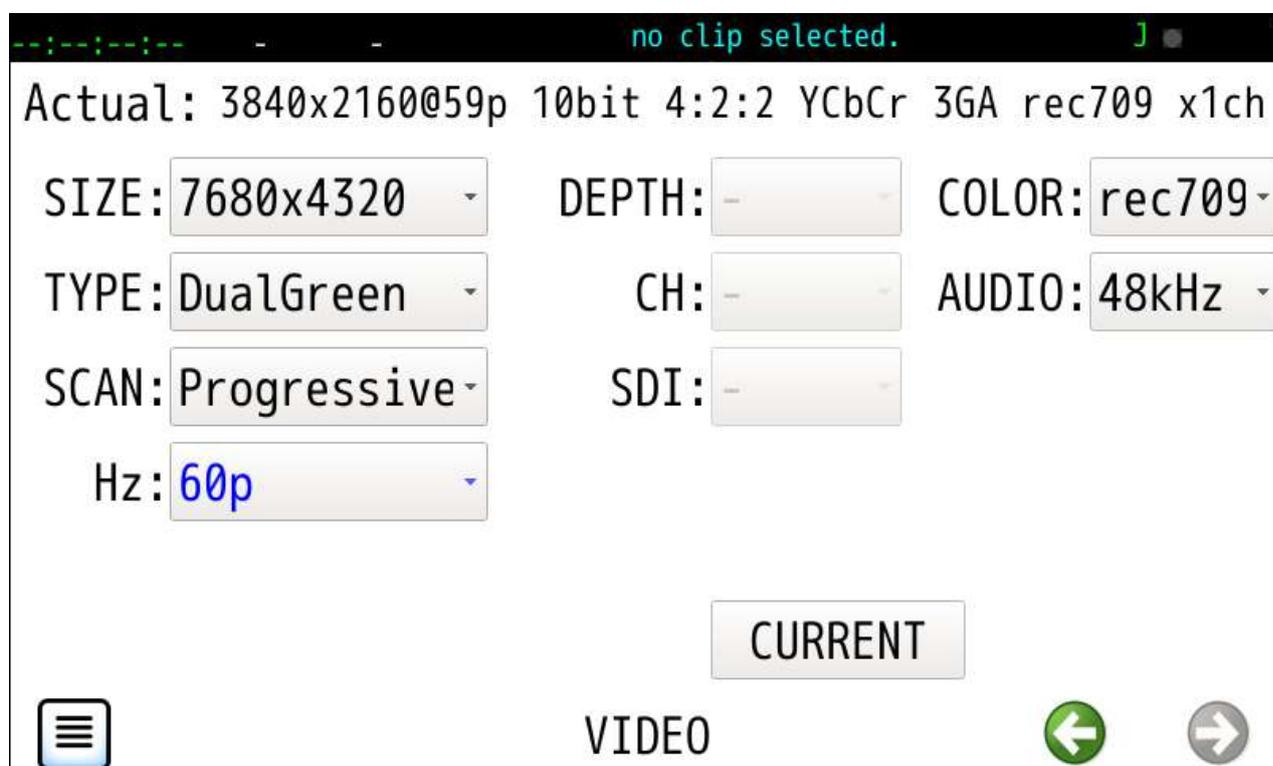
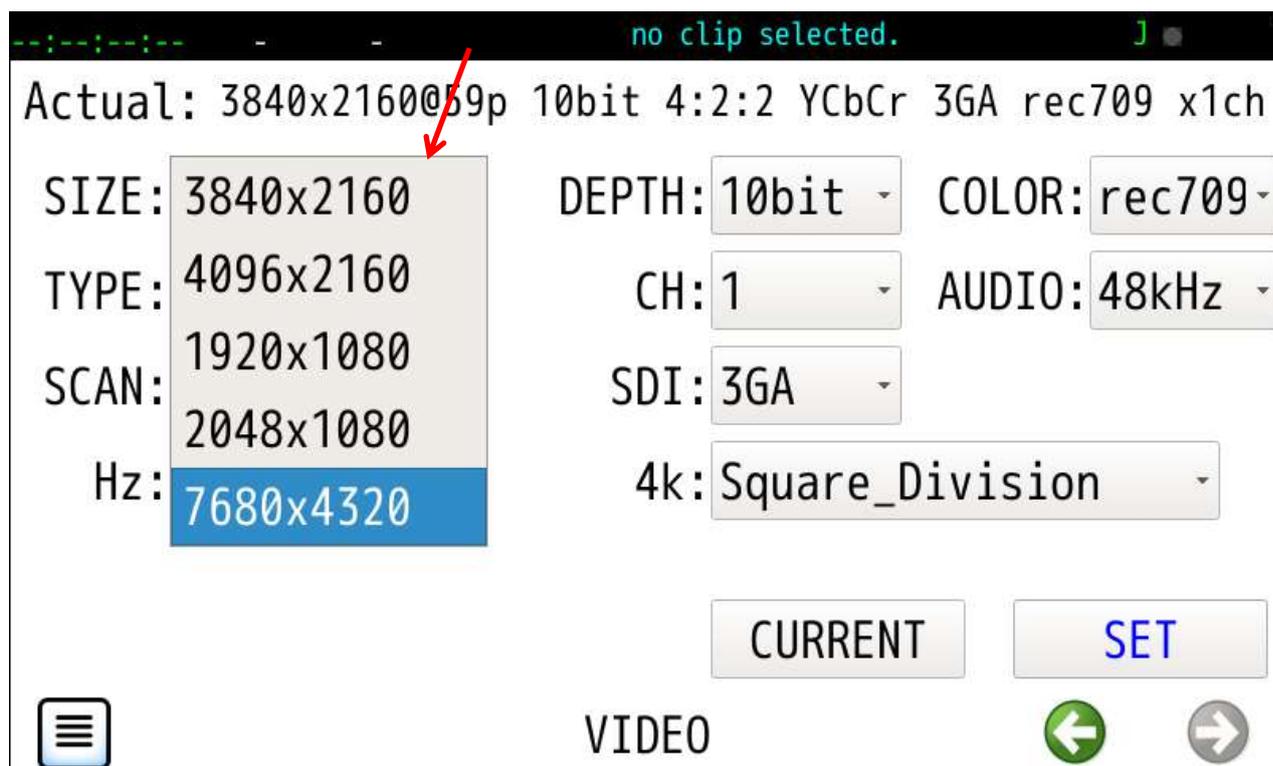
画角サイズ	7680x4320
画像データタイプ	DualGreen
スキャンモード	Progressive
フレーム周波数	59p
画像チャンネル数	1
画素ビット数	10 bit
色域	709
音声サンプル周波数	48kHz
SDI モード	8KDG

クリップ

画角サイズ	7680x4320
画像データタイプ	4:2:2
フレーム周波数	59p
画像チャンネル数	1
画素ビット数	10 bit
音声サンプル周波数	48kHz

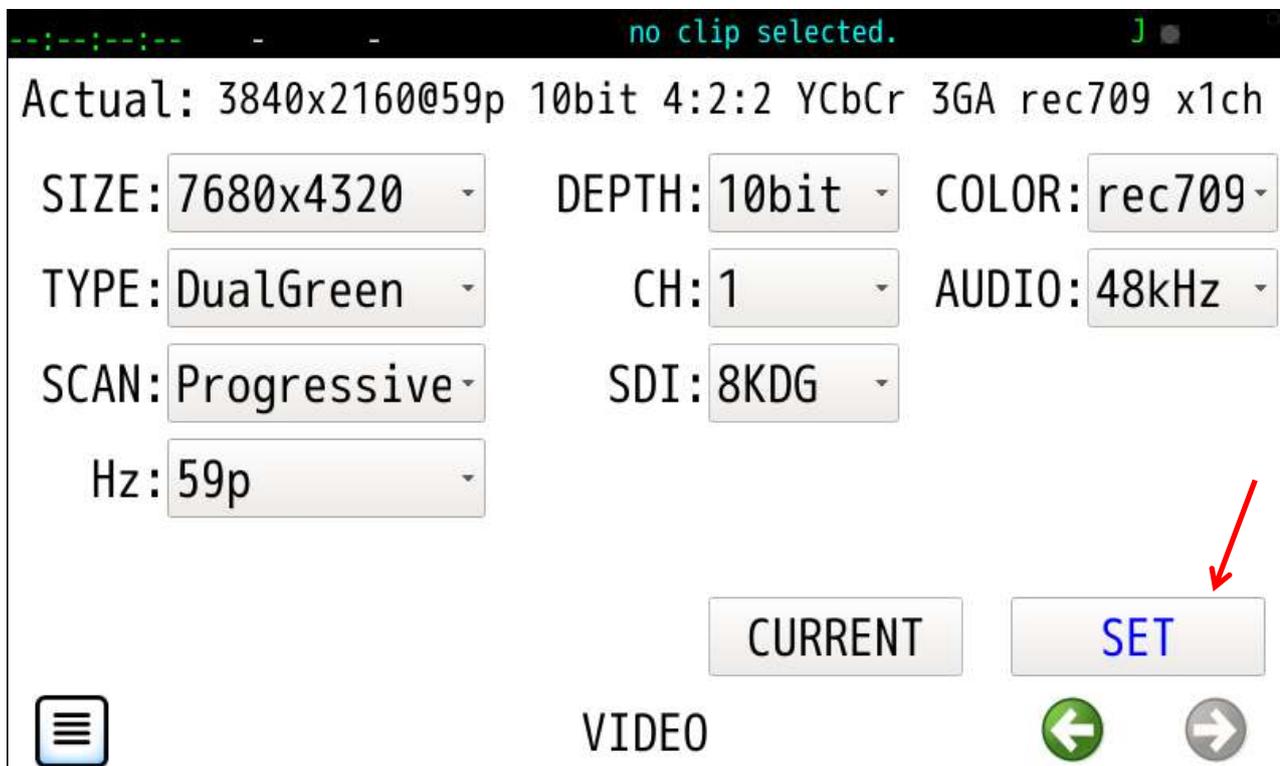
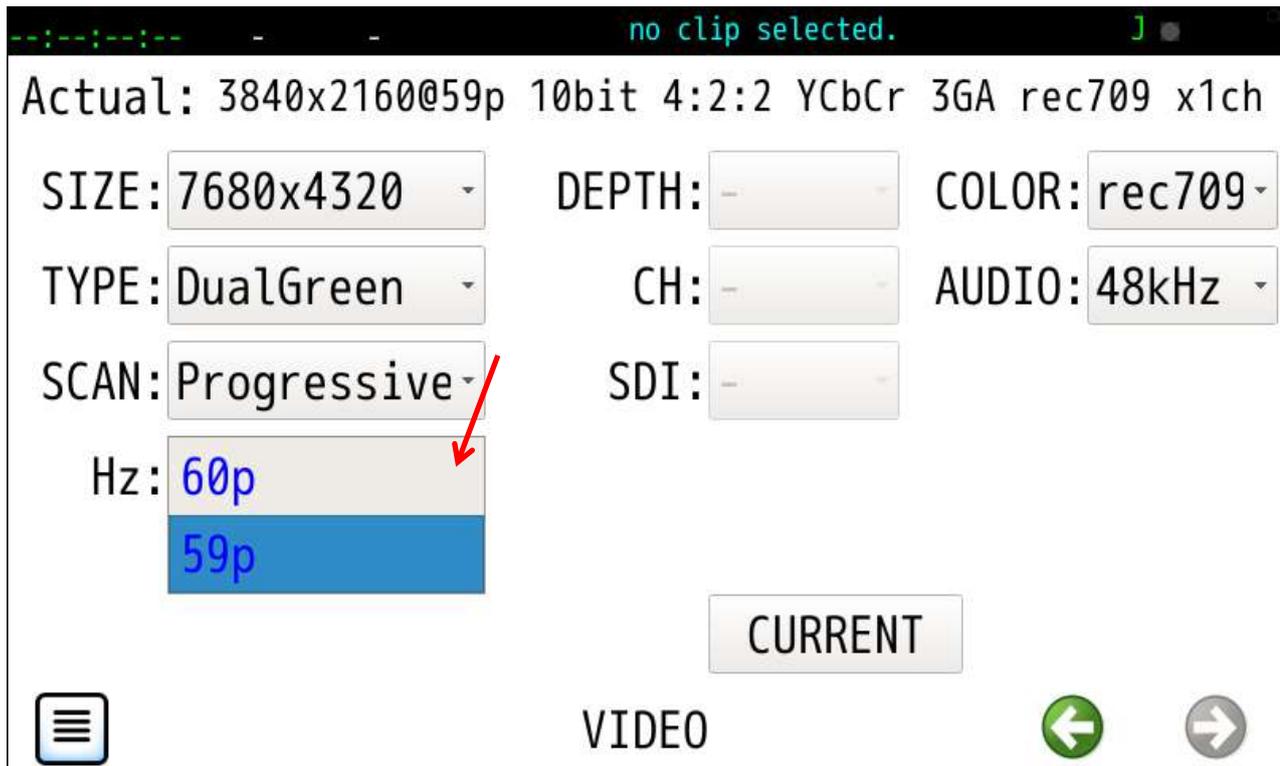
他のビデオフォーマットから 7680x4320 デュアルグリーンに変更する場合は最初にサイズを指定します。

1. SIZE を 7680x4320 にします。



[目次に戻る](#)

2.フレーム周波数を指定します。



[目次に戻る](#)

7 REFERENCE 画面

操作画面

REFERENCE

機能

ビデオ同期ソース指定と状態表示です。

ビデオ同期のソース指定

Internal	内部同期
Ext-Ref	3 値 Sync 信号入力に同期
SDI-IN	入力ビデオ信号に同期

ロック状態表示

指定されたリファレンスソース名とロック状態が
REF 画面上部の Actual: タイトル右に表示されます。
ロック状態は次の3 種です。

- Lock
- UnLock (何らかの入力信号あり)
- NoSignal

同期運転

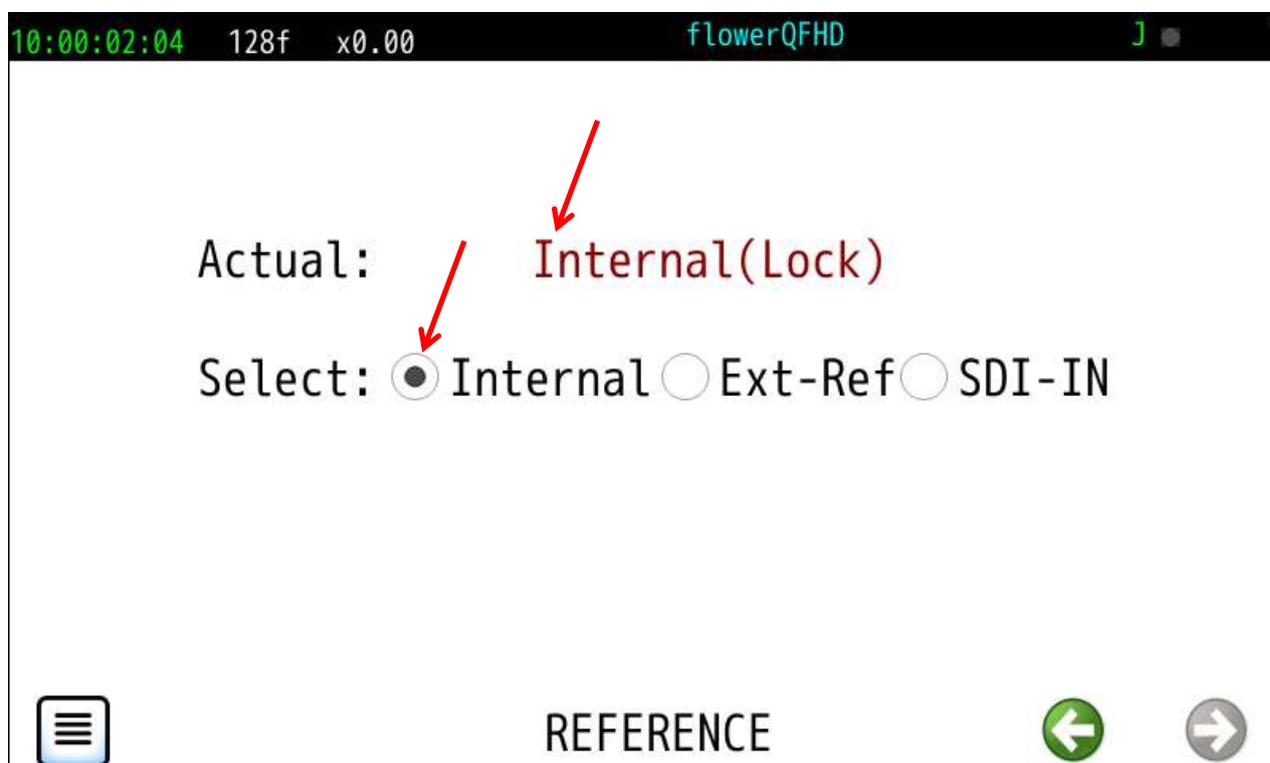
親機および子機を Ext-Ref または SDI-IN 外部信号に同期する以外に次の方法がご利用いただけます。

UDR-XL40 / XL40e 背面 RJ-45 コネクタ下の親機 BNC 出力を子機 BNC 入力に接続し

他の子機はこれらの BNC 入出力をカスケード接続します。

子機はこの UDRLink 信号が入ると REF 画面のリファレンスソース選択より優先されます。

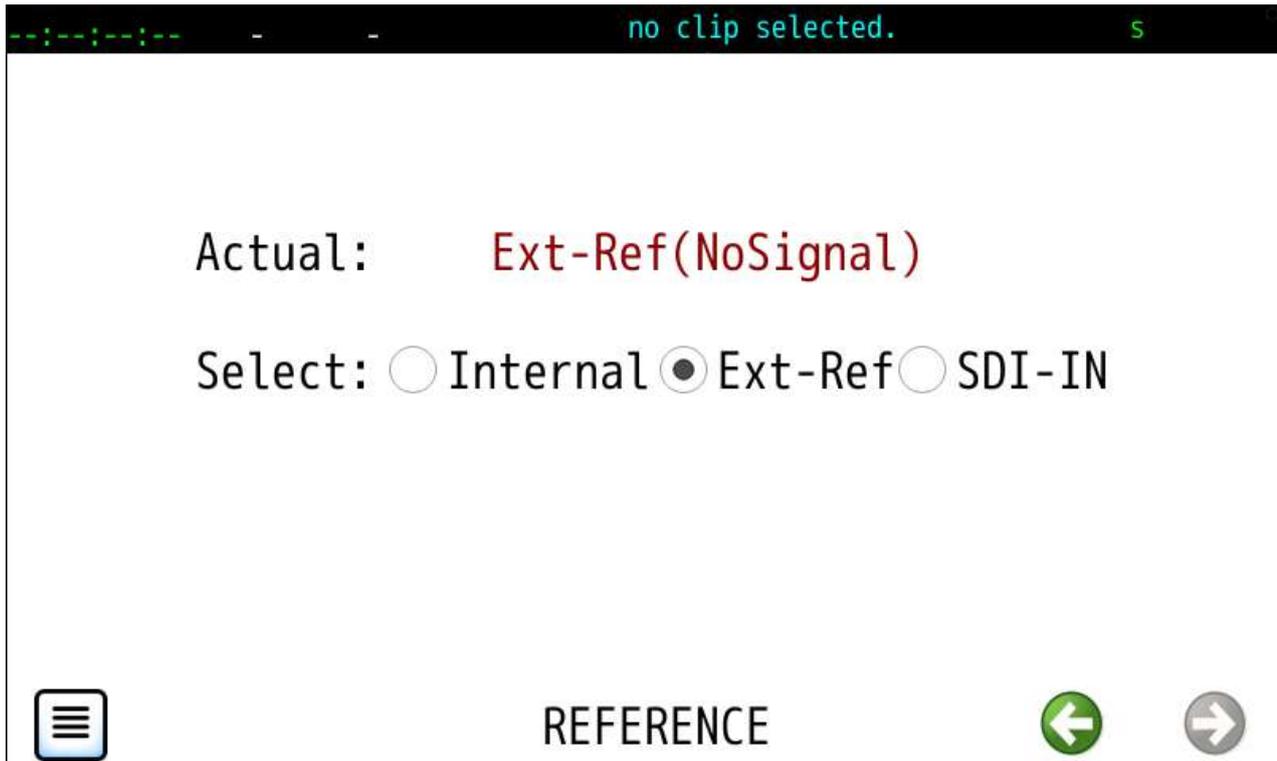
REF 画面の Actual タイトル右は UDRLink (Lock) が表示されます。



次の3 種がビデオ同期のソースとして選択できます。

Internal (内部同期) / Ext-Ref (3 値 Sync 信号入力に同期) / SDI-IN (入力ビデオ信号に同期)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

8 REC-MODE 画面

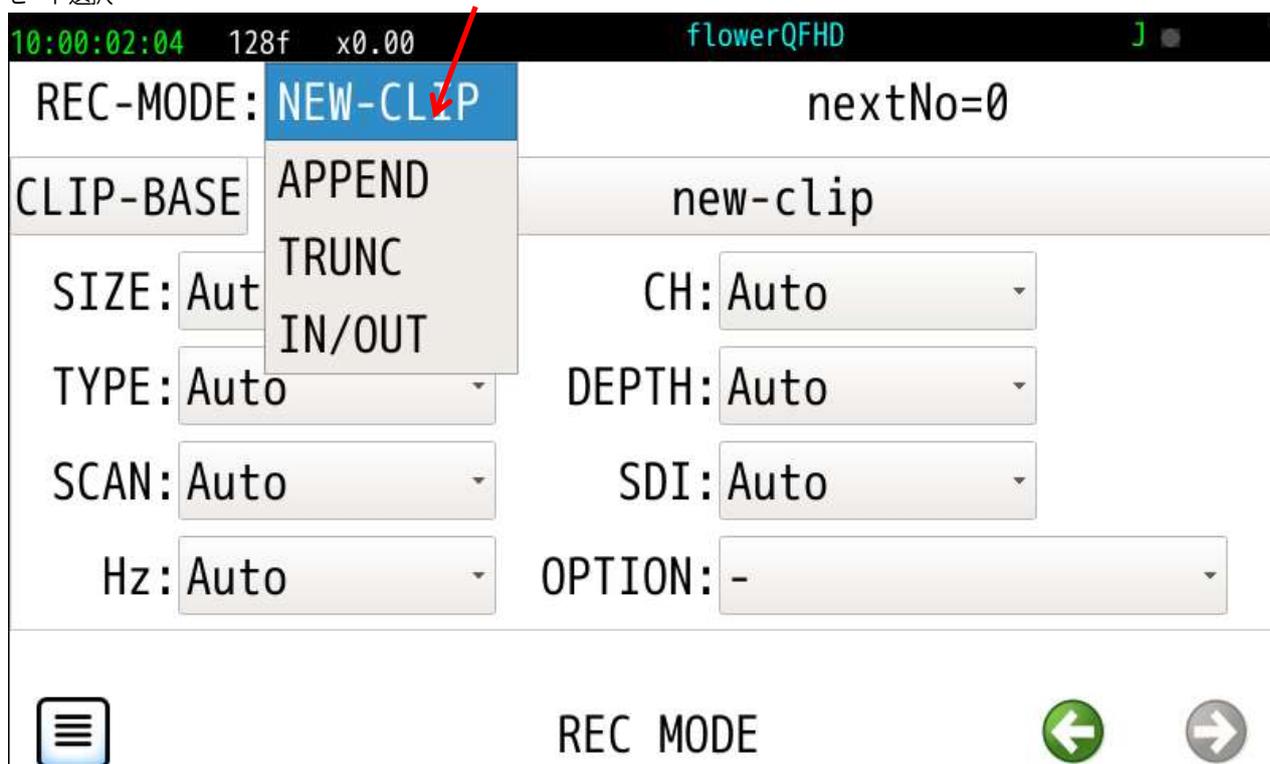
操作画面

REC-MODE

機能

録画の動作モードを指定します。

モード選択



次の4モードが選択できます。

- **NEW-CLIP** 録画実行で新規クリップが作られます。
- **APPEND** 指定クリップの最後部分から録画を開始します。
- **TRUNC** 指定クリップのデータを消去し先頭から録画します。
- **IN/OUT** 指定クリップの IN/OUT 点間で録画します。

[目次に戻る](#)

8.1 NEW-CLIP モード

機能

録画実行毎に新しいクリップが自動生成されます。

録画開始後の録画停止で、新規に作成されたクリップが再生クリップとなります。

クリップベース名

CLIP-BASE ボタン右のボタンに表示の文字列です。

クリップ名と連番

クリップベース名に画面右上の nextNo= で表示された番号を付けたものが新しいクリップ名です。

デフォルトでは new-clip に 000 から開始の3桁の連番が入ります。

例

new-clip000

new-clip001

new-clip002

クリップベース名と一致のクリップが存在しない場合クリップ名連番(nextNo)はゼロになります。

クリップベースボタン

既にこのモードで録画済のクリップを選択します。

クリップ名ボタン

CLIP-BASE ボタン右のボタンです。タップで編集画面になります。



[目次に戻る](#)

初回録画クリップ名事前確認

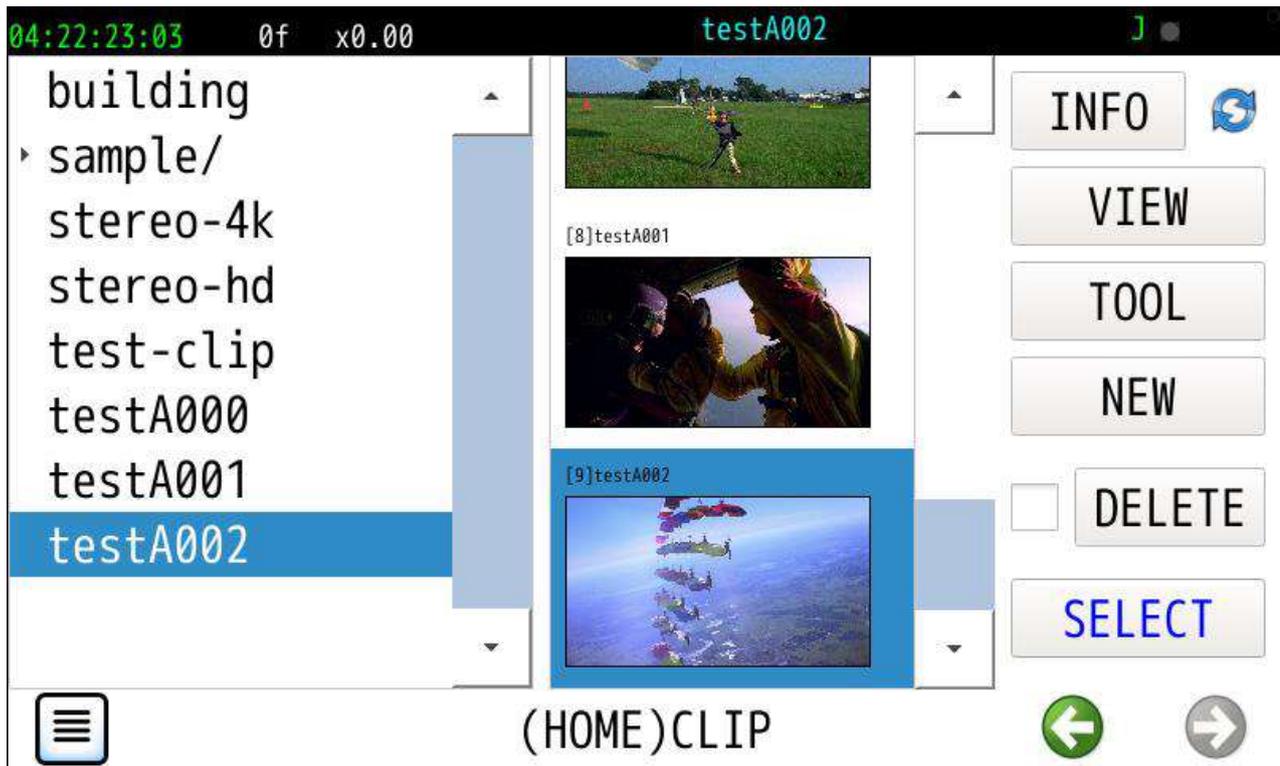
NEW-CLIP モードの場合に既存のクリップ名と異なる新規のベース名を入力すると、本体前面下の録画ボタン（赤）を押している間、画面最上段に作成予定クリップ名が 連番 000 付きで表示されます。



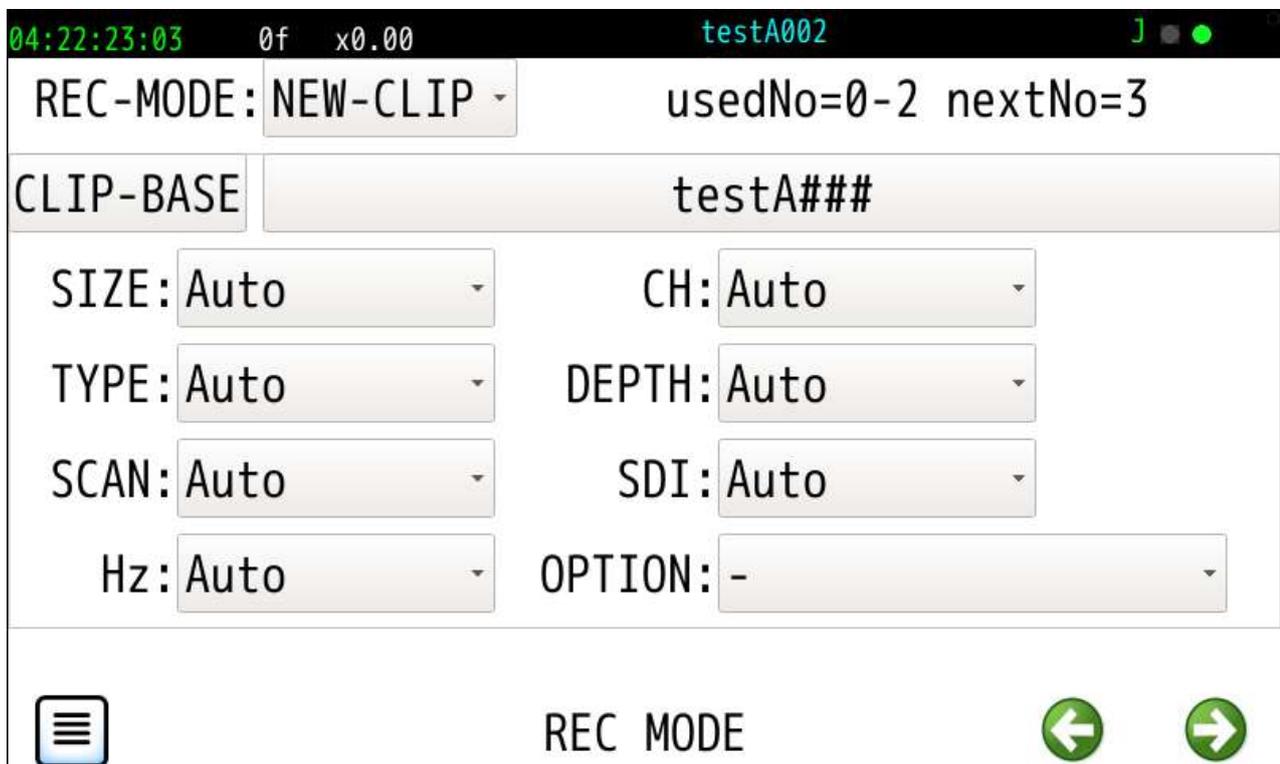
録画完了で、新規に作成されたクリップが再生クリップとなります。



3回の録画終了で 000 から始まる連番付きクリップが作られます。



3回の録画終了で REC-MODE 画面は次の例のように nextNo=3 が表示されます。



[目次に戻る](#)

8.2 APPEND モード

機能

既存のクリップを指定し最後部から録画します。

1. CLIP ボタンをタップし表示の画面でクリップを選択します。



2. SET VIDEO ボタンの文字色が赤の場合はこれを押し録画対象に確定します。



[目次に戻る](#)

3. 再生・録画対象になると画面最上段にこのクリップ名が表示され、録画可能になります。



録画対象クリップ確認

APPEND モードの場合、本体前面下の録画ボタン（赤）を押している間、画面最上段にアペンド対象のクリップ名が表示されます。



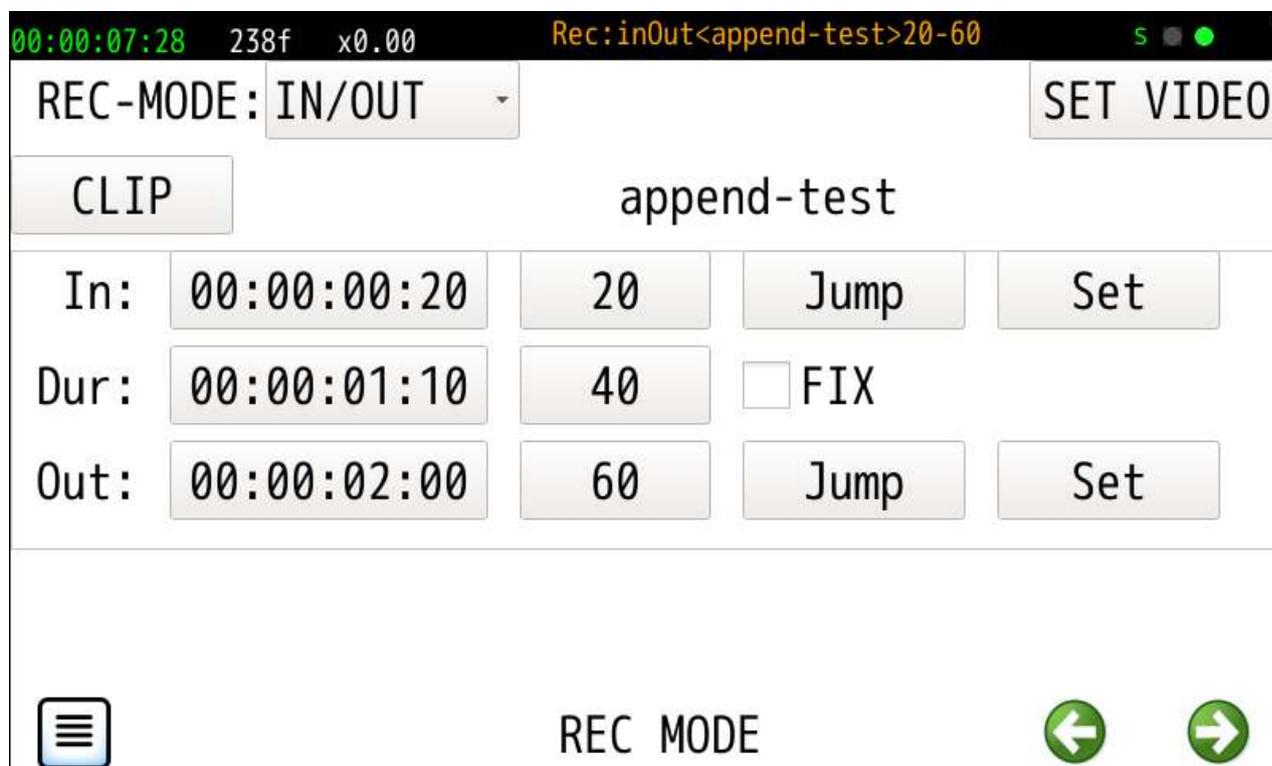
[目次に戻る](#)

8.3 IN/OUT モード

機能

既存のクリップと上書き領域（ IN/OUT ）を指定し録画します。

SET VIDEO ボタンの文字色が赤の場合はこれを押し録画対象に確定します。



録画対象クリップ確認

IN/OUT モードの場合、本体前面下の録画ボタン（赤）を押している間、画面最上段にアベンド対象のクリップ名と IN/OUT 点フレーム番号が表示されます。



[目次に戻る](#)

9 TCG 画面

操作画面

TCG

機能

タイムコードジェネレータの設定を行います。

9.1 PRESET

PRESET モードでは 画面右上の TC が歩進します。

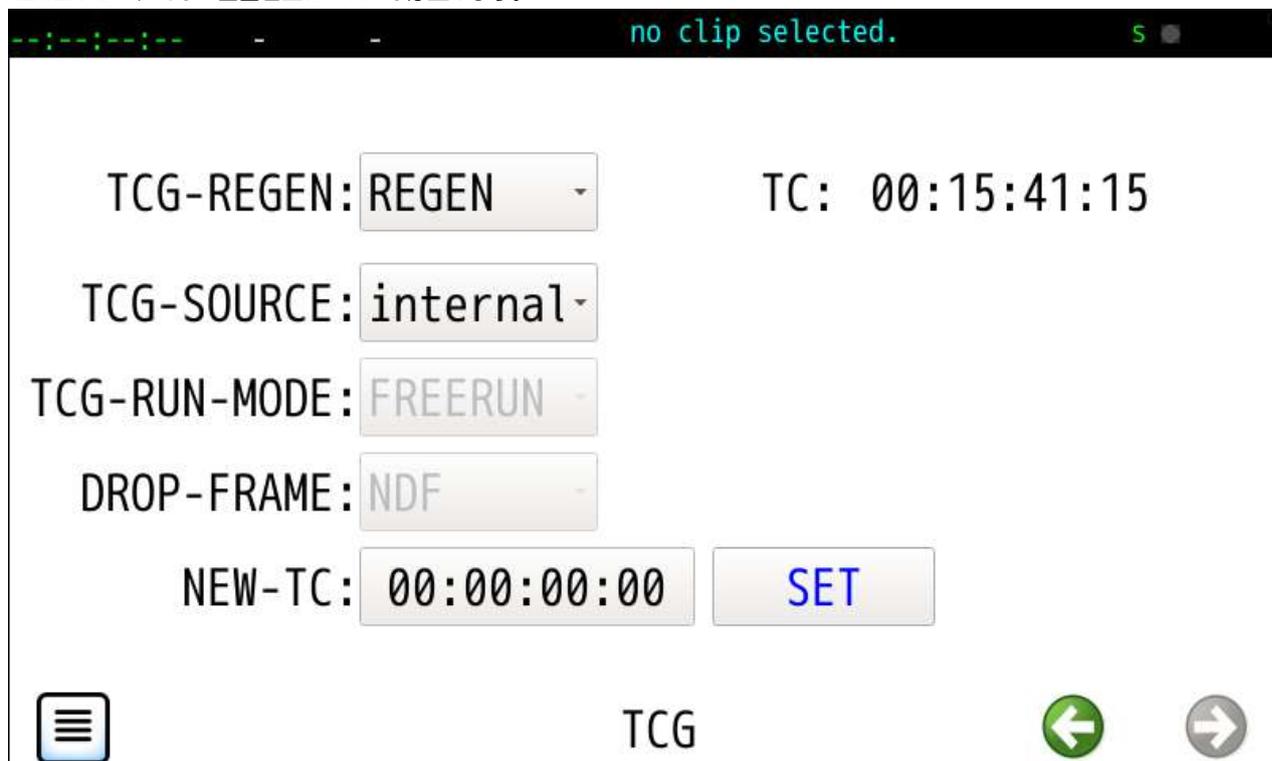


9.2 TCG-RUN-MODE

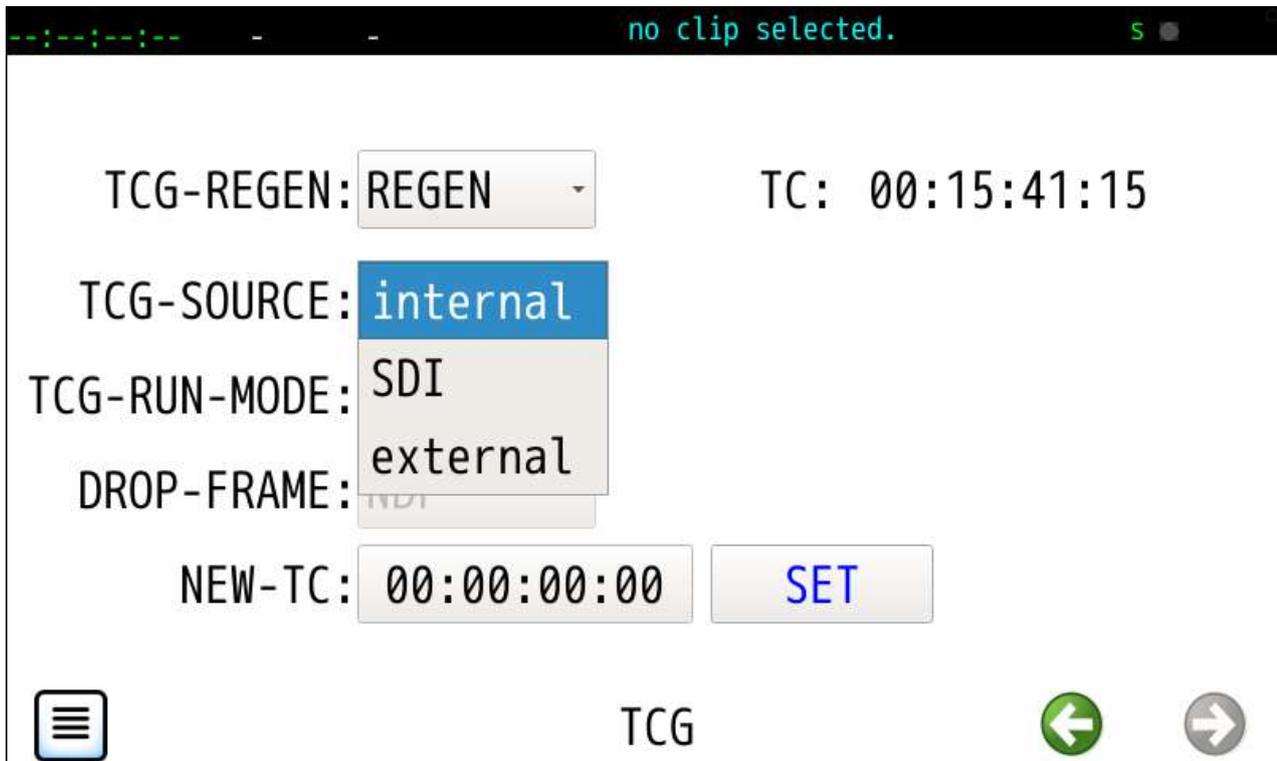


9.3 REGEN

REGEN モードでは 画面右上の TC は停止します。



9.4 TCG-SOURCE



9.5 NEW TC



[目次に戻る](#)

10 FRAME-COPY 画面

操作画面

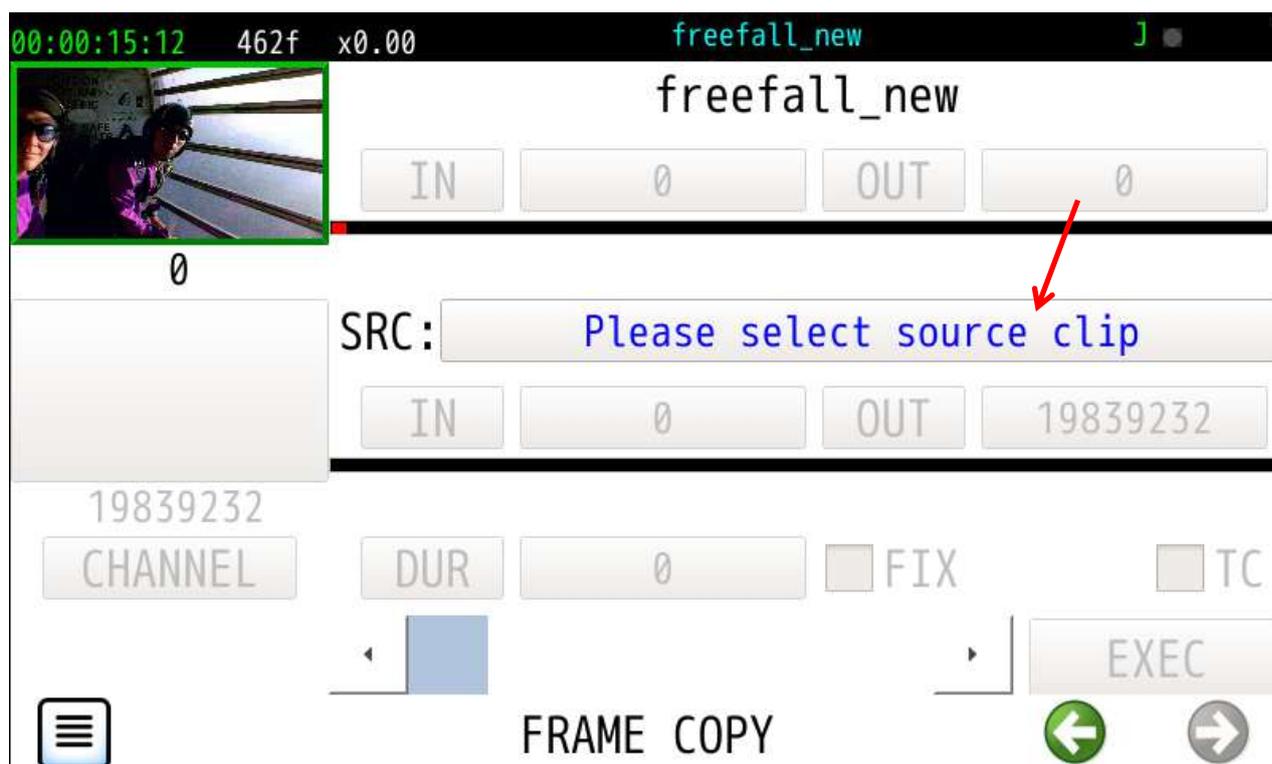
FRAME-COPY

機能

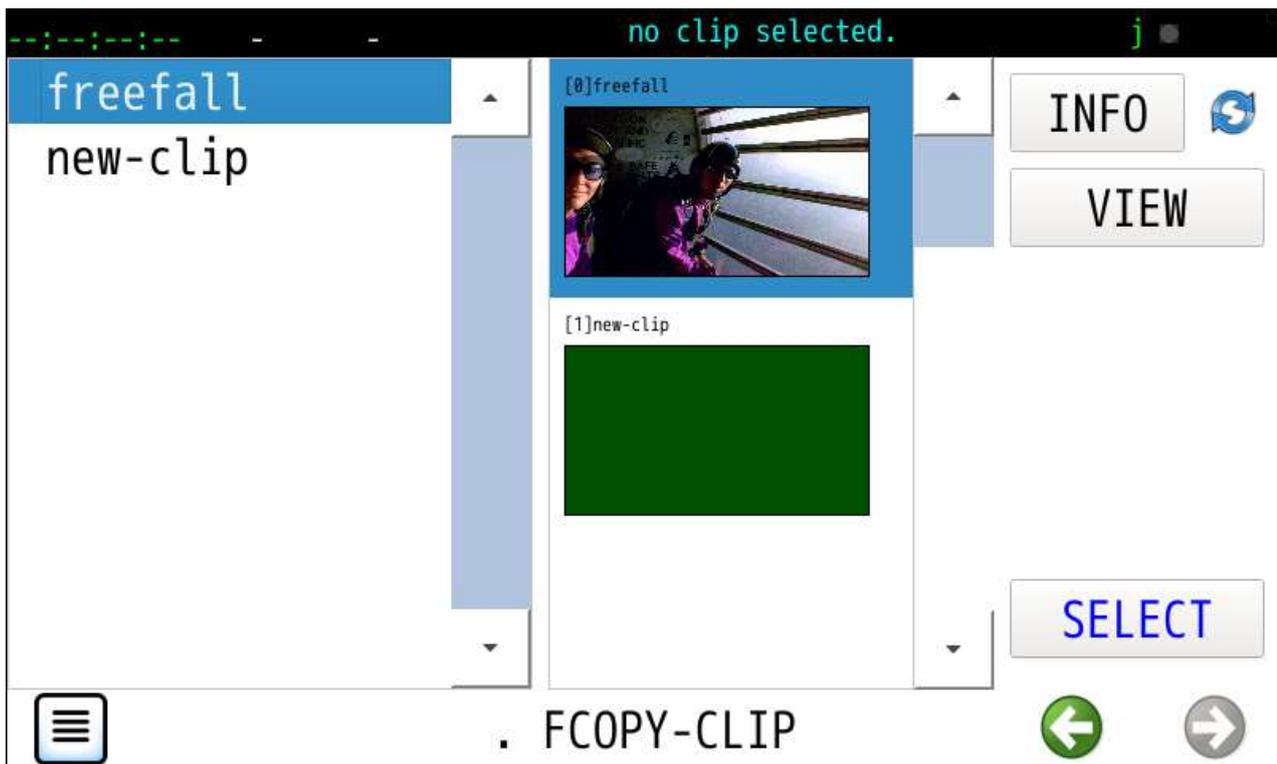
クリップ間の映像・音声データのフレーム単位転送を行います。同一クリップ内の異なる領域間コピーも可能です。
転送元の開始フレーム番号が転送先開始フレーム番号より若い場合転送処理は領域終端から行います。

10.1 初期画面

コピー元クリップ選択ボタンに未選択メッセージが表示されます。

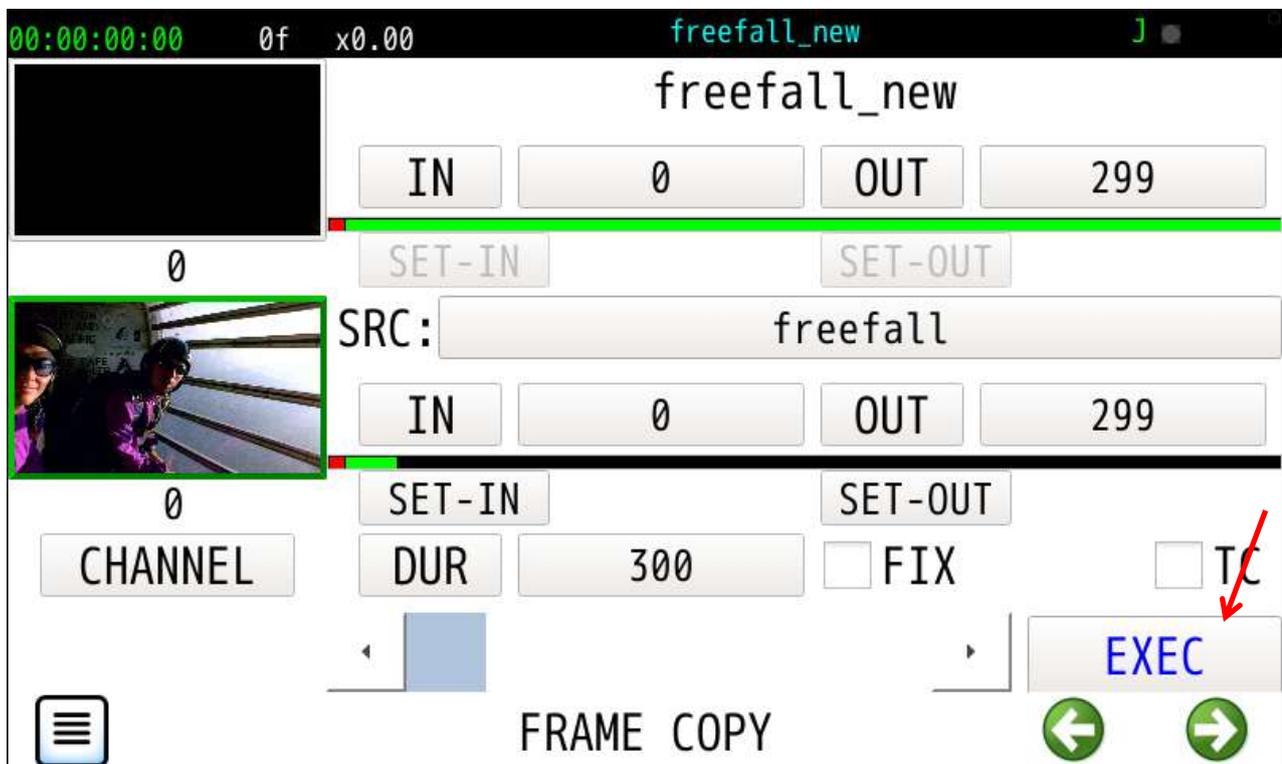
[目次に戻る](#)

10.2 クリップ選択画面例



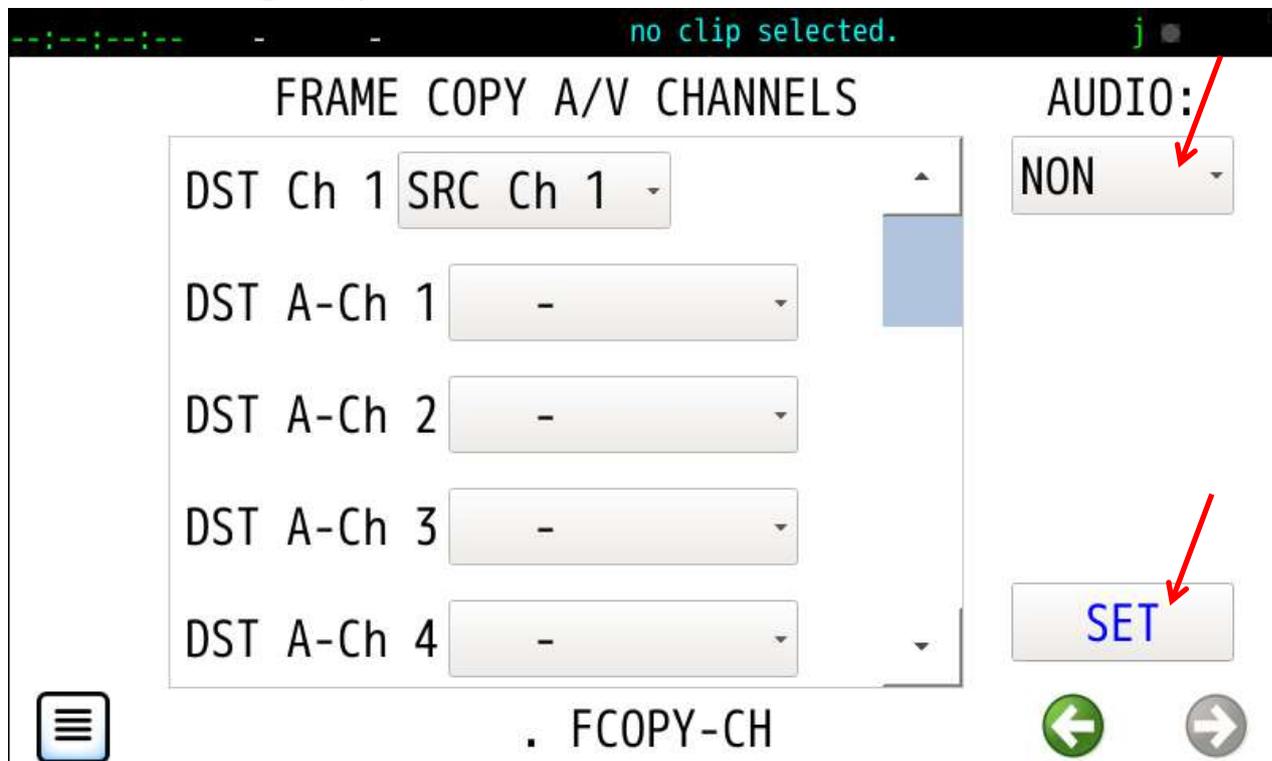
10.3 クリップ選択後画面例

選択されたコピー元とコピー先クリップのフレーム数からコピー可能な最大フレーム数を初期値にします。
EXEC ボタンでコピー開始します。



10.4 ビデオチャンネル指定

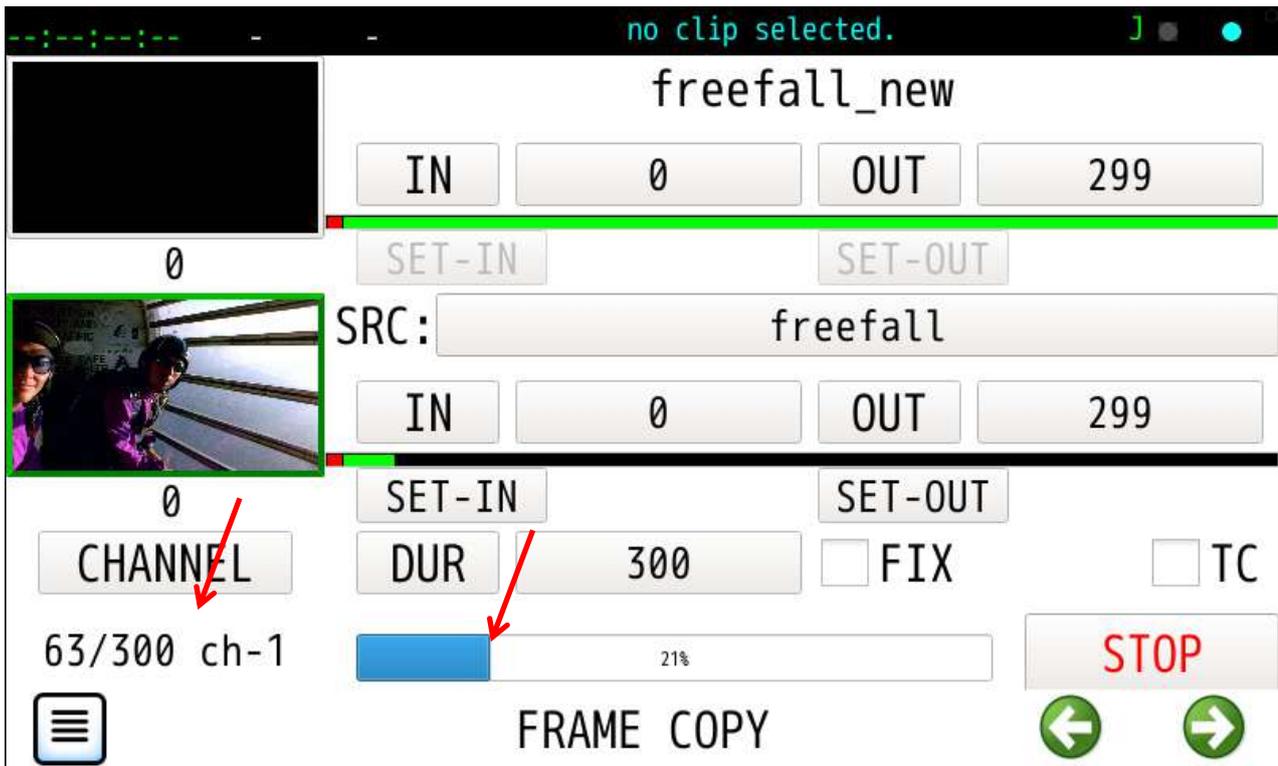
ビデオおよびオーディオのチャンネル指定画面が表示されます。
以下はビデオチャンネル数が各1のコピー先コピー元クリップ選択時画面です。
オーディオはコピー先のチャンネル数を先に選択します。
SET ボタンで確定します。



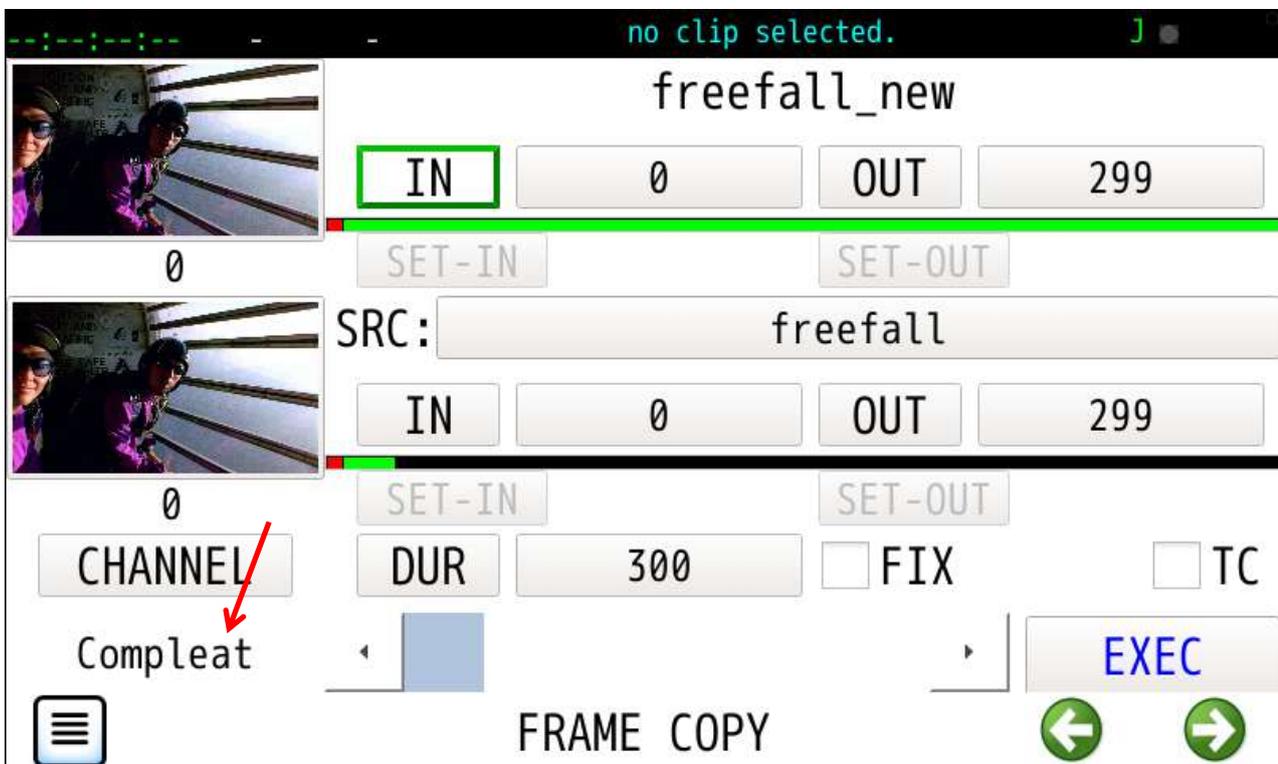
確認画面が表示されます。



コピー実行中はフレーム数とインジケータが表示されます。



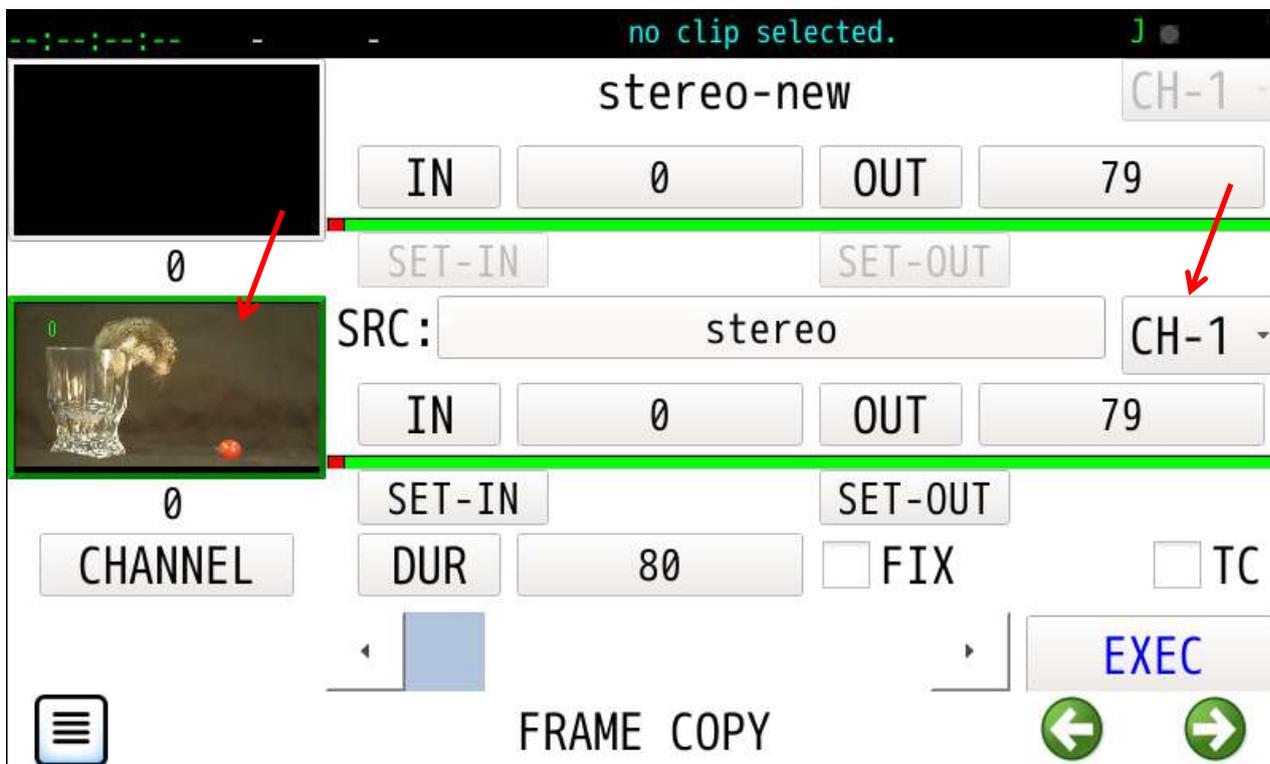
7. コピー完了で 文字列 Complete が表示されます。



[目次に戻る](#)

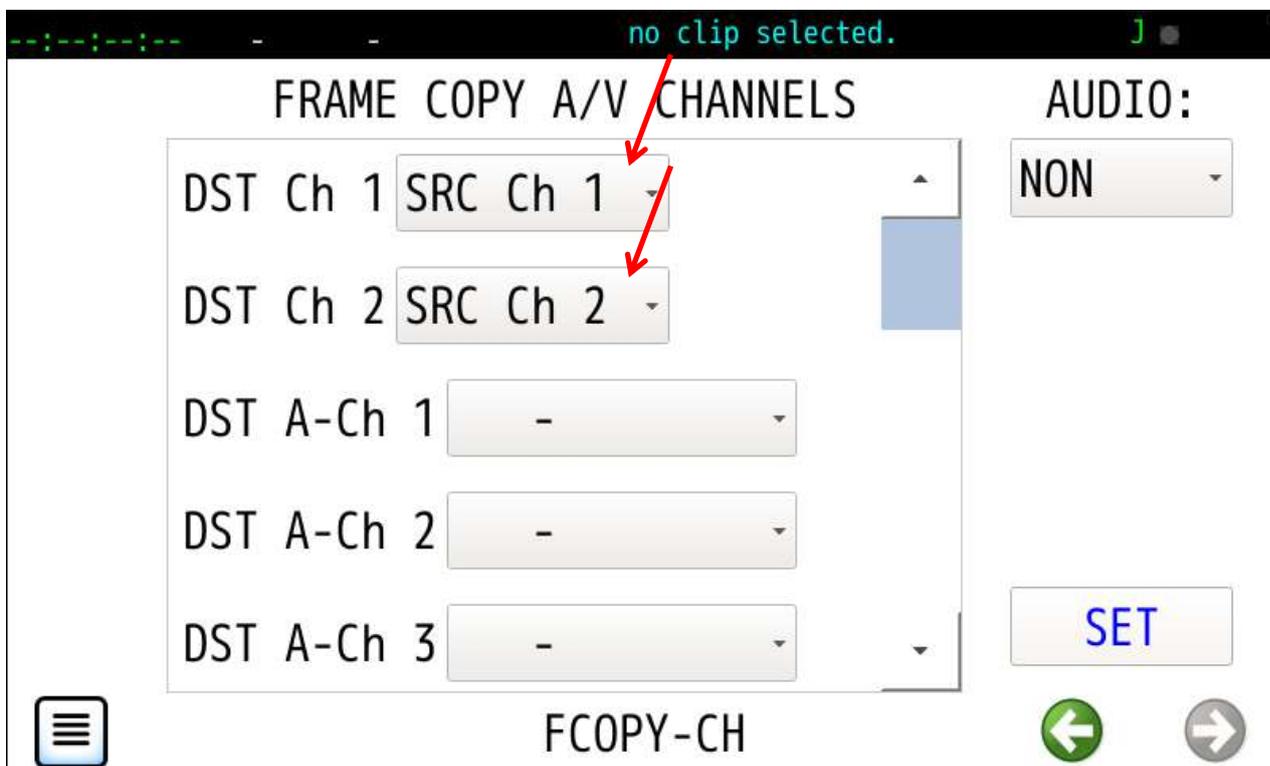
10.5 複数チャンネルクリップの場合

コピー先クリップのチャンネル数が1以上の場合、
ファイル名右にサムネイル表示チャンネル指定操作部品が表示されます。



複数ビデオチャンネル

コピー先およびコピー元クリップがともにステレオの場合次のチャンネル指定画面になります。

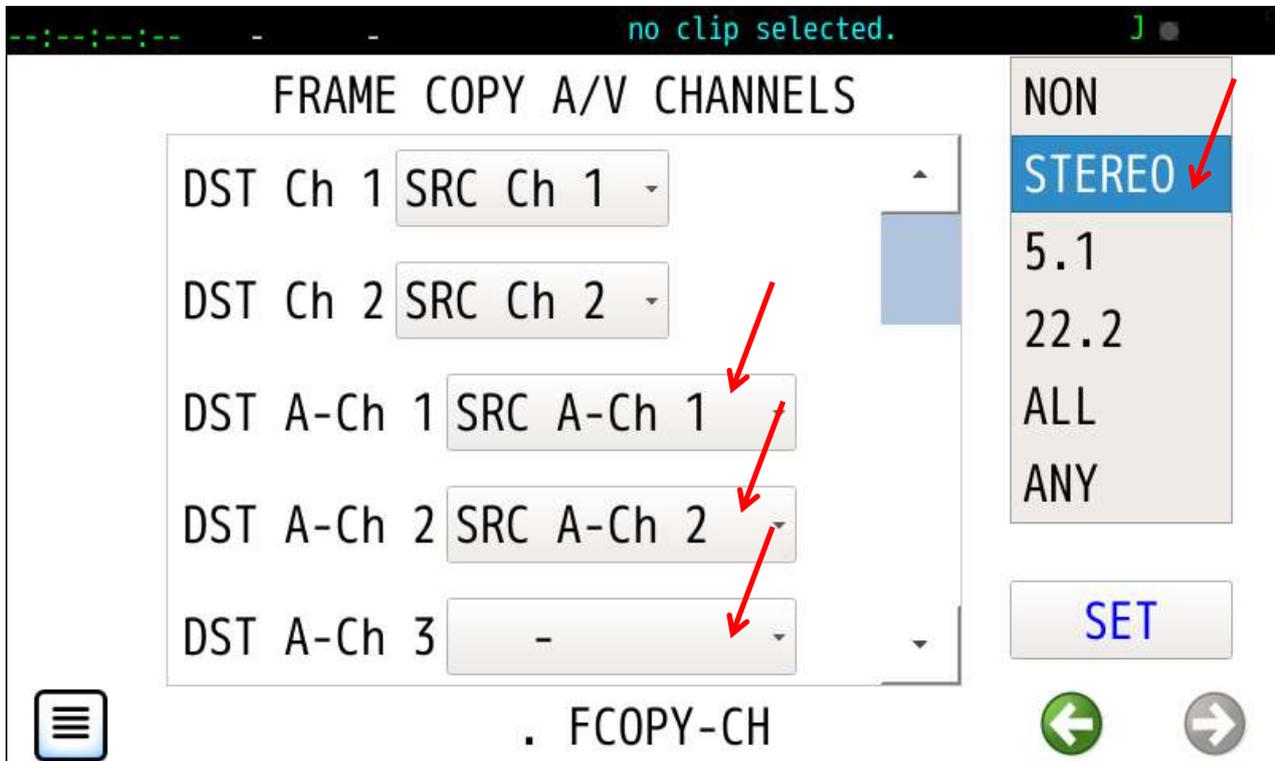


10.6 オーディオチャンネル指定

初期画面ではオーディオコピーは NON のオフです。

個々のオーディオチャンネル指定に加え stereo, 5.1ch 等の一括指定もできます。

画面をスクロールし 22ch までの設定ができます。

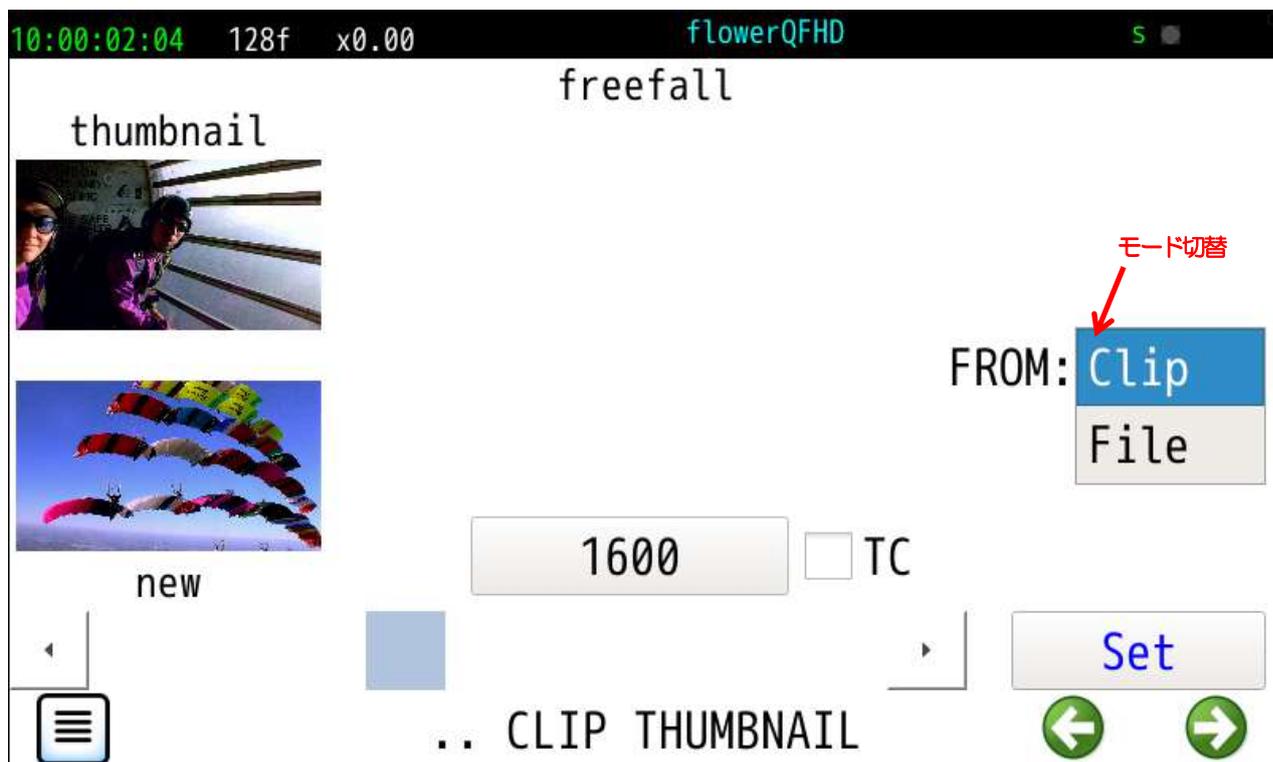


[目次に戻る](#)

11 CLIP-THUMBNAIL 画面

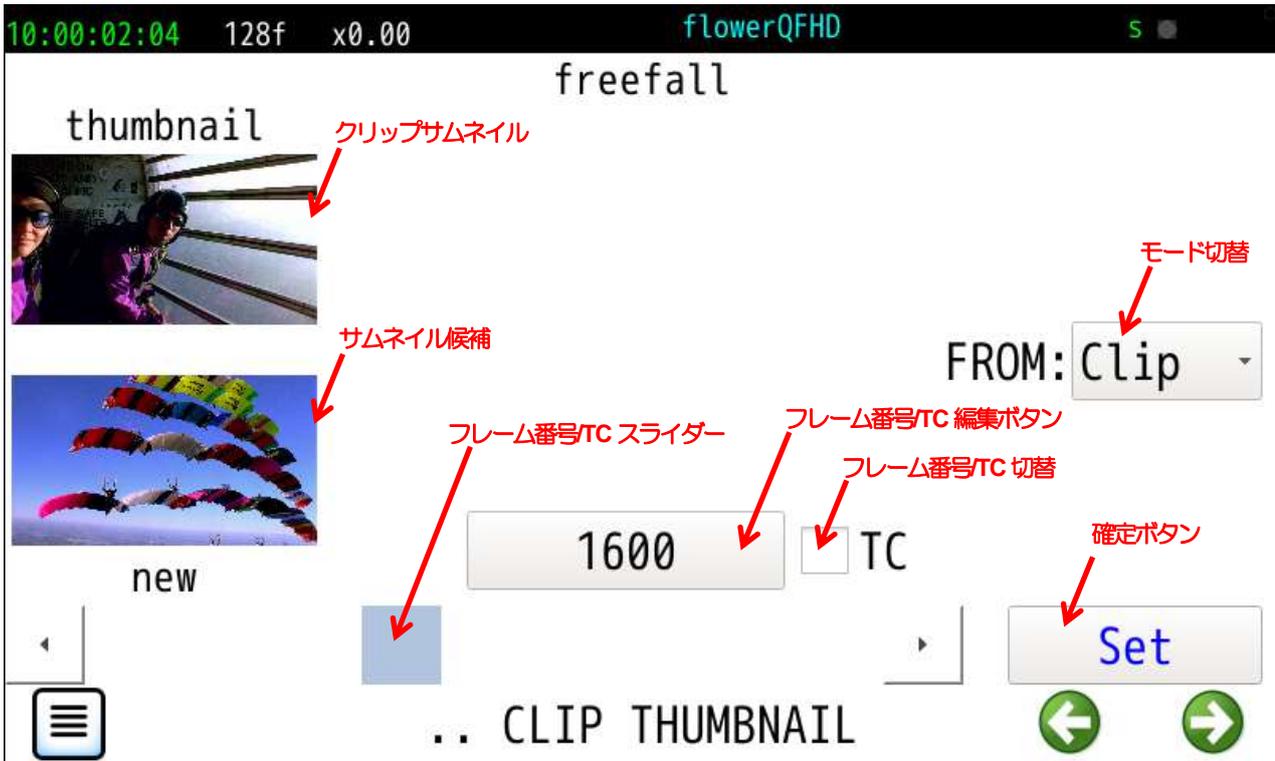
以下2種類のモード指定によりクリップ選択時に表示するサムネイル画像を登録します。

- フレーム番号またはTCにて指定のクリップ内フレームをクリップのサムネイル画像とします。
- DPX/TIFF/YUV/UDR フ画像ファイルを指定しクリップのサムネイル画像とします。

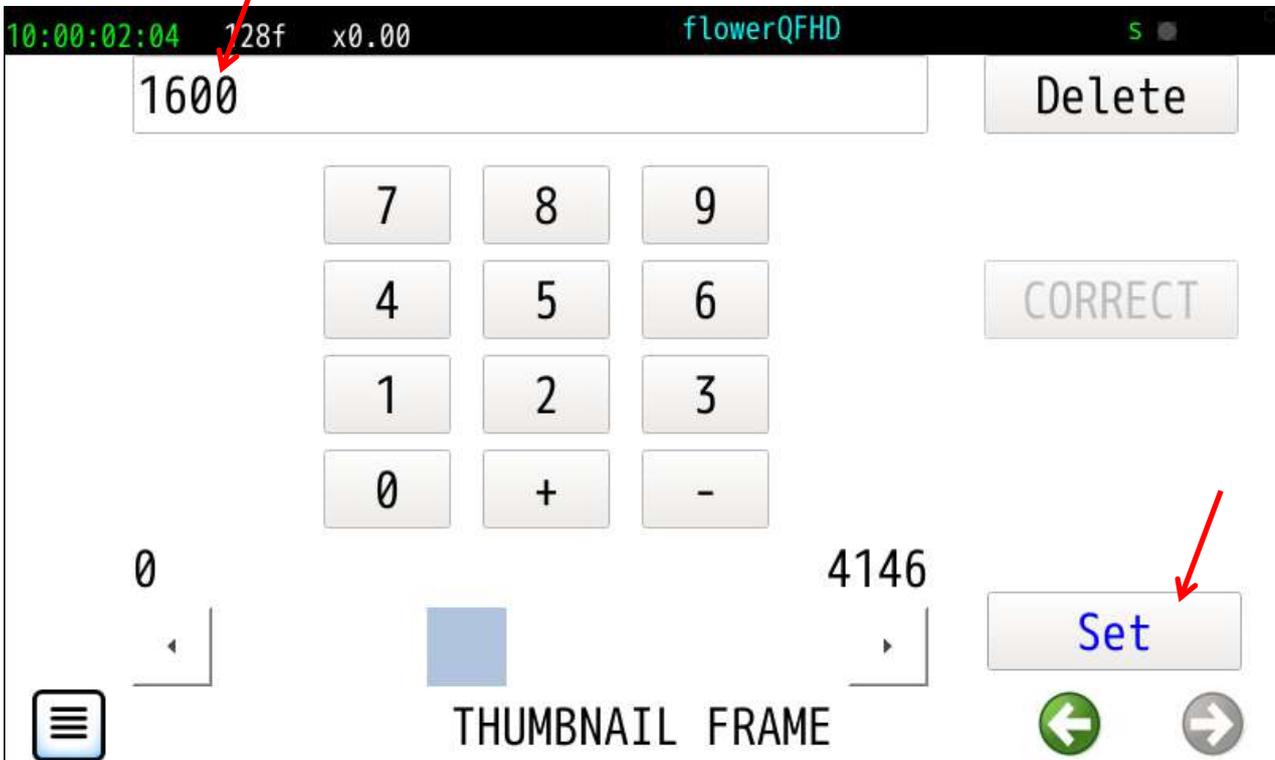


[目次に戻る](#)

11.1 フレーム番号指定モード

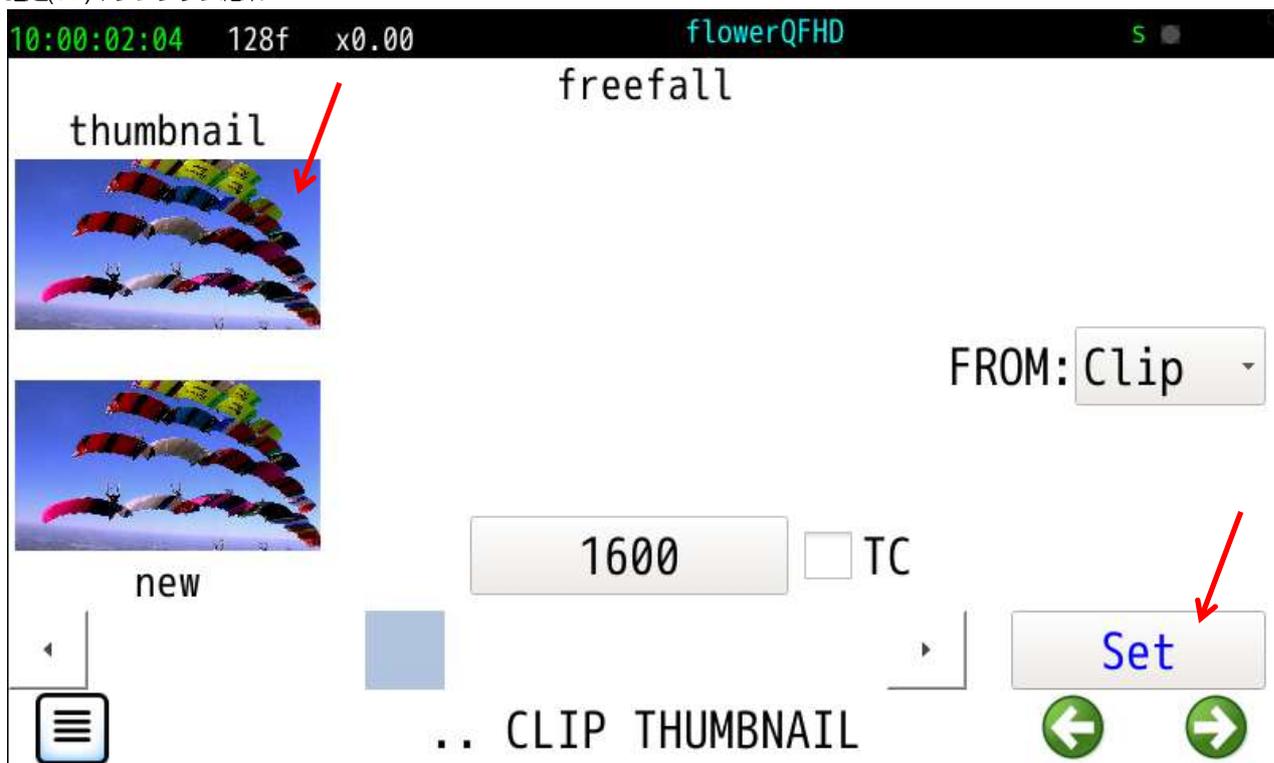


フレーム番号編集

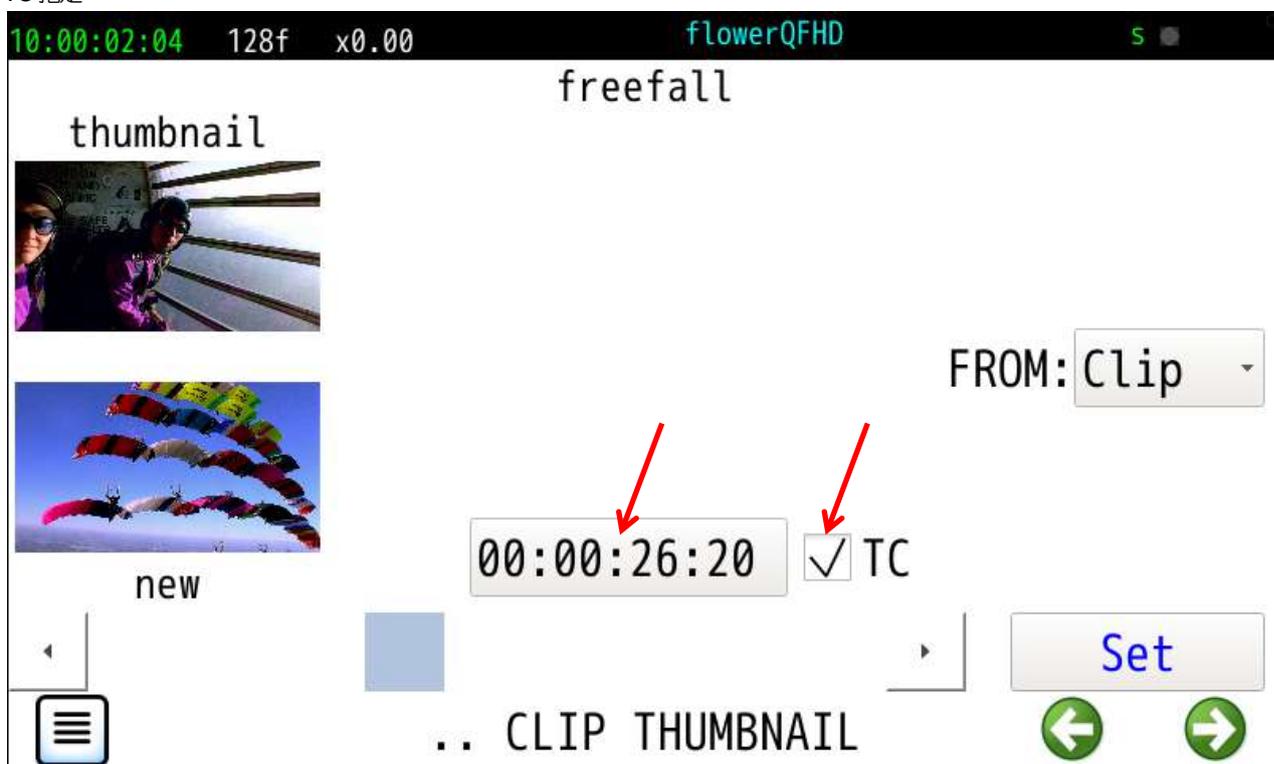


[目次に戻る](#)

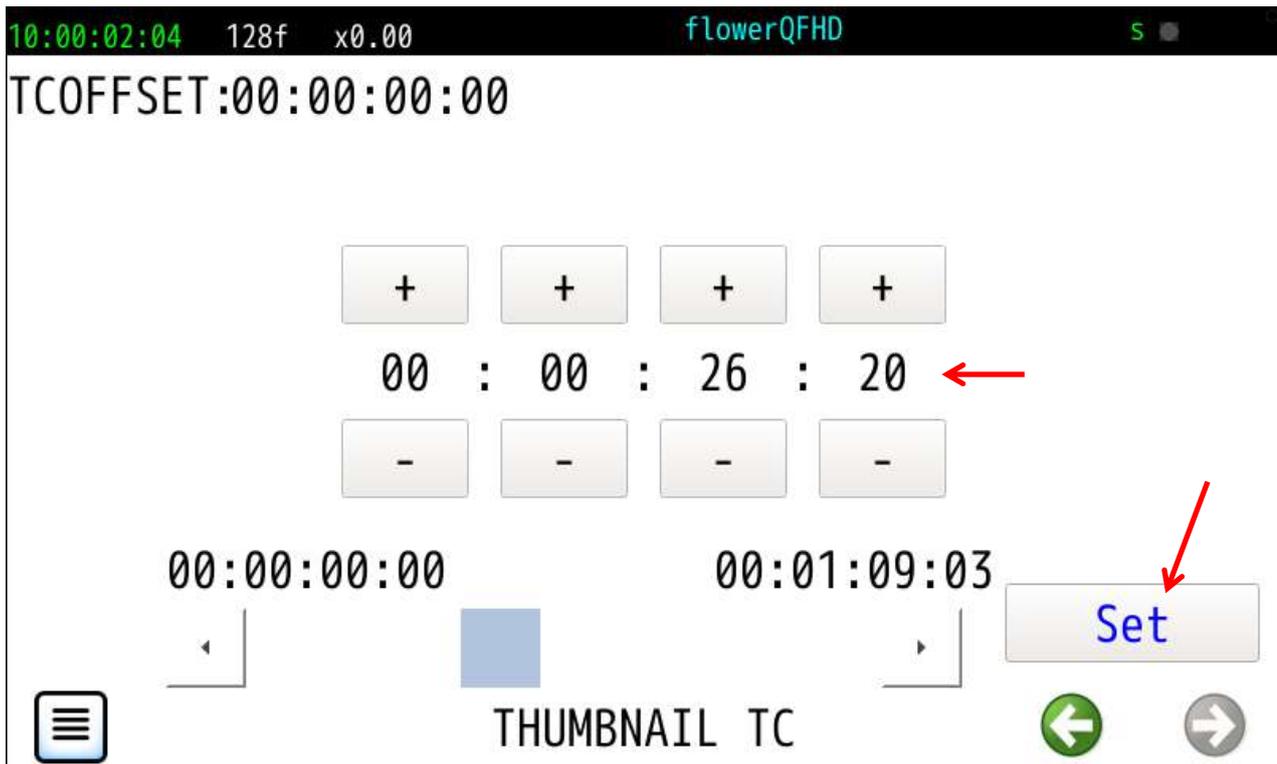
確定(Set)ボタンタップ結果



TC 指定

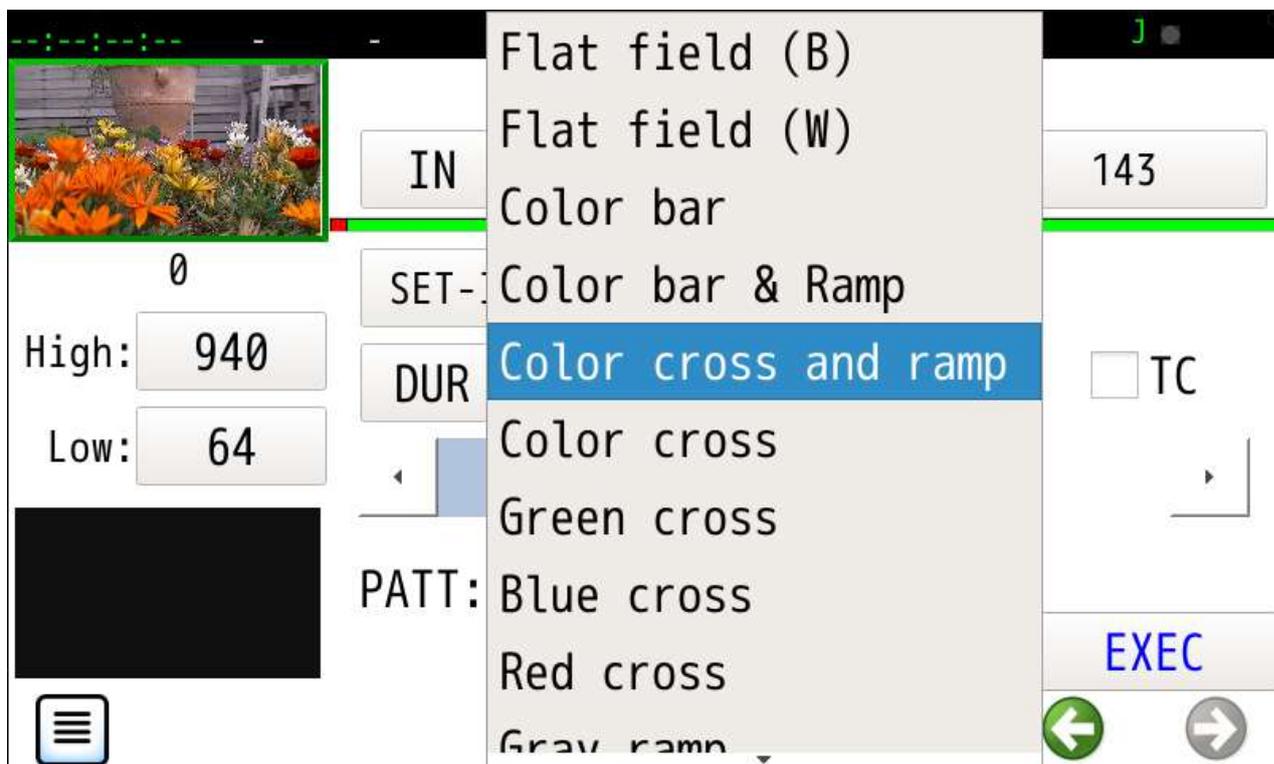
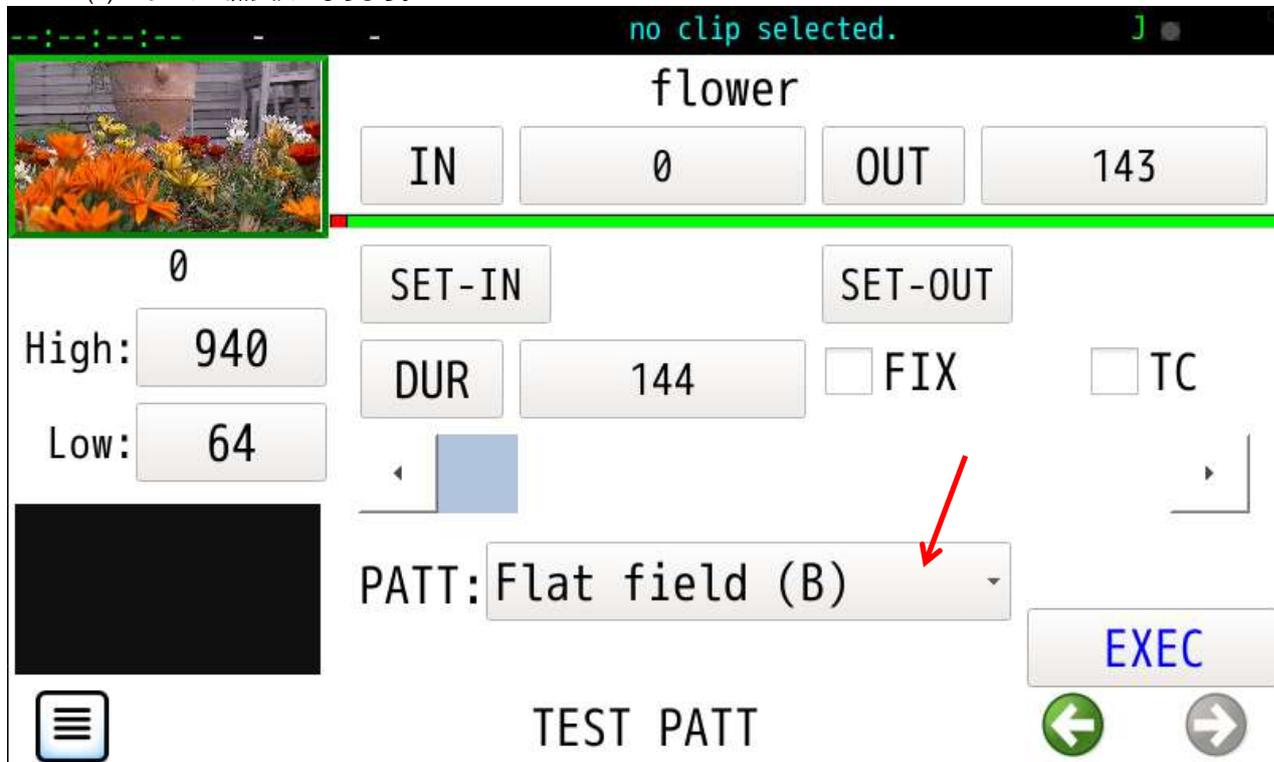


TC 編集



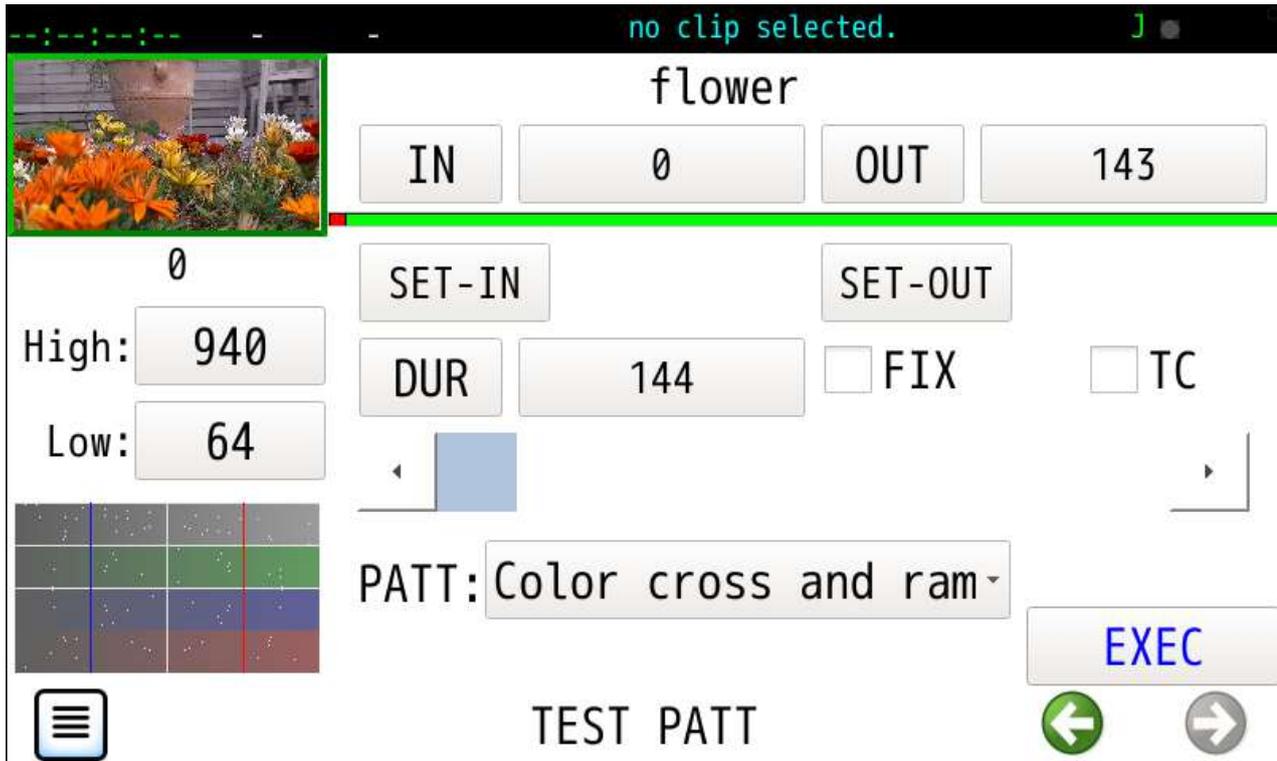
12 TEST—PTTERN 画面

数種類のテストパターン画像を機クリップの指定領域に書き出します。
 Flat field (B) パターンで黒入れになります。



[目次に戻る](#)

選択されたパターンのサムネイル画像が左に表示されます。



13 CLIP CLEAR 画面

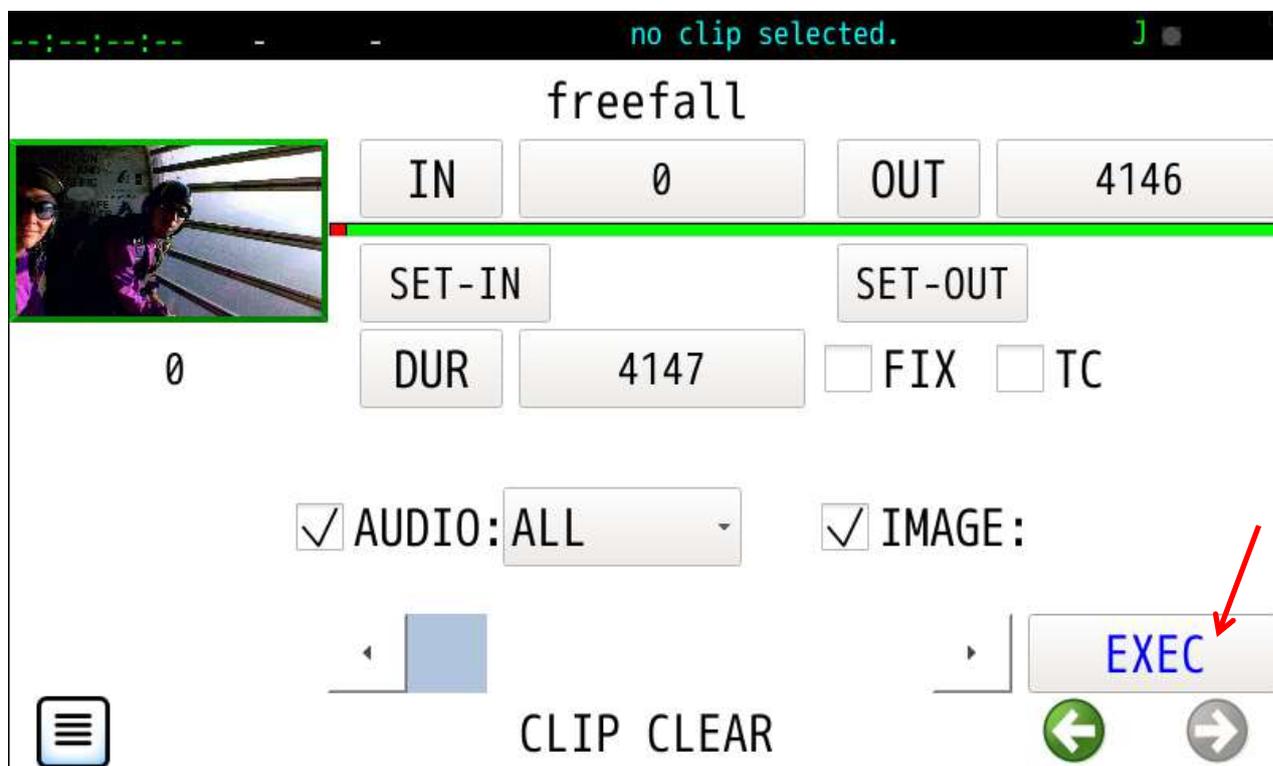
クリップの映像音声データを消去します。

映像 黒入れ

音声 無音

初期画面では全領域の消去指定になります。

映像チャンネル音声チャンネルおよび消去範囲の指定もできます。



消去確認画面が表示されます。



[目次に戻る](#)

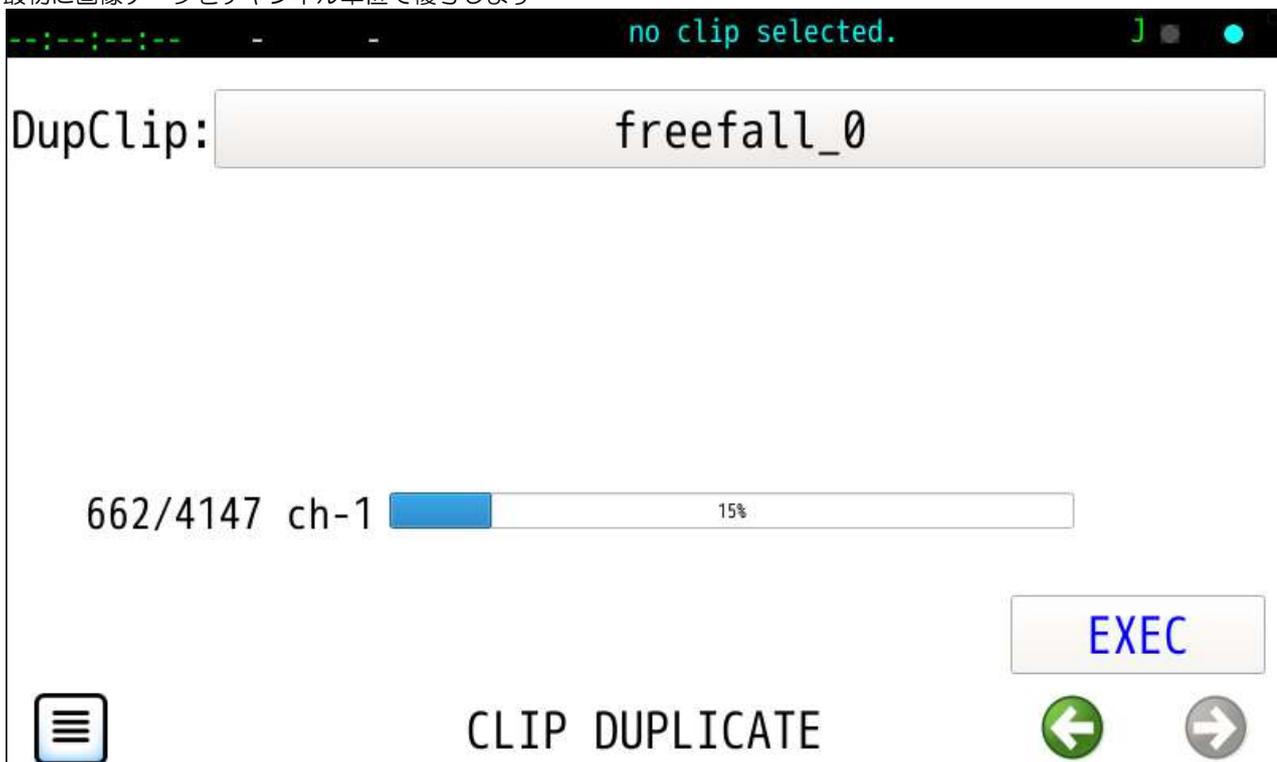
14 CLIP DUPLICATE 画面

クリップを複製します

デフォルトの新しいクリップ名はオリジナルのクリップ名に続きアンダースコアと0から始まる連番を追加したものです。新たに生成のクリップ仕様は書き込み許可以外オリジナルのものと同一です、



最初に画像データをチャンネル単位で複製します



[目次に戻る](#)

最後にオーディオデータを複写します



複写完了で次の例の画面になります。



[目次に戻る](#)

15 CLIP REFRESH 画面

クリップを同じ内容で上書きします。

読み出し速度が低下したクリップの速度回復に使用します。記録メディアに用いているSSDは、記録後の時間経過によって読み出し速度が低下してしまうことがあります。

10:08:53:16. 475f x0.00 new-clip000 J ■

Clip: new-clip000

0%

EXEC

☰ CLIP REFRESH ← →

処理の進行は、CLIP DUPLICATE と同様です。最初に画像データをチャンネル単位で複写します

10:08:53:16. 475f x0.00 new-clip000 J ■ ●

Clip: new-clip000

62/476 ch-1 13%

STOP

☰ CLIP REFRESH ← →

[目次に戻る](#)

16 SCRIPT 画面

操作画面

SCRIPT

機能

UDR-XL40 / XL40e 本体および USB メディアに格納のスクリプトファイルを参照し実行します。

この画面は次の機能があります。

- スクリプト (テキストファイル) の内容表示
- スクリプトファイル名変更
- スクリプトファイル削除
- USB メディアと UDR-XL40 / XL40e 本体間のスクリプトファイル転送
- 起動時に自動動作のスクリプト実行ファイル `autoexe.txt` の生成・削除

スクリプトファイル

対応ファイルは次の 3 種類です。

- XLGUI (PC ベース UDR-XL 制御ソフト) で生成のプレイリスト
- 前パネル LOOP 画面で生成のコマンドスクリプト
- `udrxltool` コマンドで動作のスクリプト

USB メディア

UDR-XL40 / XL40e は USB メディア `/udr-xl/udrscripts/` ディレクトリ下にあるスクリプトファイルを参照します。

USB メディアが未接続の場合、次の画面のように USB mount ボタン背景色がライトグレーです。

UDR-XL40 / XL40e 本体のスクリプトファイル格納場所にあるファイルを一覧表示します。



各ボタン動作

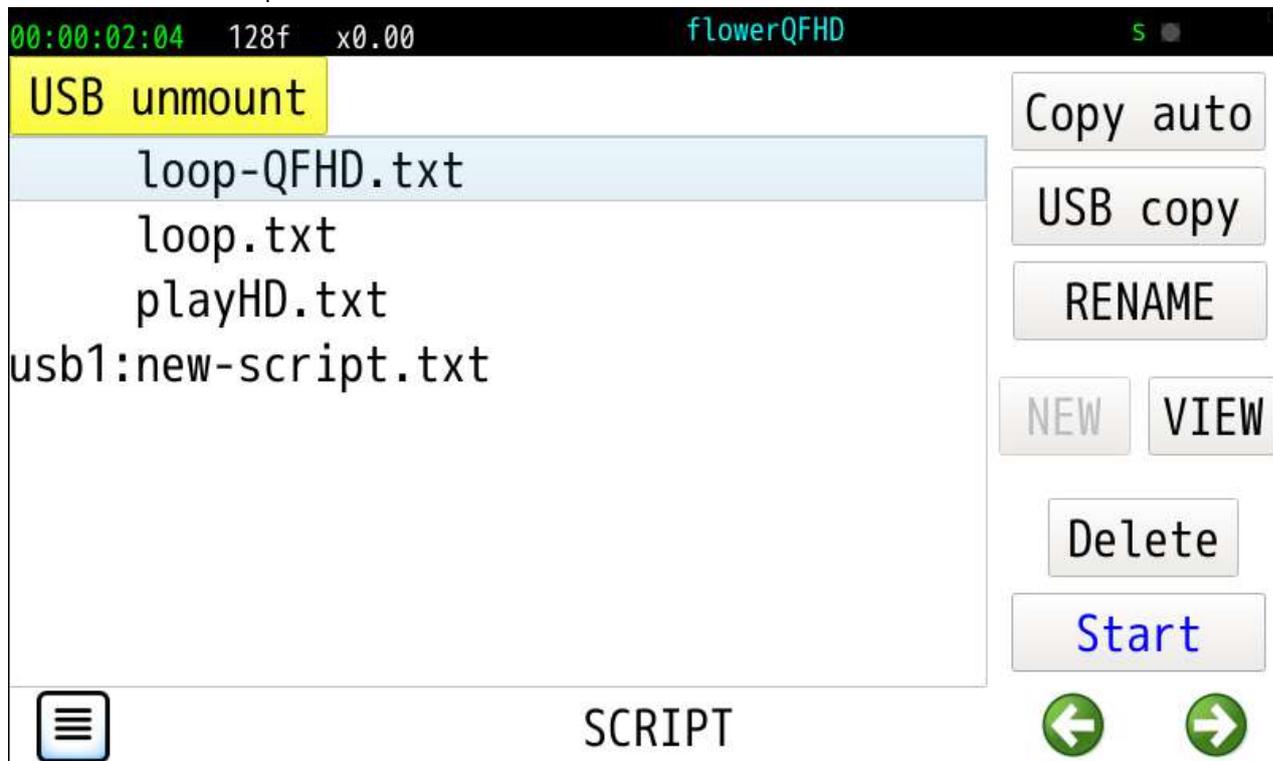
Copy auto	選択されたスクリプトファイルをコピーしファイル名 <code>autoexec.txt</code> にします。
USB copy	選択されたスクリプトファイルを UDR-XL40 / XL40e と USB メモリ間でコピーします。
RENAME	選択されたスクリプトファイルの名前を修正します。
VIEW	選択されたスクリプトファイルの内容を表示します。
Delete	選択されたスクリプトファイルを削除します。
Start	選択されたスクリプトファイルを実行します。

[目次に戻る](#)

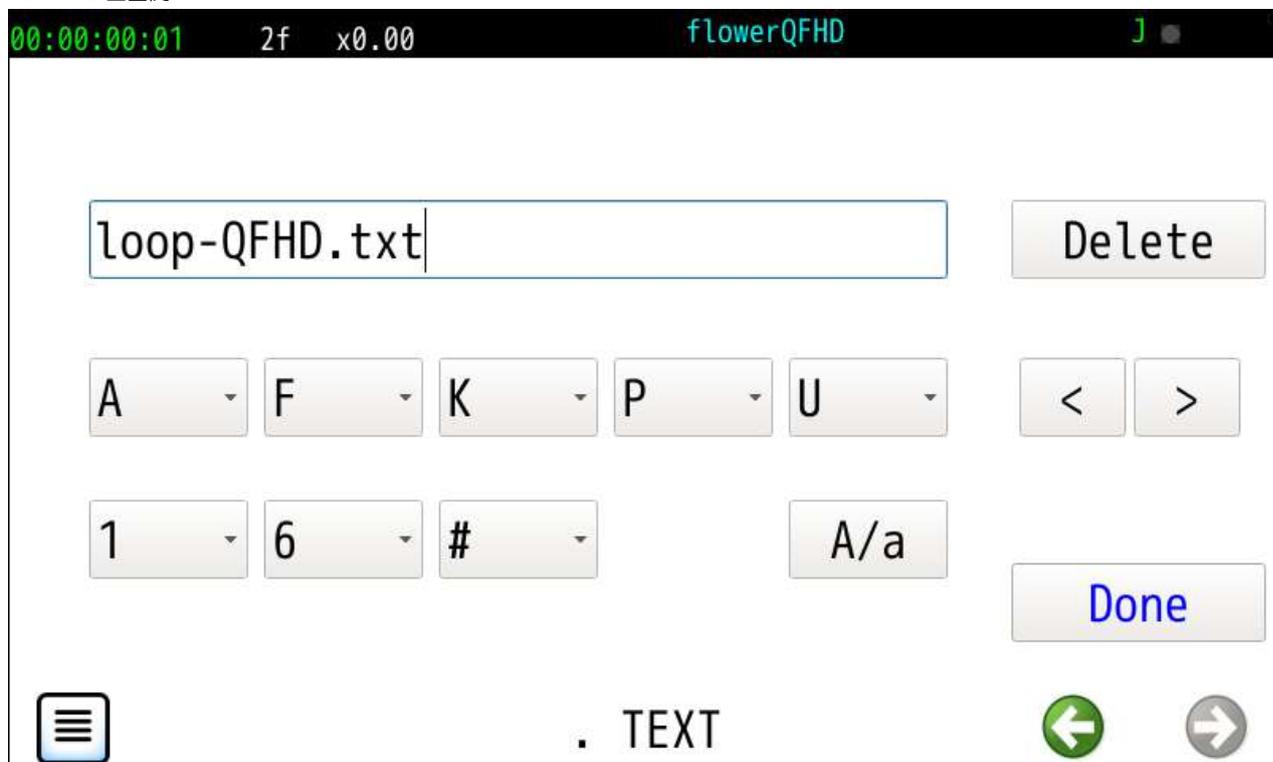
USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから USB mount ボタンをタップします。

USB マウント成功で次の画面例のように USB mount ボタン背景色が黄色になり

USB メディア udr-xl/udrscripts/ ディレクトリ下にあるスクリプトファイルを追加表示します。



RENAME 画面例



[目次に戻る](#)

VIEW 画面例 (LOOP 画面生成スクリプトファイル)

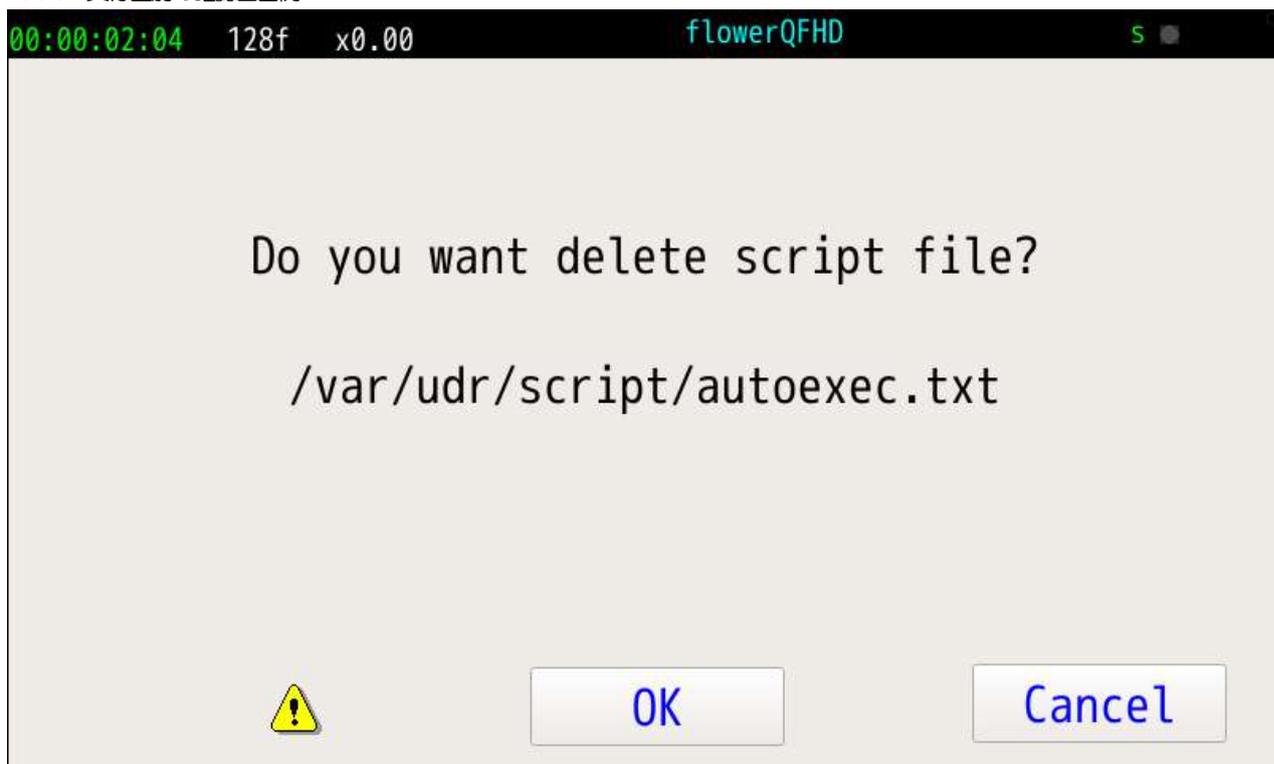


USB copy / Copy auto で表示のエラー画面例



[目次に戻る](#)

Delete 実行直前の確認画面例



17 LOOP 画面

操作画面

LOOP

機能

再生指定されたクリップのループ再生操作を行います。
再生クリップ選択済の時にこの画面操作が有効になります。
LOOP 画面表示開始時は再生クリップ全領域がループ再生の初期対象になります。

スクリプトファイル作成

Loop チェックボックスのオンオフに合わせスクリプトファイルを生成します。

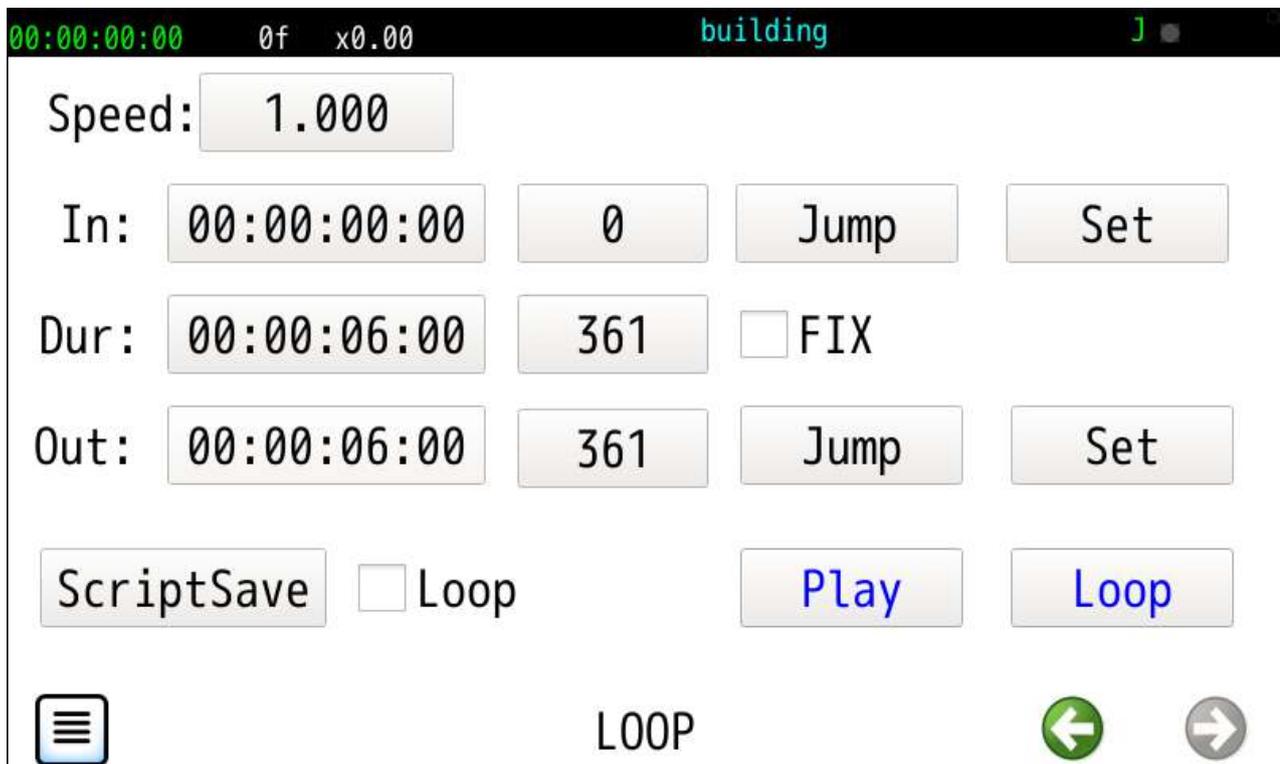
Loop オン loop.txt ファイル

Loop オフ play.txt ファイル

各スクリプトファイルは現在のビデオフォーマット指定も入ります。

既存の同名スクリプトファイルは上書きされます。

上記で生成の lloop.txt または play.txt ファイルは SCRIPT 画面で指定できます。



各ボタン動作

In/Dur/Out のタイムコードとフレーム番号ボタン6 つで各値の設定画面が表示されます。

Jump /In/Out 点に再生移動します。

Set 表示中のフレームを In/Out 点に設定します。

ScriptSave Loop チェックボックスのオンオフに合わせスクリプトファイルを生成します。

Loop オン loop.txt ファイル

Loop オフ play.txt ファイル

各スクリプトファイルは現在のビデオフォーマット指定も入ります。

既存の同名スクリプトファイルは上書きされます。

Play In/Out 点間再生

Loop In/Out 点間ループ再生

[目次に戻る](#)

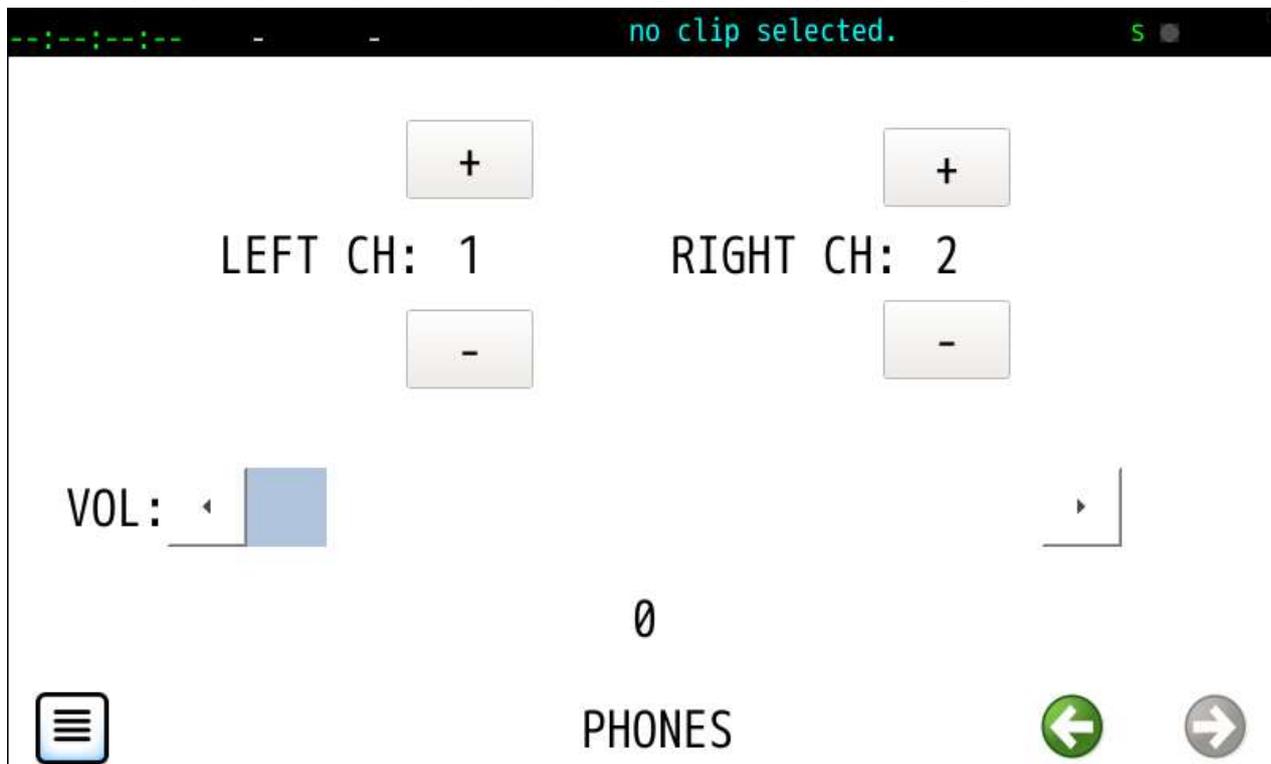
18 PHONES 画面

操作画面

PHONES

機能

前パネル左下のイヤホンジャックから出力のステレオ音声チャンネルとボリュームを指定します。

[目次に戻る](#)

19 UP/DOWNLOAD 画面

操作画面

UP/DOWNLOAD

機能

画像・音声ファイル入出力用の最上位画面です。

UPLOAD または DOWNLOAD ボタンタップで複数設定画面が順次表示されます。

進捗表示

アップロードまたはダウンロード毎に1行ずつ処理の履歴と状況が表示されます。

UPLOAD

最初に表示のファイル選択画面で指定のファイルが画像と WAV ファイルで処理が変わります。

[画像アップロード](#)

[WAV アップロード](#)

DOWNLOAD

クリップ選択後に表示のファイル選択画面で指定のファイルが画像と WAV ファイルで処理が変わります。

[画像ダウンロード](#)

[WAV ダウンロード](#)

対応画像ファイルフォーマット

- DPX/TIFF/BMP/YUV/UDR 連番ファイル または 1フレーム単独ファイル
- YUV/UDR の1ファイル複数フレームファイル

[画像ファイルフォーマット対応](#)

画像ファイルフォーマットオプション

各画像ファイルフォーマットオプション指定 ([FORMAT-OPTION](#)) を参照します。

マトリックス係数

マトリックス係数指定 ([MATRIX-OPTION](#)) を参照します。

WAV 範囲指定

WAV ファイルの範囲指定は映像フレーム単位の指定になります。

WAV 進捗カウンタ

WAV の歩進単位はクリップ画像1フレームのバイト数に相当します。

連番画像ファイル名

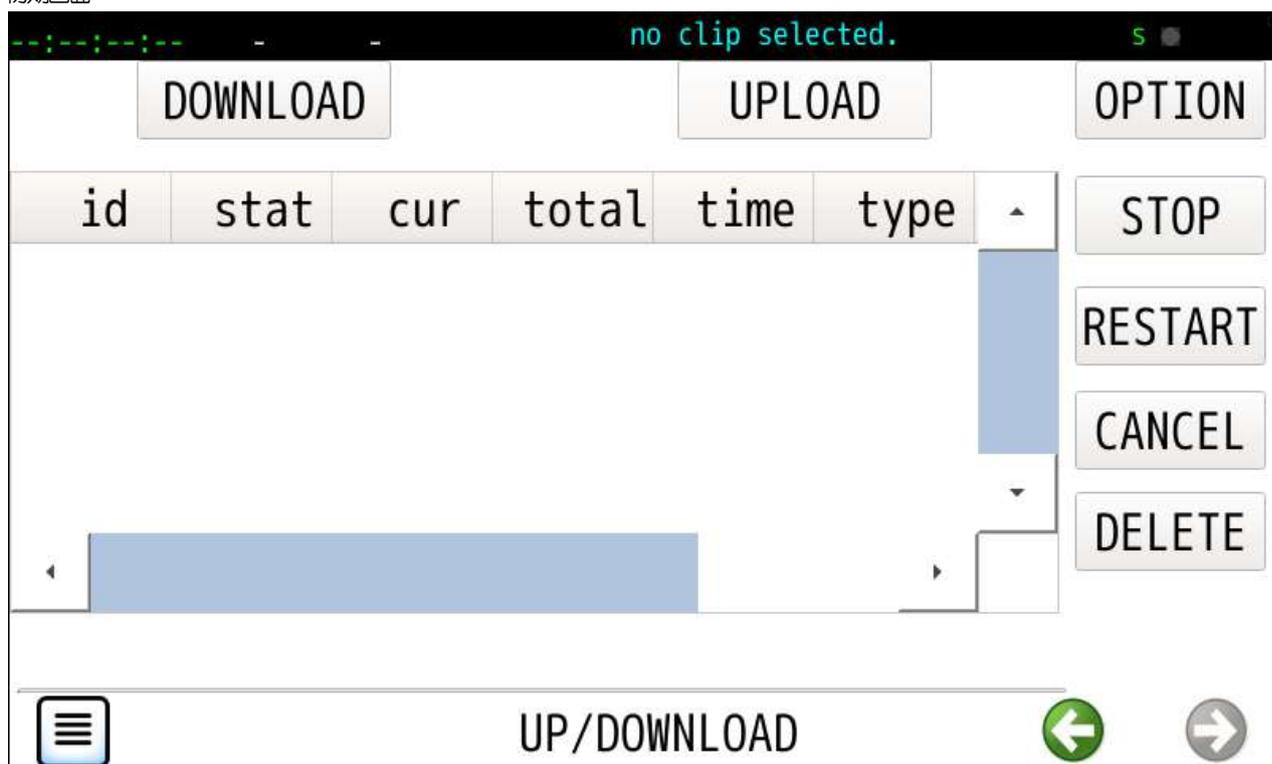
連番ファイルを扱う場合は数値の部分に連番桁数の # 文字を入れます。

例

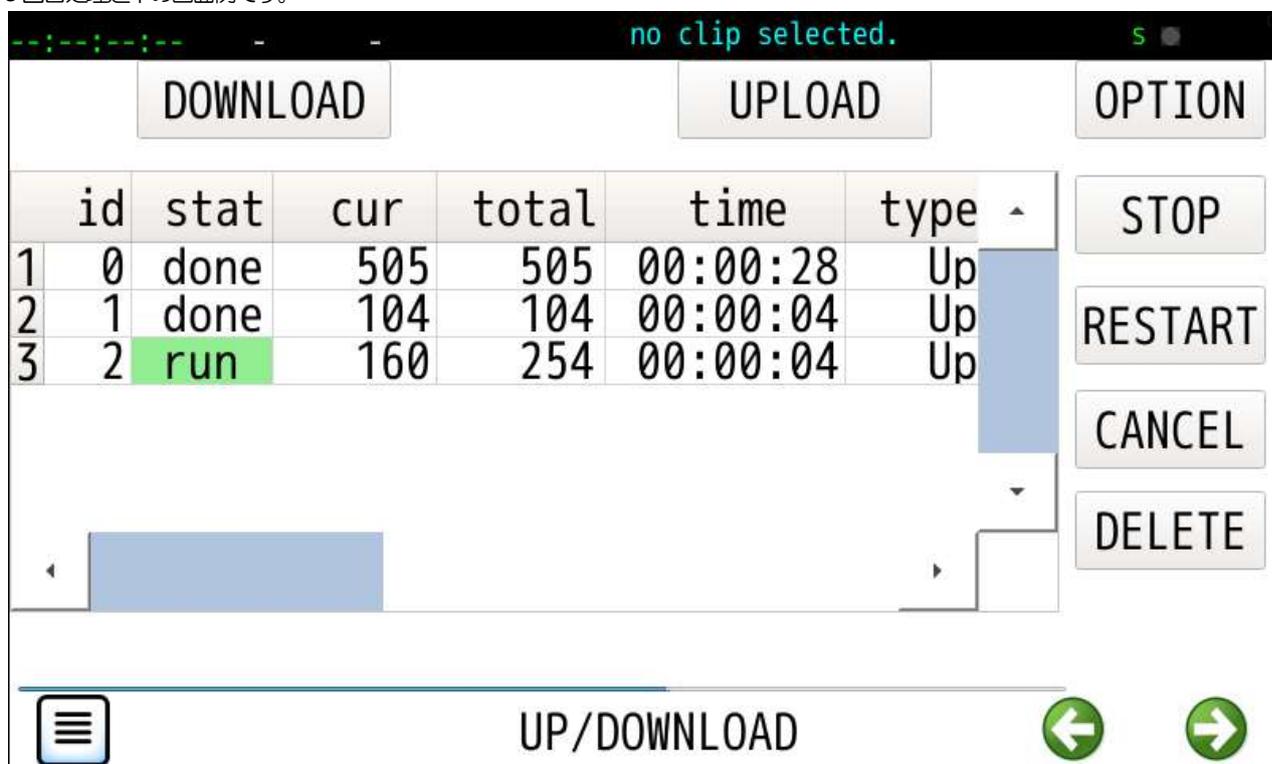
Sample####.dpx

[目次に戻る](#)

初期画面



DOWNLOAD または UPLOAD ボタンから処理指定画面に移動し処理実行開始でこの画面に戻ります。
3 回目処理途中の画面例です。



[目次に戻る](#)

19.1 UPLOAD (画像データ)

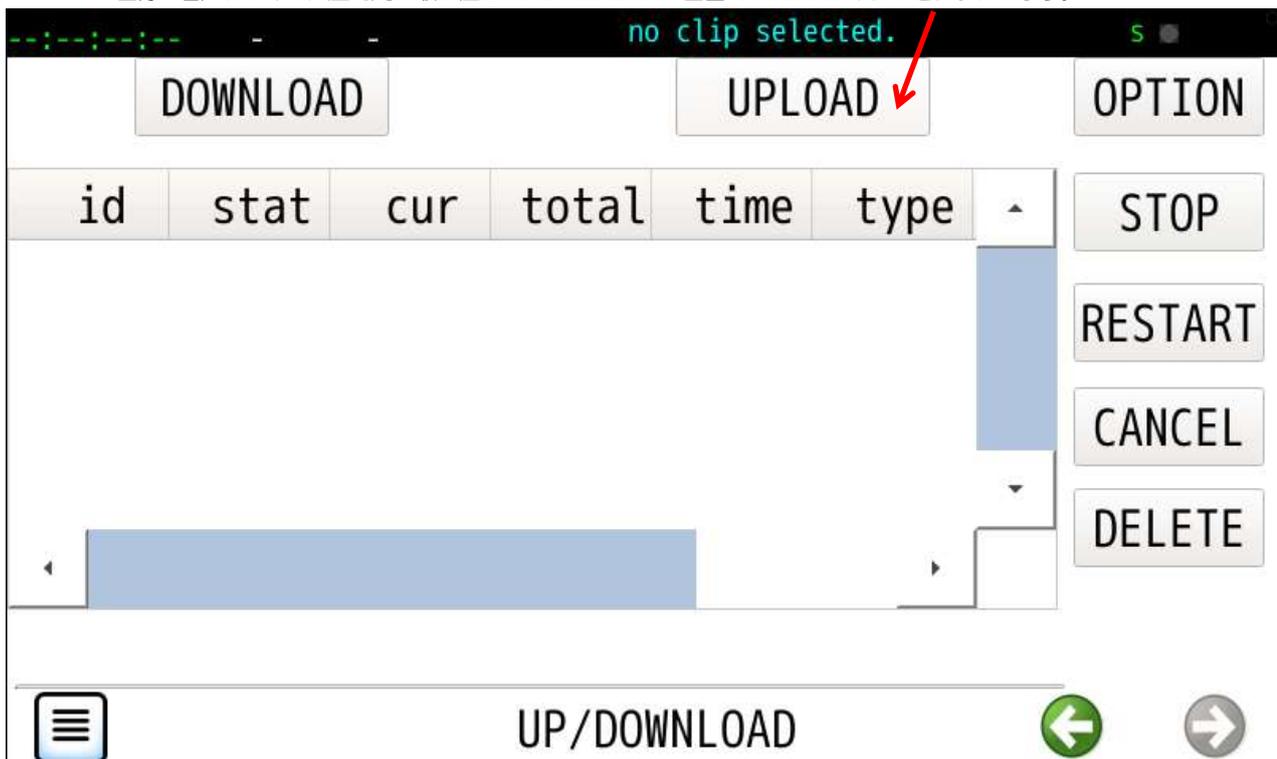
機能

一連の処理を画面単位に進めます

- USB メディアマウント
- 画像ファイル選択
- クリップ選択 (既存クリップまたは新規クリップ作成)
- 転送元と転送先の範囲を指定後、EXEC ボタンで実行開始

1. 開始

画像・音声ファイル入出力用の最上位のUP/DOWNLOAD 画面でUPLOAD ボタンをタップします。



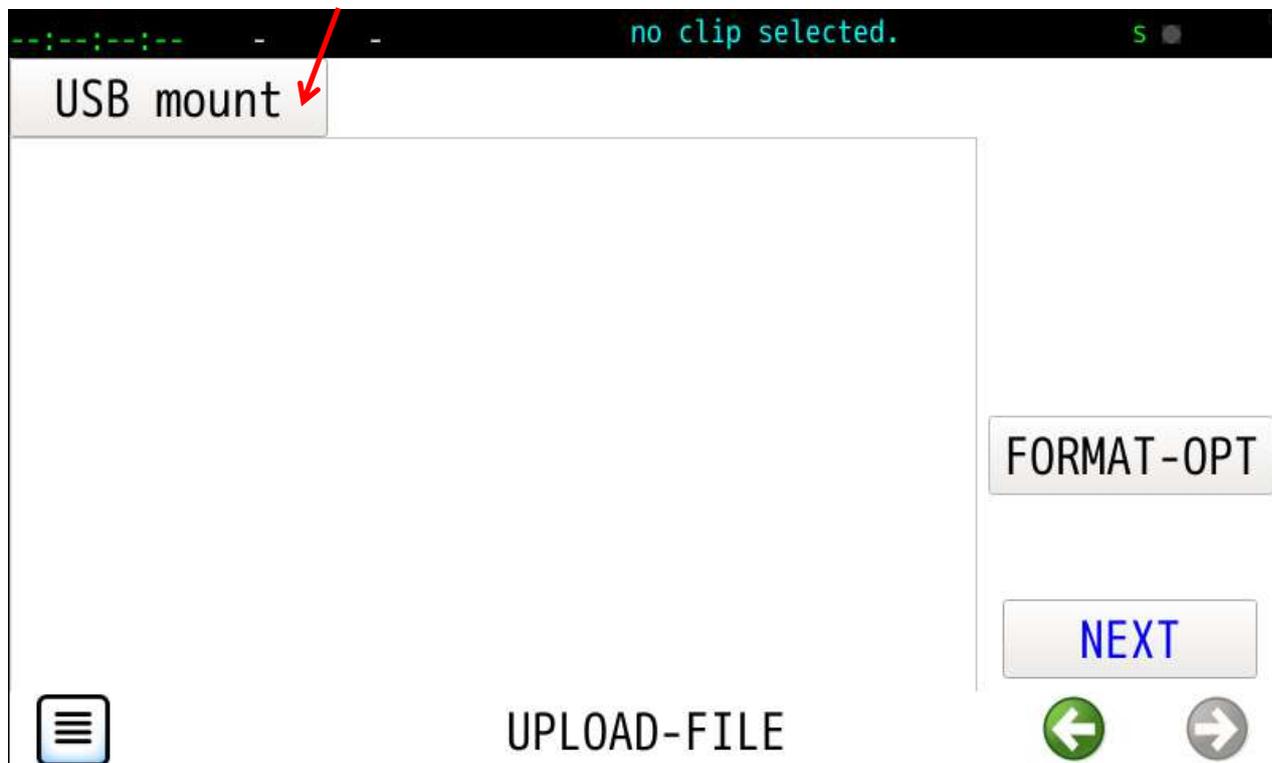
※PREFERENCES の WARN-MESSAGE を ON に設定した状態で、USB メディアがマウントされていない場合は次のメッセージが出ます。左矢印ボタンをタップして画像ファイル選択開始へ進みます。



[目次に戻る](#)

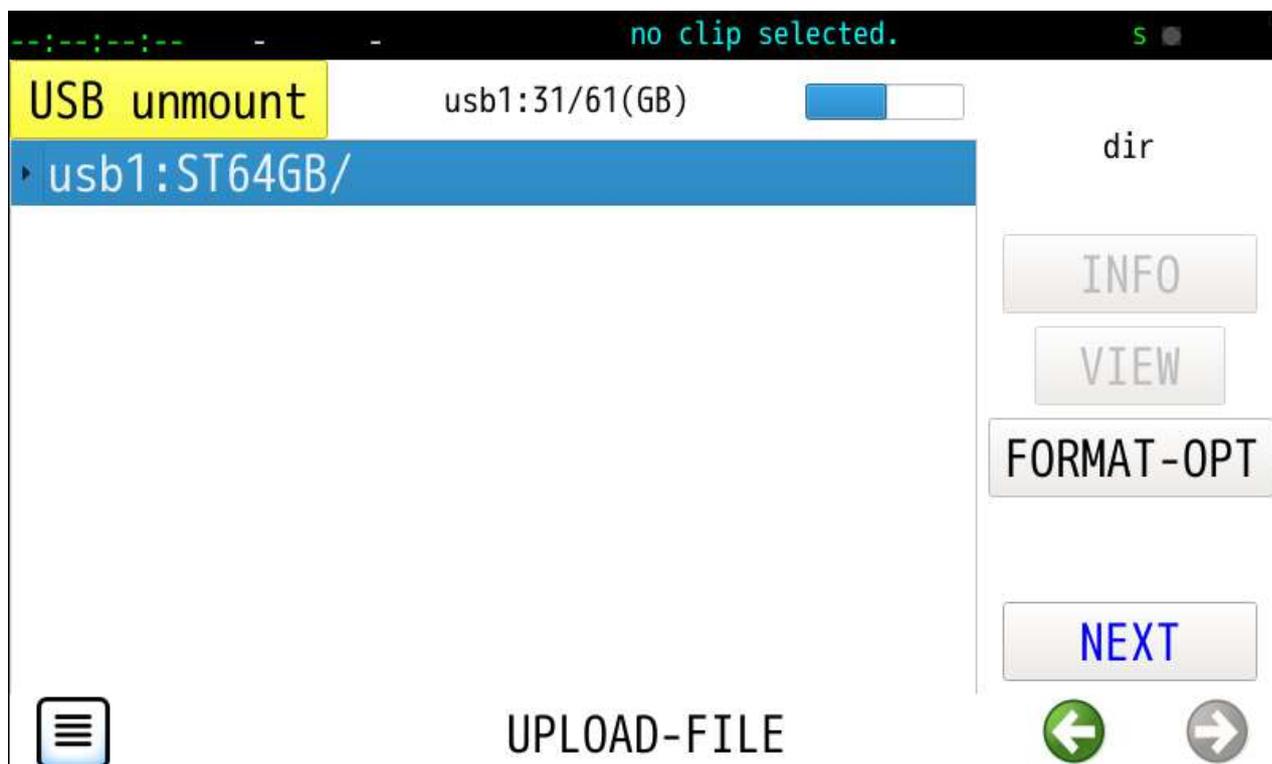
2. 画像ファイル選択開始

UPLOAD ボタンのタップで USB メディア未接続の場合、
次の画面のように USB mount ボタン背景色がライトグレーです。
USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから USB mount ボタンをタップします。



3. USB マウント

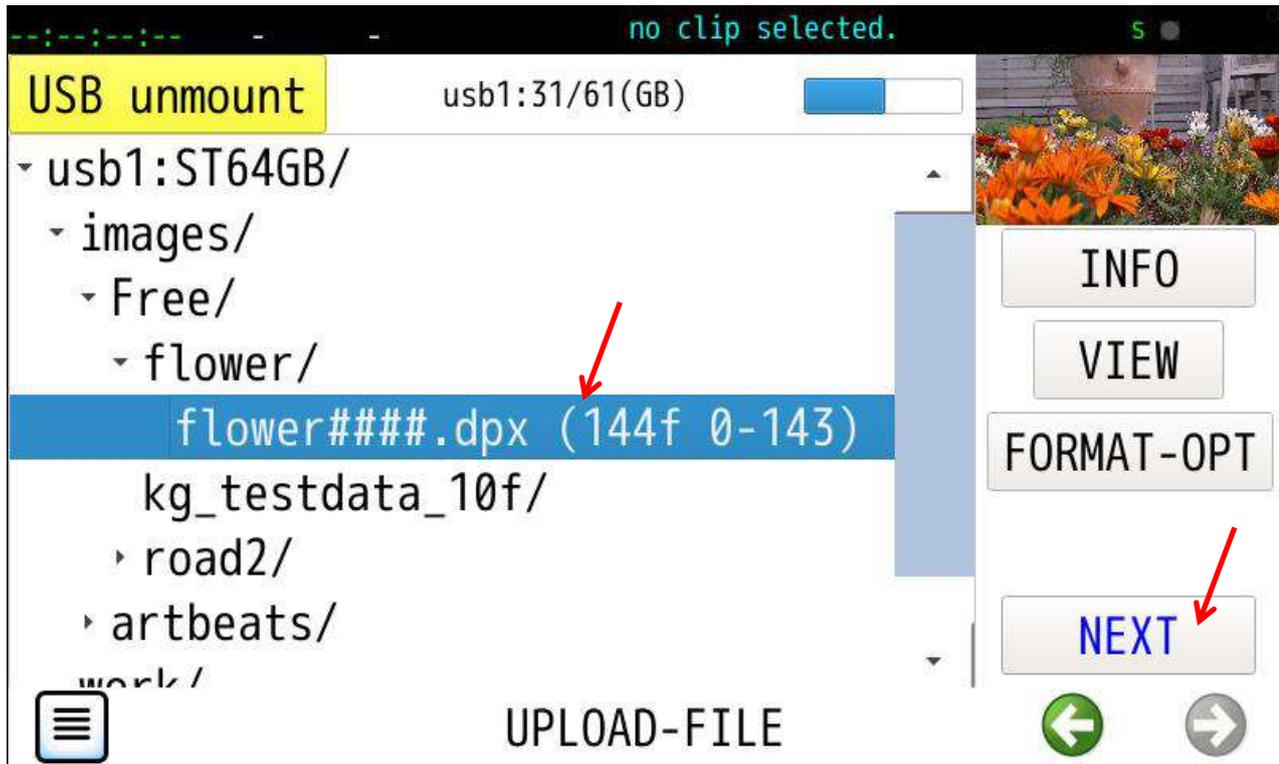
USB マウント成功で次の画面例のように USB mount ボタン背景色が黄色になり USB メディア名が表示されます。



[目次に戻る](#)

4. 画像ファイル選択

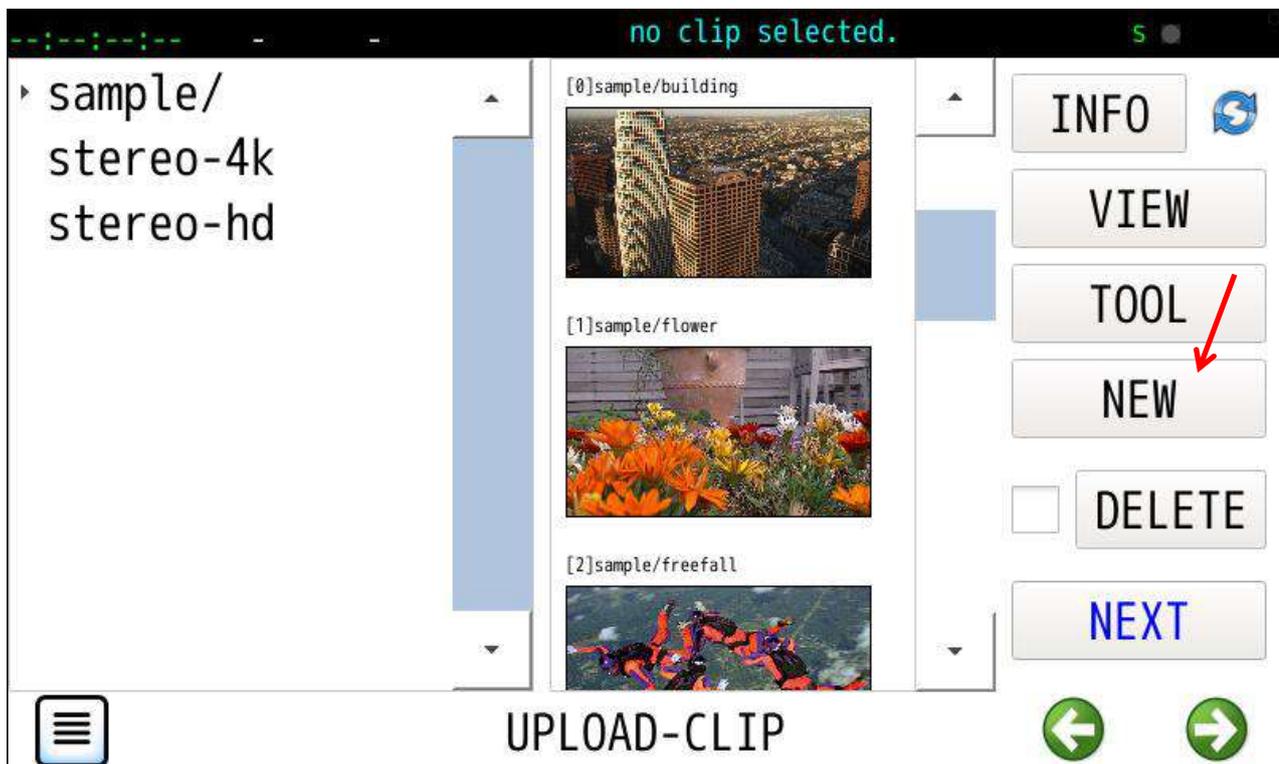
画像ファイルを選択しNEXT ボタンをタップしクリップ選択画面に移動します。



5. クリップ選択

新規クリップ作成の場合はNEW ボタンをタップします。

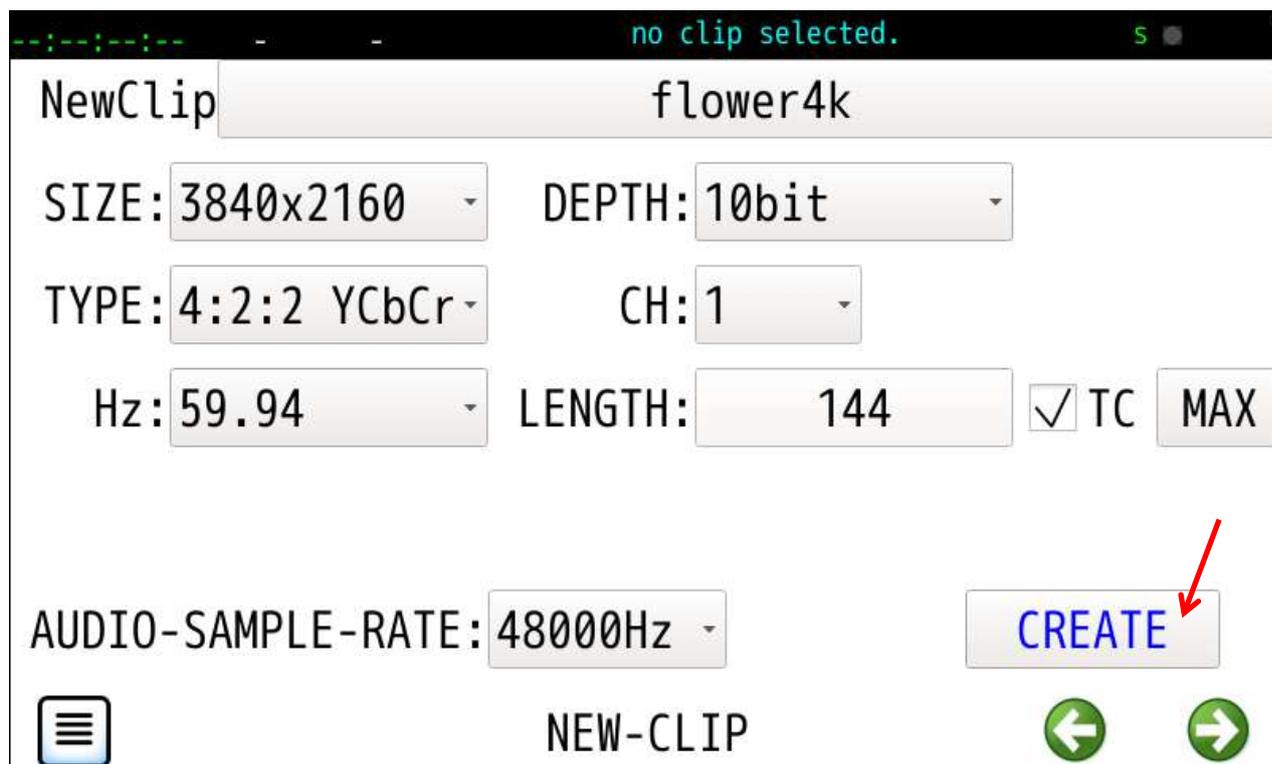
既存クリップの場合は選択後に NEXT をタップしアップロード画面に移動します。



[目次に戻る](#)

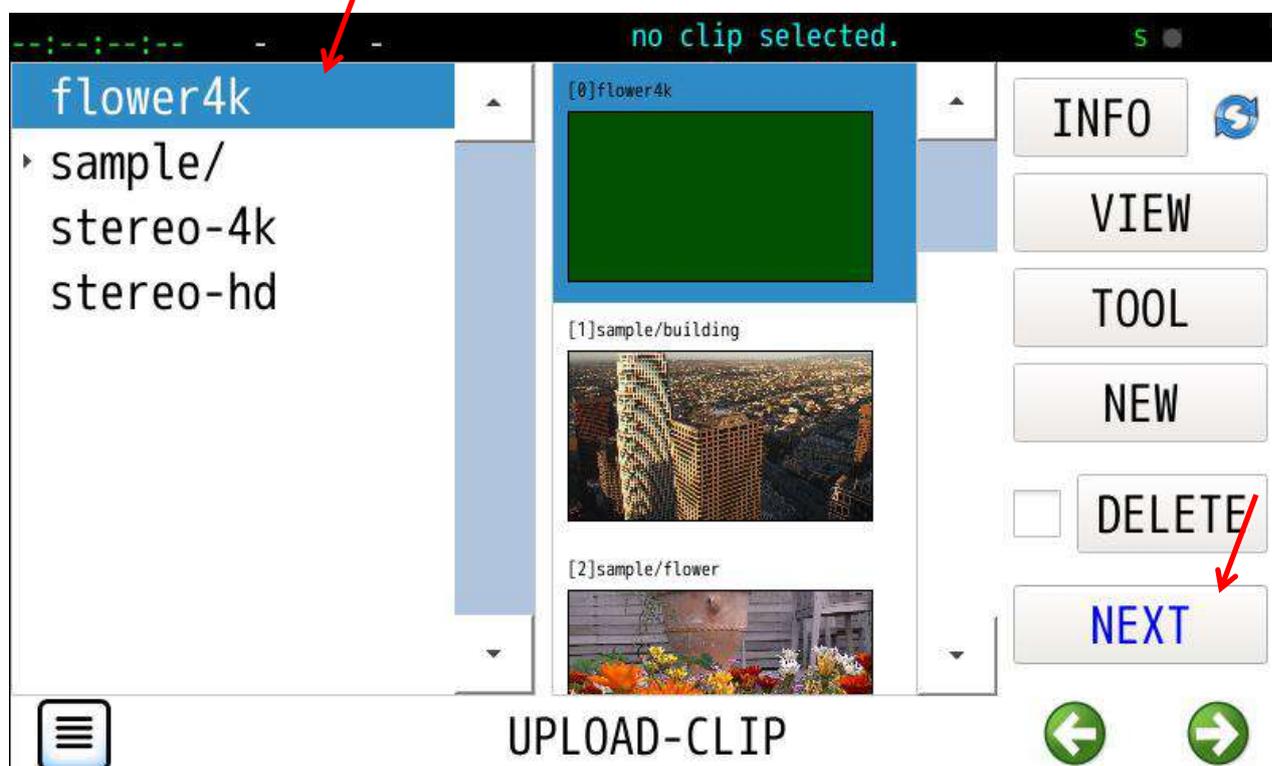
6. 新規クリップ作成

クリップ名・フレーム数等の設定値を修正後 CREATE ボタンをタップします。



7. 新規クリップ選択

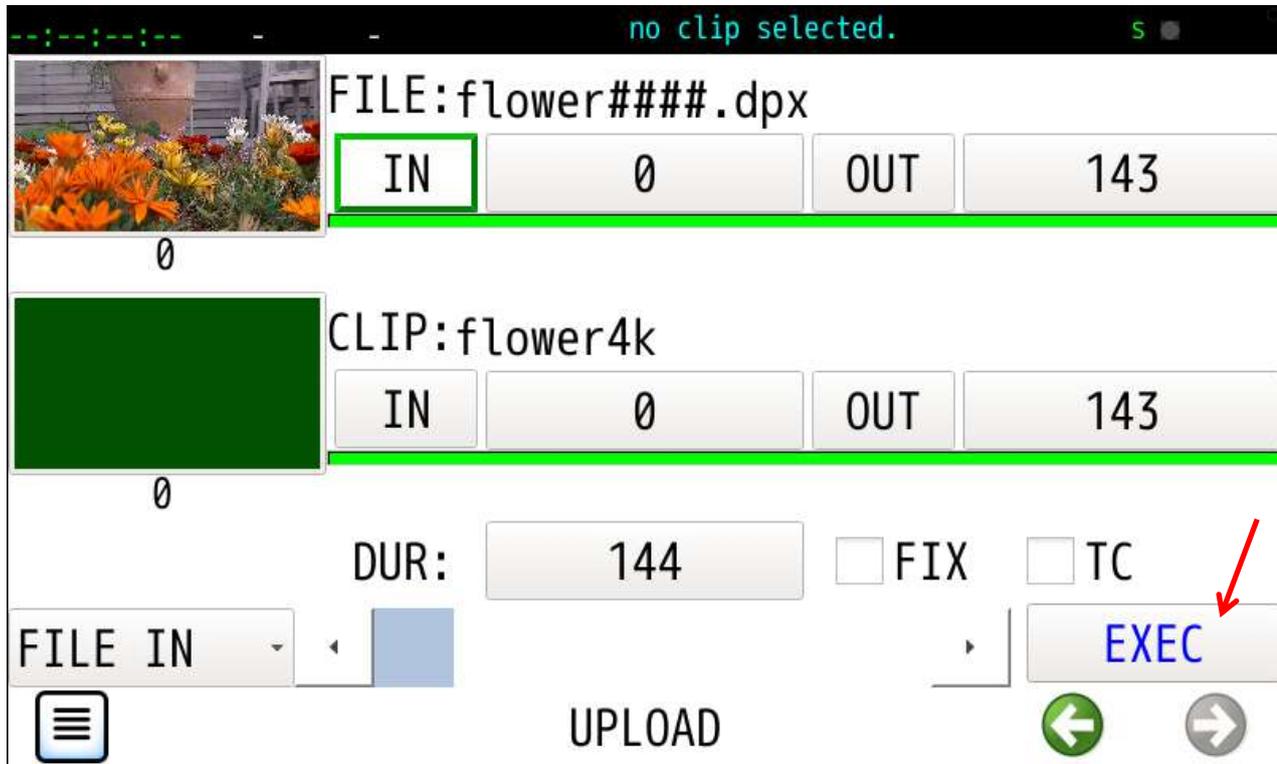
クリップを指定後に NEXT ボタンをタップしアップロード画面に移動します。



[目次に戻る](#)

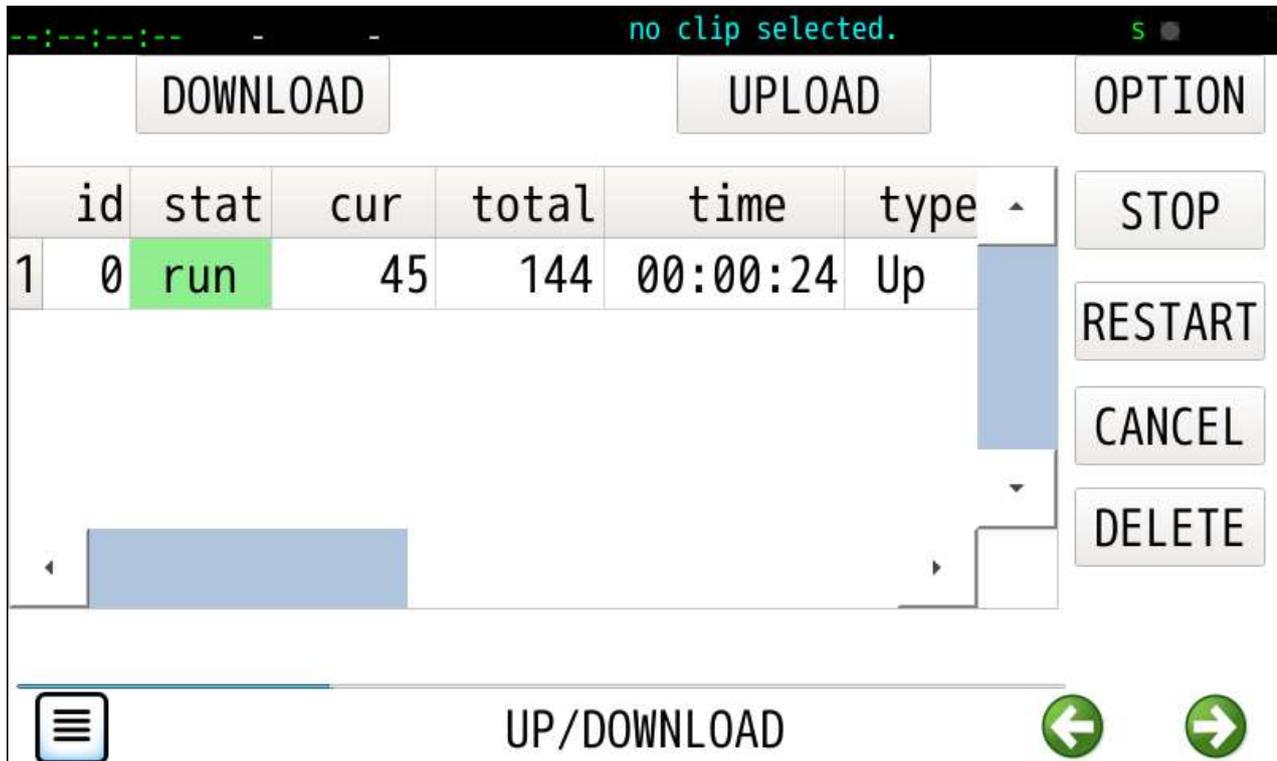
8. 範囲指定

初期値は画像ファイル先頭とクリップ先頭を起点のアップロード可能な最大フレーム数です。
適宜パラメータを修正しEXEC ボタンをタップします。



9. 進捗画面

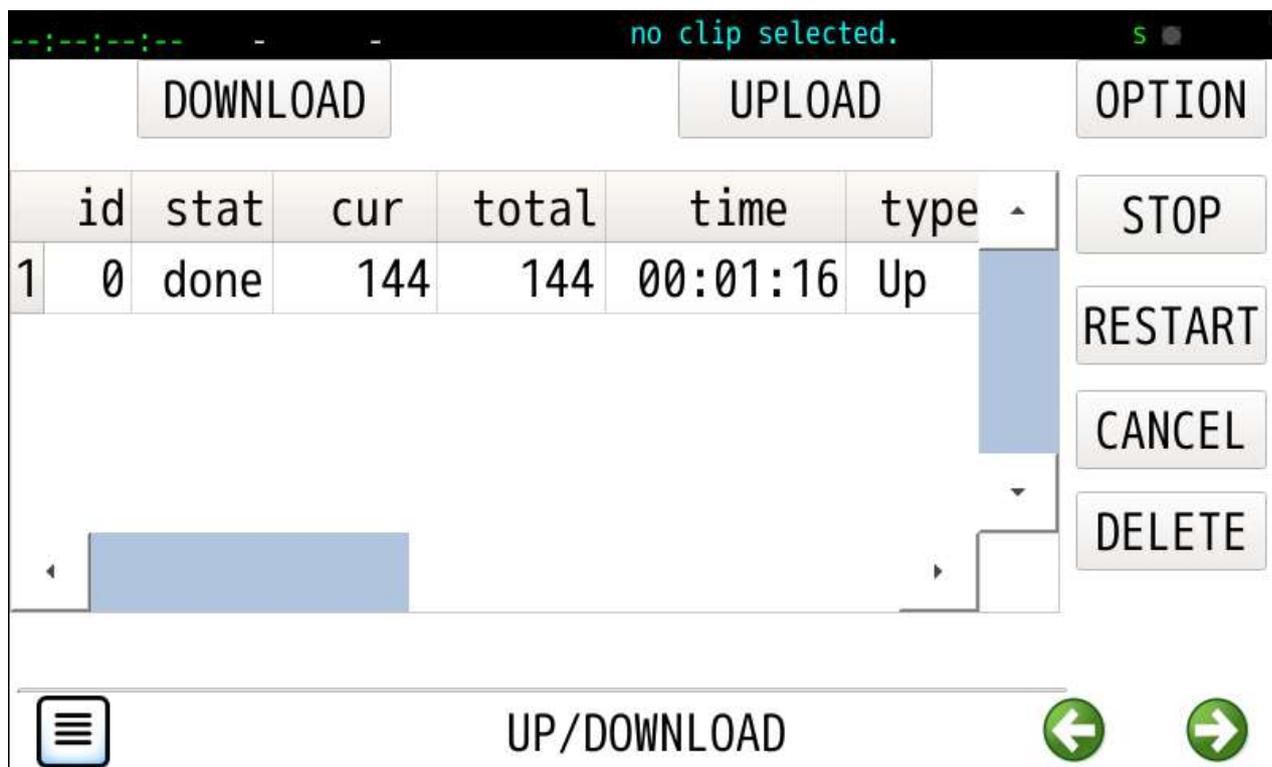
処理実行開始成功で UP/DOWNLOAD 画面に戻ります。



[目次に戻る](#)

10. 処理完了

アップロード処理完了で stat が run から done に変化します。



[目次に戻る](#)

19.2 UPLOAD (音声データ)

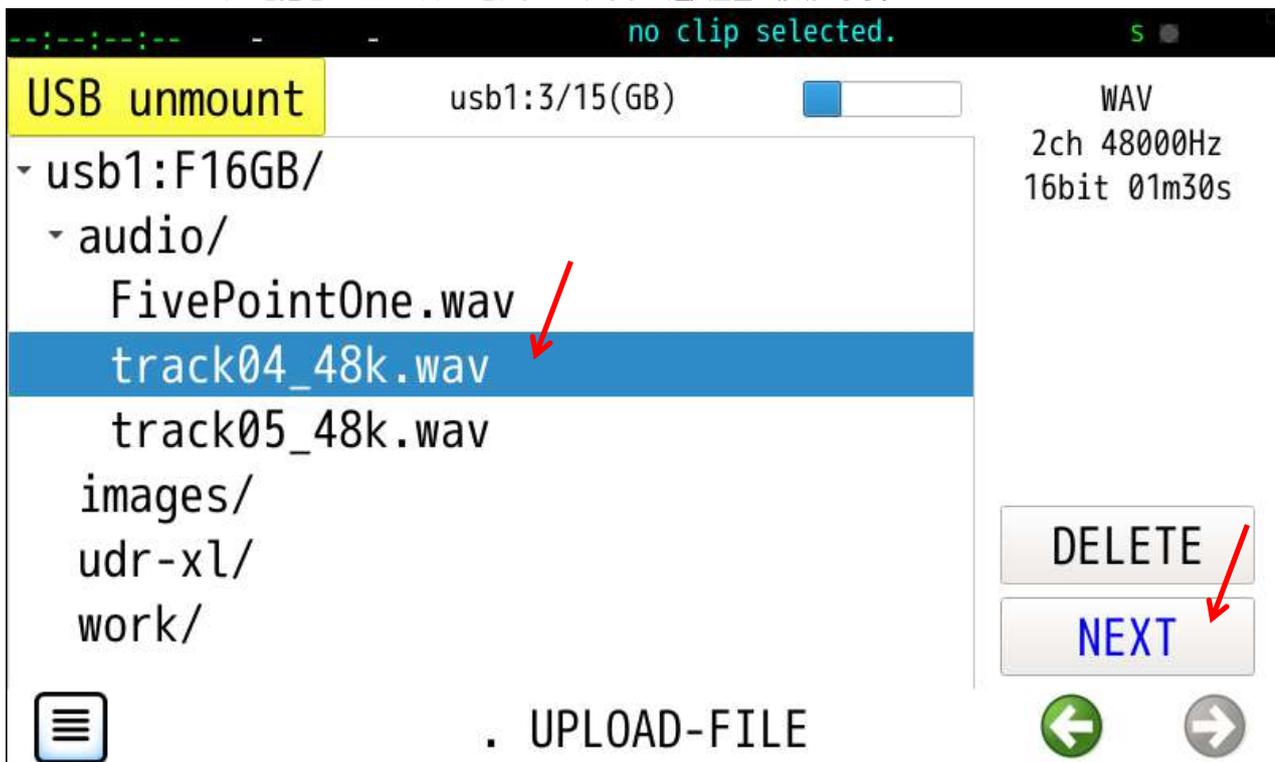
機能

一連の処理を画面単位に進めます

- USB メディアマウント
- WAV ファイル選択 **WAV ファイルフォーマット**
- クリップ選択 (既存クリップまたは新規クリップ作成)
- 転送元と転送先の範囲を指定後、EXEC ボタンで実行開始

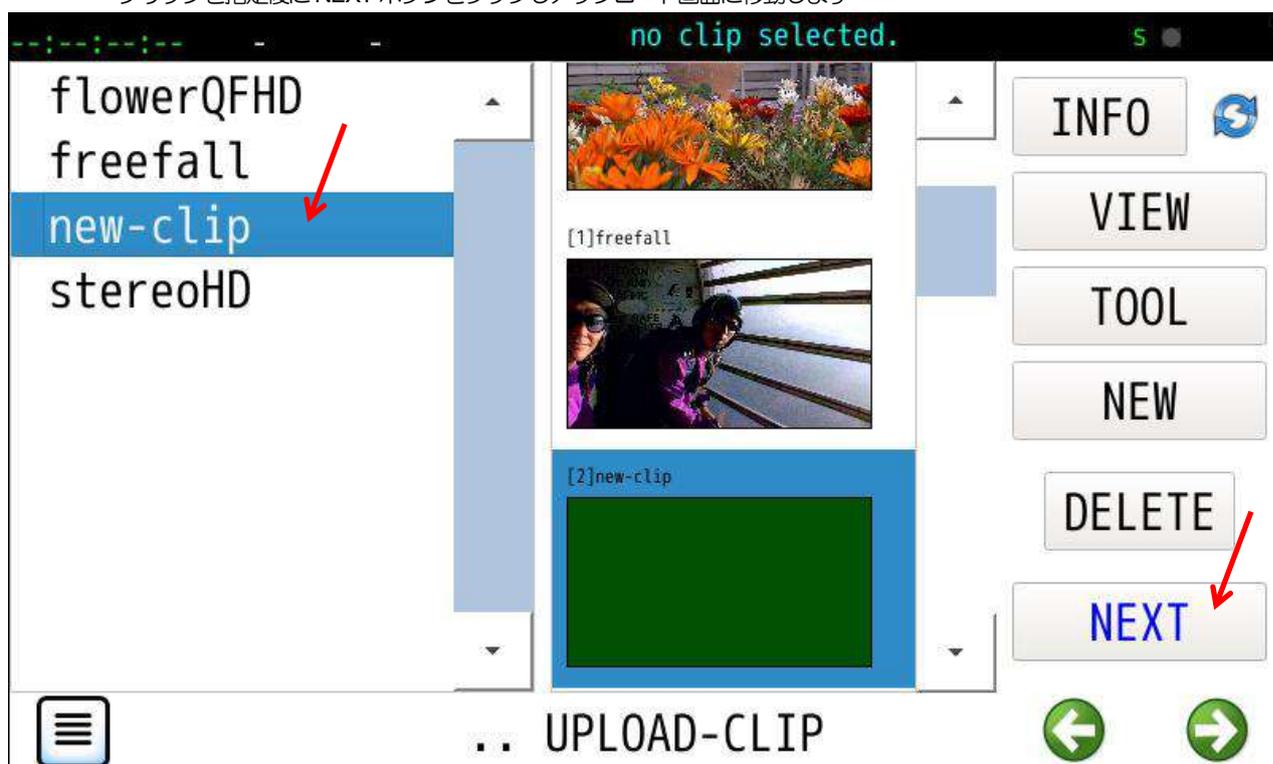
1. WAV ファイル選択

WAV ファイルを指定しNEXT ボタンをタップしクリップ選択画面に移動します。



2. クリップ選択

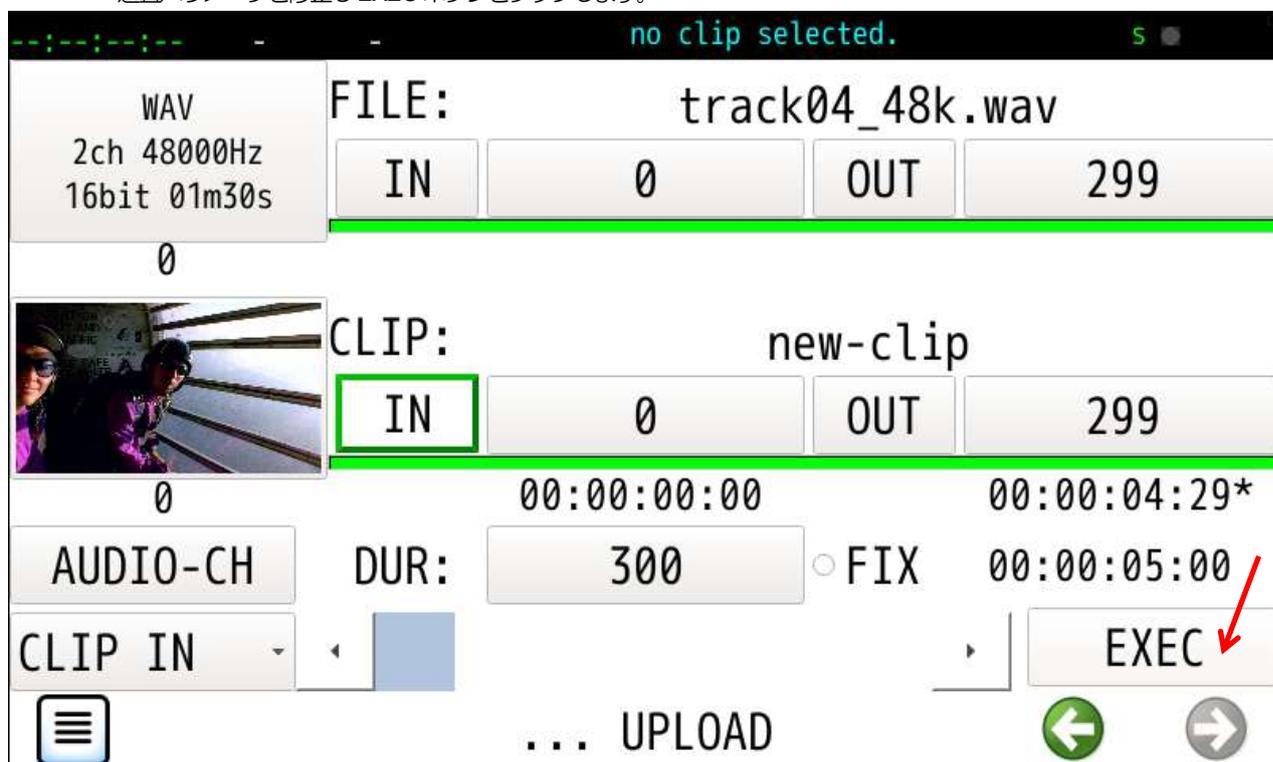
クリップを指定後に NEXT ボタンをタップしアップロード画面に移動します



3. 範囲指定

初期値はWAV ファイル先頭とクリップ先頭を起点にアップロード可能な最大フレーム数です。

適宜パラメータを修正しEXEC ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)

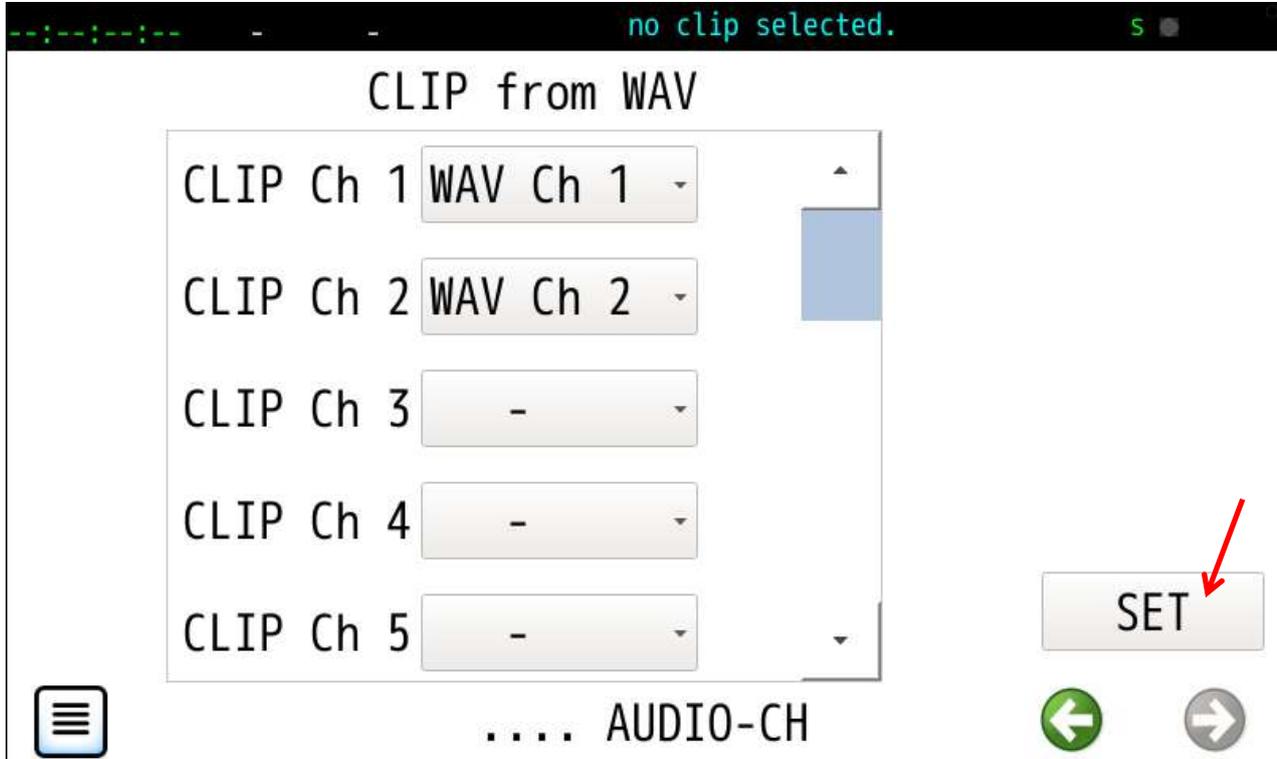
4. チャンネル指定

AUDIO-CH ボタンタップによるアップロード先チャンネルが未指定の場合は

EXEC ボタンタップで自動的に AUDIO-CH 画面に移動します。

初期値はクリップのCh 1 から開始しWAVファイルのチャンネル数が指定されます。

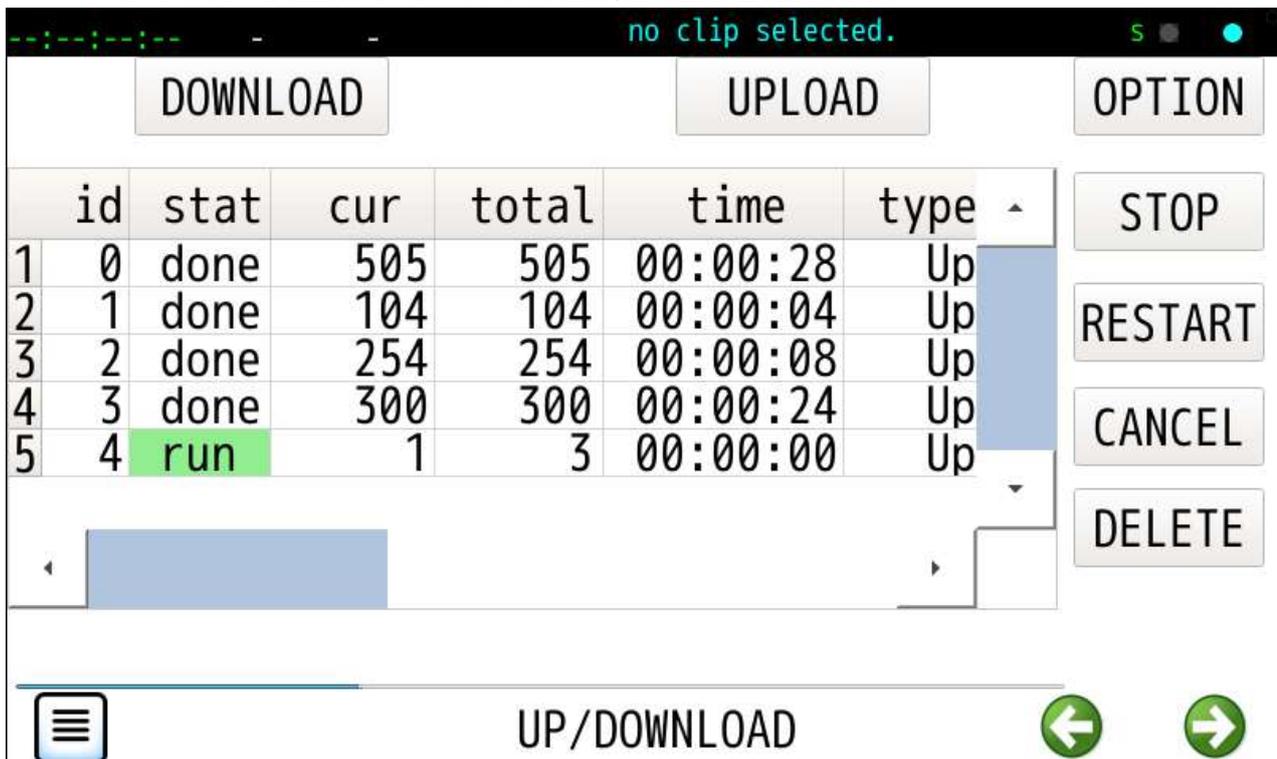
SET ボタンタップで UPLOAD 画面に戻り、次の EXEC ボタンタップでオーディオアップロードを開始します。



5 進捗画面

処理実行開始成功で UP/DOWNLOAD 画面に戻ります。

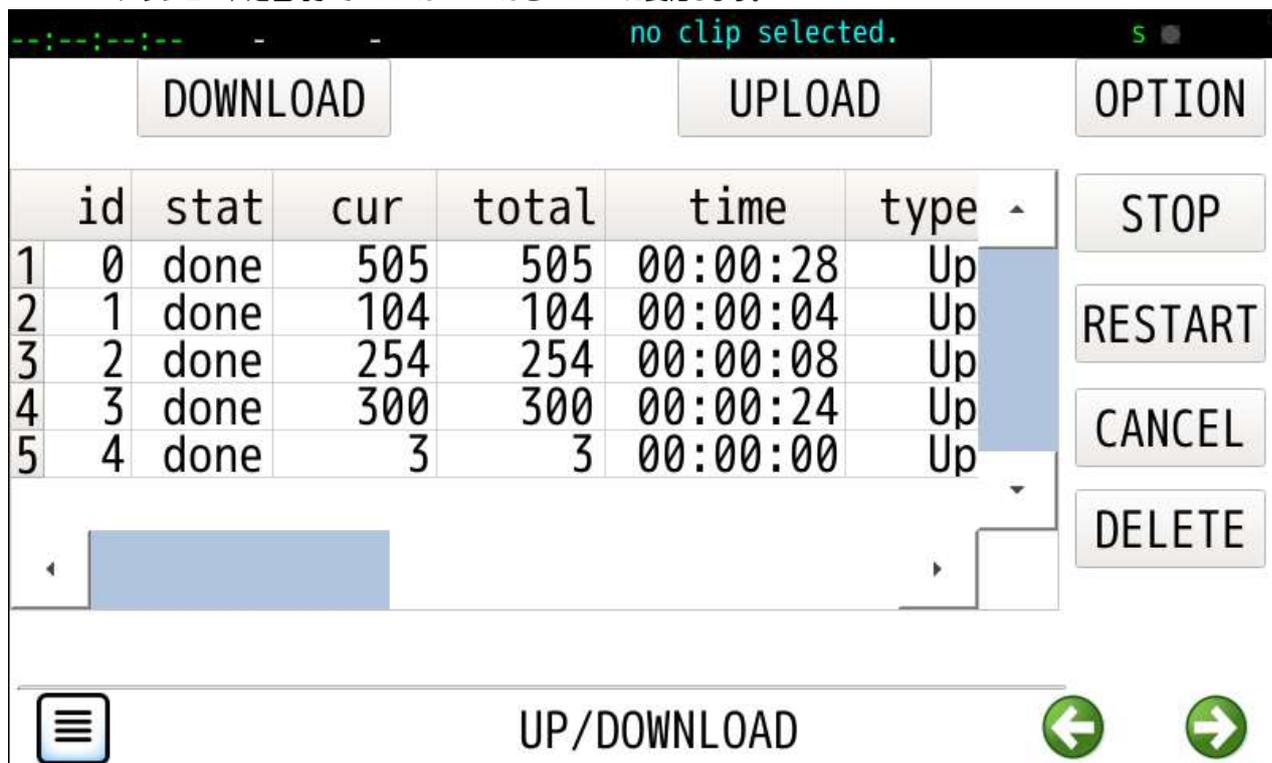
オーディオデータは画像フレーム/バイトサイズ相当単位で進捗数値が変化します。



[目次に戻る](#)

6. 処理完了

アップロード処理完了で stat が run から done に変化します。



no clip selected.

DOWNLOAD		UPLOAD				OPTION	
id	stat	cur	total	time	type		
1	0	done	505	505	00:00:28	Up	
2	1	done	104	104	00:00:04	Up	
3	2	done	254	254	00:00:08	Up	
4	3	done	300	300	00:00:24	Up	
5	4	done	3	3	00:00:00	Up	

STOP
RESTART
CANCEL
DELETE

UP/DOWNLOAD

[目次に戻る](#)

19.3 DOWNLOAD (画像データ)

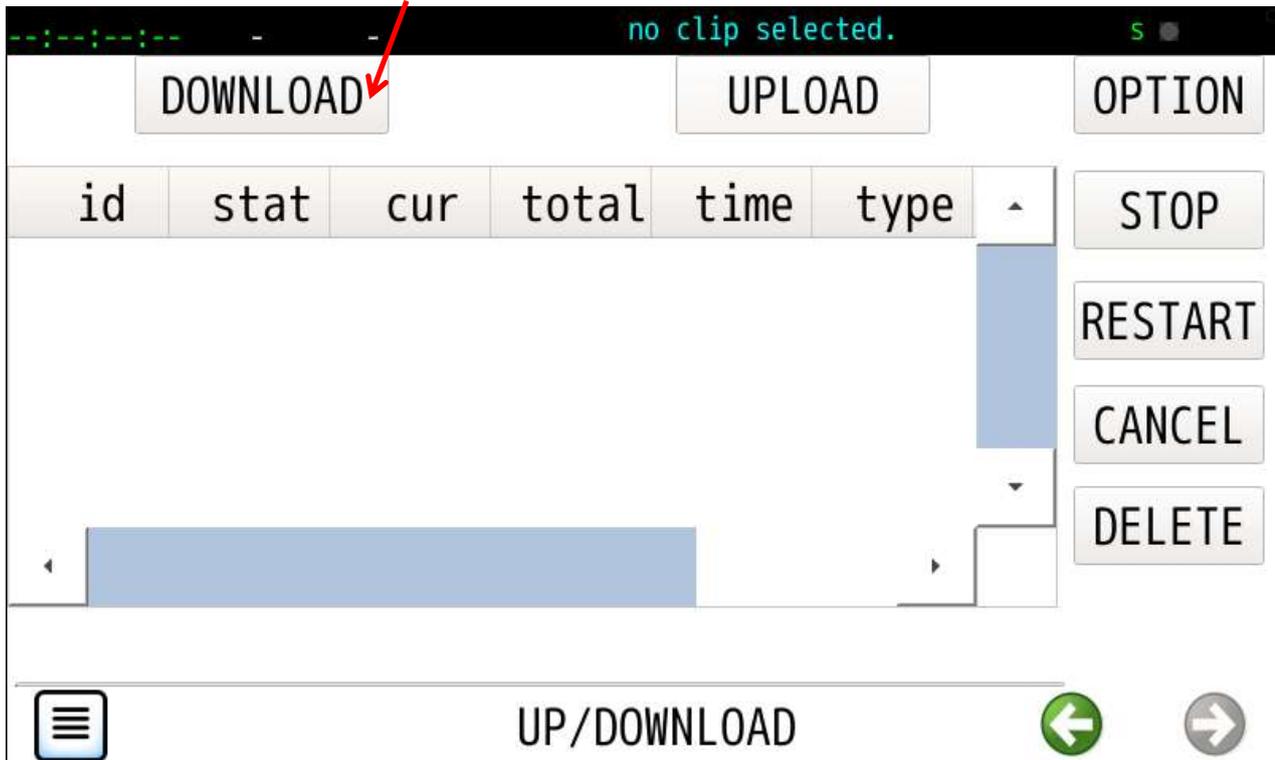
機能

一連の処理を画面単位に進めます。

- USB メディアマウント
- 画像ファイル名指定
- クリップ選択
- 転送元の範囲と転送先の開始連番を指定後、EXEC ボタンで実行開始

1. 開始

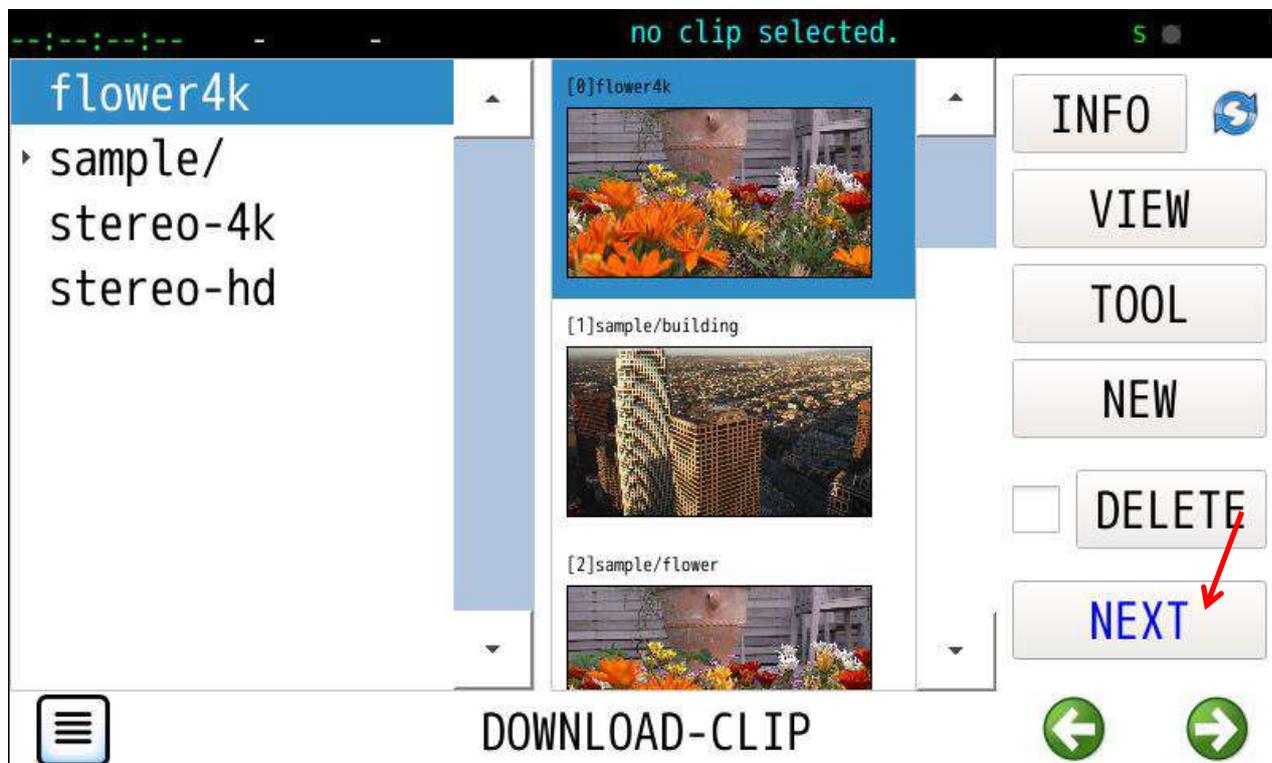
画像・音声ファイル入出力用の最上位のUP/DOWNLOAD 画面で DOWNLOAD ボタンをタップします。



2. クリップ選択

最初にクリップ選択画面に移動します。

クリップ選択後にNEXTボタンをタップし画像ファイル選択画面に移動します。



※PREFERENCES のWARN-MESSAGE をON に設定した状態で、USB メディアがマウントされていない場合は次のメッセージが出ます。左矢印ボタンをタップして画像ファイル選択開始へ進みます。

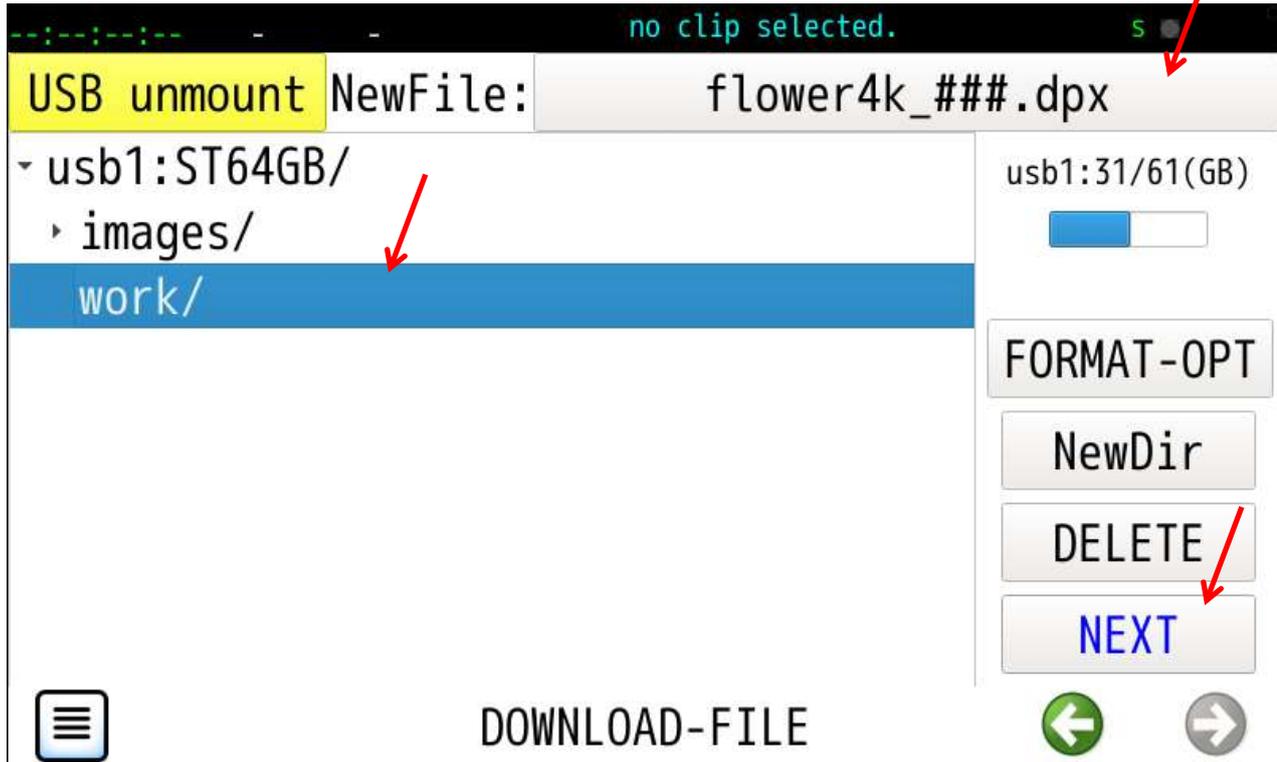


3. ファイル指定

USB メディア未接続の場合、次の画面のように USB mount ボタン背景色がライトグレーです。
USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから USB mount ボタンをタップします。



ダウンロード先のディレクトリおよびファイル名を指定して、NEXT ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)

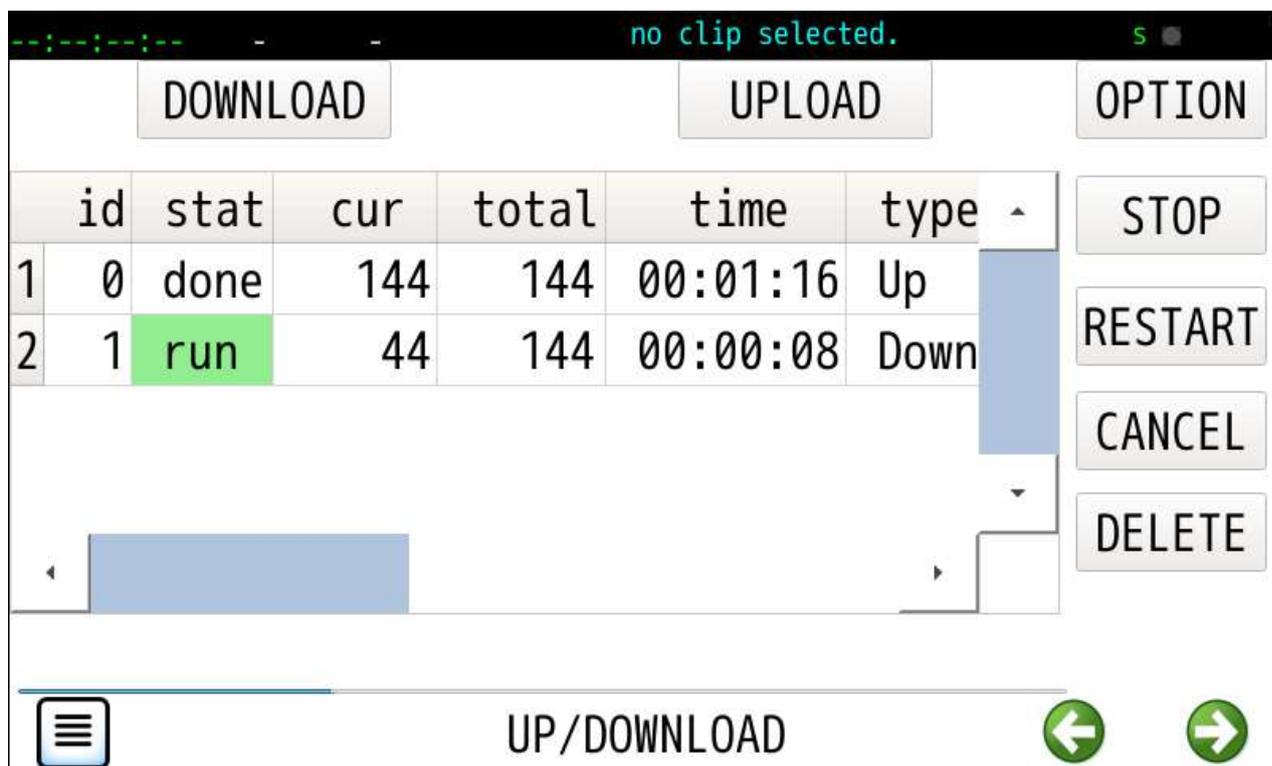
4. 範囲指定

初期値はクリップのフレーム数です。
適宜パラメータを修正しEXEC ボタンをタップします。



5. 進捗画面

処理実行開始成功で UP/DOWNLOAD 画面に戻ります。



[目次に戻る](#)

6. 処理完了

ダウンロード処理完了で stat が run から done に変化します。

The screenshot shows a control panel interface with a table of tasks. At the top, there are buttons for 'DOWNLOAD', 'UPLOAD', and 'OPTION'. The table has columns for 'id', 'stat', 'cur', 'total', 'time', and 'type'. The first row shows an upload task (id: 0, stat: done, time: 00:01:16). The second row shows a download task (id: 1, stat: done, time: 00:03:04). To the right of the table are buttons for 'STOP', 'RESTART', 'CANCEL', and 'DELETE'. At the bottom, there is a menu icon, the text 'UP/DOWNLOAD', and two green arrow buttons.

id	stat	cur	total	time	type	
1	0	done	144	144	00:01:16	Up
2	1	done	144	144	00:03:04	Down

[目次に戻る](#)

19.4 DOWNLOAD (音声データ)

機能

一連の処理を画面単位に進めます。

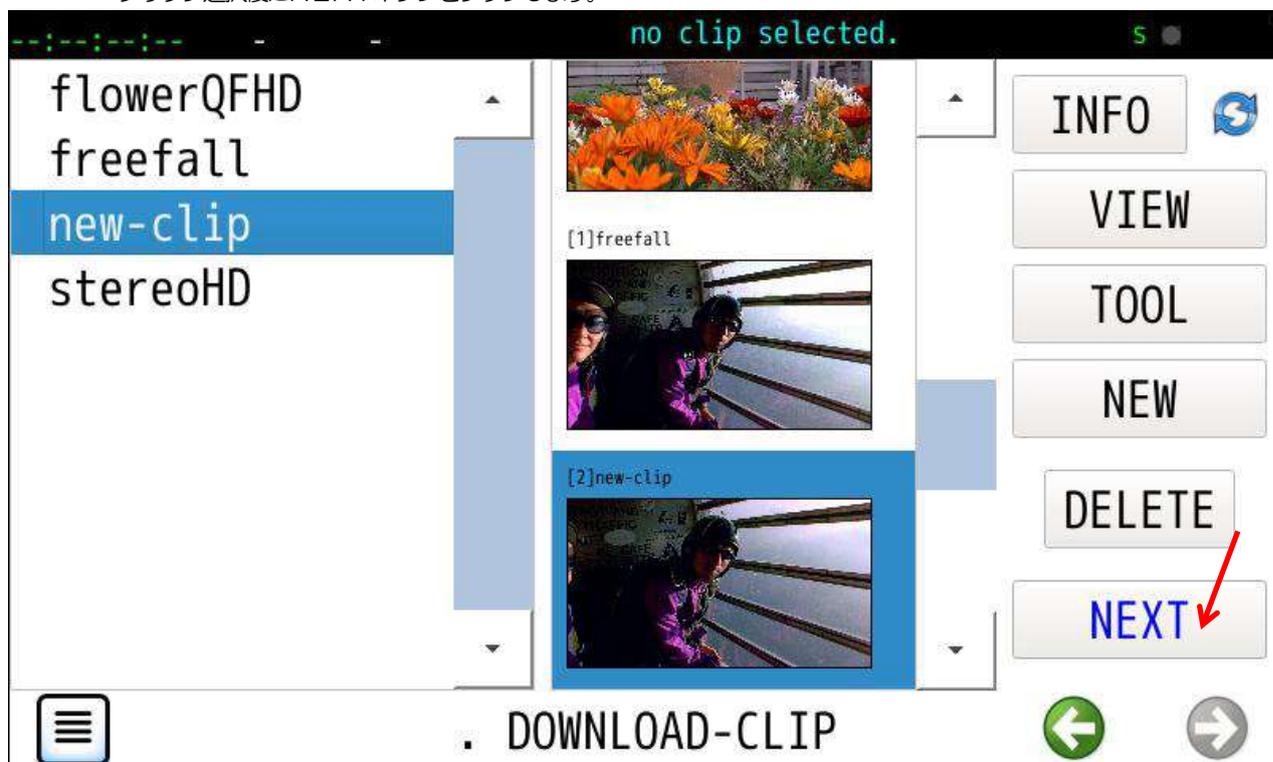
- USB メディアマウント
- WAV ファイル名指定
- クリップ選択
- 転送元の範囲を指定後、EXEC ボタンで実行開始

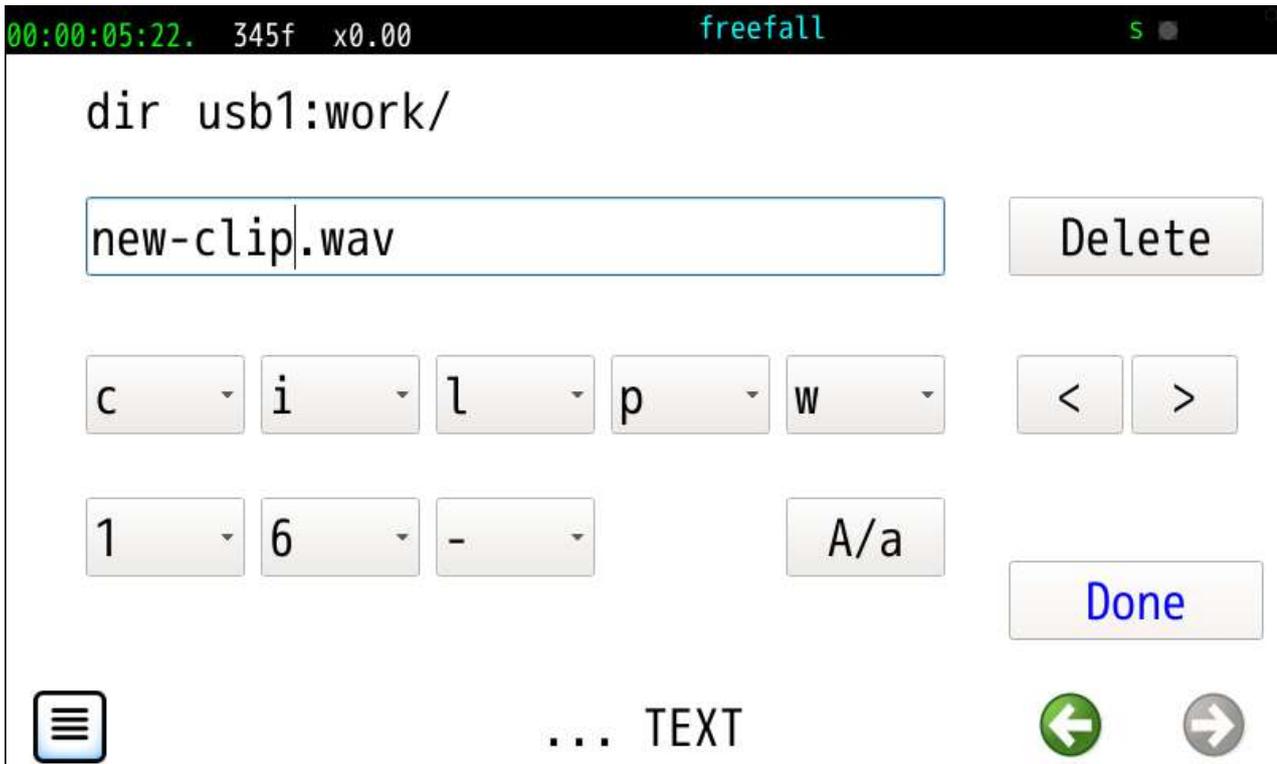
1 回のダウンロード処理で1 ファイル複数チャンネルのWAVファイルが生成されます。

1.

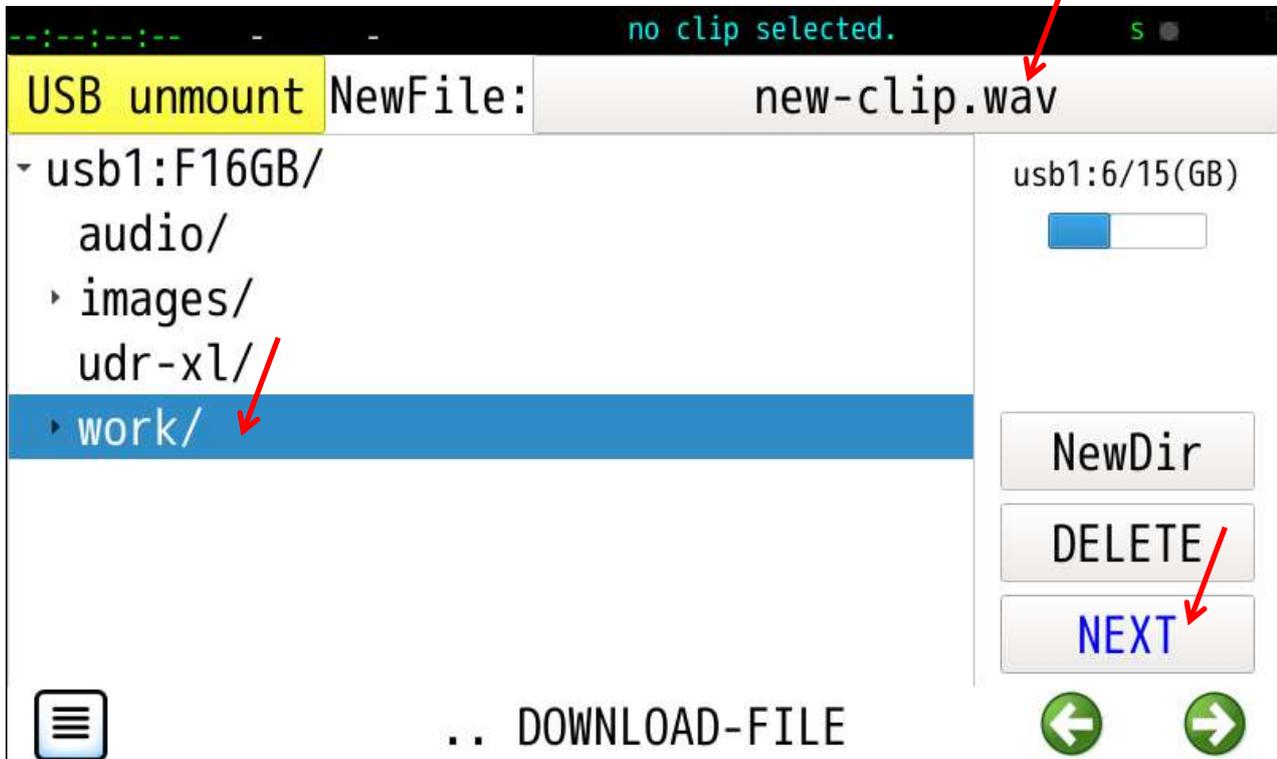
DOWNLOADボタンタップでクリップ選択画面に移動します。

クリップ選択後にNEXTボタンをタップします。



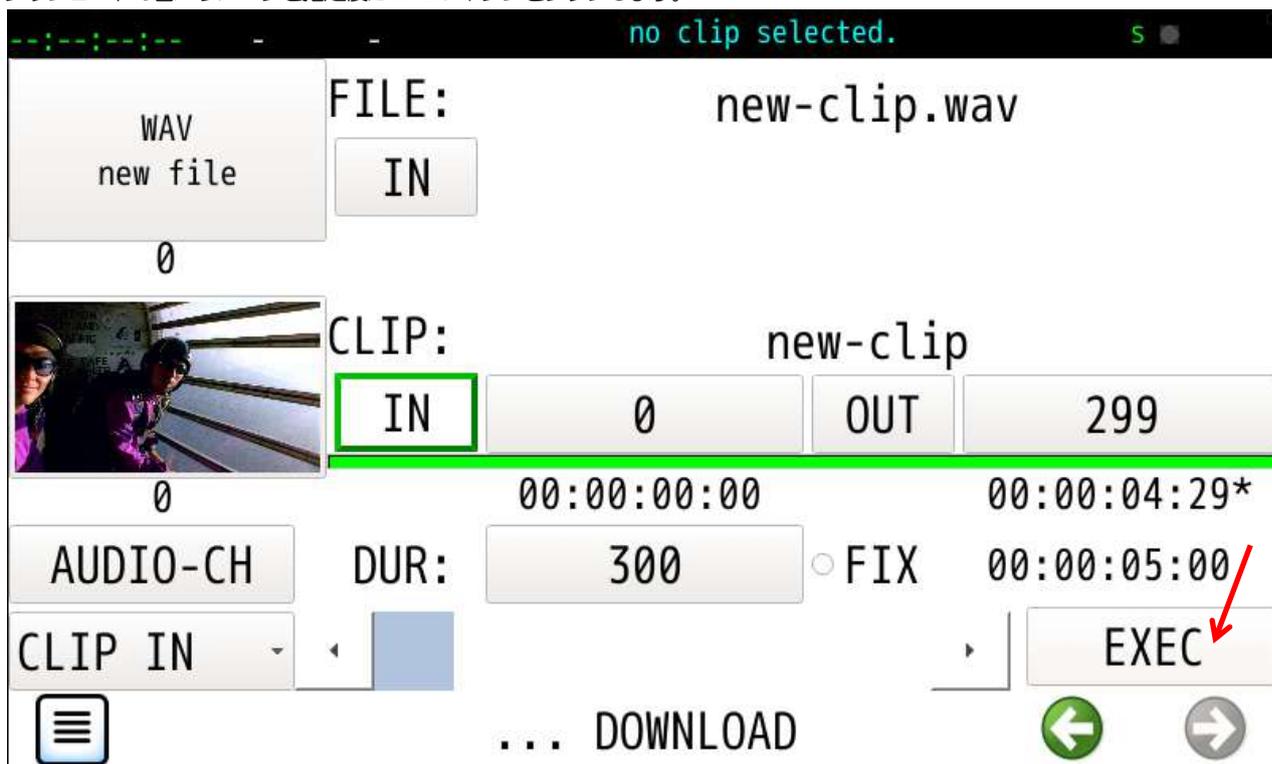


格納ディレクトリ選択とNewFile名指定後にNEXTボタンをタップします。

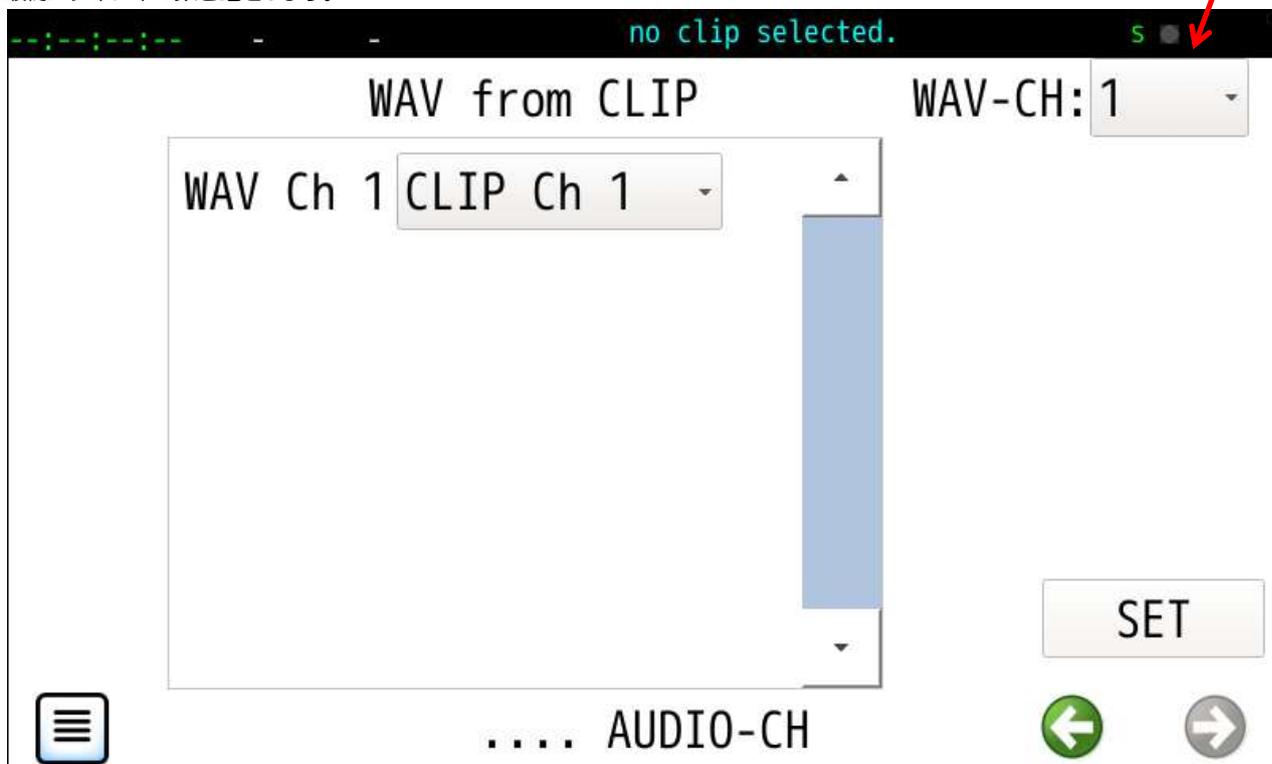


[目次に戻る](#)

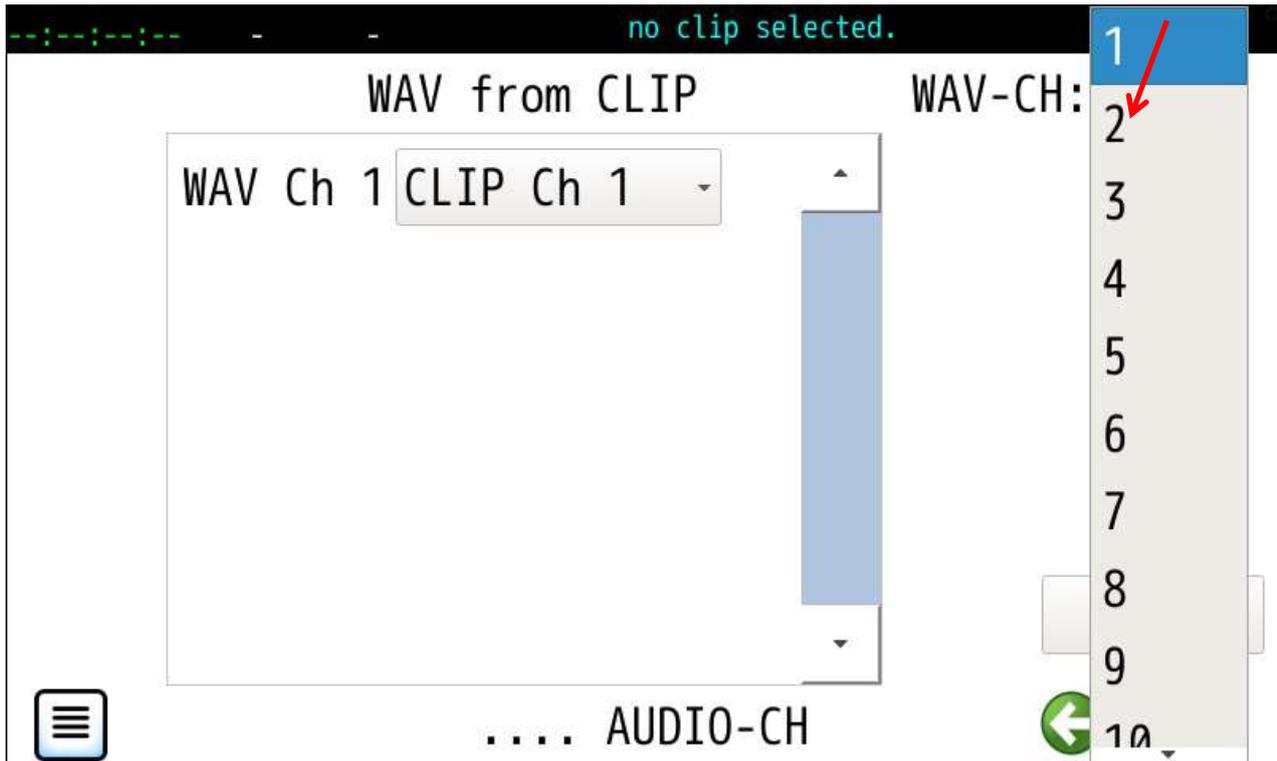
ダウンロードの各パラメータを指定後に EXEC ボタンをタップします。



ダウンロードするオーディオチャンネル数とチャンネル番号を指定します。
最初にチャンネル数を確定します。

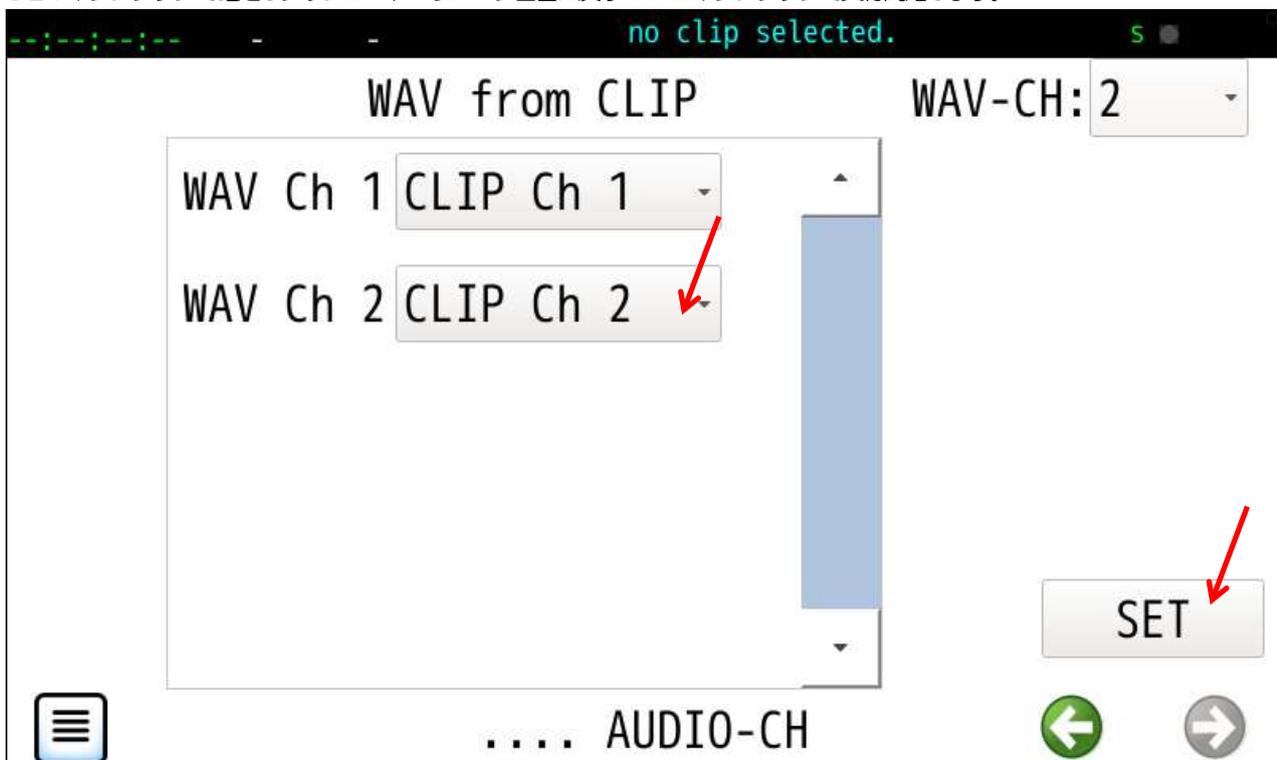


[目次に戻る](#)



指定チャンネル数の設定画面に変わります。

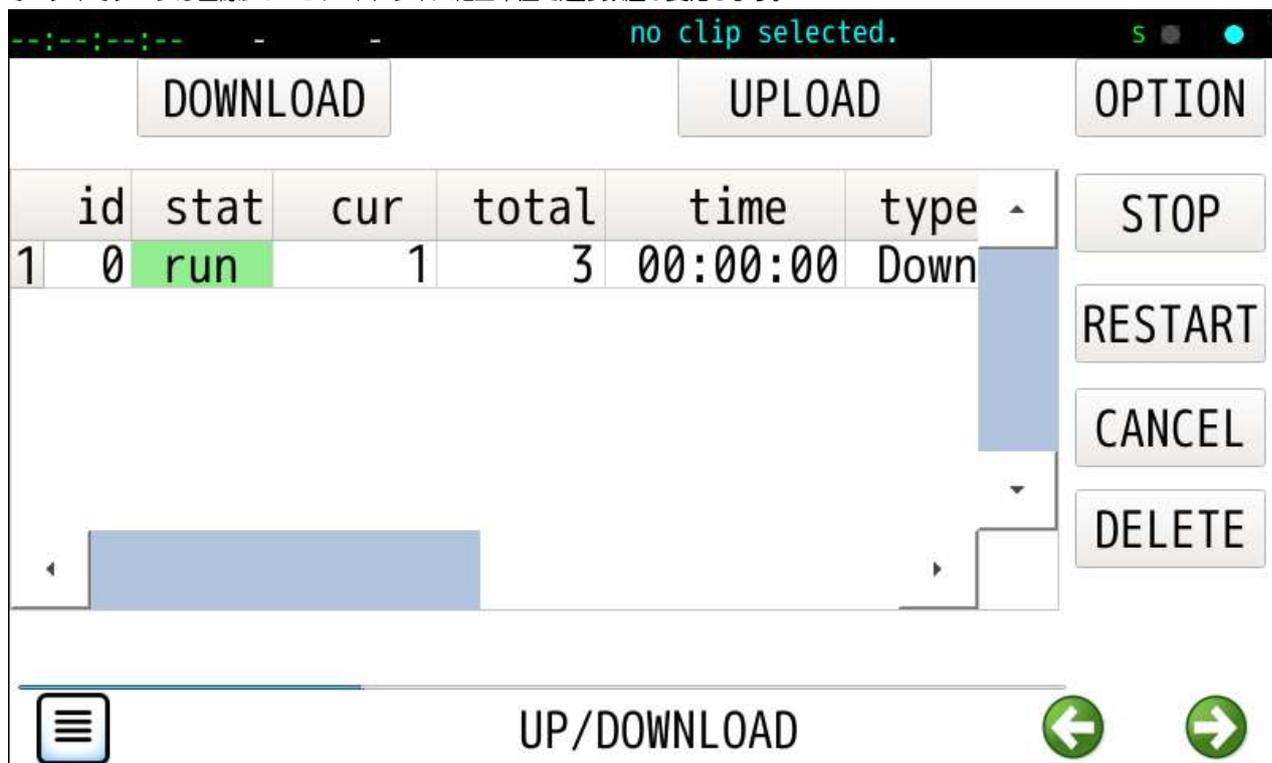
SET ボタンタップで確定しダウンロードパラメータ画面に戻り EXEC ボタンタップで実行開始します。



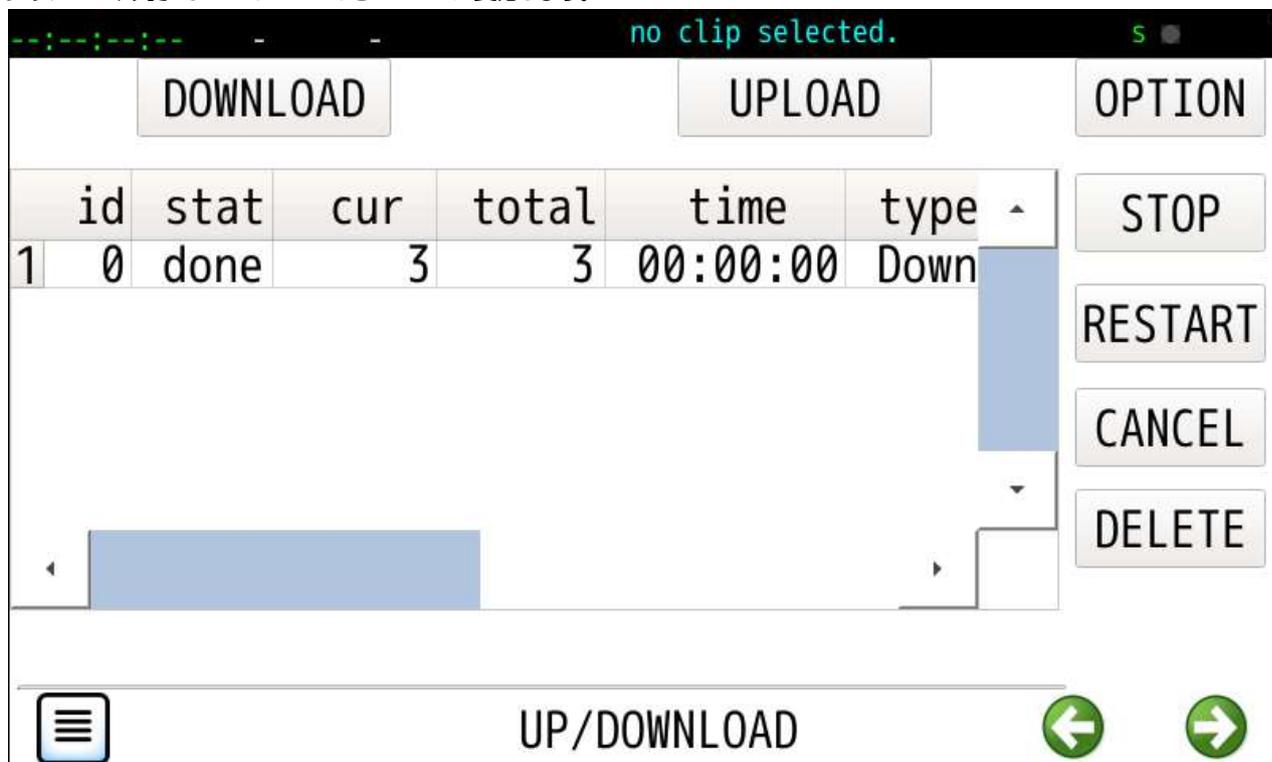
[目次に戻る](#)

ダウンロードを開始し進捗状況が表示されます。

オーディオデータは画像フレームバイトサイズ相当単位で進捗数値が変化します。



ダウンロード完了で stat が run から done に変化します。



[目次に戻る](#)

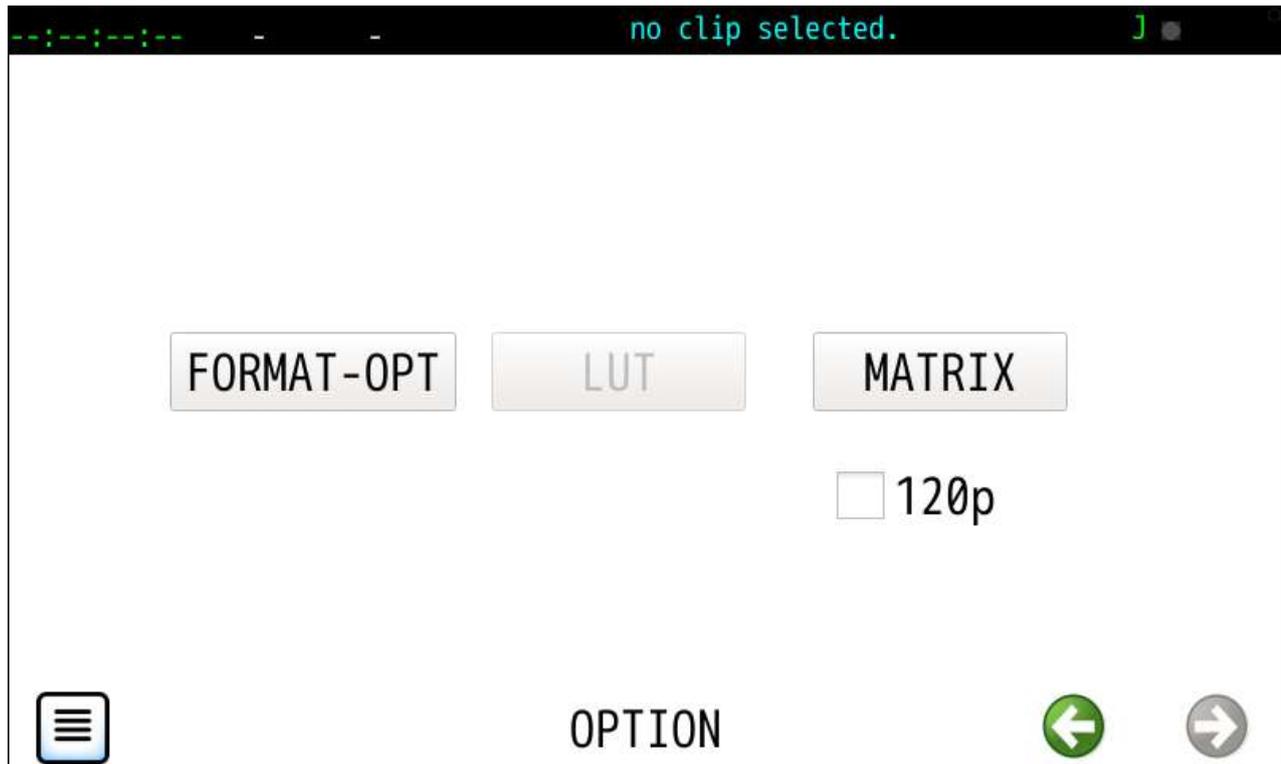
20 OPTION 画面

操作画面

OPTION

機能

画像ファイルのアップロードおよびダウンロードで利用の設定項目を選択します。



MATRIX

カラーマトリックス指定

FORMAT-OPT

各画像ファイルフォーマットオプション指定

120p

2ch クリップの 120p アップロード・ダウンロードモード指定

[目次に戻る](#)

20.1 MATRIX-OPTION 画面

操作画面

FILE-OPT > MATRIX

機能

画像ファイルのアップロードおよびダウンロードで利用のマトリックス係数を指定します。

マトリックス係数は画像ファイルとクリップのデータタイプ 4:2:2/4:4:4 が異なる場合に参照されます。

チェックボックスがオフでデフォルトのBT709になります。



チェックボックスがオンでBT709の明示的な指定になります。



チェックボックスがオンでBT2020の明示的な指定になります。



[目次に戻る](#)

20.2 FORMAT-OPTION 画面

操作画面

FILE-OPT > FORMAT-OPT

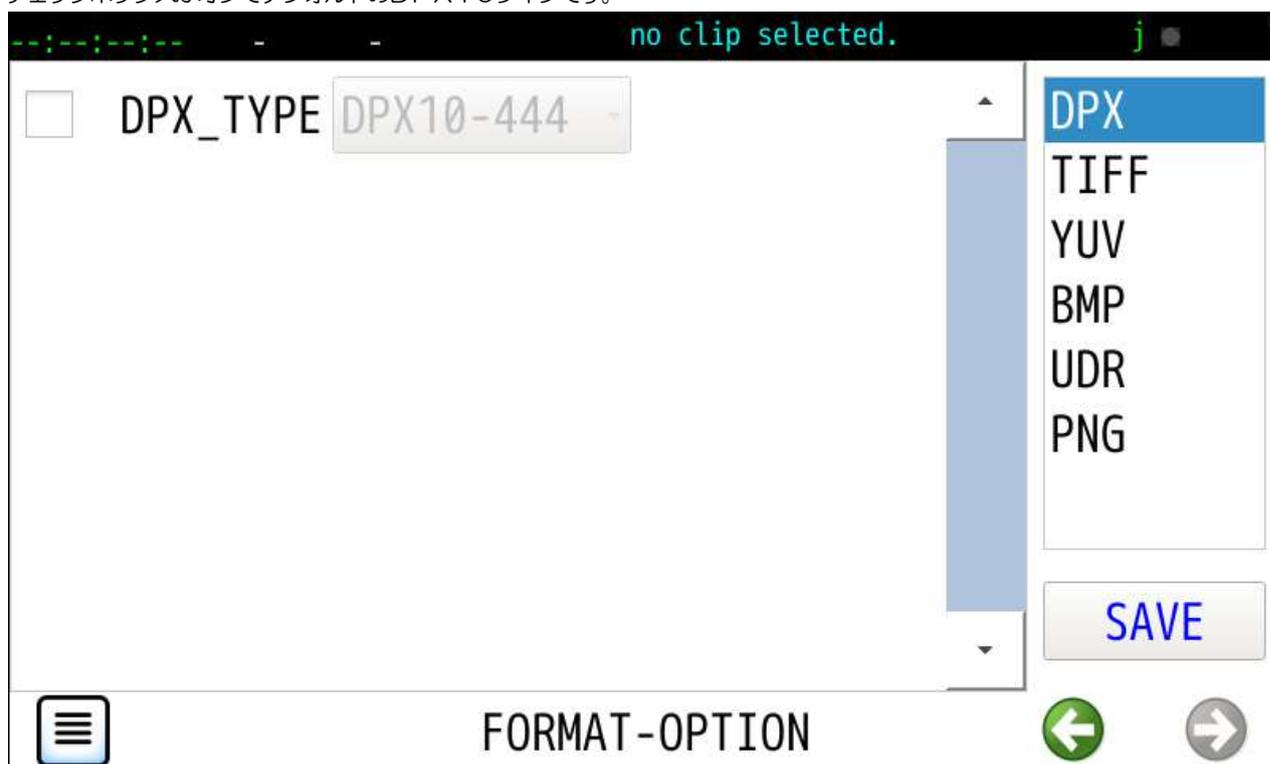
機能

ダウンロードする画像ファイルのタイプを指定します。
YUV のみアップロード時のタイプ指定にも利用します。
次の画像フォーマットファイルに対応します。

- **DPX**
- **TIFF**
- **YUV**
- **UDR**
- BMP (オプションはありません)
- PNG (オプションはありません)

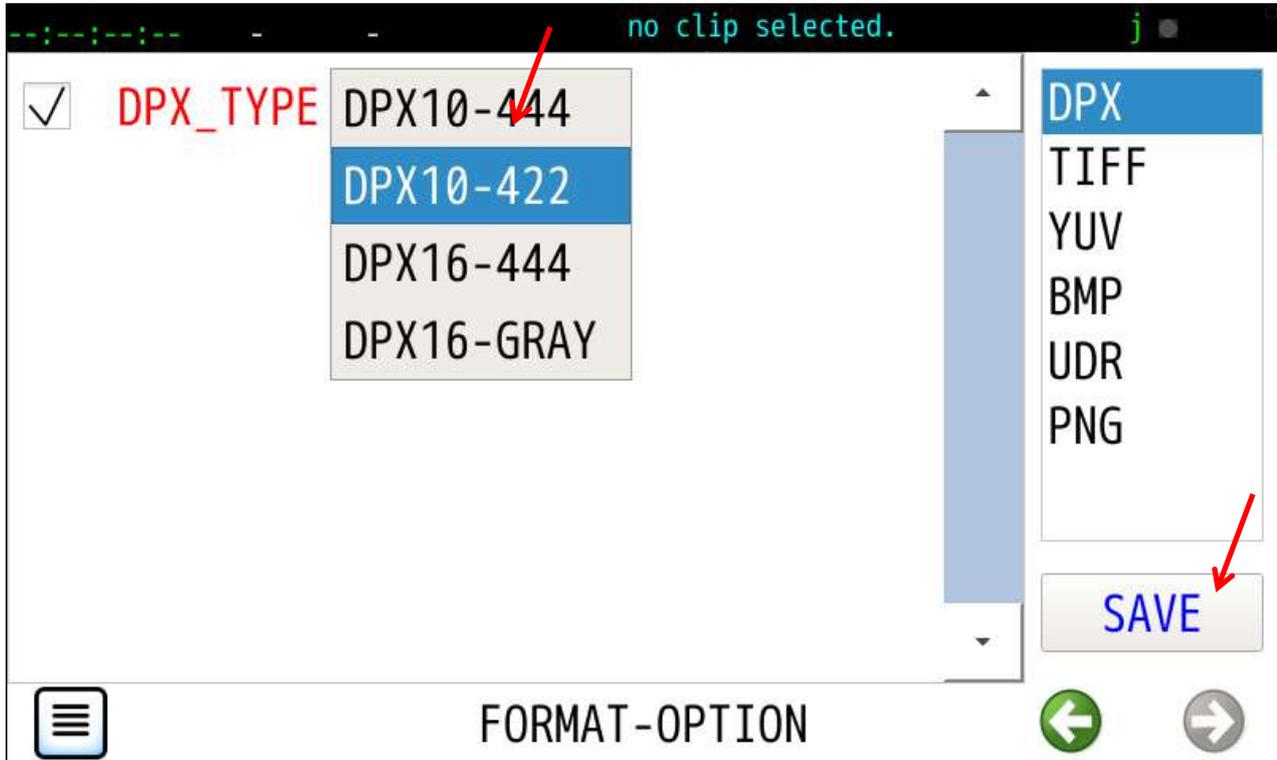
20.2.1 DPX

チェックボックスがオフでデフォルトのDPX10タイプです。

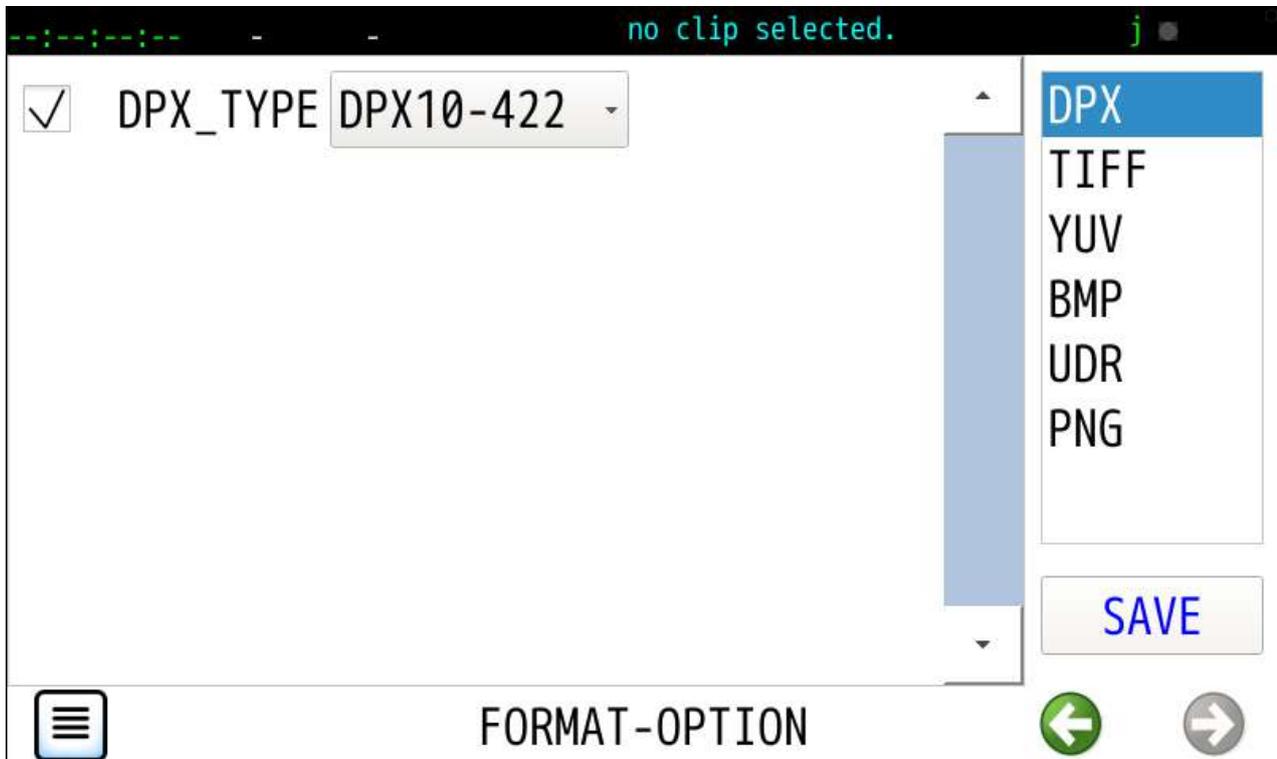


[目次に戻る](#)

チェックボックスオンで4種類のタイプが選択できます。
SAVE ボタンタップで確定します。



DPX10bit-422 指定

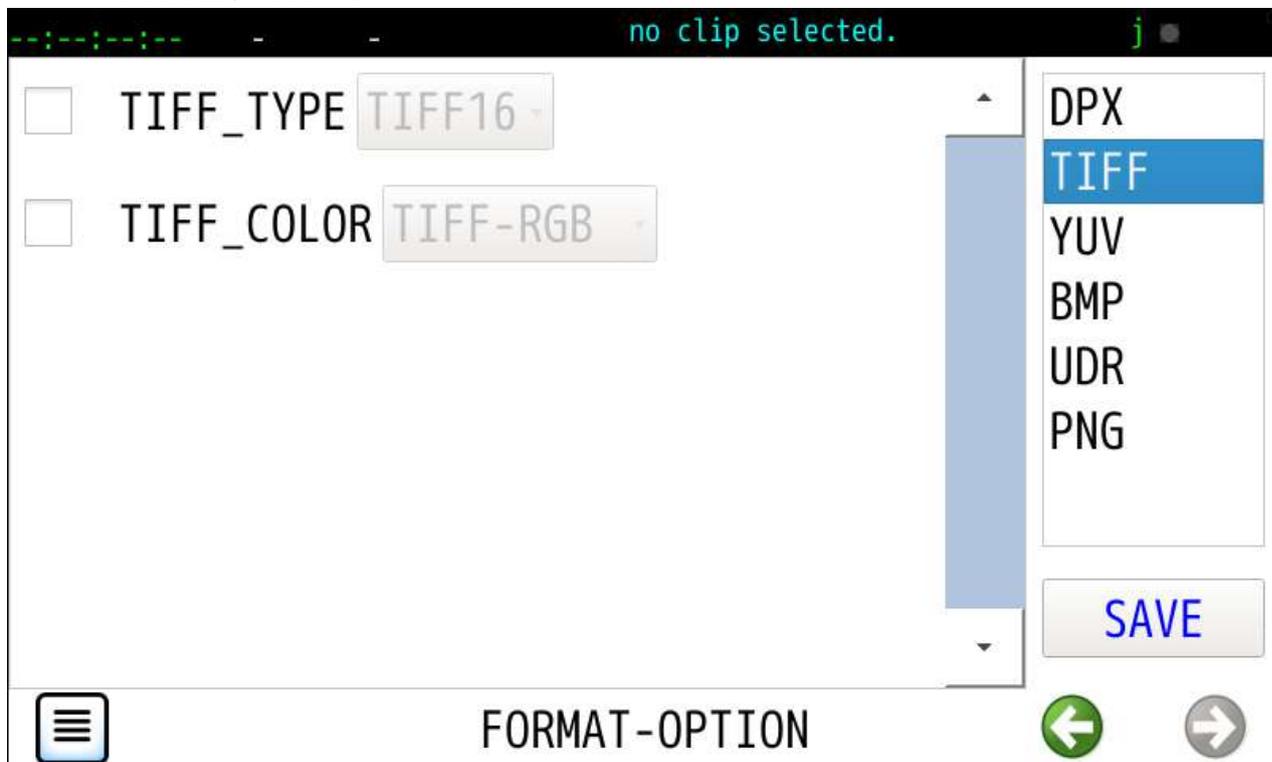


[目次に戻る](#)

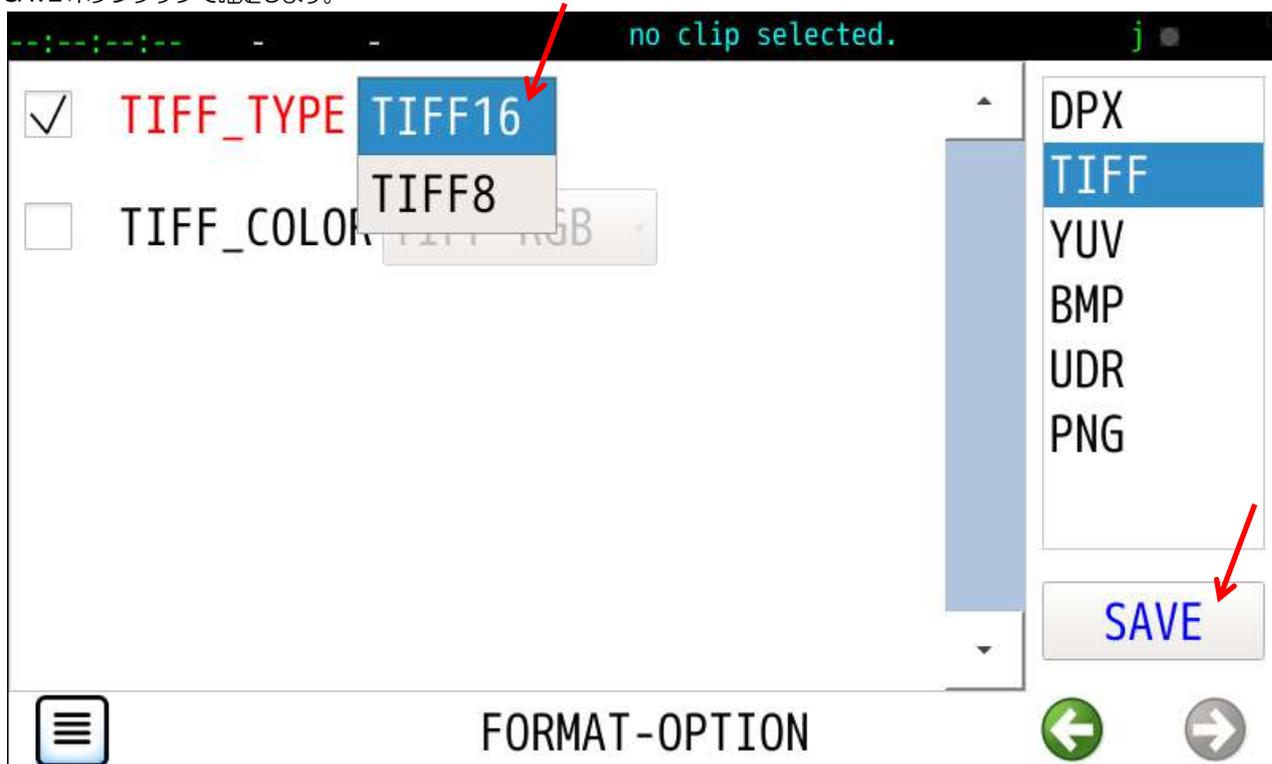
20.2.2 TIFF

チェックボックスがオフでは次のダウンロードデータタイプになります。

クリップ画素ビット数8	TIFF8
クリップ画素ビット数10/12	TIFF16

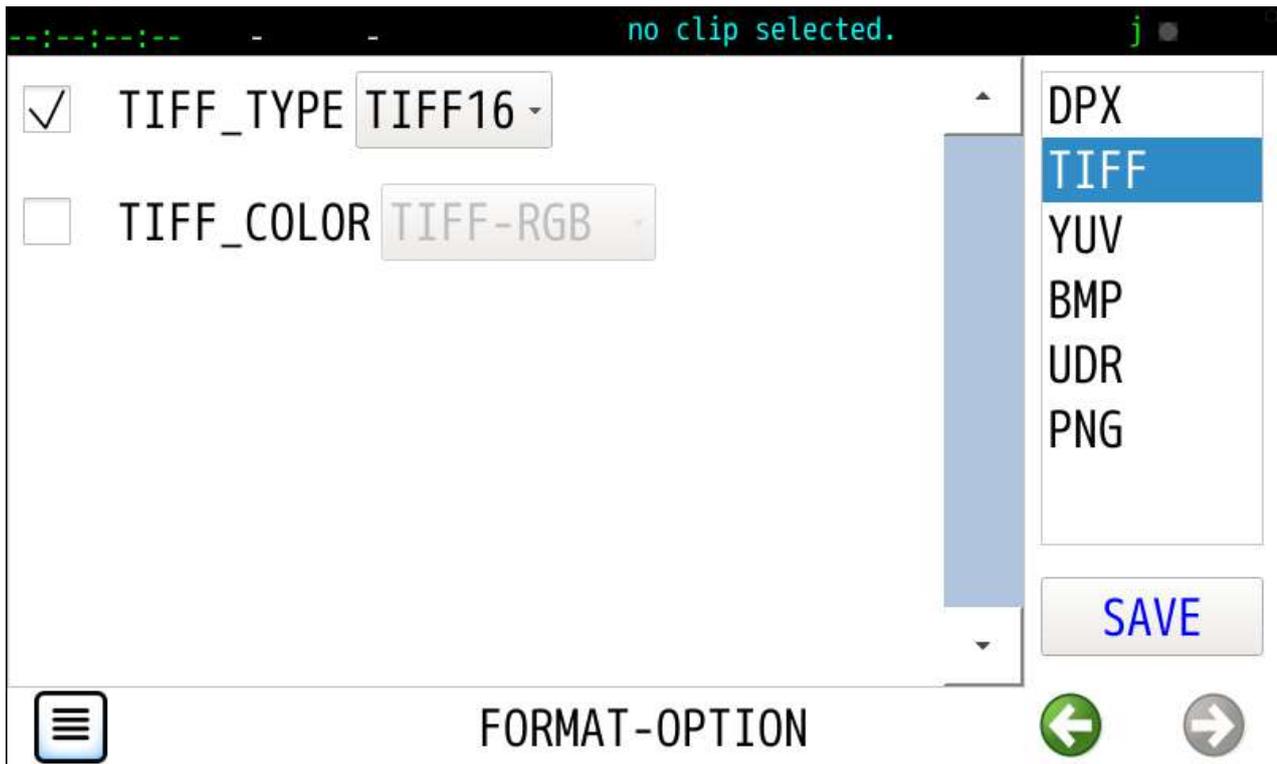


チェックボックスオンで2種類のタイプが選択できます。
SAVE ボタンタップで確定します。

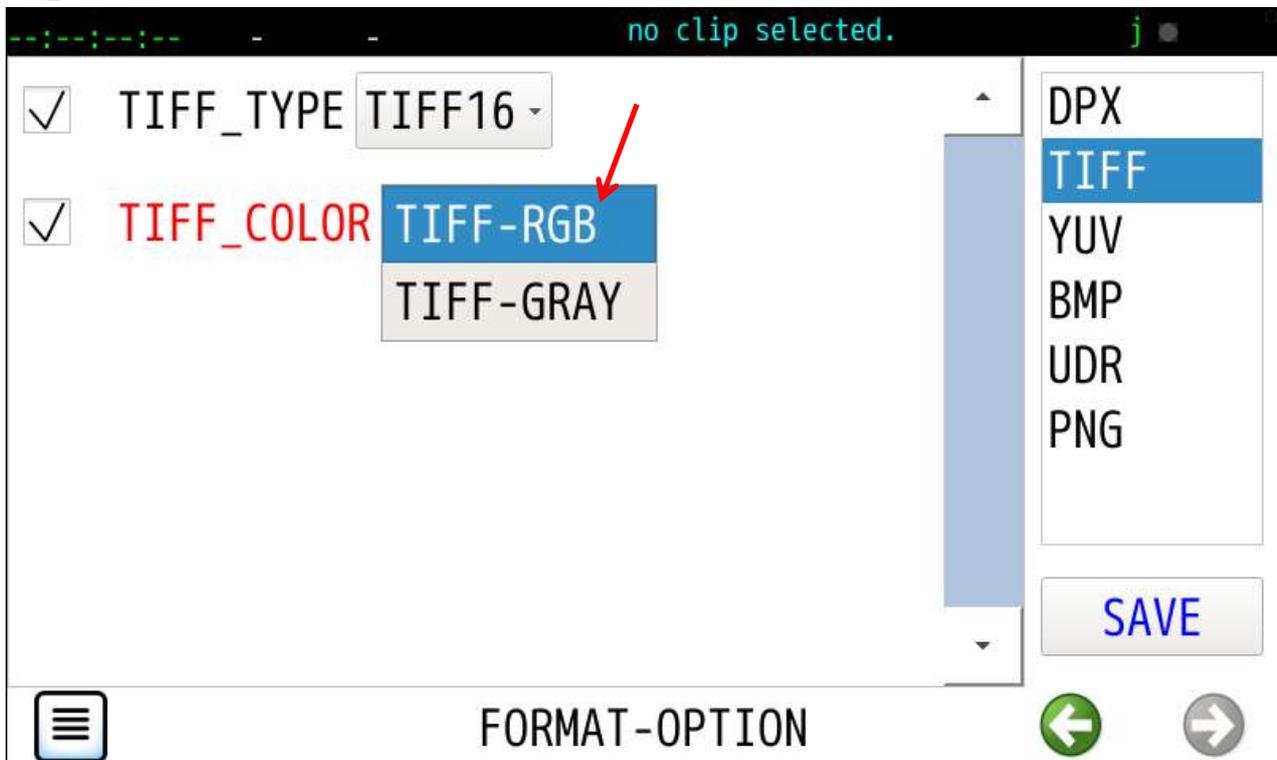


[目次に戻る](#)

TIFF16 固定



TIFF_COLOR のチェックボックスは、オンでRGB とグレースケールを選択できます。（オフはRGB）



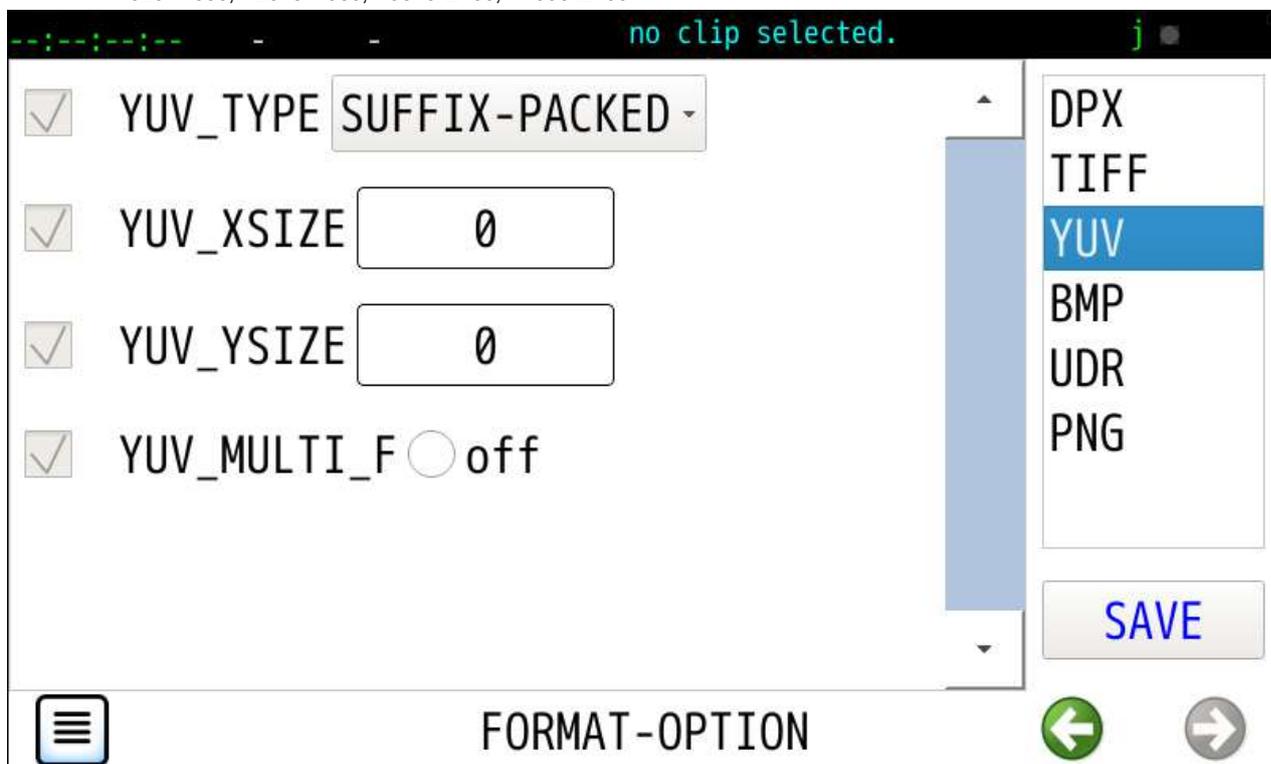
20.2.3 YUV

チェックボックスはすべてオンの固定です。

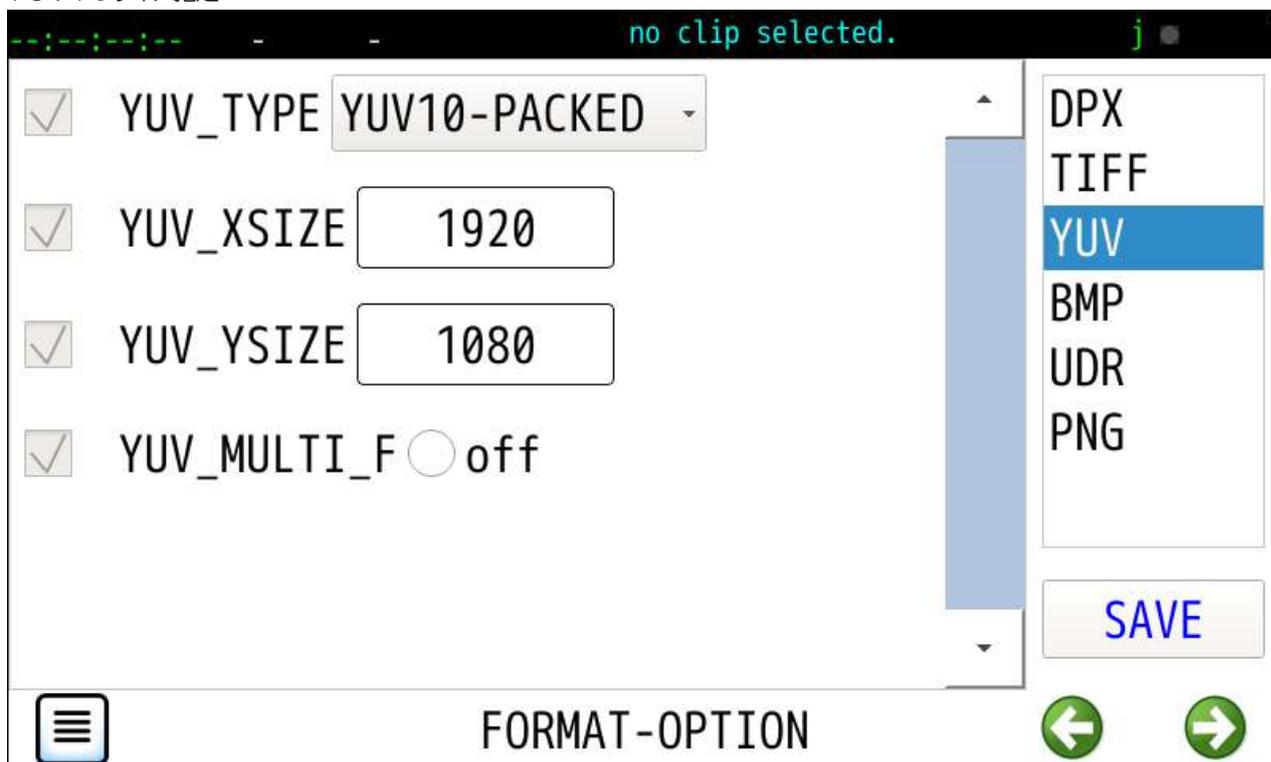
自動サイズ判定

ファイルバイトサイズから次の組み合わせの画角サイズを判定します。

1920x1080, 2048x1080, 3840x2160, 4096x2160

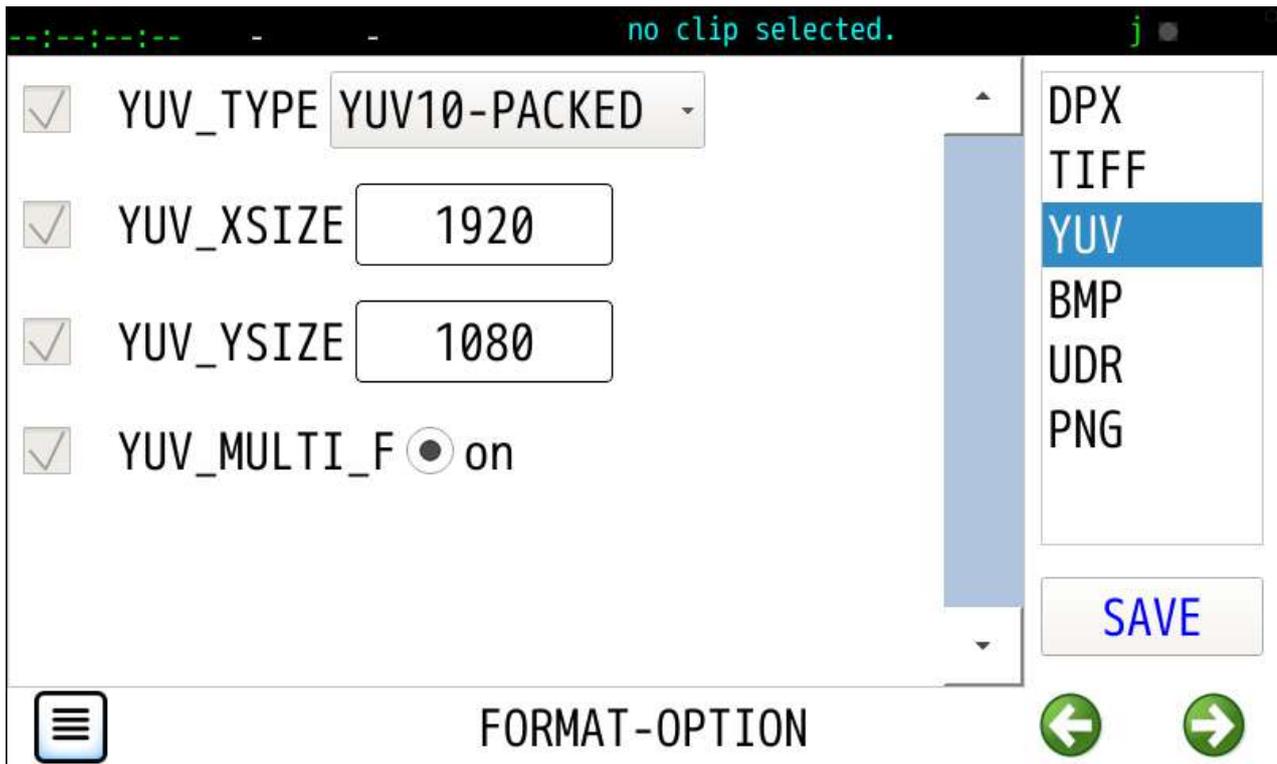


YUV10サイズ指定

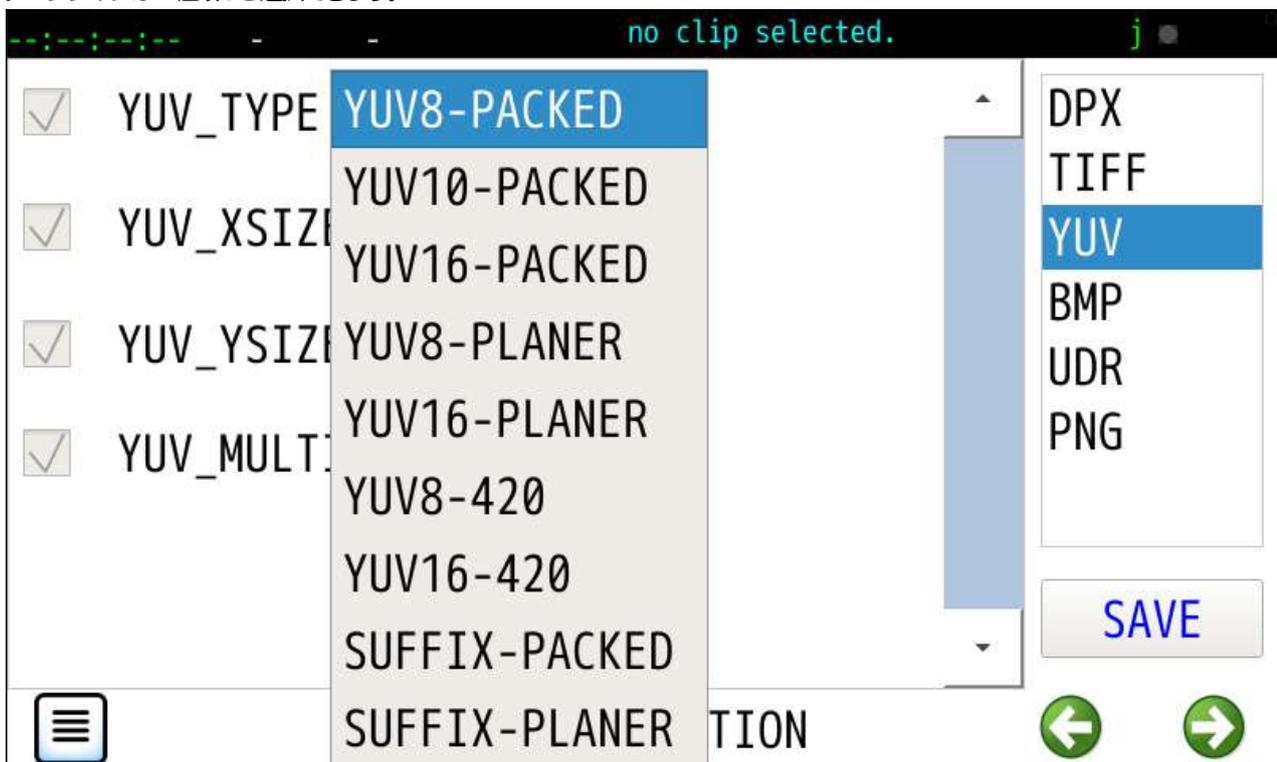


[目次に戻る](#)

1ファイル複数フレームYUV10



データタイプは9種類から選択できます。



[目次に戻る](#)

YUVデータ指定

YUV8-PACKED
YUV10-PACKED
YUV16-PACKED
YUV8-PLANER
YUV16-PLANER
YUV8-420
YUV16-420
SUFFIX-PACKED
SUFFIX-PLANER

SUFFIX-PACKED と SUFFIX-PLANER は連番ファイルのサフィックスからデータタイプを判定します。

.yuv	YUV8
.yuv10	YUV10
.yuv16	YUV16

20.2.4 UDR

DEPTH チェックボックスがオフの場合、次のビット数でダウンロードされます。

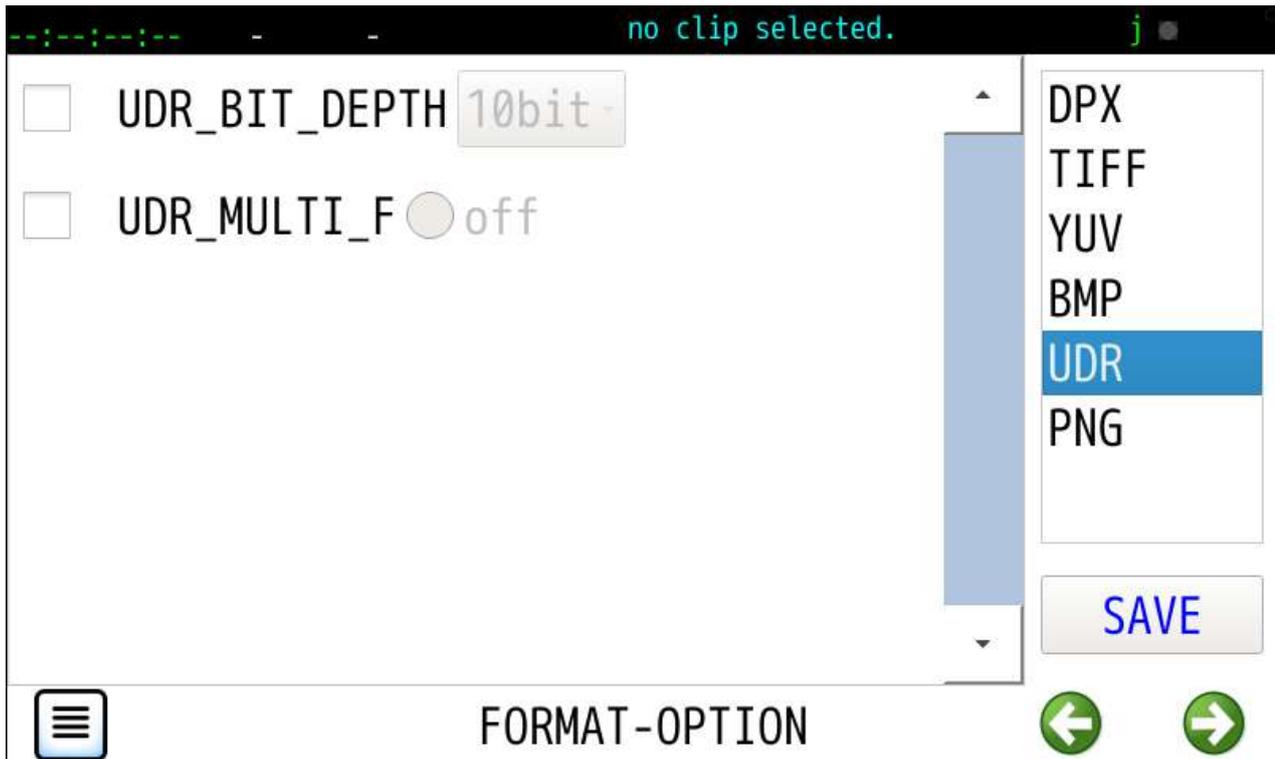
クリップ画素ビット数 8/10	DPX10 (RGB)
クリップ画素ビット数 12	DPX16

UDR_MULTI_F

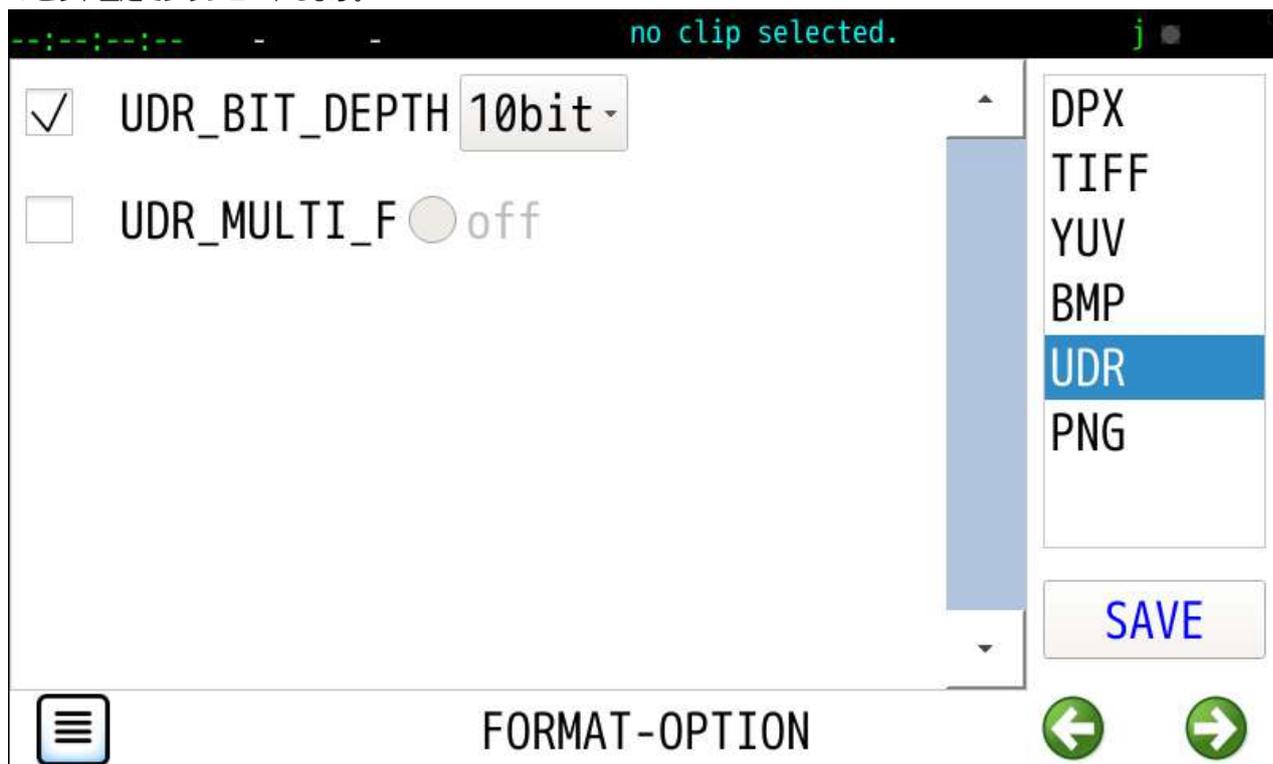
オフの場合、連番ファイルでダウンロードされます。
オンで1ファイル複数フレームになります。

データタイプ

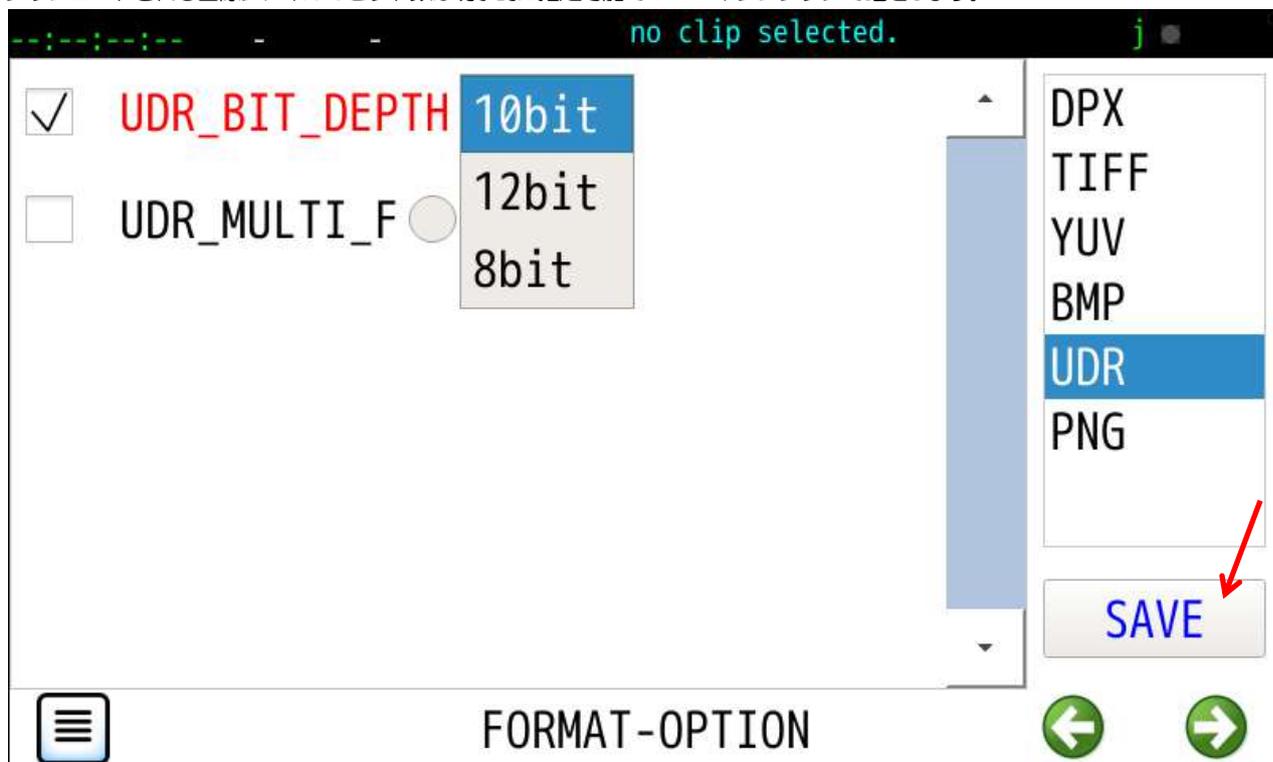
クリップのデータタイプでダウンロードします。



10ビット固定でダウンロードします。



ダウンロードされる画像ファイルのビット数は明示的に指定可能でSAVE ボタンタップで確定します。



[目次に戻る](#)

21 FILE 画面

操作画面

FILE

機能

USB メディア内の画像および音声ファイルを参照します。

USB メディア未接続の場合に次の画面になります。



USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)

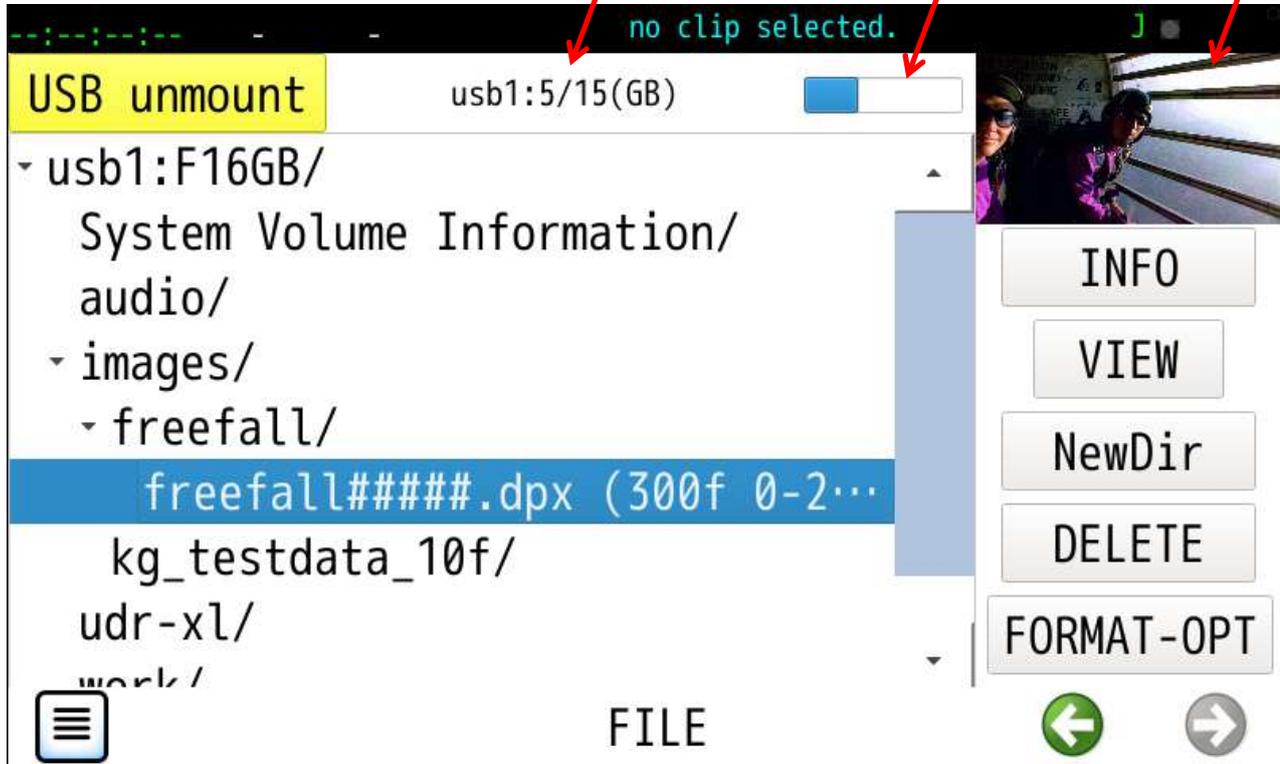
USB マウント成功で次の画面例になります。



[目次に戻る](#)

21.1 FILE 画面 (画像データ)

画像ファイル選択で次の画面例になります。



選択中の USB メディア容量と使用量が数値とインジケータで表示されます。

連続した番号の連番ファイルは 1 行にまとめ一覧に表示されます。

画面右上に選択された画像ファイル先頭フレームのサムネイルが表示されます。

- INFO** 選択された画像または WAV ファイルの情報を表示します。
- VIEW** 選択された画像ファイルの画像とストグラムおよび WAV ファイルの波形を表示します。
- NewDir** 選択されたディレクトリまたはファイルの格納ディレクトリに新規ディレクトリを作ります。
- DELETE** 選択されたディレクトリまたはファイルを削除します。
- FORMAT-OPT** 各画像ファイルフォーマットのオプションを設定します。

21.2 FILE-INFO 画面 (画像データ)

操作画面

FILE > IMAGE-INFO

機能

単独画像ファイルまたは連番先頭ファイルのヘッダ情報を表示します。



21.3 IMAGE-VIEW 画面

21.3.1 SHRINK

SHRINK タイプは画面に合わせ画像全体を表示します。



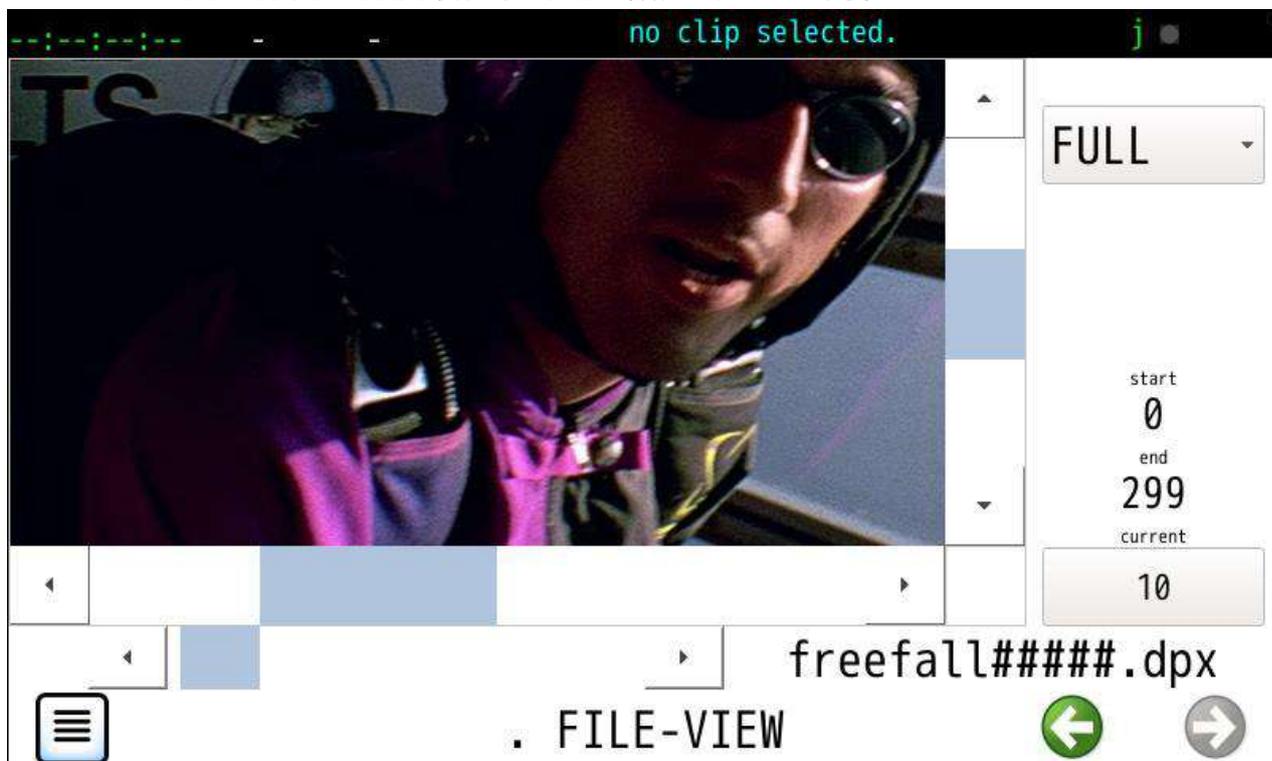
画像ビューアタイプは4種類です。



[目次に戻る](#)

21.3.2 FULL

FULL タイプはドットバインドット表示し、スライダー操作でスクロールします。



21.3.3 WIPE

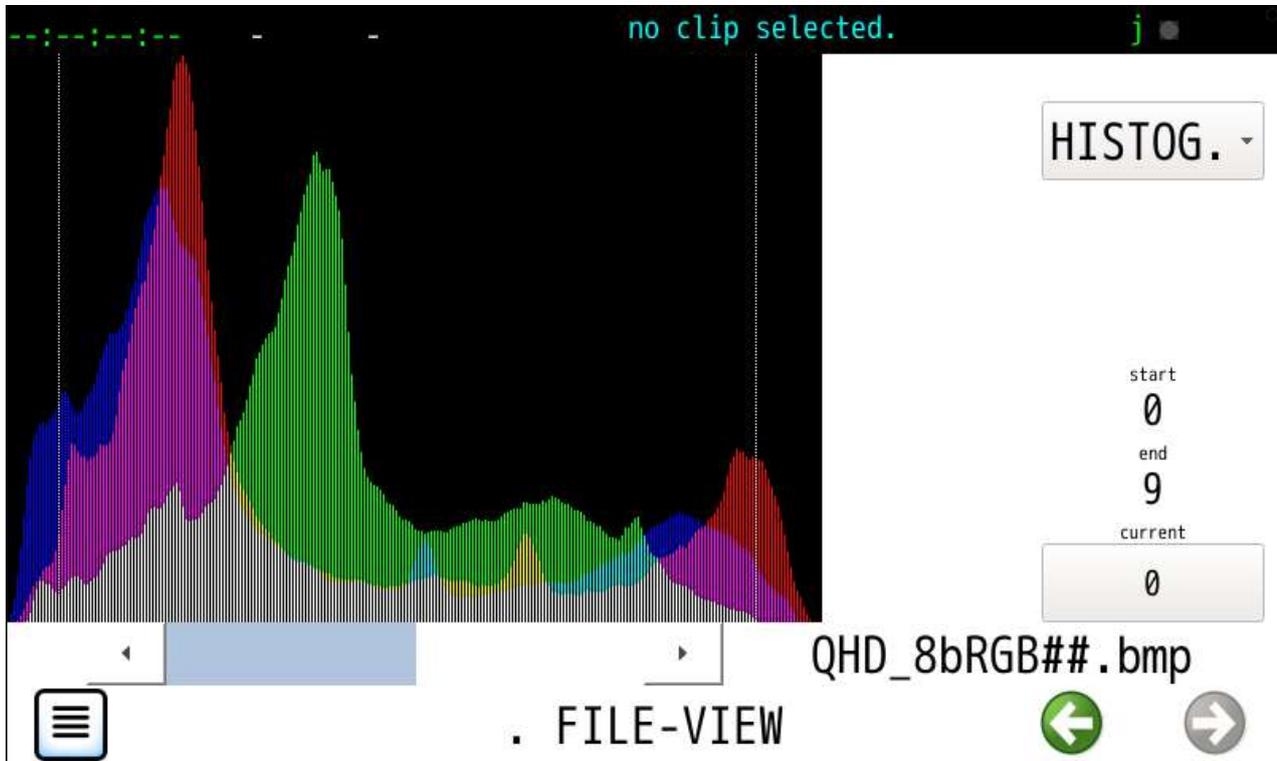
WIPE タイプはドットバインドット表示し、スワイプ操作でスクロールします。



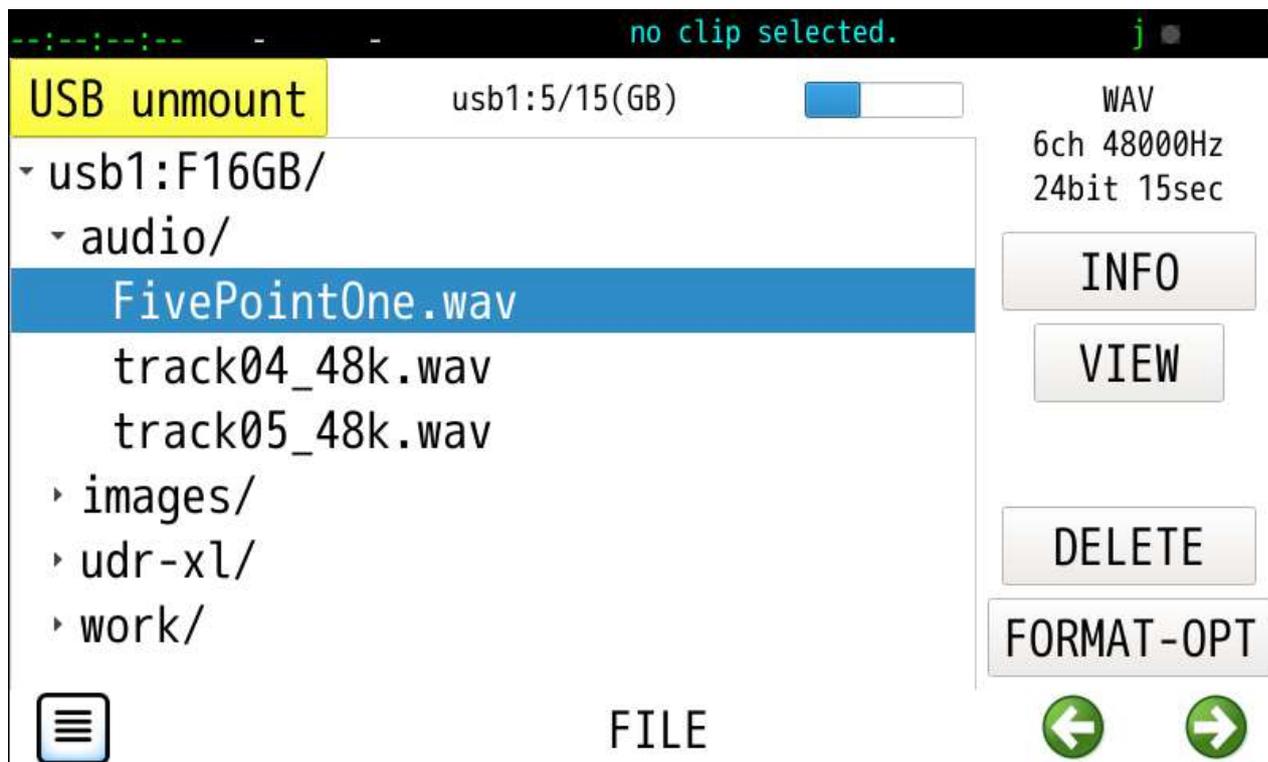
[目次に戻る](#)

21.3.4 HISTOG

HISTOG.タイプはヒストグラム表示です。
左右の白線は黒レベル・白レベル位置です。

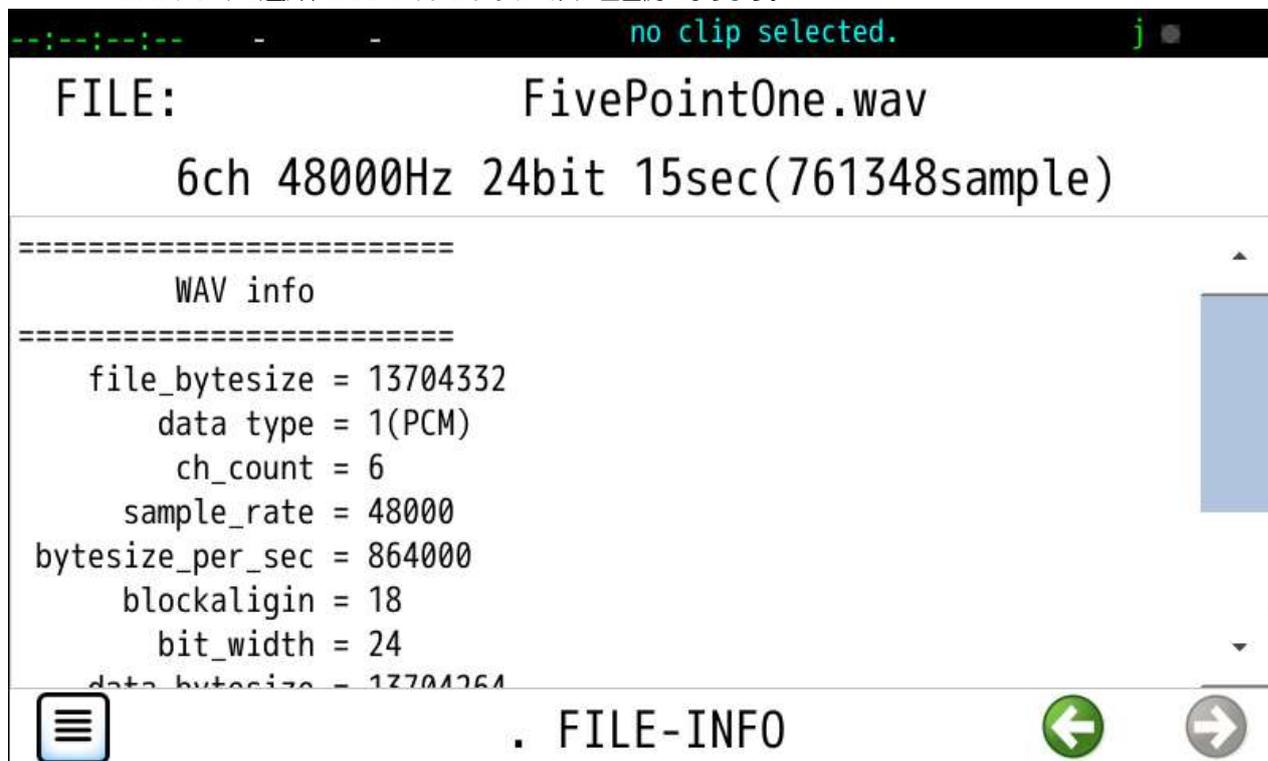


21.4 FILE 画面 (音声データ)



21.5 FILE-INFO 画面(音声データ)

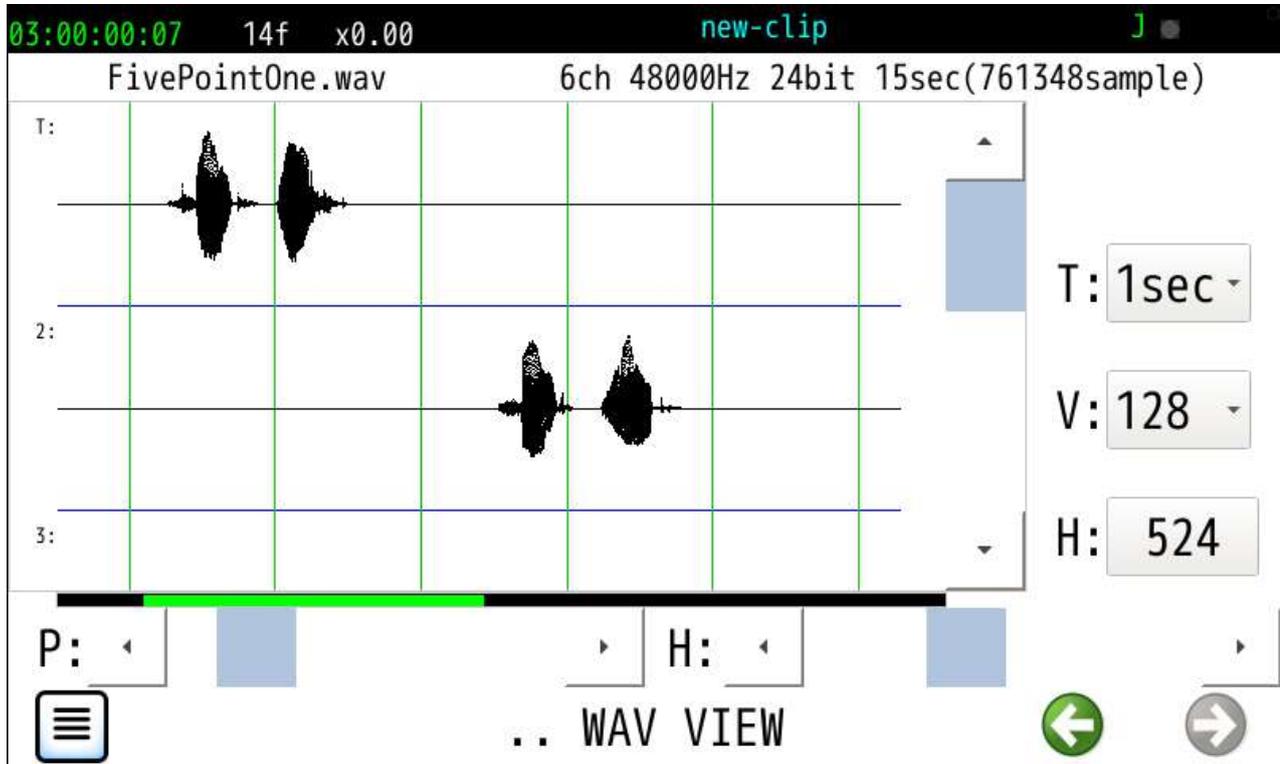
WAV ファイル選択中の INFO ボタンタップで次の画面例になります。



[目次に戻る](#)

21.6 WAV-VIEW 画面

WAV ファイル選択中の VIEW ボタンタップで次の画面例になります。



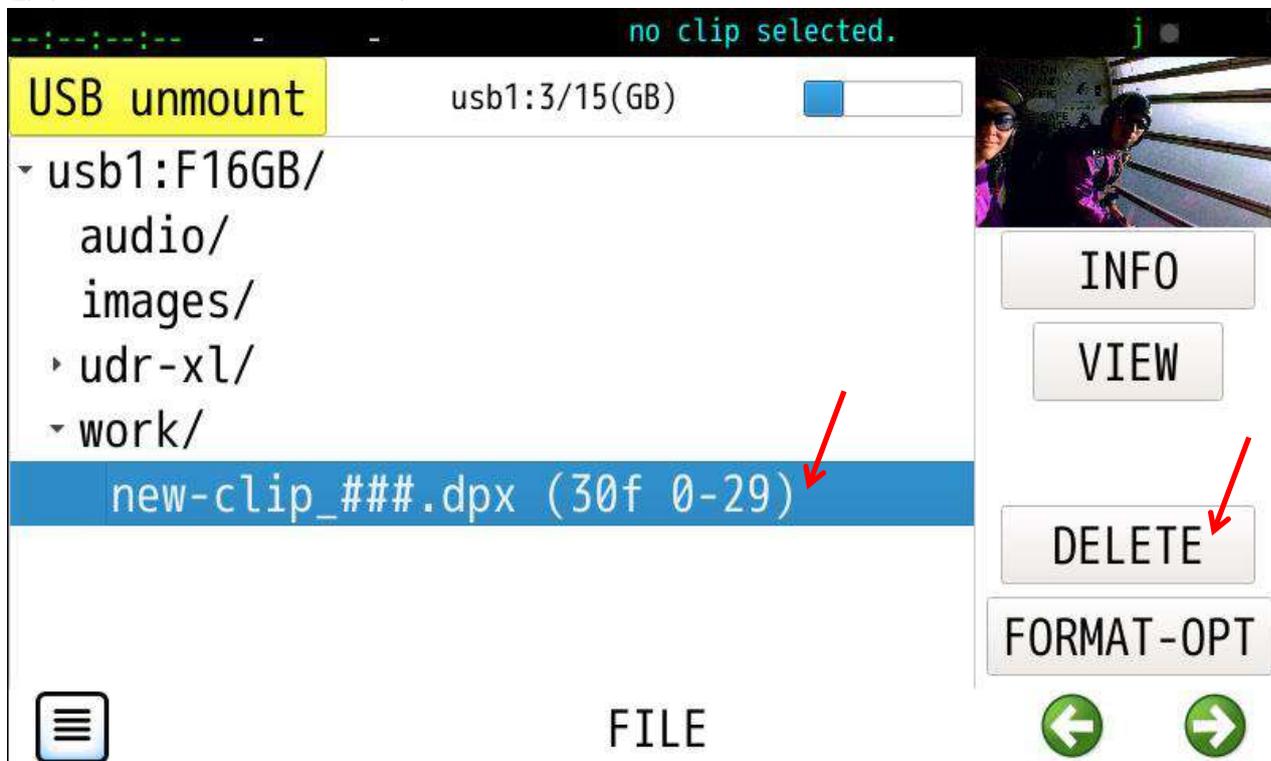
各項目説明

- T 指定時間単位の縦線目盛です。
- V WAV のチャンネル単位上下表示画素幅です。
- H 1画素あたりのサンプル数です。
- P 波形表示する先頭からの位置です。

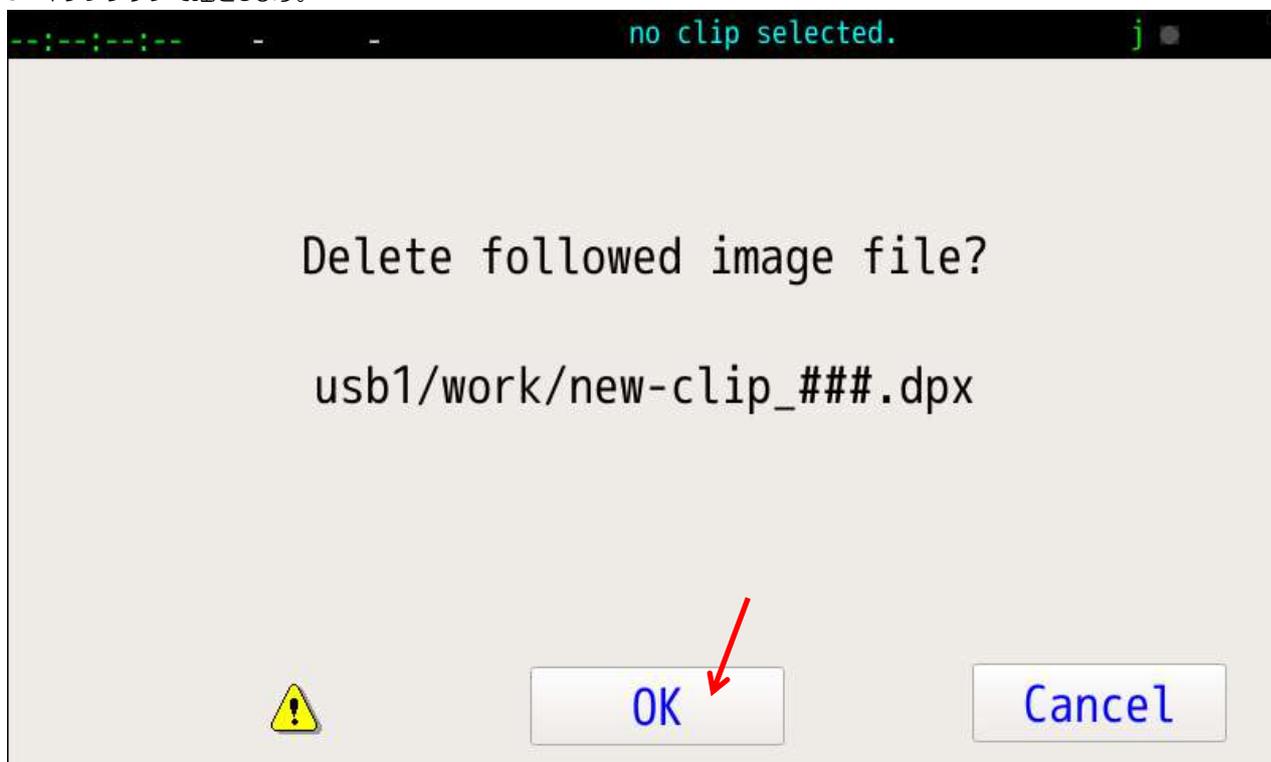
[目次に戻る](#)

21.7 DELETE

ファイルまたはディレクトリ削除
選択後に DELETE ボタンをタップします。



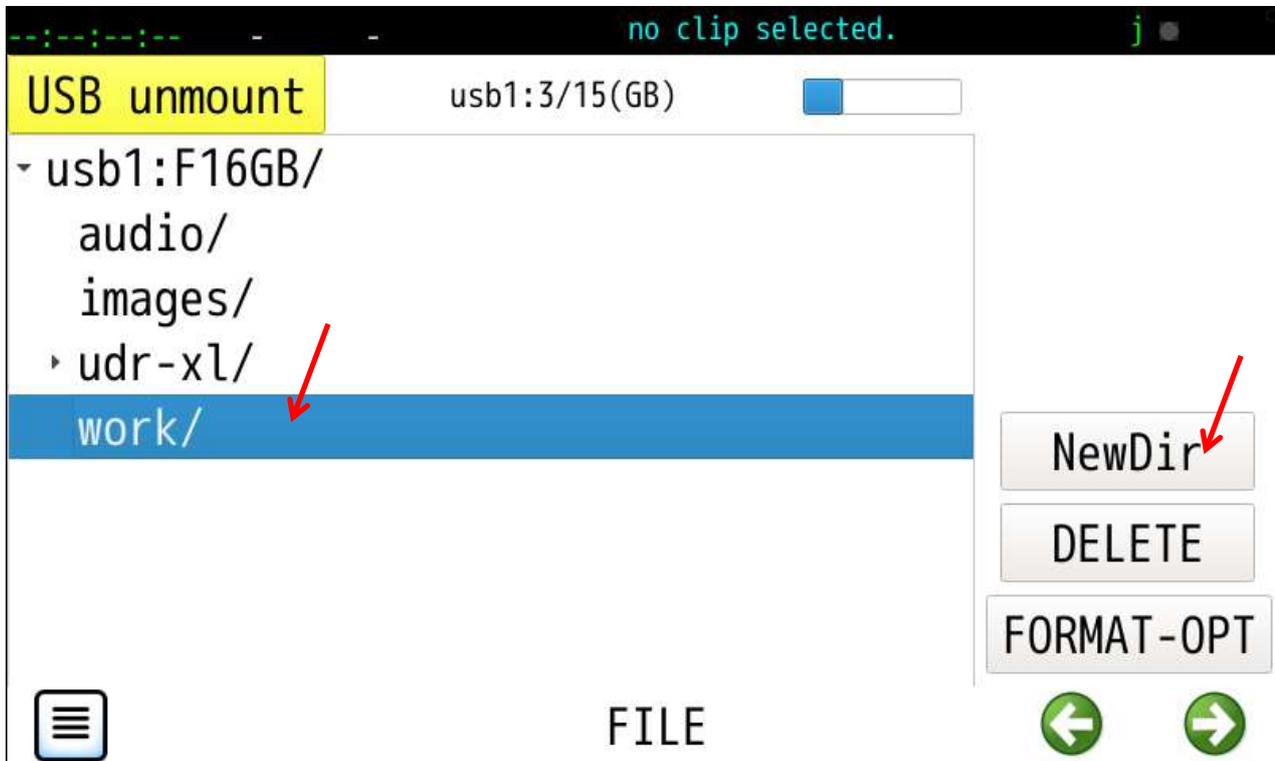
OK ボタンタップで確定します。



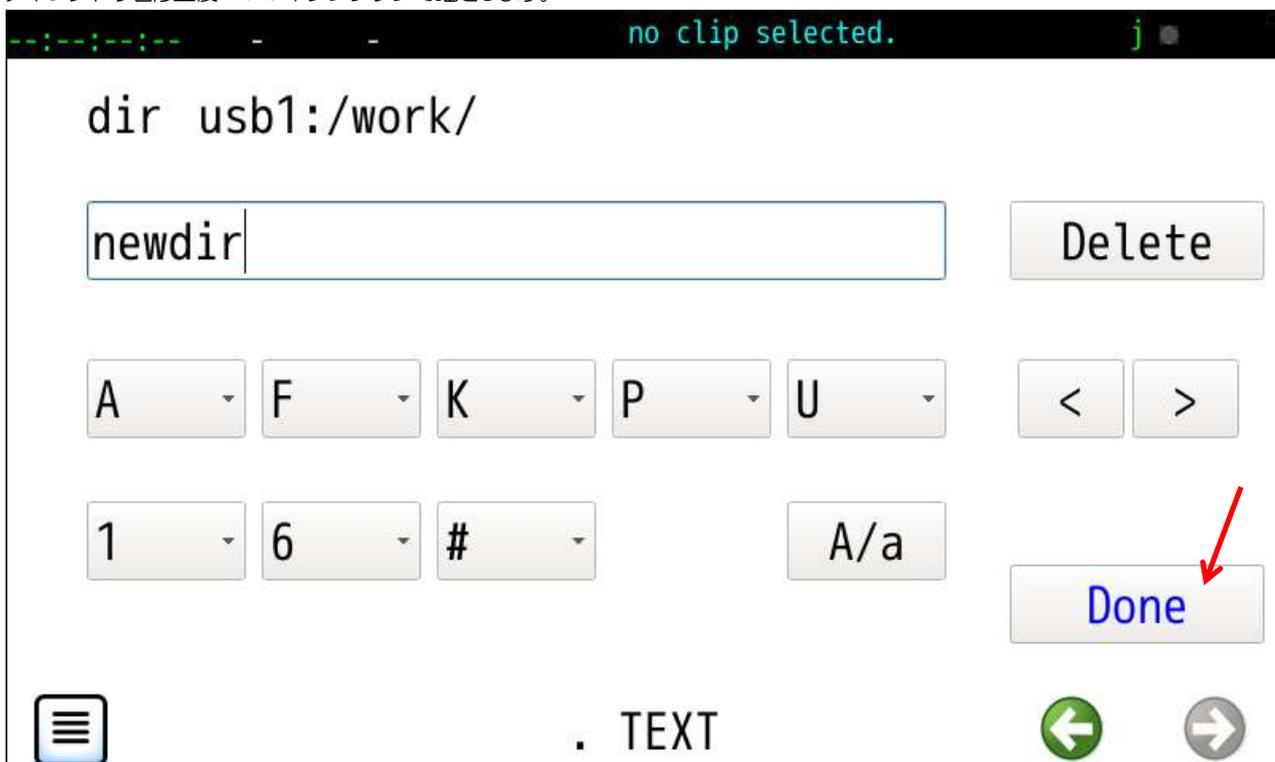
21.8 NewDir

ディレクトリ新規作成

親ディレクトリ選択後に NewDir ボタンをタップします。



ディレクトリ名修正後 Done ボタンタップで確定します。



22 AUDIO-LEVEL 画面

操作画面

AUDIO-LEVEL

機能

HOME 画面左下のオーディオレベルインジケータ表示のチャンネル数とチャンネル番号を指定します。
各チェックボックス操作直後に確定します。



ステレオ 2ch 指定時の表示例です。



[目次に戻る](#)

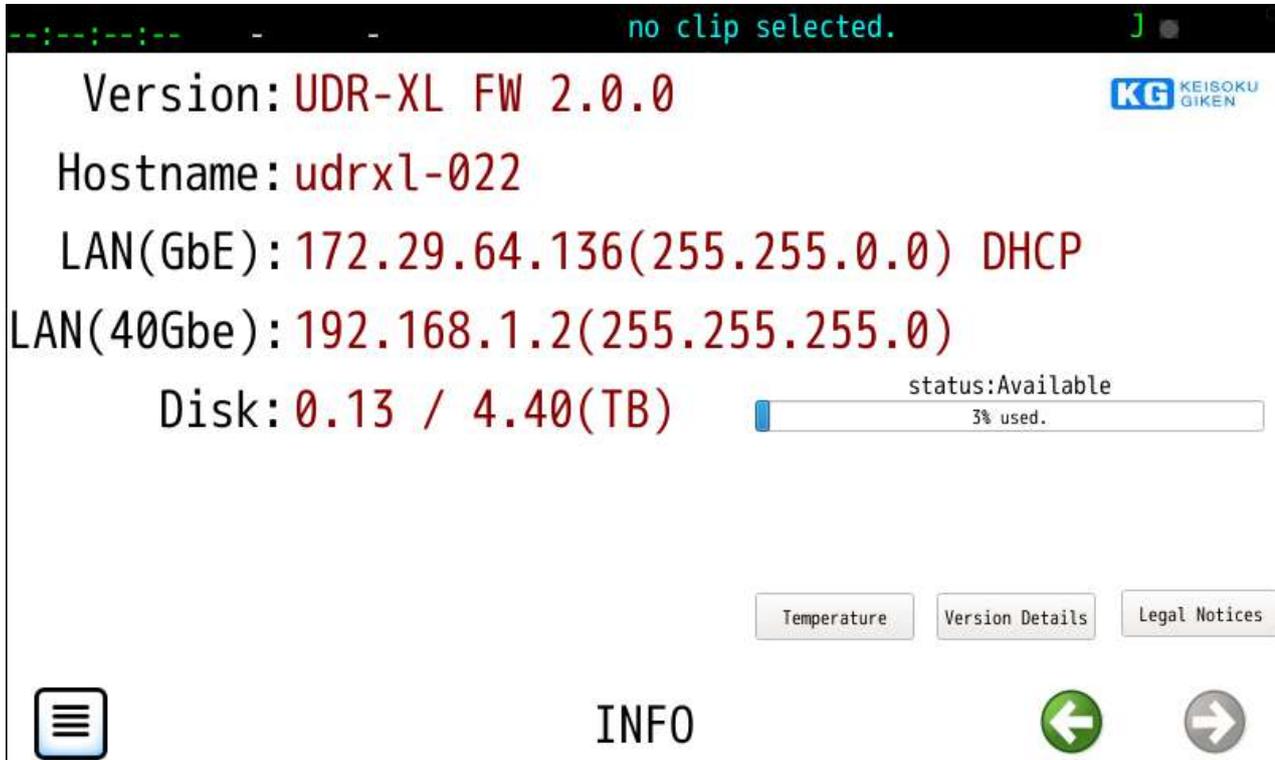
23 INFO 画面

操作画面

INFO

機能

主要システム情報を一括表示します。

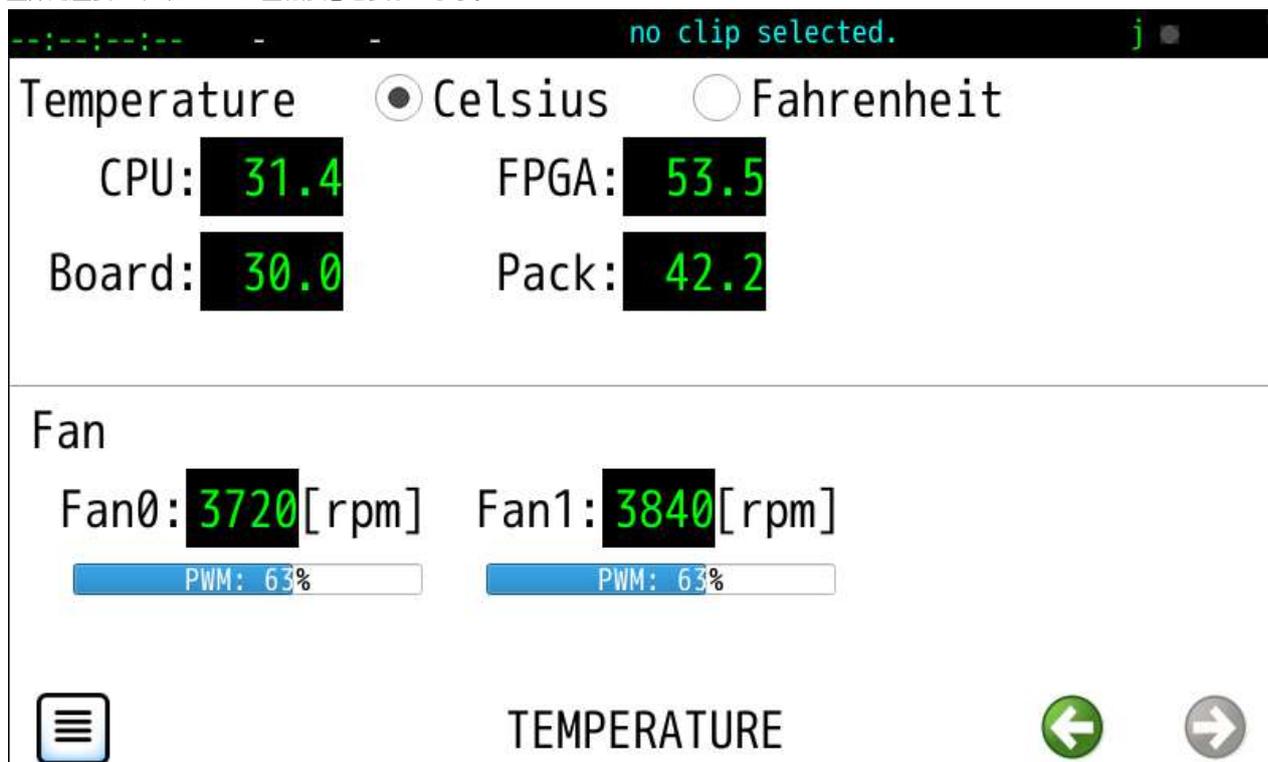


①Version	ファームウェアバージョン
②Hostname	UDR-XL40 / XL40e のホスト名
③LAN(GbE)	GbE の IP アドレス、ネットマスク (DHCP の場合は DHCP を表示)
④LAN(40Gbe)	40GbE の IP アドレス、ネットマスク (DHCP の場合は DHCP を表示)
⑤Disk	クリップ格納メディア使用量状況
Temperature	筐体内温度と冷却ファンの回転状態を表示します。
Version Details	モジュール別のバージョンを表示します。
Legal Notices	パネル画面で利用している OSS (オープンソースソフトウェア) に関する法的通知を表示します。

[目次に戻る](#)

23.1 TEMPERATURE 画面

筐体内温度と冷却ファンの回転状態を表示します。



The screenshot shows the TEMPERATURE screen with the following data:

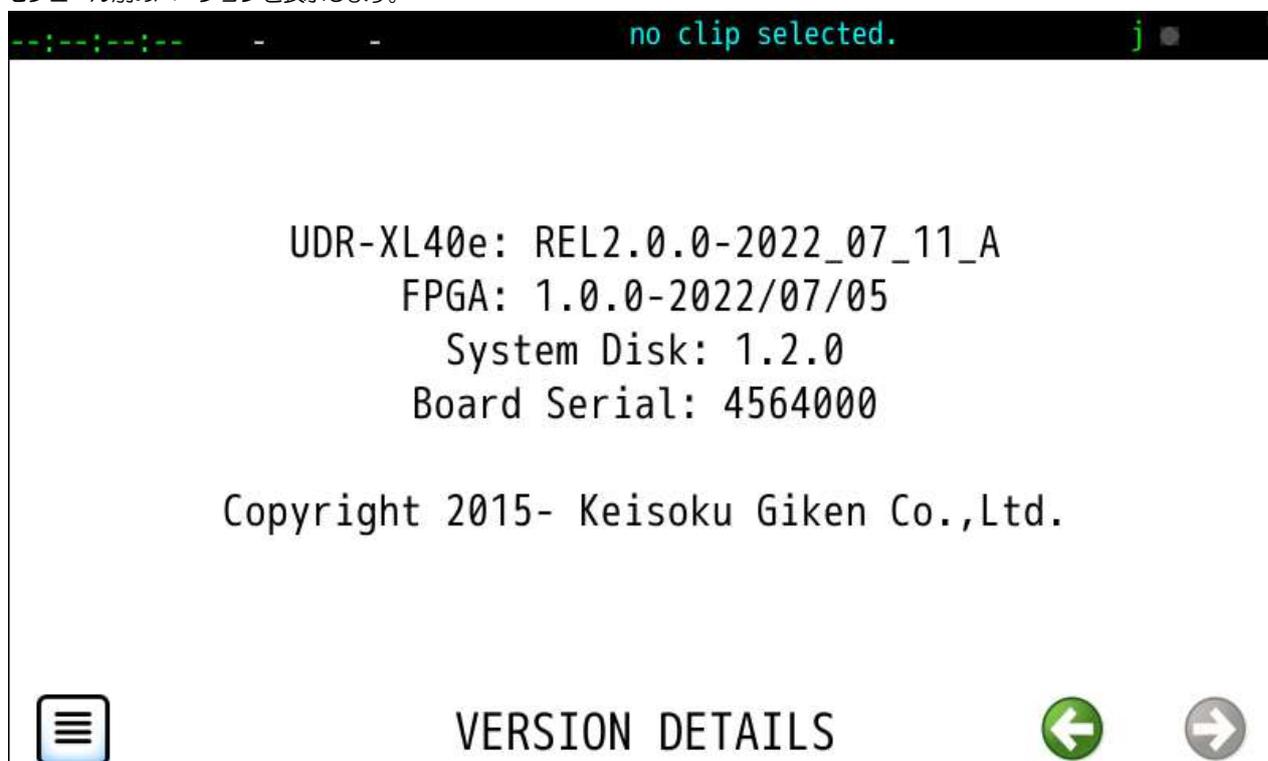
Component	Temperature (Celsius)
CPU	31.4
FPGA	53.5
Board	30.0
Pack	42.2

Fan	RPM	PWM (%)
Fan0	3720	63
Fan1	3840	63

The screen also displays "no clip selected." at the top right and "TEMPERATURE" at the bottom center. Navigation icons (back, forward, and menu) are visible at the bottom.

23.2 VERSION DETAILS 画面

モジュール別のバージョンを表示します。



The screenshot shows the VERSION DETAILS screen with the following information:

UDR-XL40e: REL2.0.0-2022_07_11_A
FPGA: 1.0.0-2022/07/05
System Disk: 1.2.0
Board Serial: 4564000

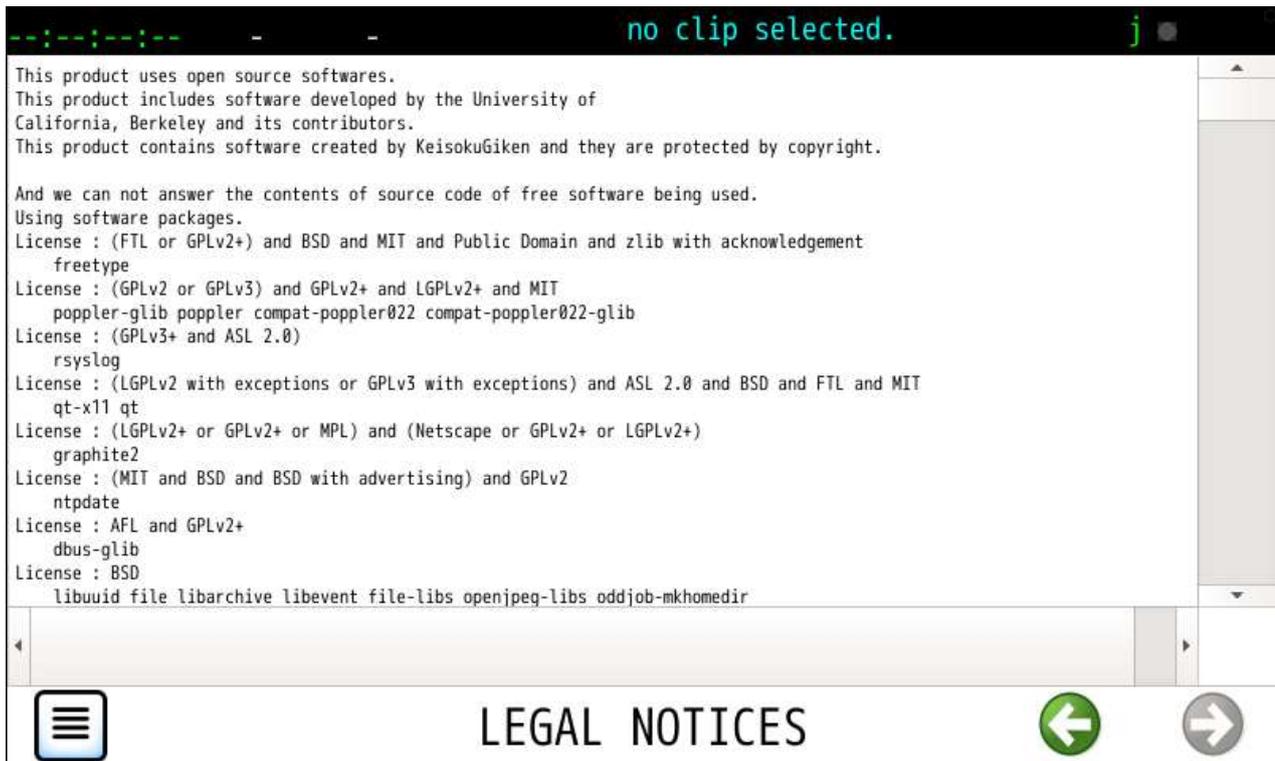
Copyright 2015- Keisoku Giken Co.,Ltd.

The screen also displays "no clip selected." at the top right and "VERSION DETAILS" at the bottom center. Navigation icons (back, forward, and menu) are visible at the bottom.

[目次に戻る](#)

23.3 LEGAL NOTICES 画面

パネル画面で利用しているOSS（オープンソースソフトウェア）に関する法的通知を表示します。



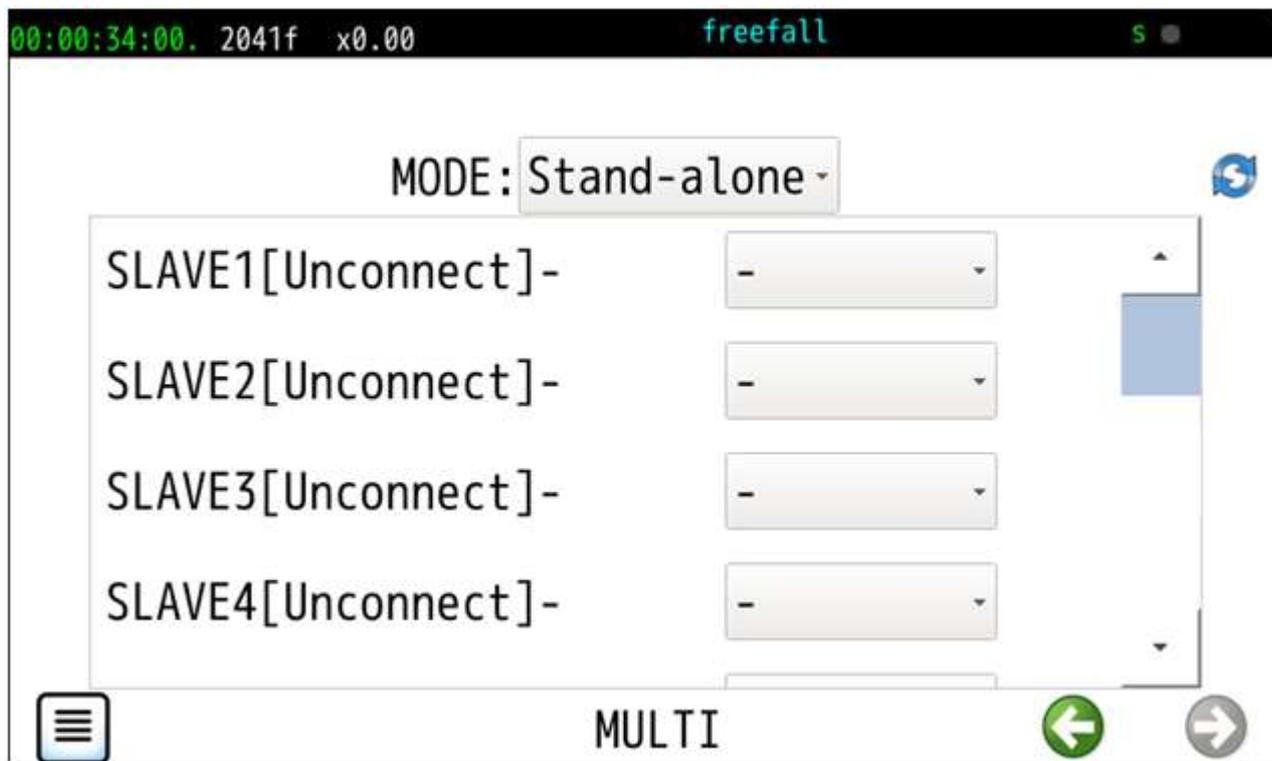
24 MULTI 画面

操作画面

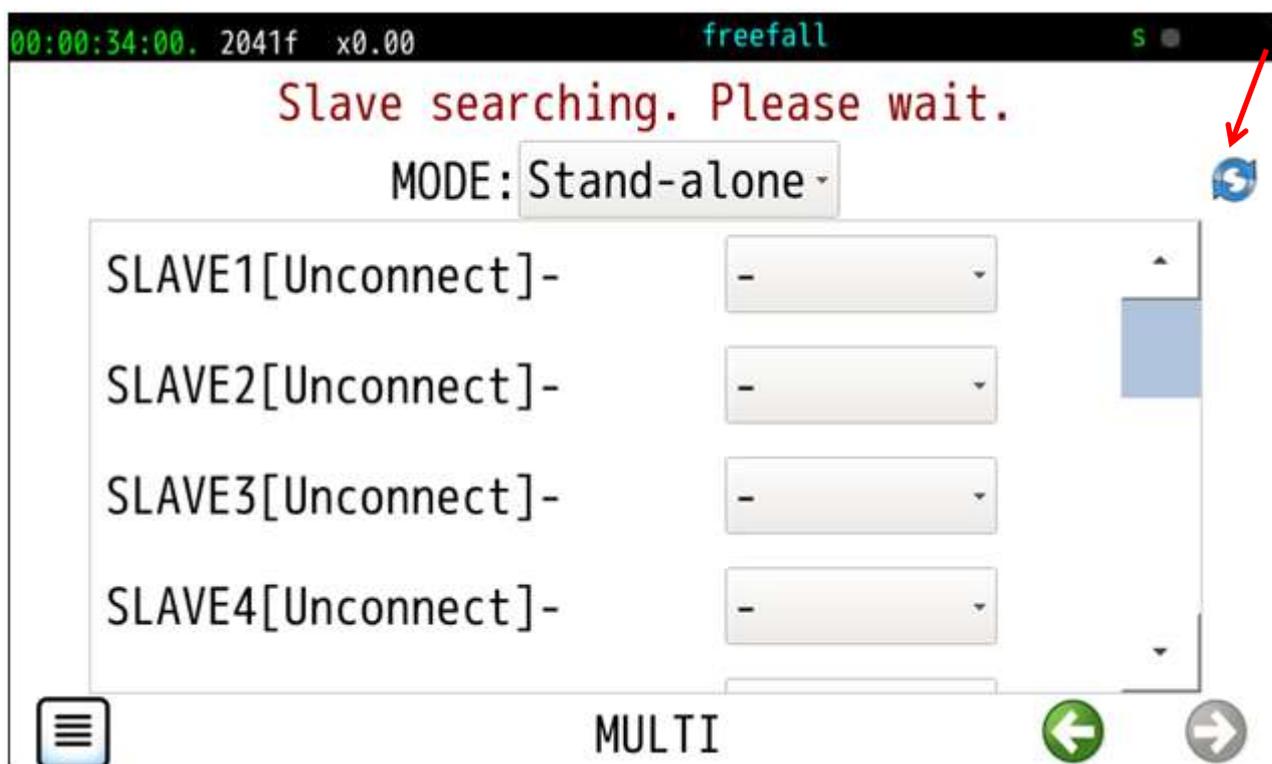
MULTI

機能

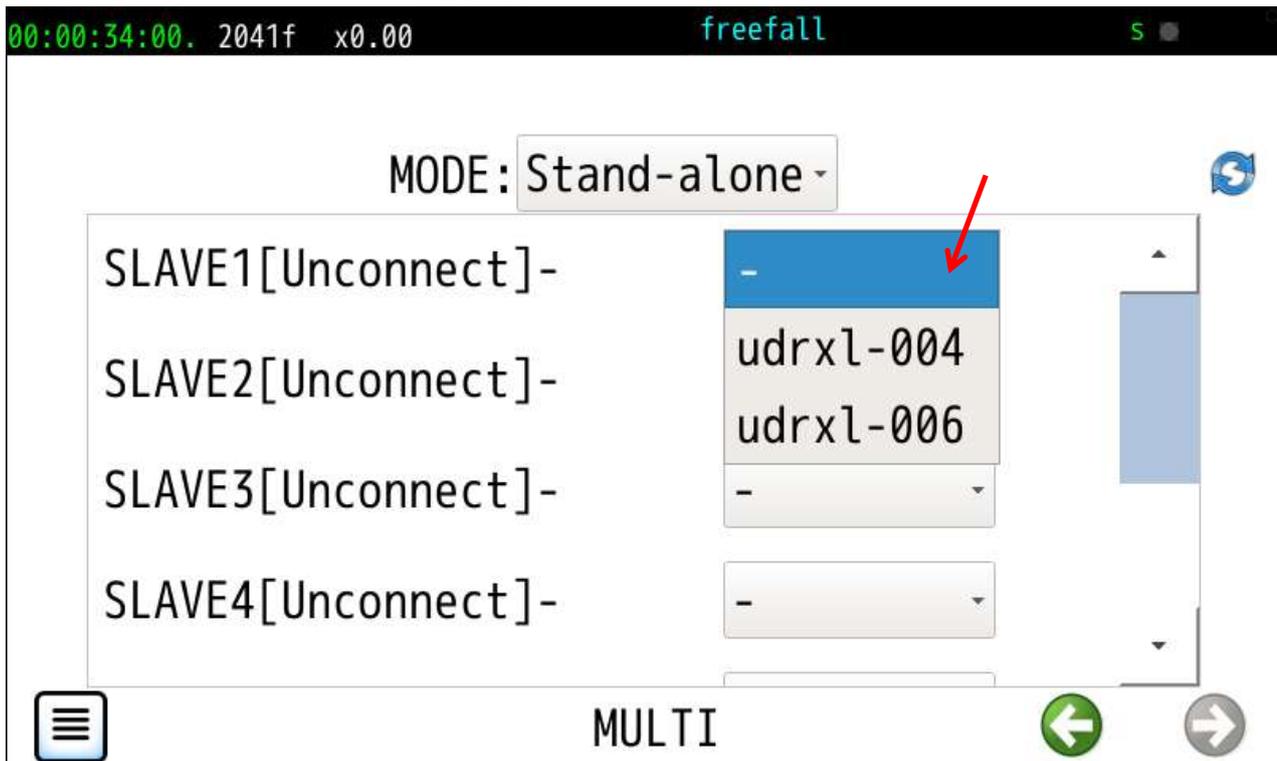
同期運転を行う親機の設定を行います、最大 12 台の子機を接続できます。



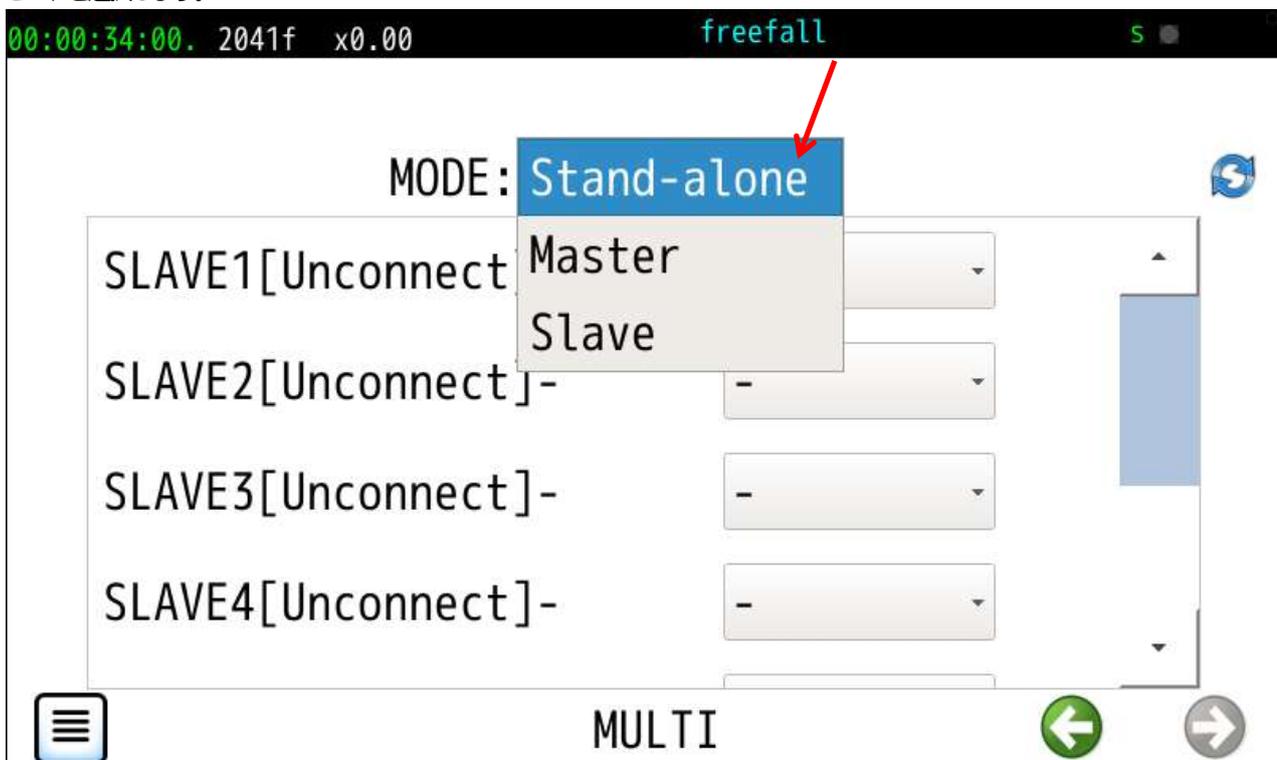
MULTI 画面起動直後および画面右上の再検索ボタンでネットワーク上の UDR-XL40 / XL40e を探します。

[目次に戻る](#)

検索された子機対象のUDR-XL40 / XL40eを指定します。



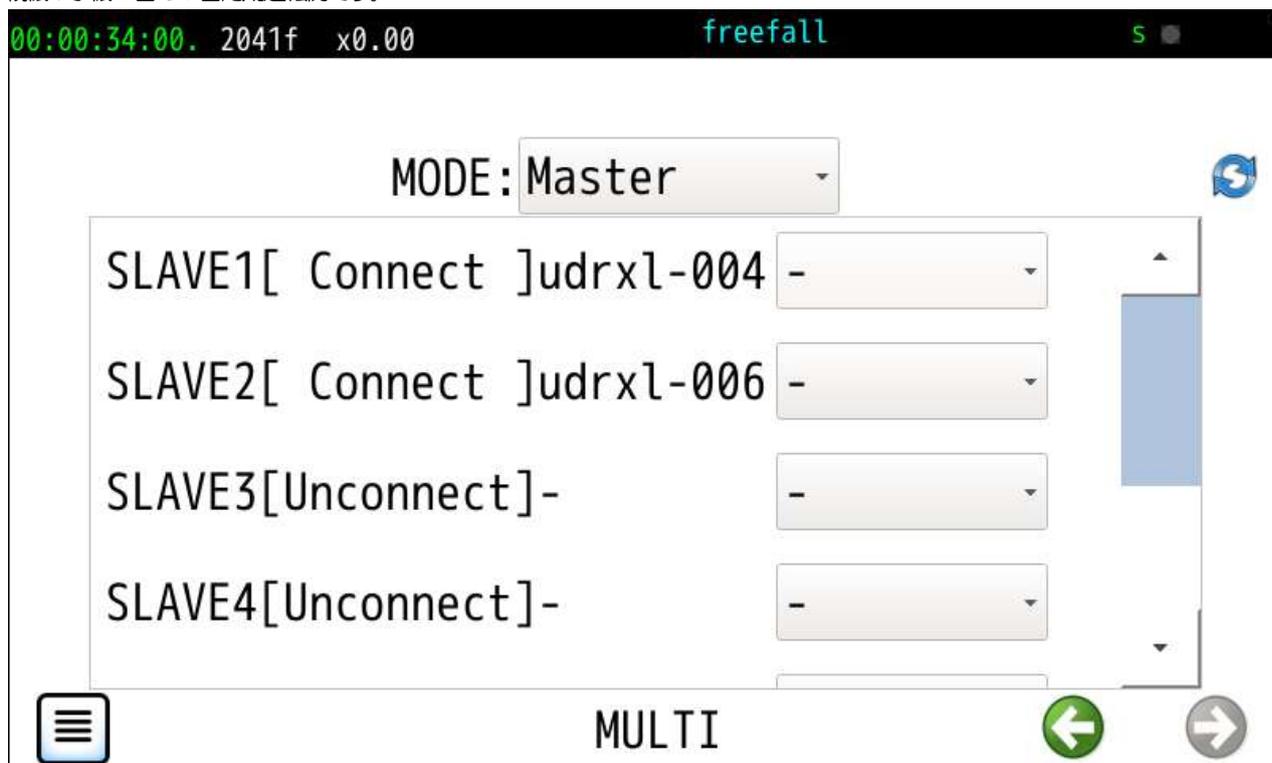
モードを選択します。



[目次に戻る](#)

同期重転モード成功で次の例の画面になります。

親機+子機2台の3台同期重転列です。



[目次に戻る](#)

25 LIBRARY 画面

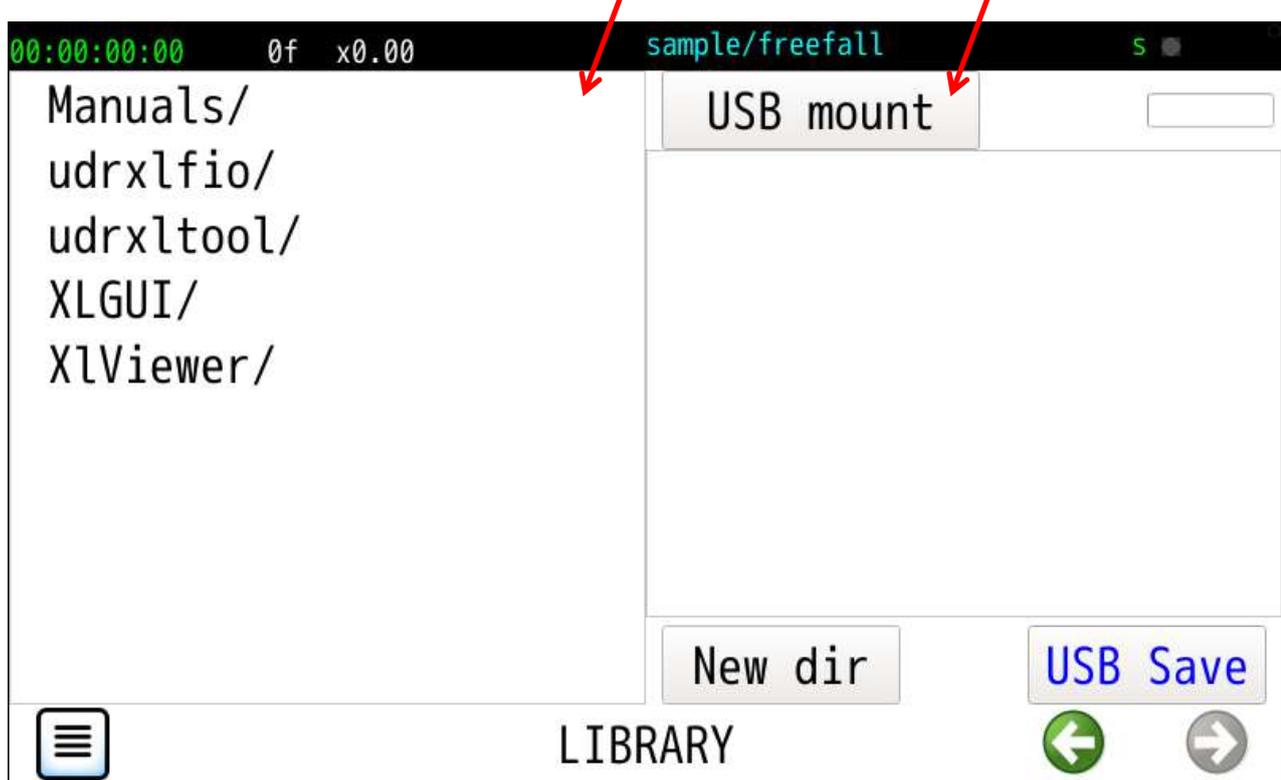
操作画面

LIBRARY

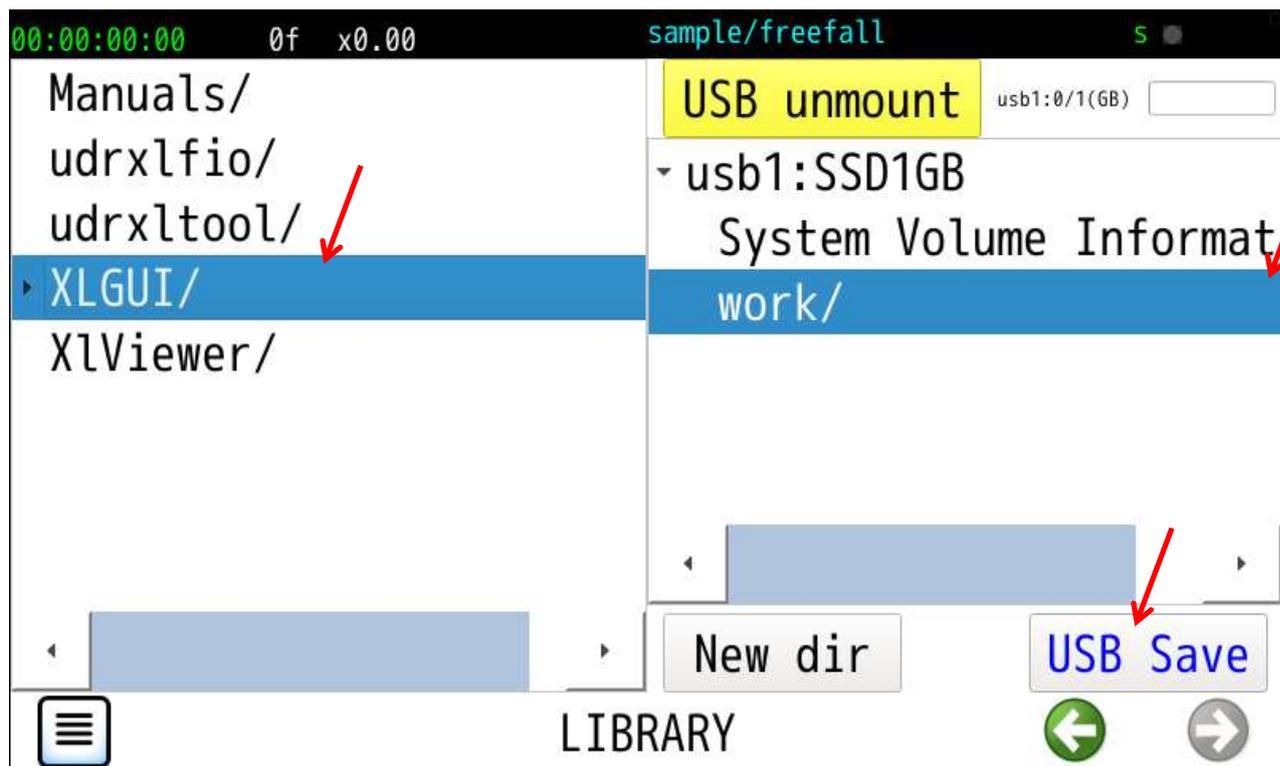
機能

UDR-XL40 / XL40e のPCアプリケーションおよびマニュアル等をUSB メディアに転送します。
外面左に転送可能なファイルおよびディレクトリの一覧が表示されます。

USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから USB mount ボタンをタップします。



転送対象のファイルまたはディレクトリおよび転送先のUSB内ディレクトリを選択しUSB Save ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)

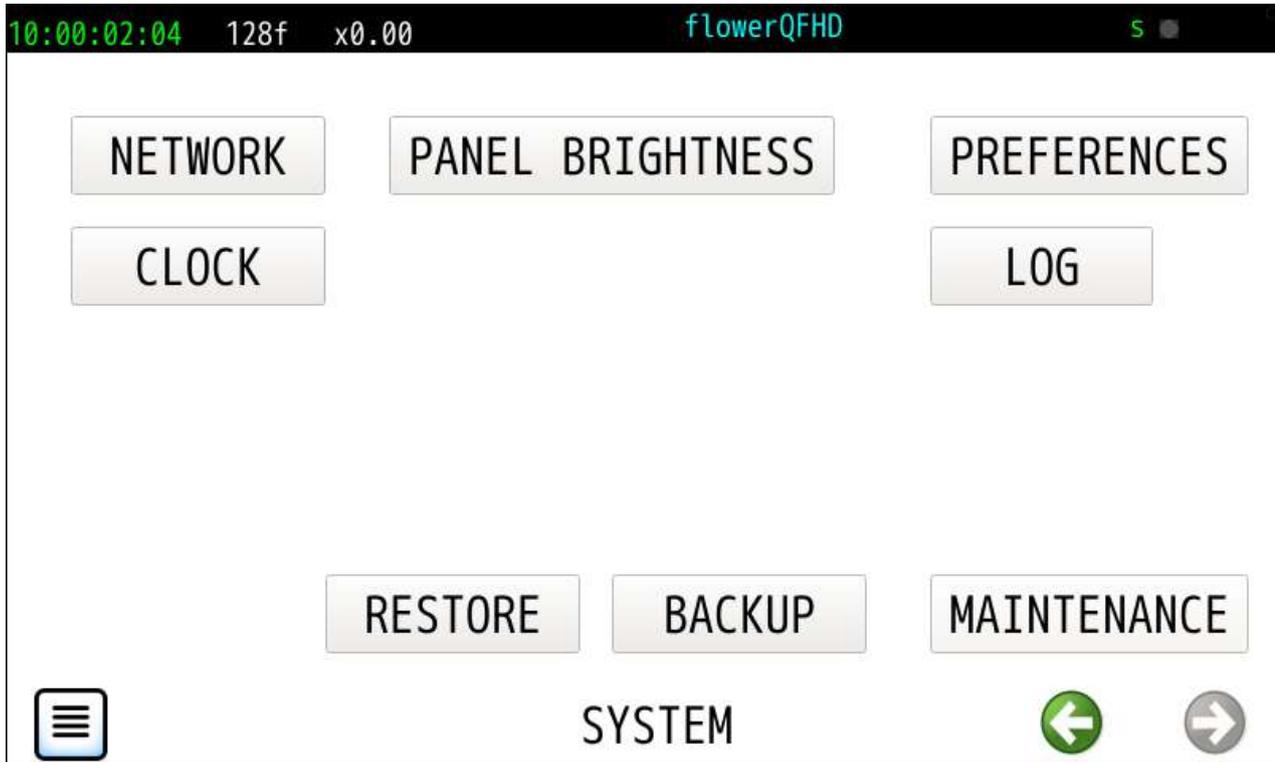
26 SYSTEM 画面

操作画面

SYSTEM

機能

システム関連の画面を選択します。



NETWORK	ネットワーク
CLOCK	時刻
PANEL-BRIGHTNESS	パネル輝度
PREFERENCES	環境設定
LOG	ログ
RESTORE	リストア
BACKUP	バックアップ
MAINTENANCE	メンテナンス

[目次に戻る](#)

26.1 NETWORK 画面

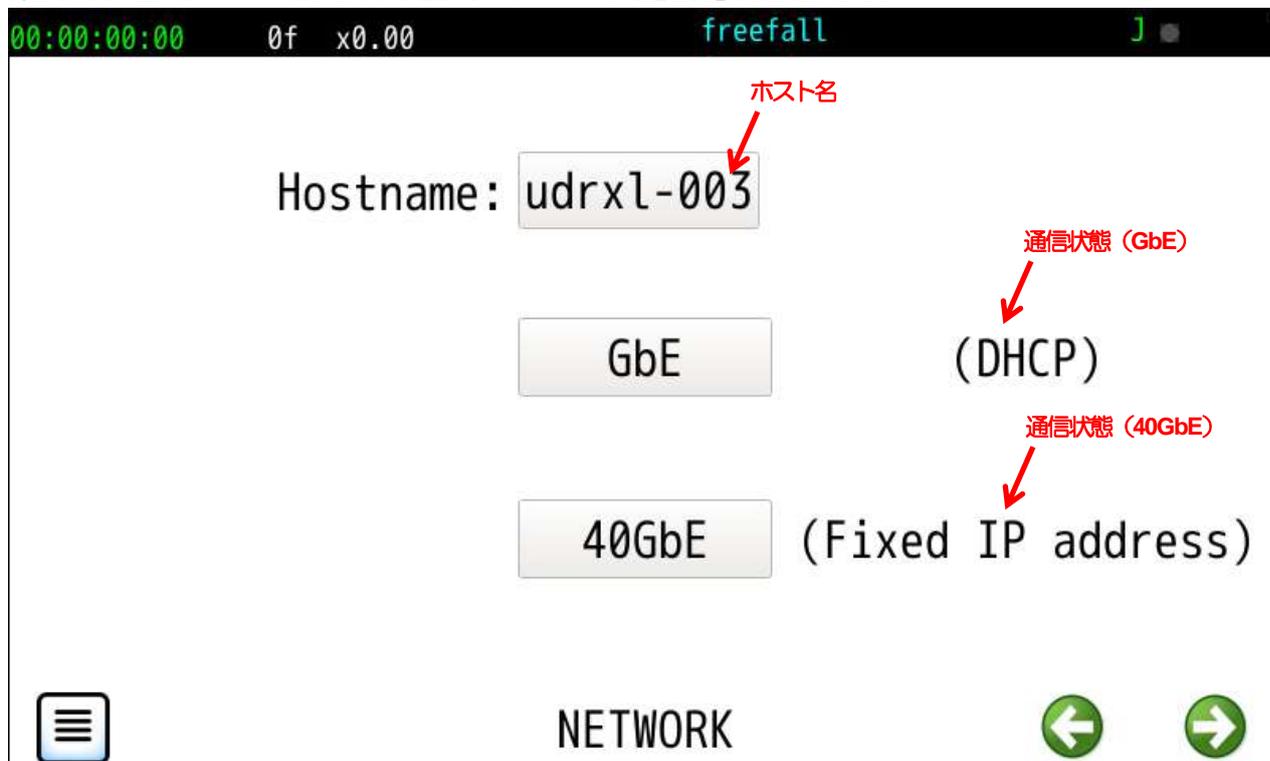
操作画面

SYSTEM > NETWORK

機能

UDR-XL40 / XL40e のホスト名設定、GbE ポートおよびオプションの 40GbE ポート設定の参照・変更を行います。

現在のホスト名、GbE ポートおよびオプションの 40GbE ポートの通信状態が表示されます。



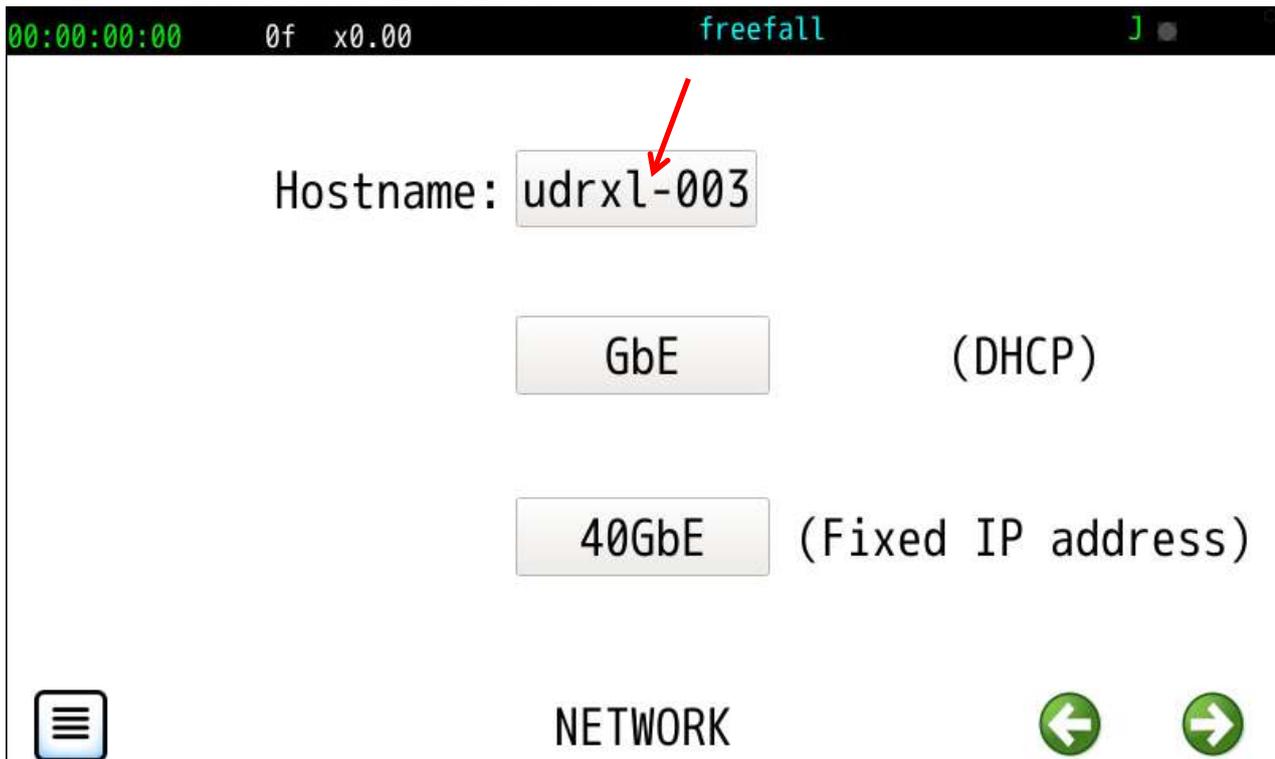
通信状態は以下のように表示します。

通信状態	DHCP の設定	通信状態の表示
接続中	DHCP	(DHCP)
	STATIC	(Fixed IP address)
切断	DHCP	(NO DHCP)
	STATIC	(Disconnected)

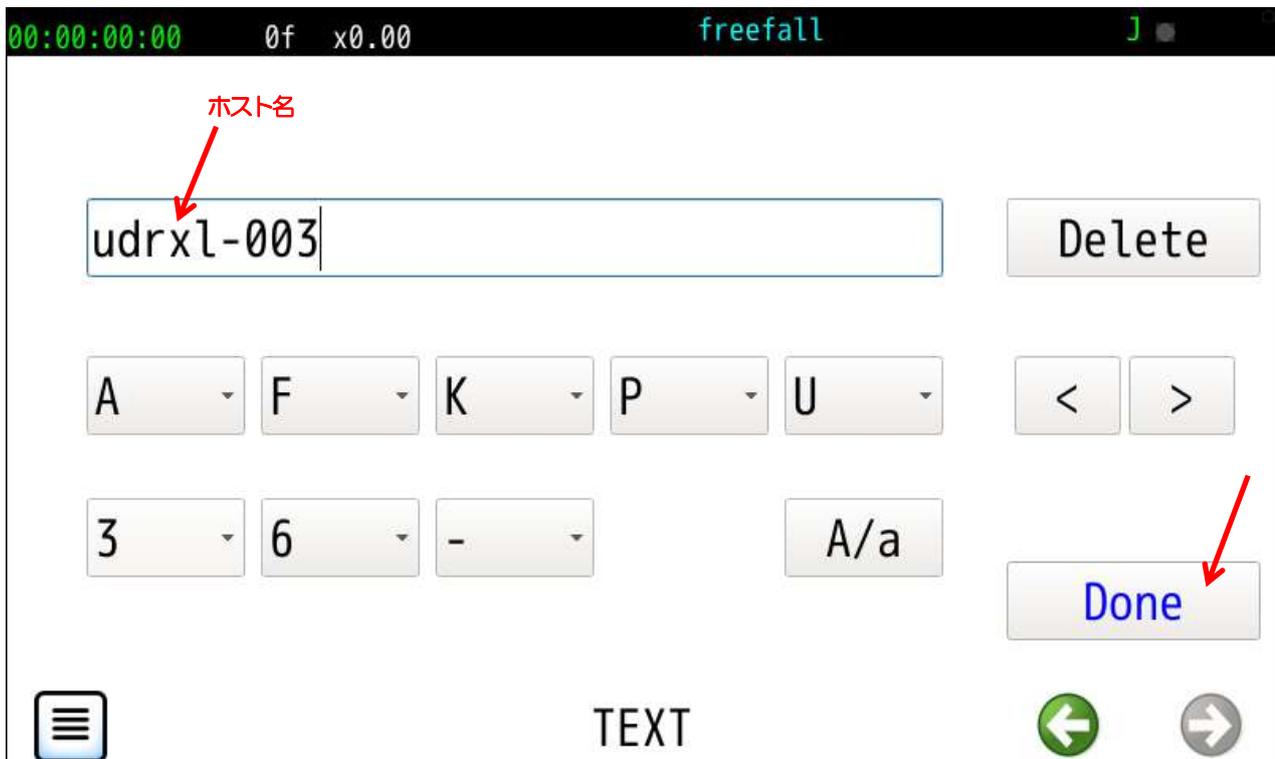
[目次に戻る](#)

26.1.1 ホスト名の設定

ホスト名のボタンをタップすると編集画面に切り替わります。



ホスト名を入力したら、Done ボタンをタップします。

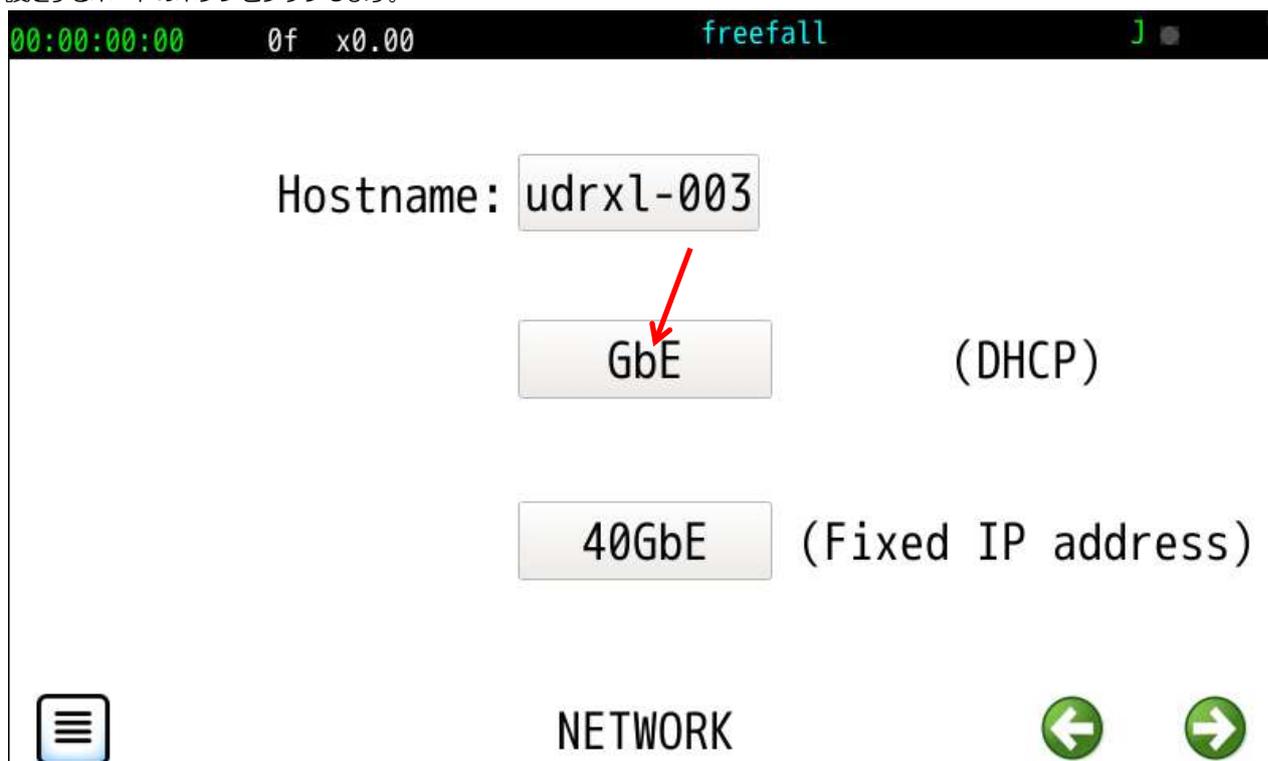


ホスト名は英数字とハイフンを含む最大24文字です。

[目次に戻る](#)

26.1.2 ネットワークの設定

設定するポートのボタンをタップします。



GbE ポートの設定画面例です。



[目次に戻る](#)

IPアドレスは DHCP経由取得または固定アドレスが選択できます。

00:00:00:00 0f x0.00 freefall J

GbE

172.29.64.164 IP address static (red arrow)

255.255.0.0 Net Mask DHCP

MAC 00:0B:39:10:80:06

172.29.0.14 Gateway SET

Never use this network for default route

NETWORK EDIT

固定アドレスモードの設定画面です。

IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイそれぞれのボタンをタップして設定します。

00:00:00:00 0f x0.00 freefall J

GbE

192.168.2.20 IP address (red arrow)

255.255.255.0 Net Mask (red arrow)

MAC 00:0B:39:10:80:06

192.168.2.1 Gateway (red arrow)

static

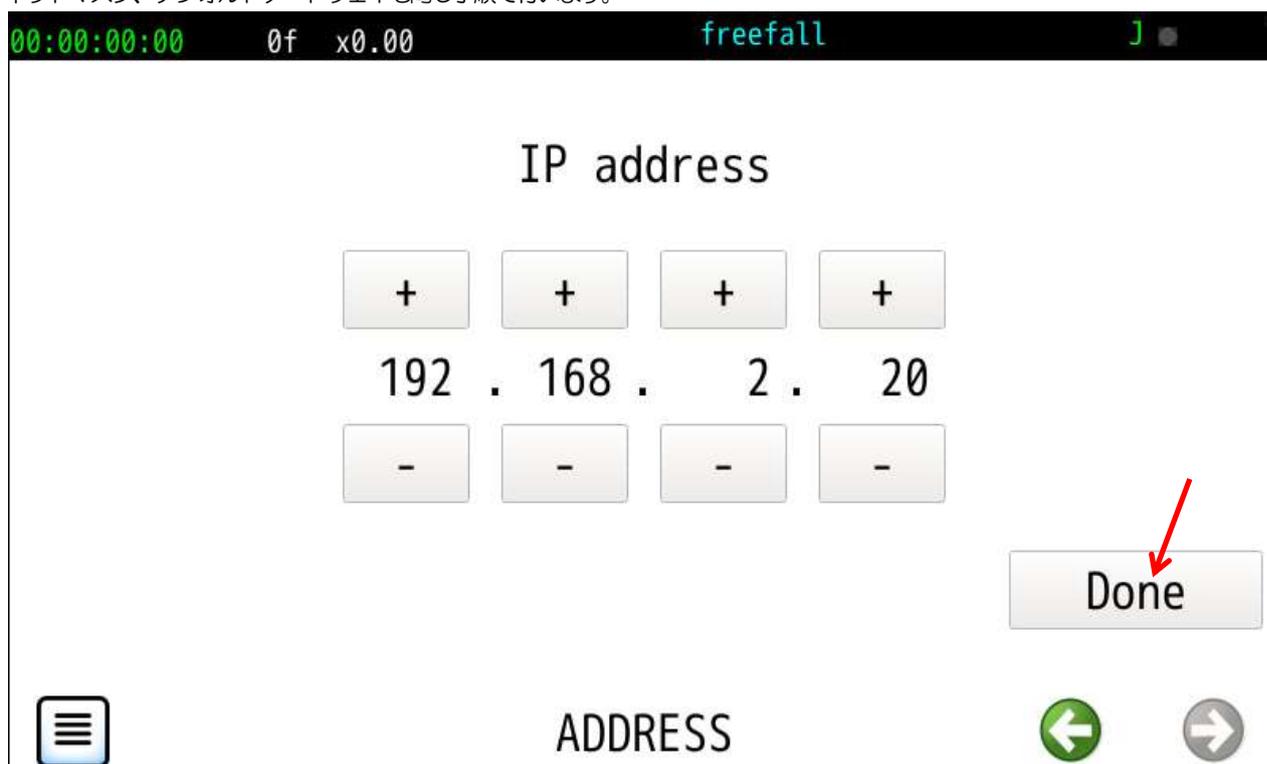
SET

Never use this network for default route

NETWORK EDIT

[目次に戻る](#)

以下はIPアドレスの設定画面です。各桁を+、-ボタンをタップして調整し、Doneボタンをタップします。ネットマスク、デフォルトゲートウェイも同じ手順で行います。



SET ボタンをタップして、確定させます。



GbE とオプションの40GbE 両方のポートを使って通信を行う場合、どちらかのポートのデフォルトゲートウェイを無効にします。無効にするには「Never use this network for default route」にチェックを入れて SET ボタンをタップします。

00:00:00:00 0f x0.00 freefall S ●

40GbE

192.168.0.10 IP address static

MAC

255.255.255.0 Net Mask 00:1B:21:6B:D7:DA

0.0.0.0 Gateway SET

Never use this network for default route

☰ NETWORK EDIT ← →

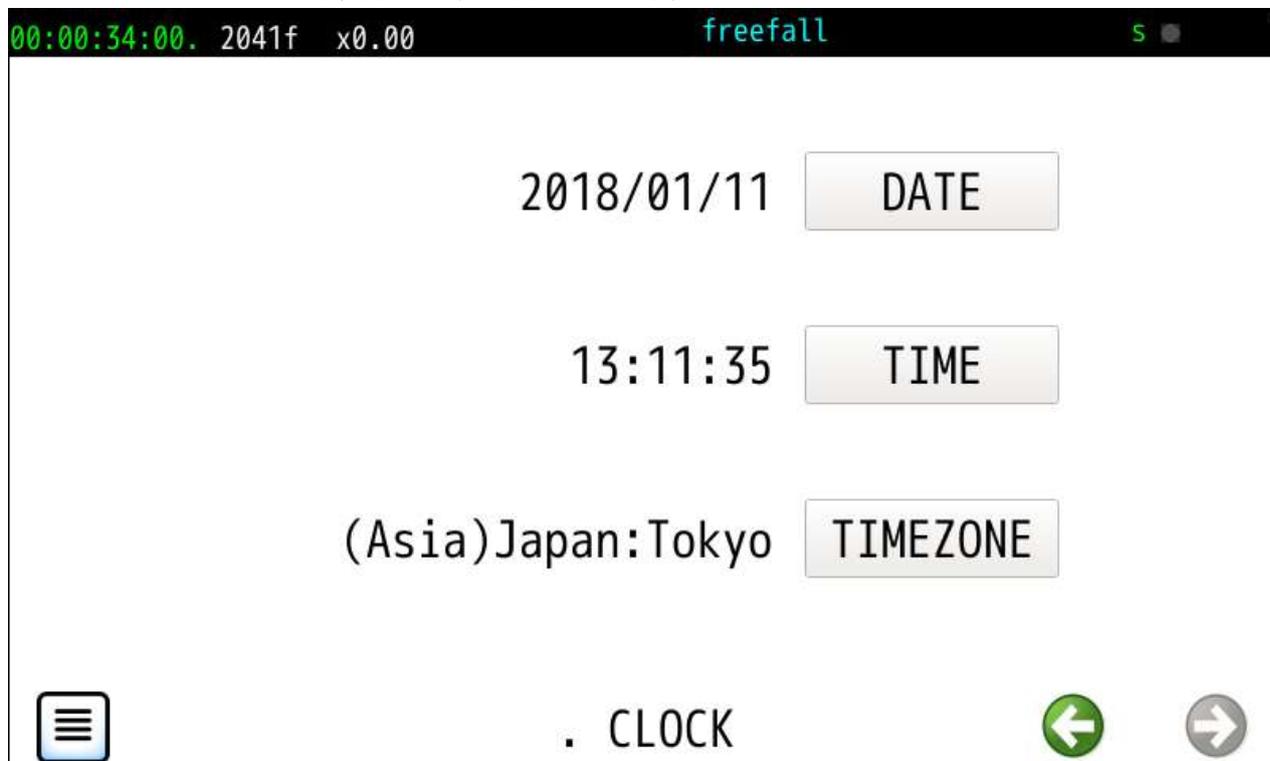
26.2 CLOCK 画面

操作画面

SYSTEM > CLOCK

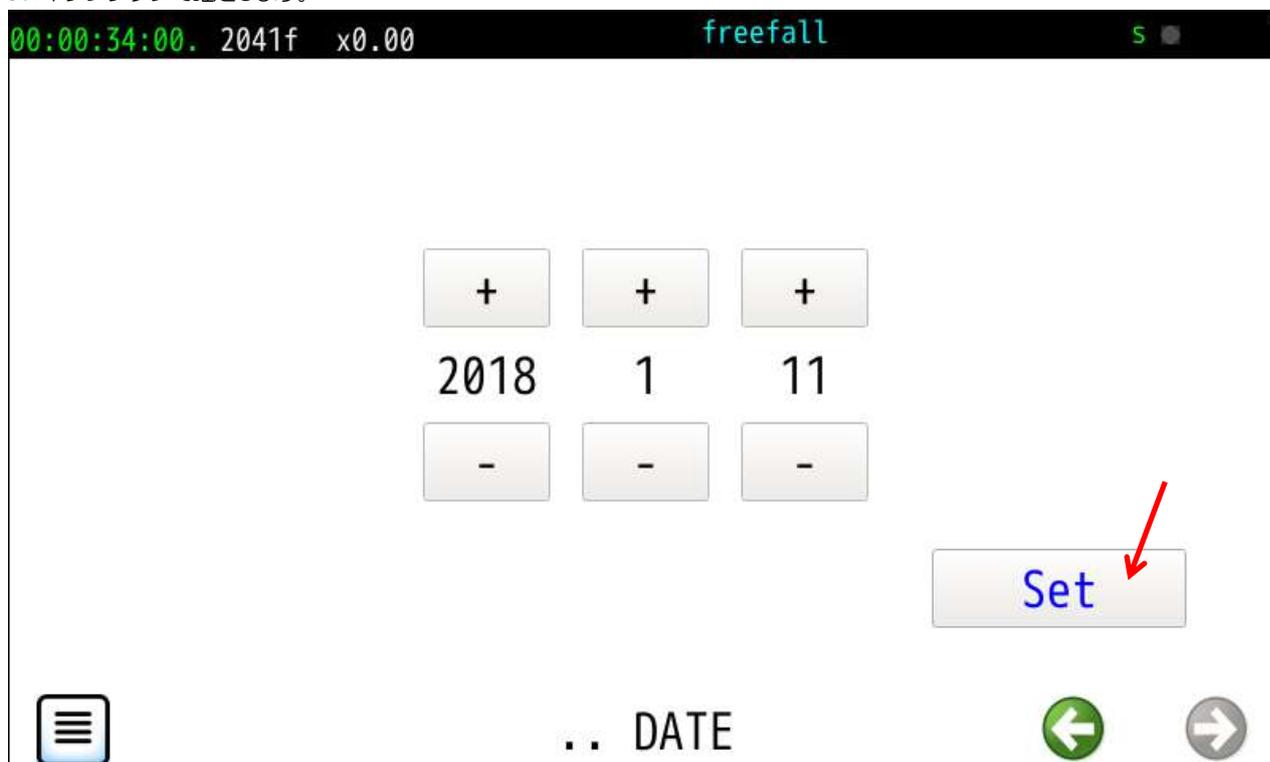
機能

UDR-XL40 / XL40e の保持する日時表示と変更を行います。



日付の設定画面です。

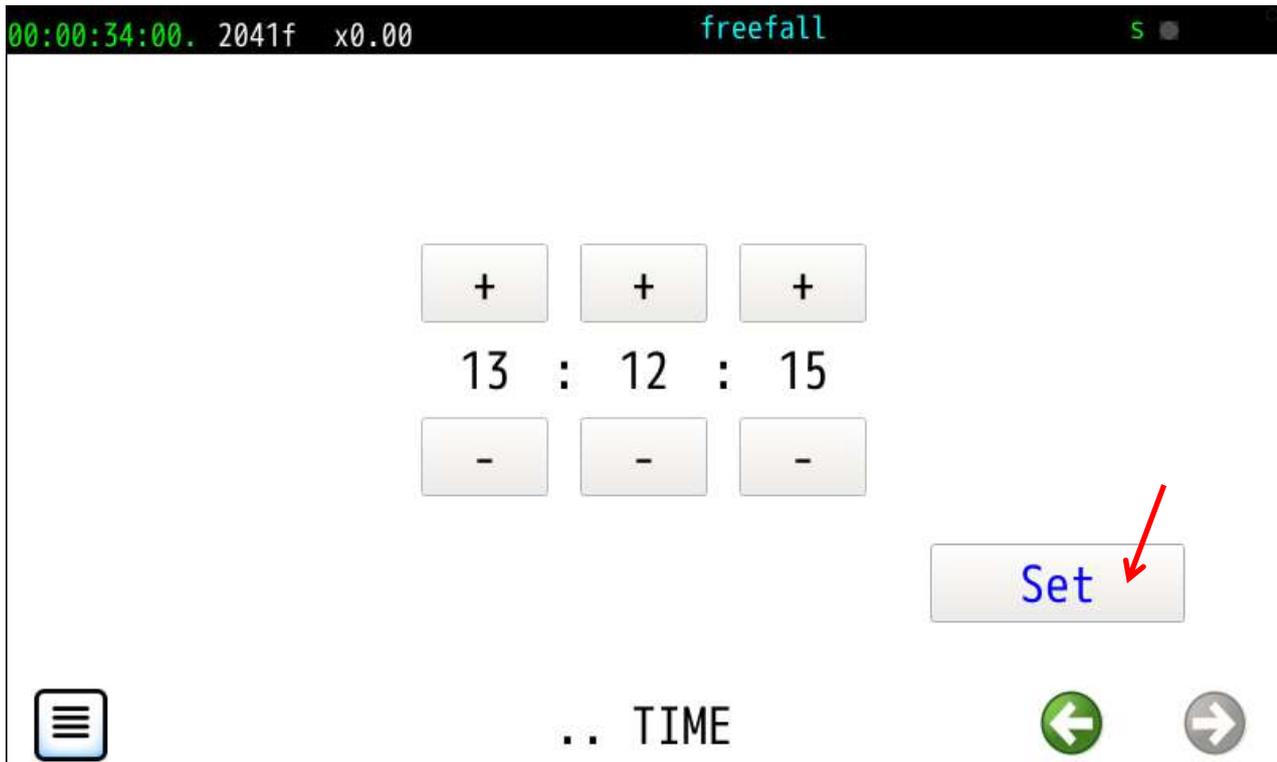
Set ボタンタップで確定します。



[目次に戻る](#)

時刻の設定画面です。

Set ボタンタップで確定します。



タイムゾーンの設定画面です。

Set ボタンタップで確定します。



[目次に戻る](#)

26.3 PANEL BRIGHTNESS 画面

操作画面

SYSTEM > PANEL BRIGHTNESS

機能

前パネル輝度指定画面です。



[目次に戻る](#)

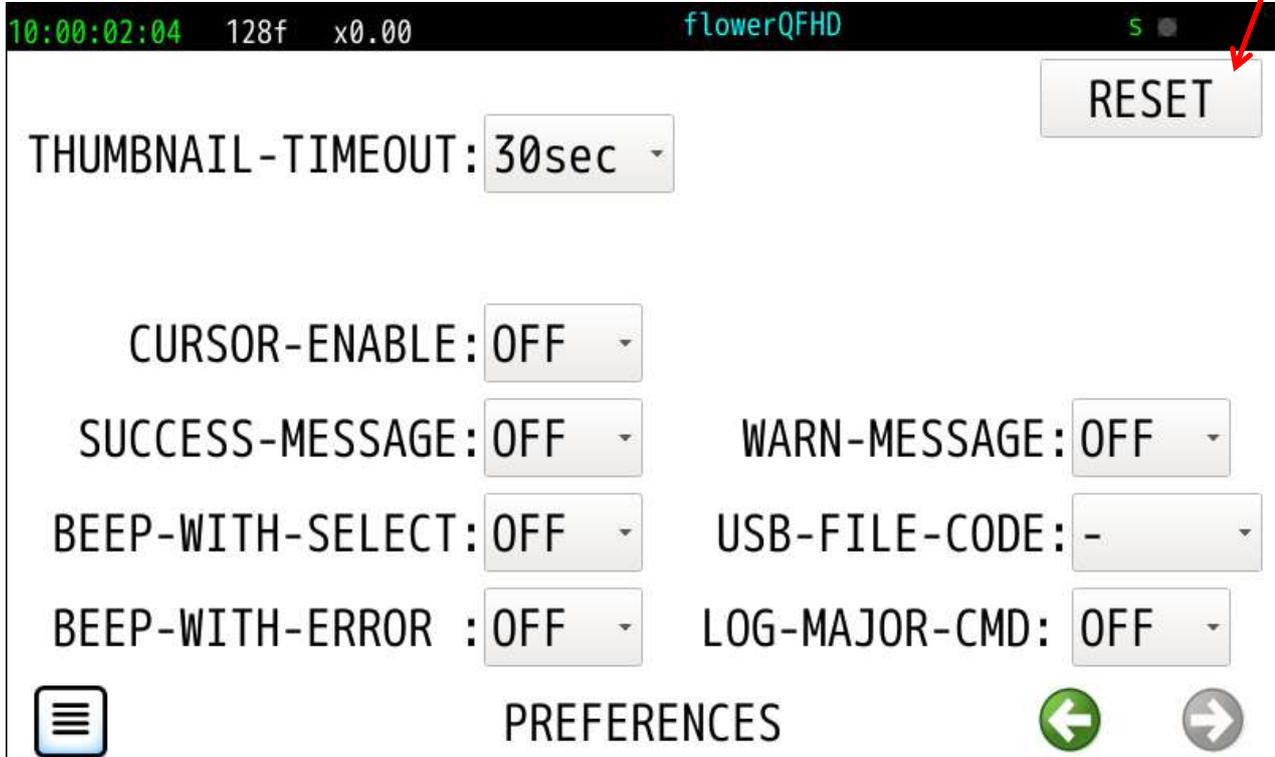
26.4 PREFERNCES 画面

操作画面

SYSTEM > PREFERENCES

機能

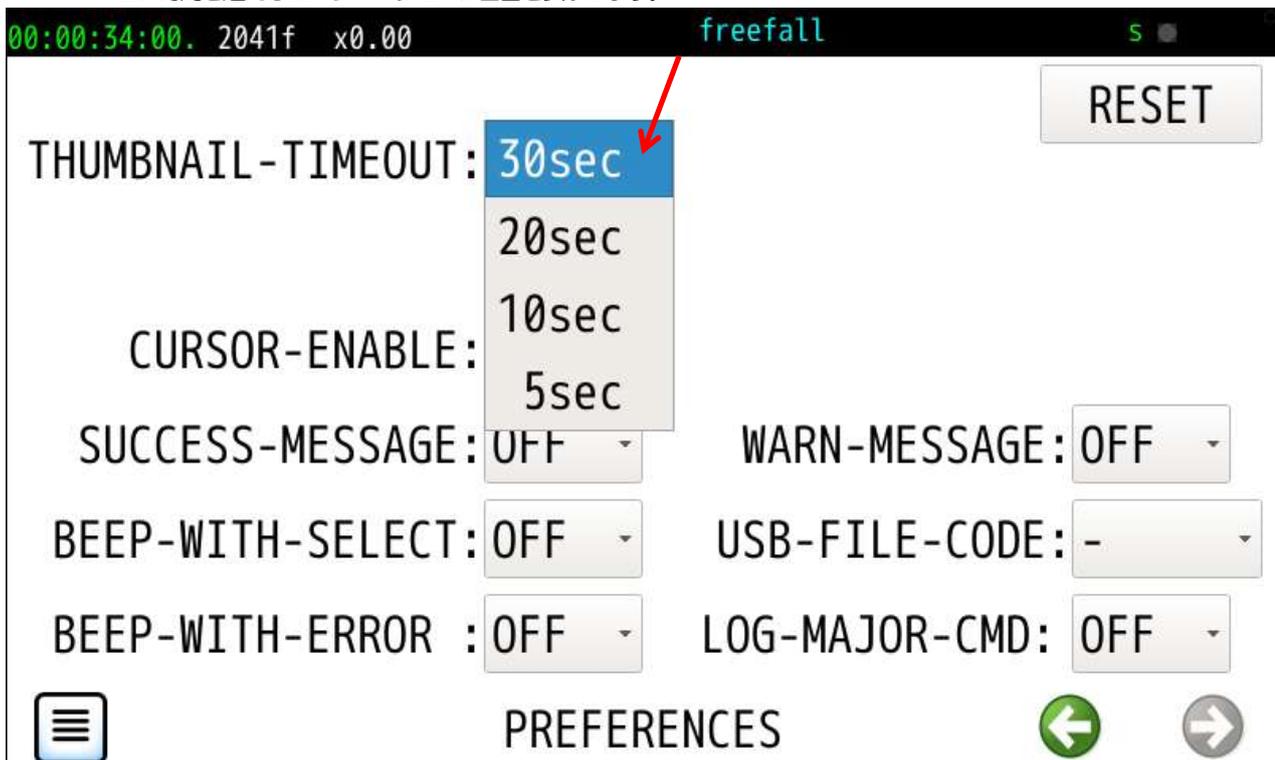
パネル操作環境設定画面です。この画面例はデフォルト値です。リセットボタンでデフォルトに戻ります。



THUMBNAIL-TIMEOUT

クリップのサムネイル生成タイムアウト時間です。

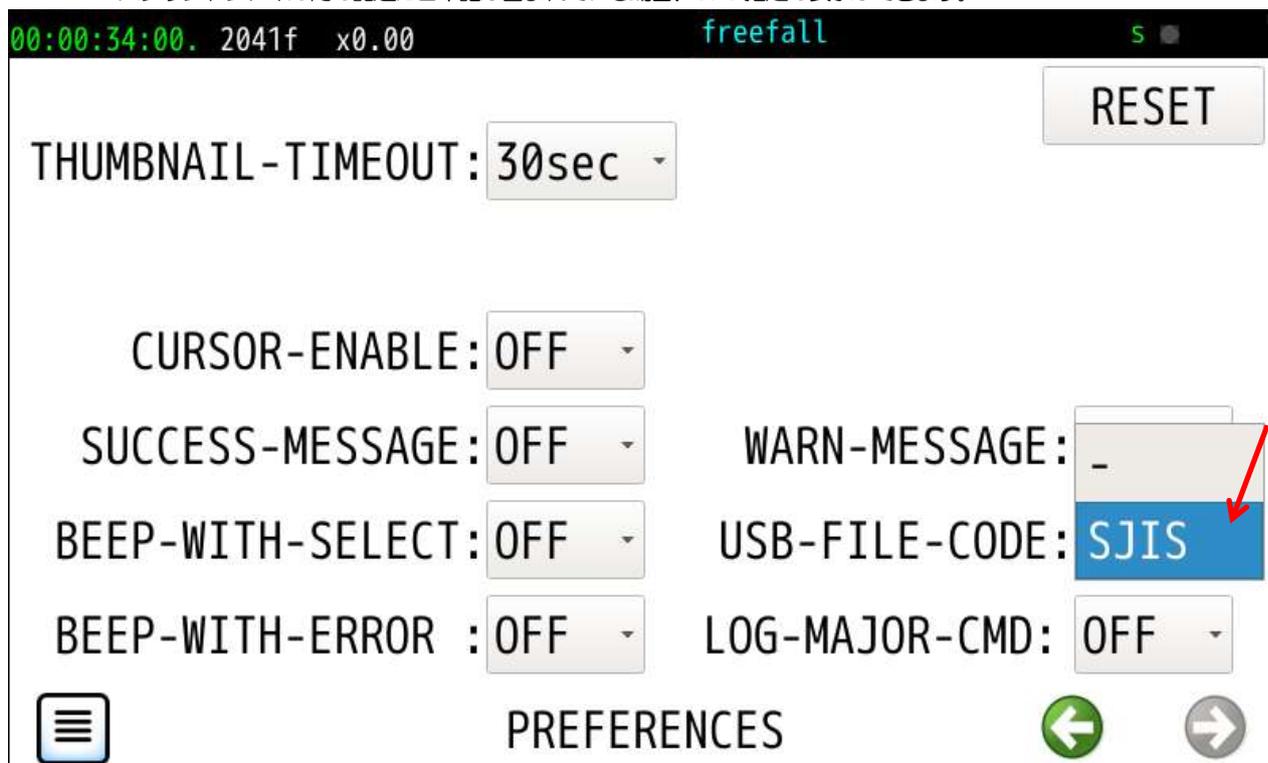
この時間を超えるとエラーメッセージ画面を表示します。



[目次に戻る](#)

USB-FILE-CODE

スクリプトファイル内の記述に日本語が含まれている場合、SJIS 指定の表示ができません。



オンオフ指定設定項目

CURSOR-ENABLE	カーソル表示
SUCCESS-MESSAGE	ビデオフォーマット設定等の成功時にメッセージ画面を出します。
WARN-MESSAGE	UP/DOWNLOAD 画面で USB メディアがマウントされていない場合にエラーメッセージ画面を出します。
BEEP-WITH-SELECT	クリップ選択等でピーブ音を出します。
BEEP-WITH-ERROR	再生クリップ選択等で失敗の場合ピーブ音を出します。
LOG-MAJOR-CMD	内部で実行の主要なテキストコマンドをログに残します。

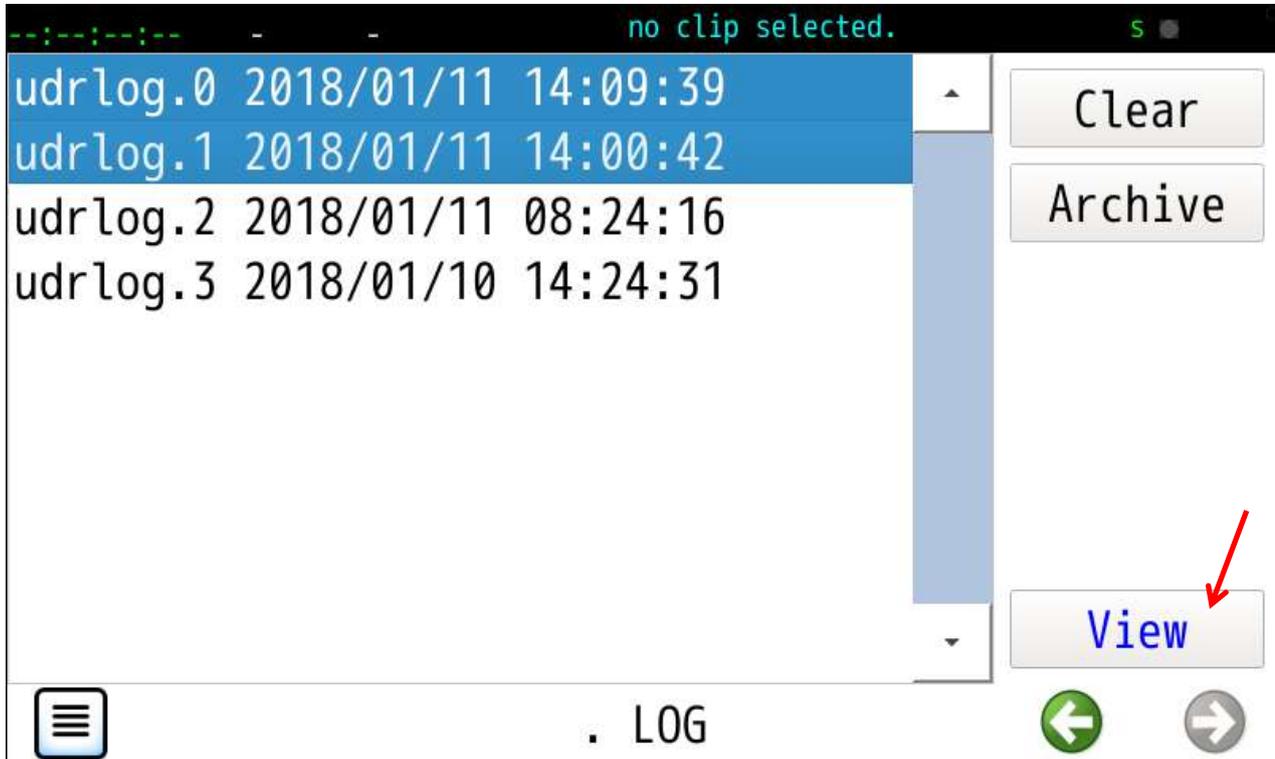
26.5 LOG 画面

操作画面

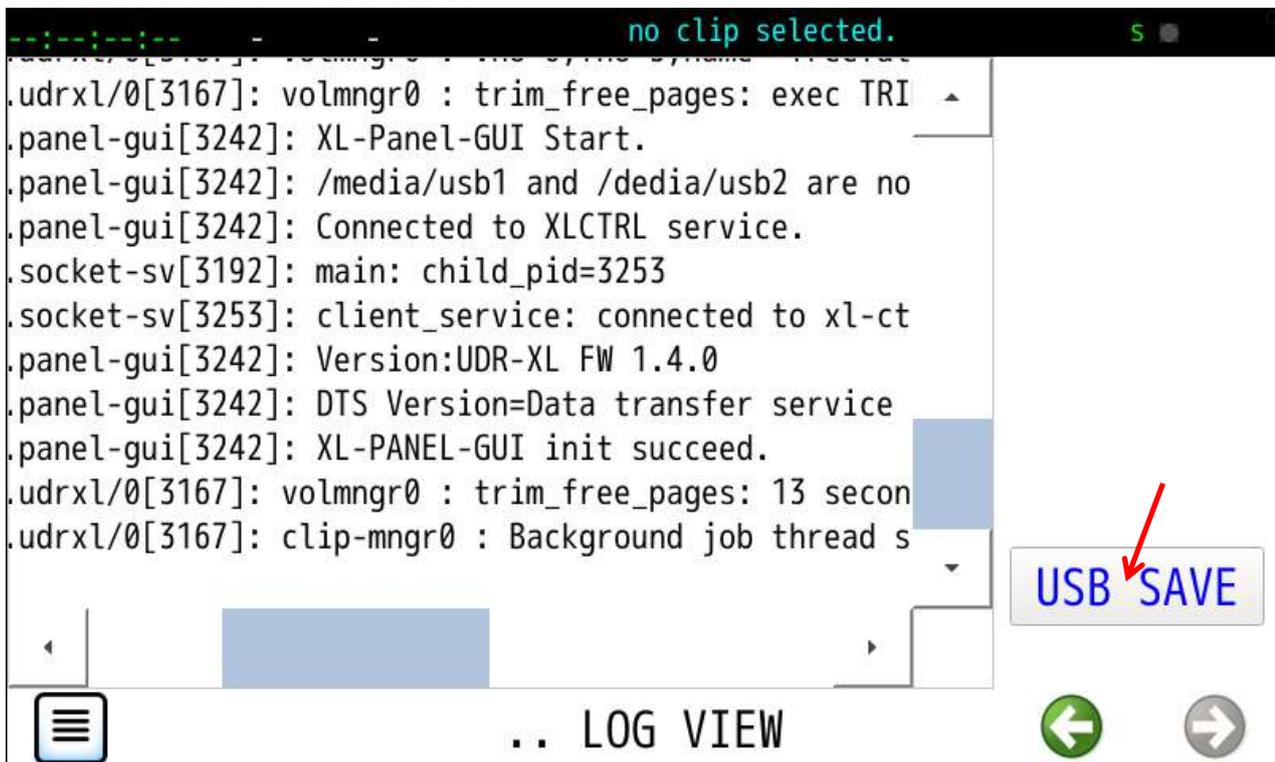
SYSTEM > LOG

機能

UDR-XL40 / XL40e に保持されるログの参照および USB メディアへの転送を行います。
複数または1つのログを選択後 View ボタンでタップ内容を確認できます。

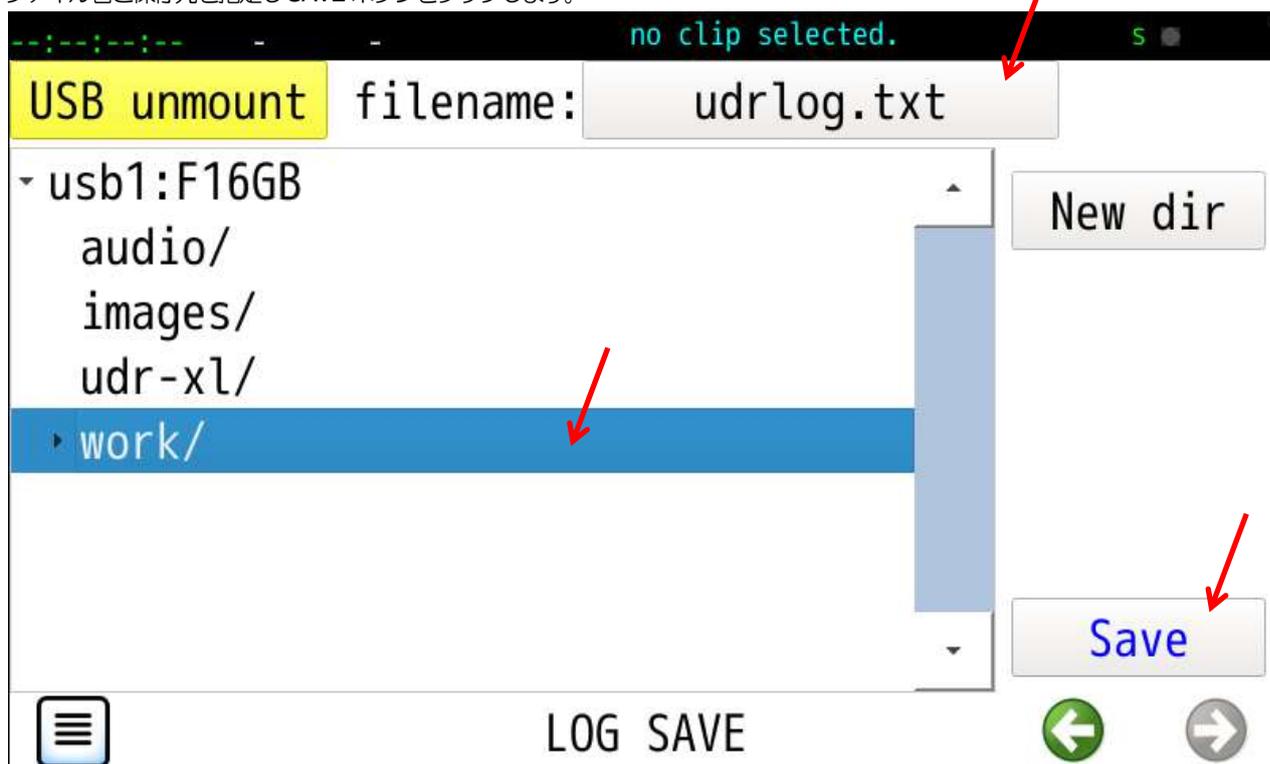


表示されたログは USB メディアに保存できます。



[目次に戻る](#)

ファイル名と保存先を指定しSAVE ボタンをタップします。

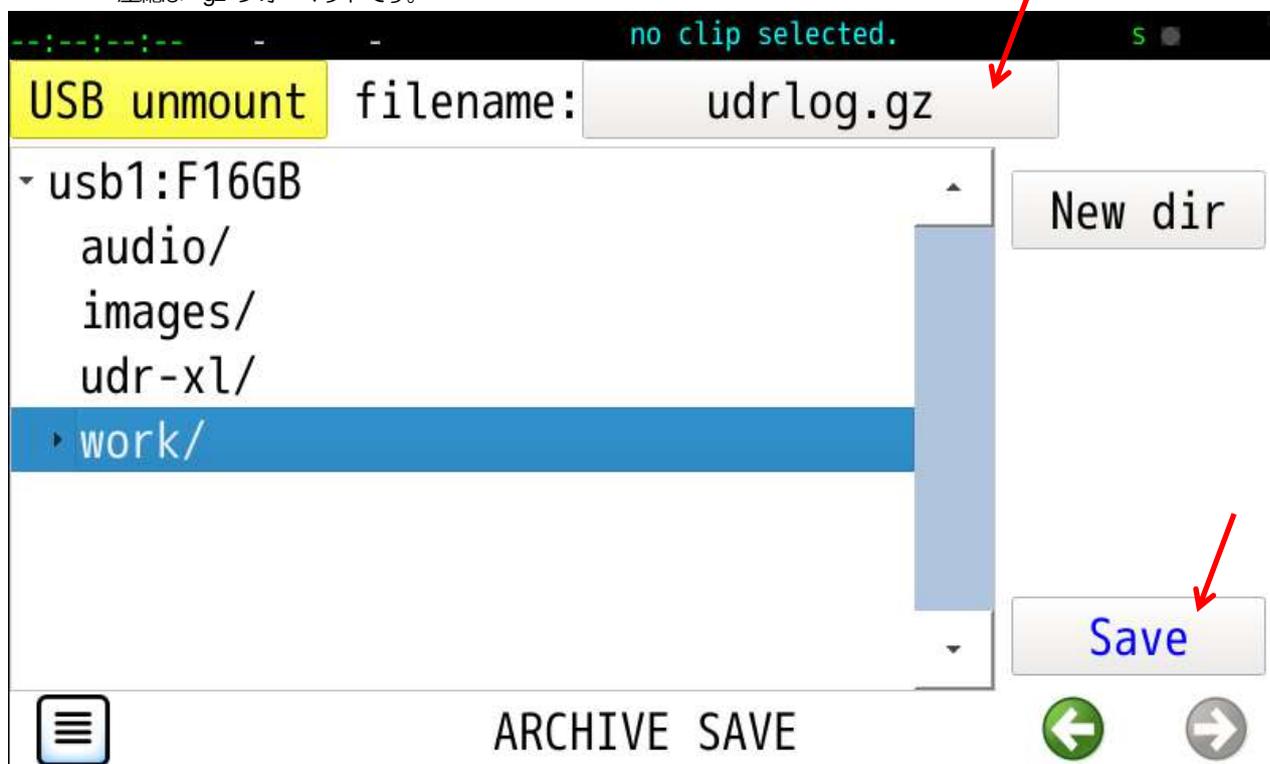


ログ圧縮ファイルのUSB 保存

LOGのトップ画面 Archive ボタンをタップし

LOG 画面で選択の複数ログを圧縮しUSB フラッシュメモリ等にファイル名を指定し保存できます。

圧縮は gz フォーマットです。



[目次に戻る](#)

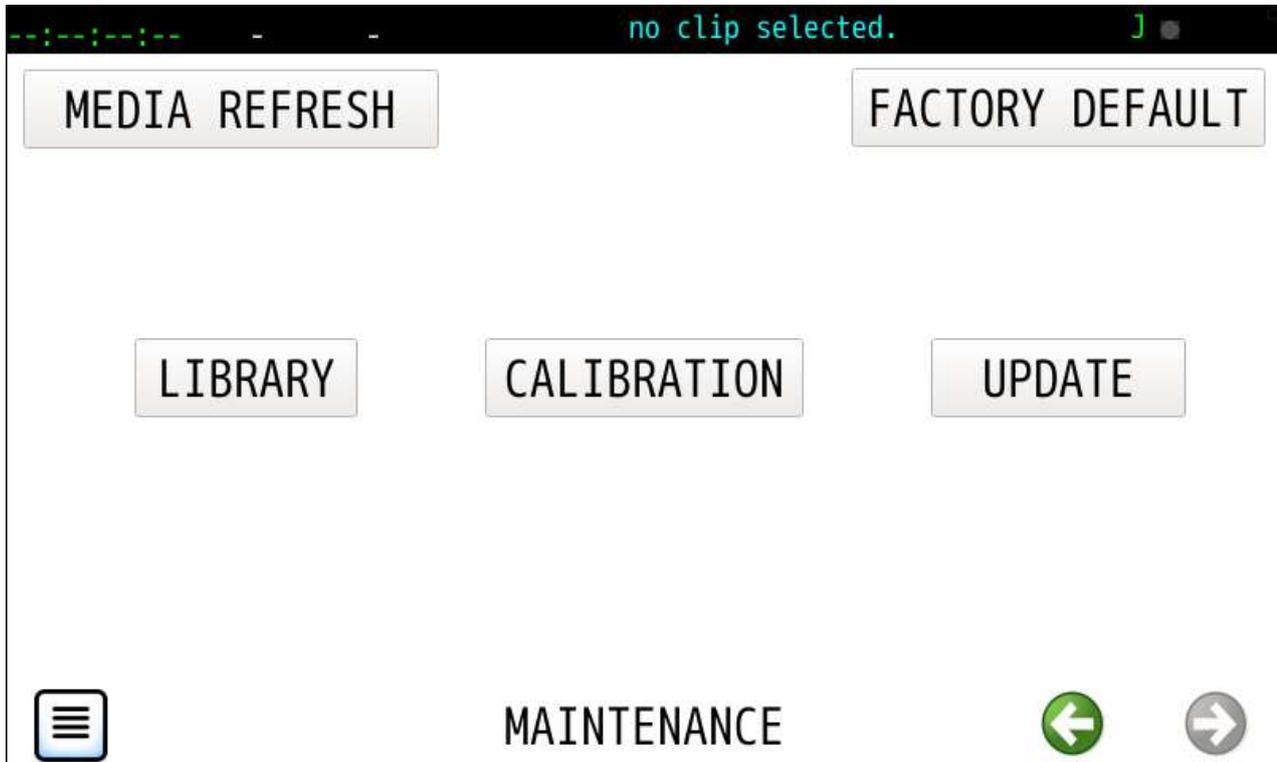
26.6 MAINTENANCE 画面

操作画面

SYSTEM > MENTENANCE

機能

5つの処理を選択します。



MEDIA REFRESH

Media リフレッシュ

FACTORY DEFAULT

工場出荷状態に初期化

LIBRARY

内部ライブラリのメンテナンス

CALIBRATION

タッチパネルキャリブレーション

UPDATE

ファームウェアアップデート

26.6.1 MEDIA REFRESH 画面

操作画面

SYSTEM > MAINTENANCE > MEDIA REFRESH

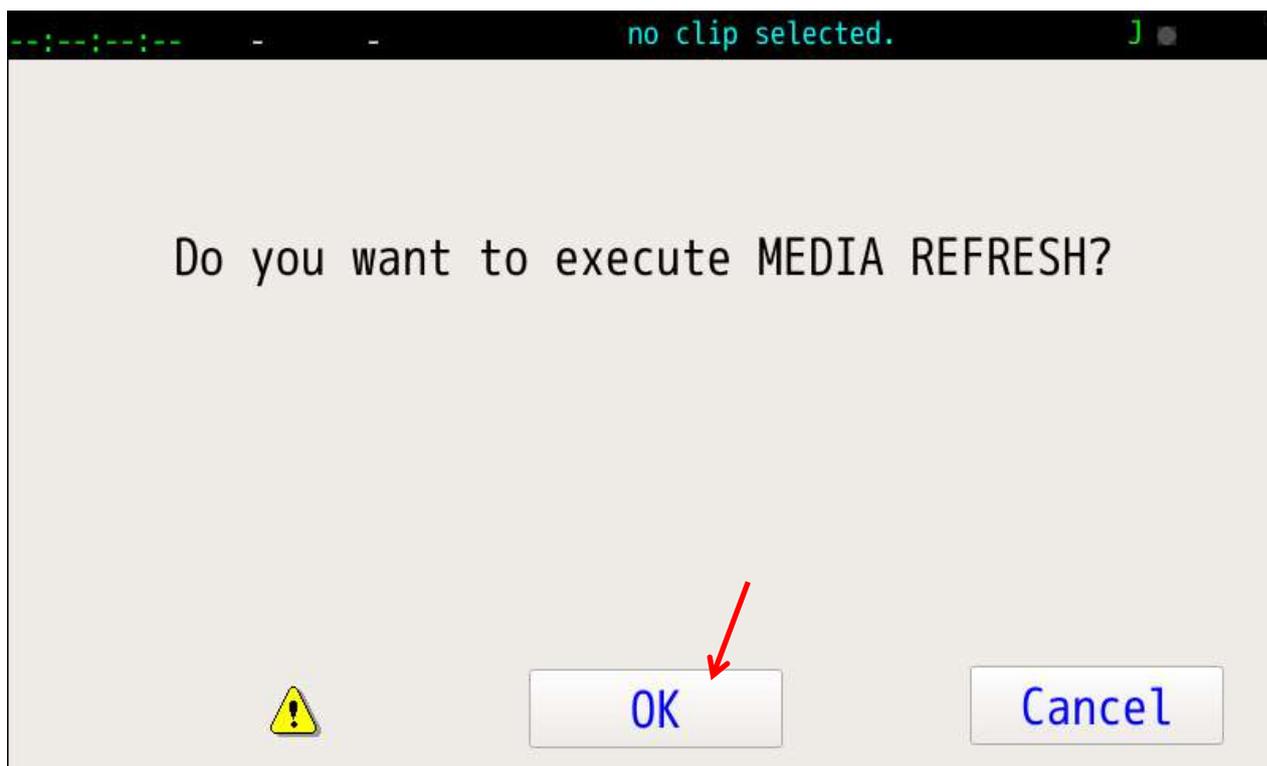
機能

SSD の Secure Erase 機能を使って、メディアパックの転送速度回復を行います。

実行前にメディアパック内の全てのクリップ削除する必要があります。

MEDIA REFRESH ボタンのタップで確認画面が表示されます。

OK ボタンをタップして開始します。(完了するまで時間がかかることがあります。)



※クリップが残っている場合、以下のエラー画面となります。メニューに戻ってクリップの全削除を行って下さい。 → [DELETE](#)



[目次に戻る](#)

実行中は絶対に電源を切らないでください。



完了すると以下の画面を表示します。



[目次に戻る](#)

26.6.2 FACTORY DEFAULT 画面

操作画面

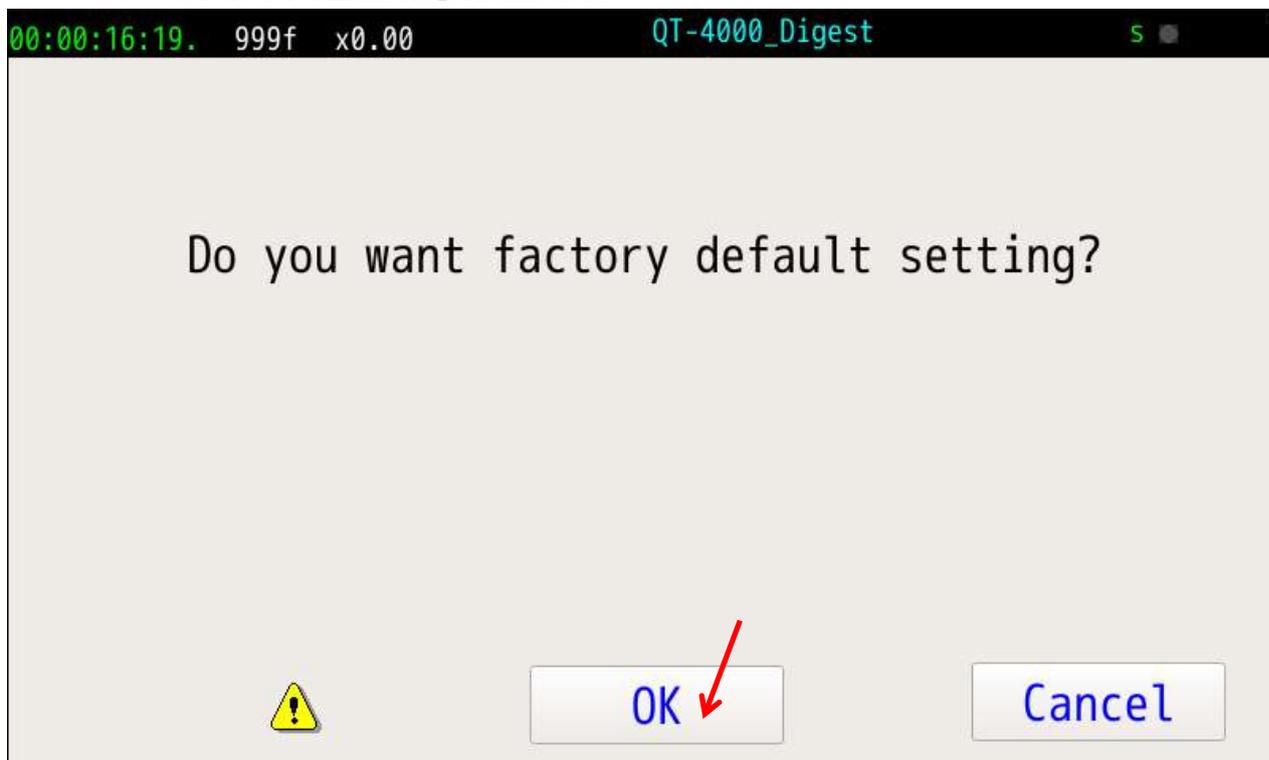
SYSTEM > MAINTENANCE > FACTORY DEFAULT

機能

パラメータ設定を初期値（工場出荷状態）に戻します

実行確認

OK ボタンのタップで工場出荷状態に設定されます。



[目次に戻る](#)

26.6.3 LIBRARY 画面

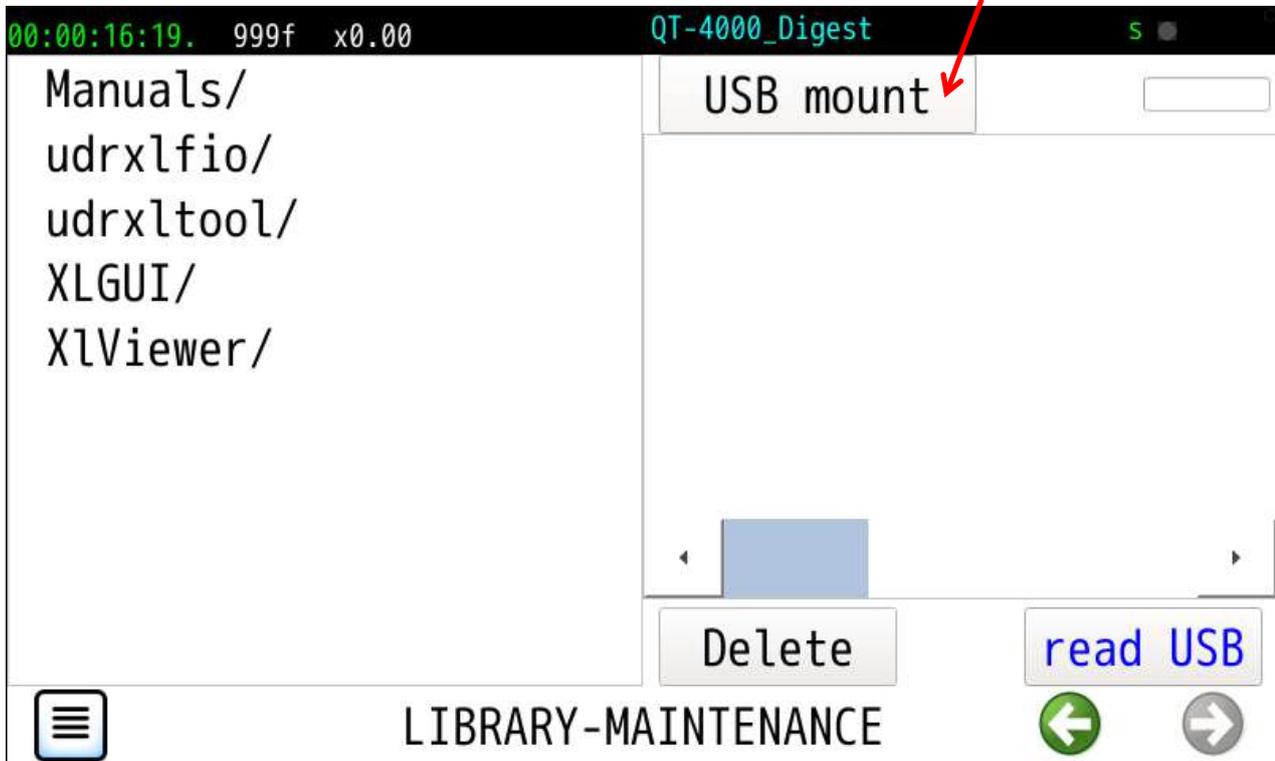
操作画面

SYSTEM > MENTENANCE > LIBRARY

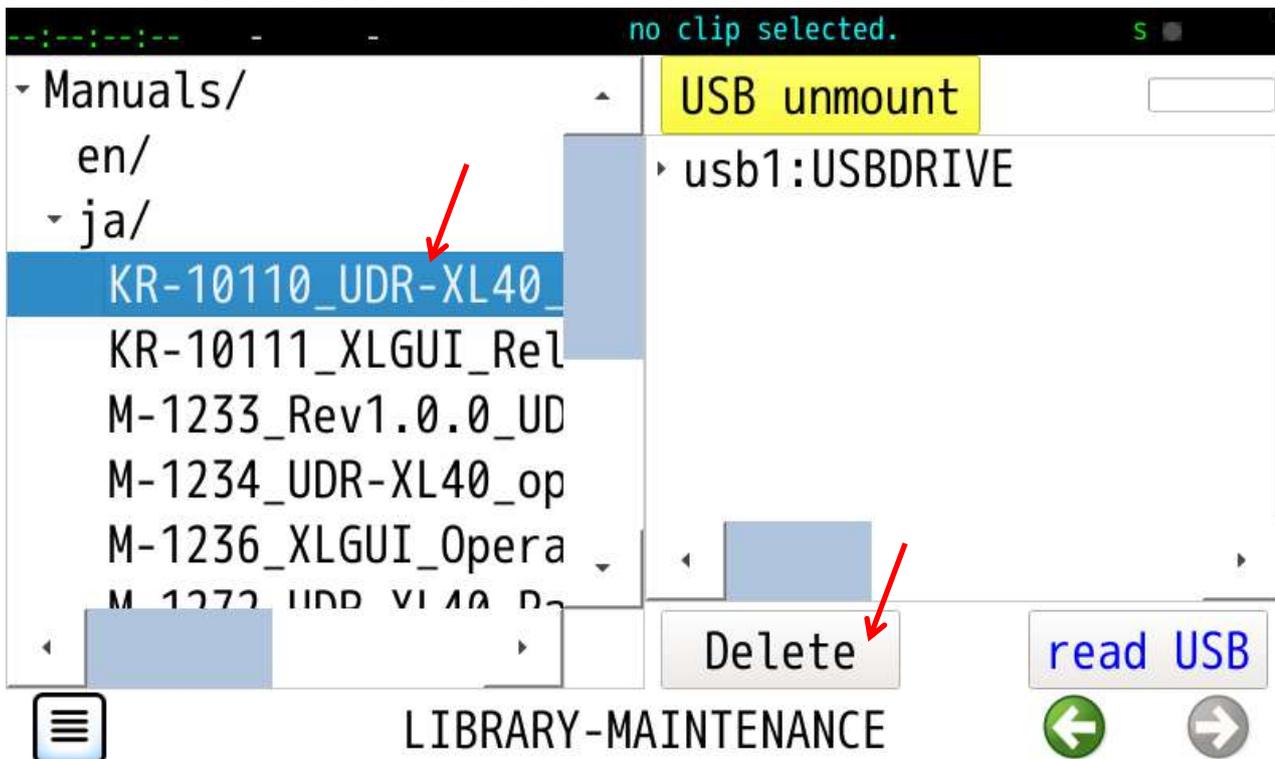
機能

UDR-XL40 / XL40e 内部に保存されているPCアプリケーションおよびマニュアル等の内部ライブラリのメンテナンスを行います。USB メディアを使ってファイルの更新を行います。

USB メディアを電源供給型のハブを介して接続してから USB mount ボタンをタップします。

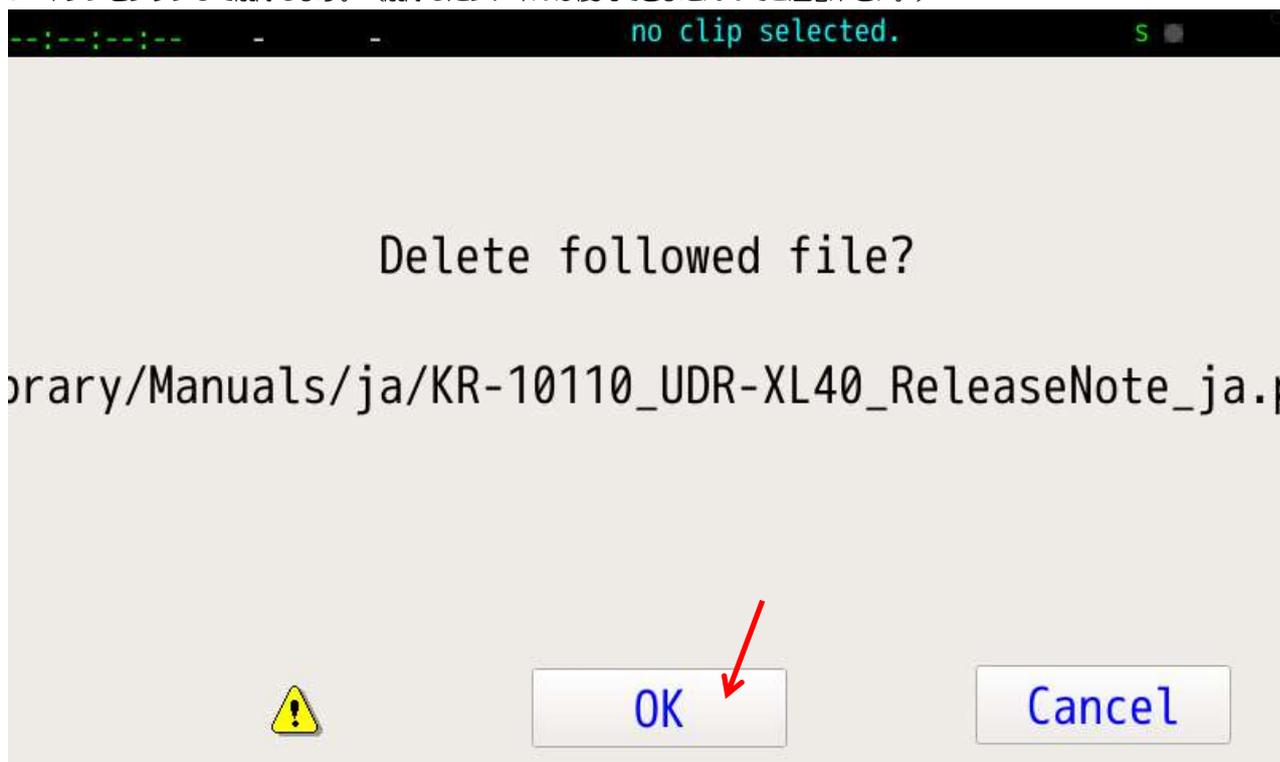


UDR-XL40 / XL40e の更新する対象のファイルを指定し、Delete ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)

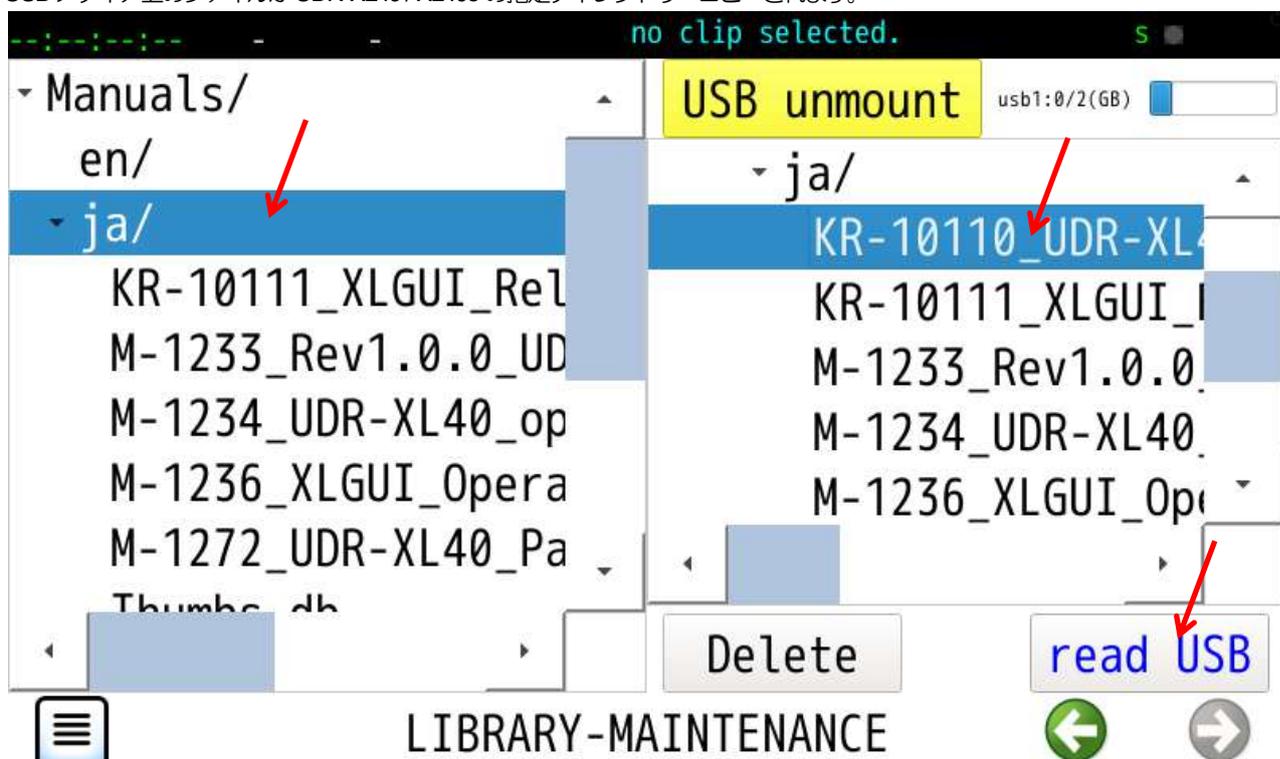
OK ボタンをタップして削除します。(削除したファイルは復元できませんのでご注意ください。)



UDR-XL40 / XL40e の保存先ディレクトリを選択します。

USB メディア上にある更新するファイルを選択して、read USB ボタンをタップします。

USB メディア上のファイルがUDR-XL40 / XL40e の指定ディレクトリへコピーされます。



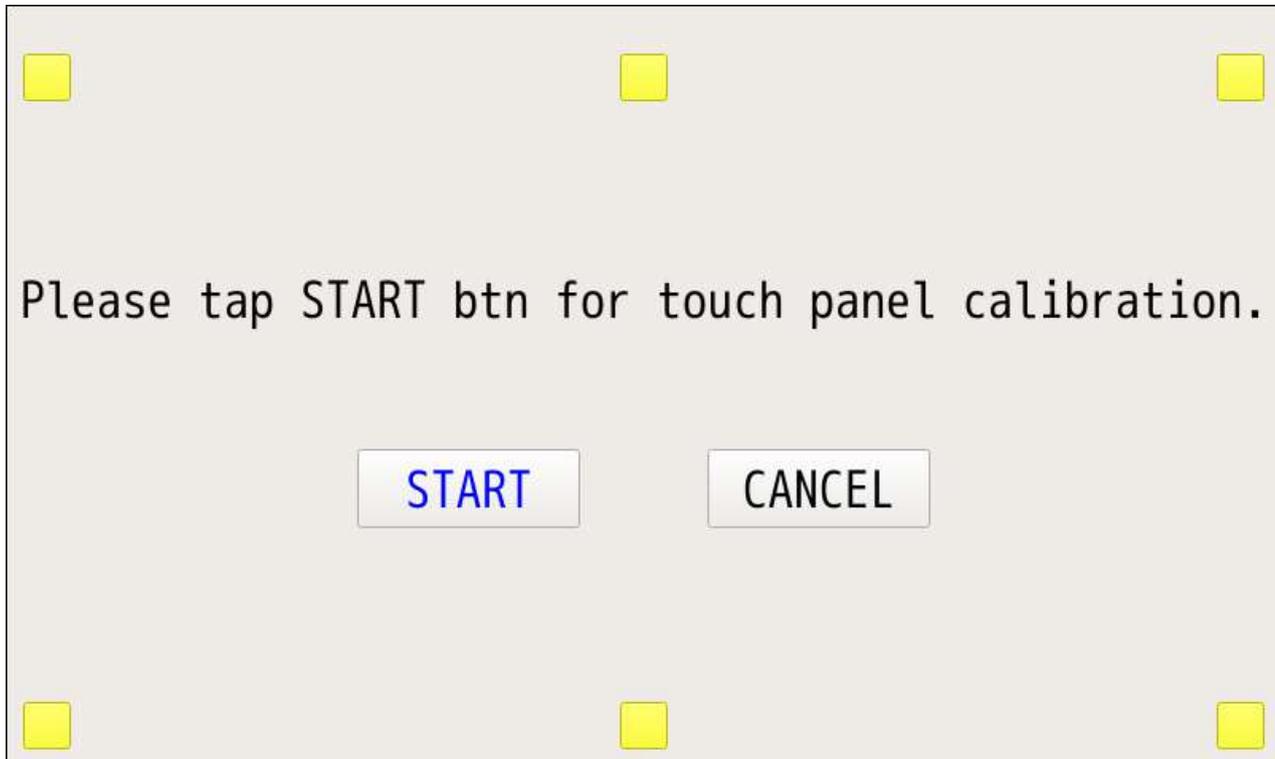
26.6.4 CALIBRATION 画面

操作画面

SYSTEM > MENTENANCE > CALIBRATION

機能

静電容量タイプのタッチパネルキャリブレーションを行います。(キャリブレーション必要なタッチパネル搭載機のみ)



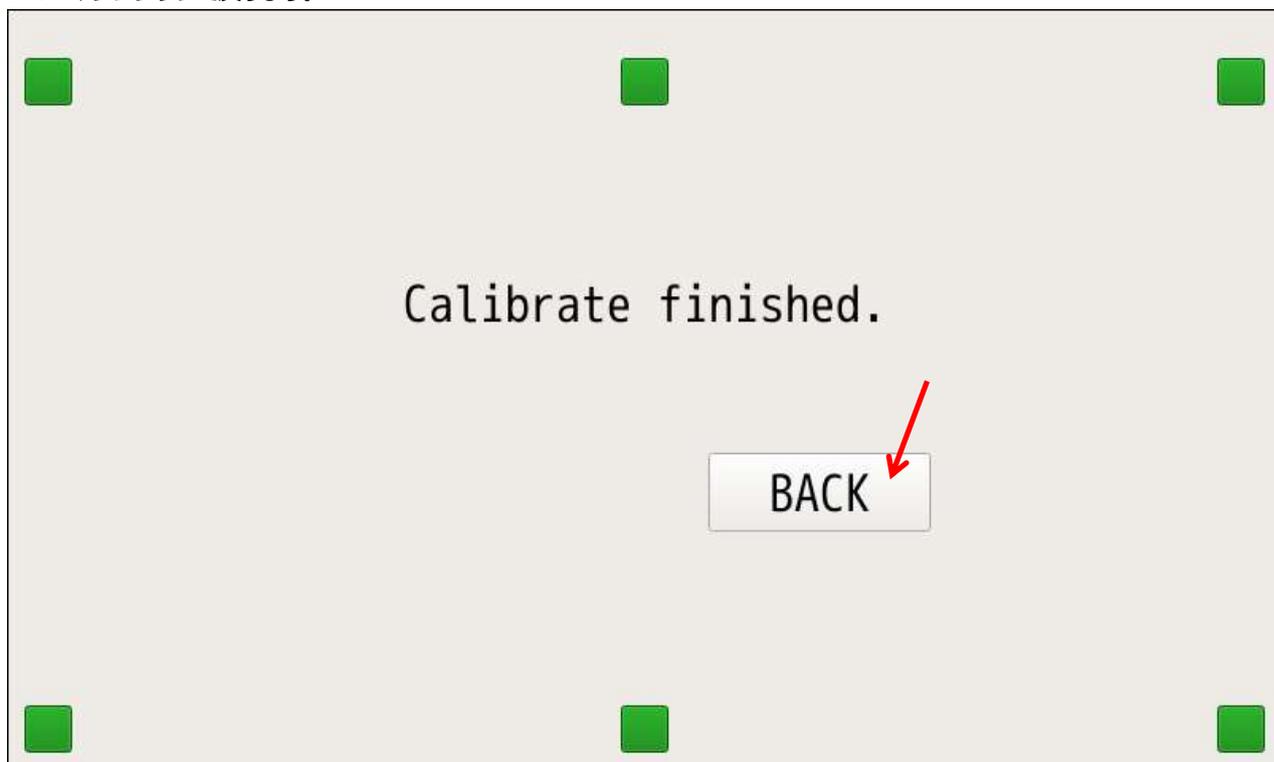
6箇所の黄色い矩形領域をタップし緑色にし、START ボタンをタップします。



[目次に戻る](#)



キャリブレーション完了で次の画面になります。
BACK ボタンタップで戻ります。



※キャリブレーションが不要なタッチパネルを搭載している機種は、START ボタン押下後、画面に「This touch panel does not need to be calibrated.」が表示されます。

[目次に戻る](#)

26.6.5 UPDATE 画面

操作画面

SYSTEM > UPDATE

機能

ファームウェアアップデートを行います。

SYSTEM > MAINTENANCE 画面の UPDATE ボタンタップでこの画面になります。

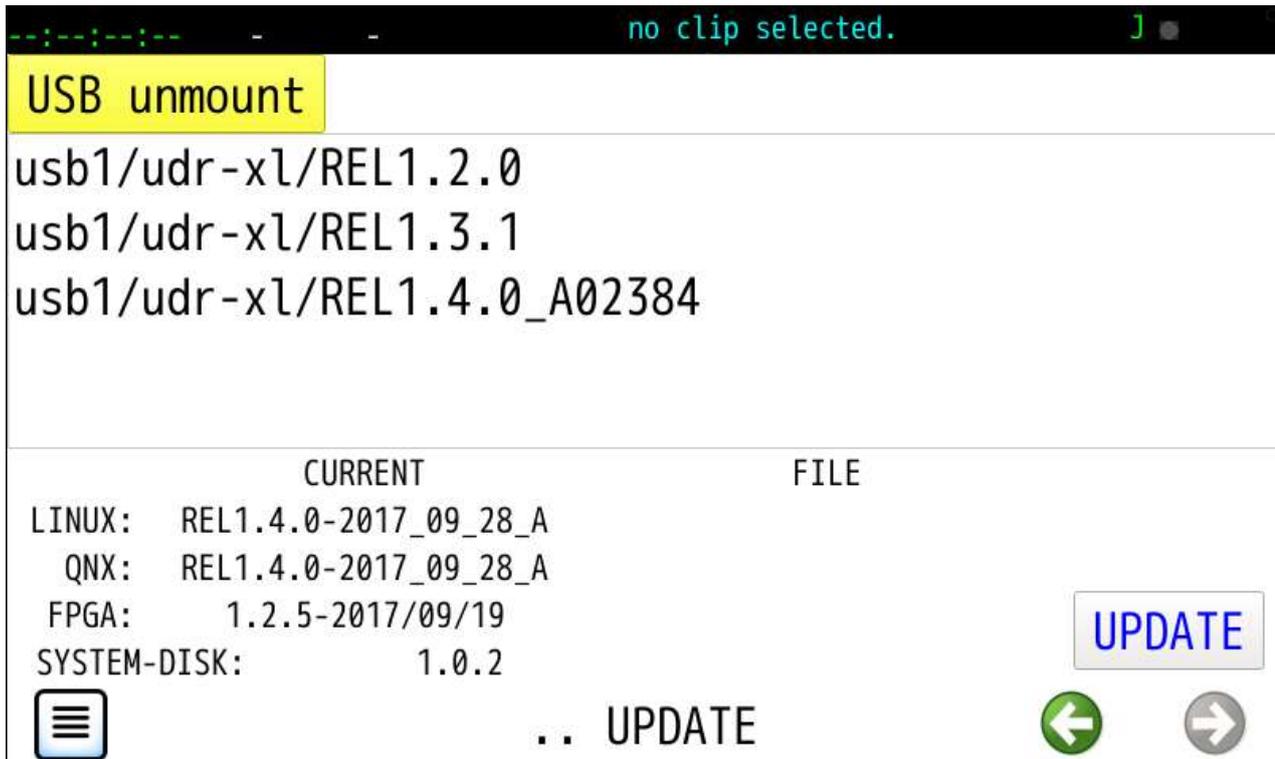
ファームウェアリリースの USB フラッシュメモリが格納ディレクトリ場所は任意です。

マウントで USB メモリ内の udrxl-release ファイルを検索し一覧表示します。

例

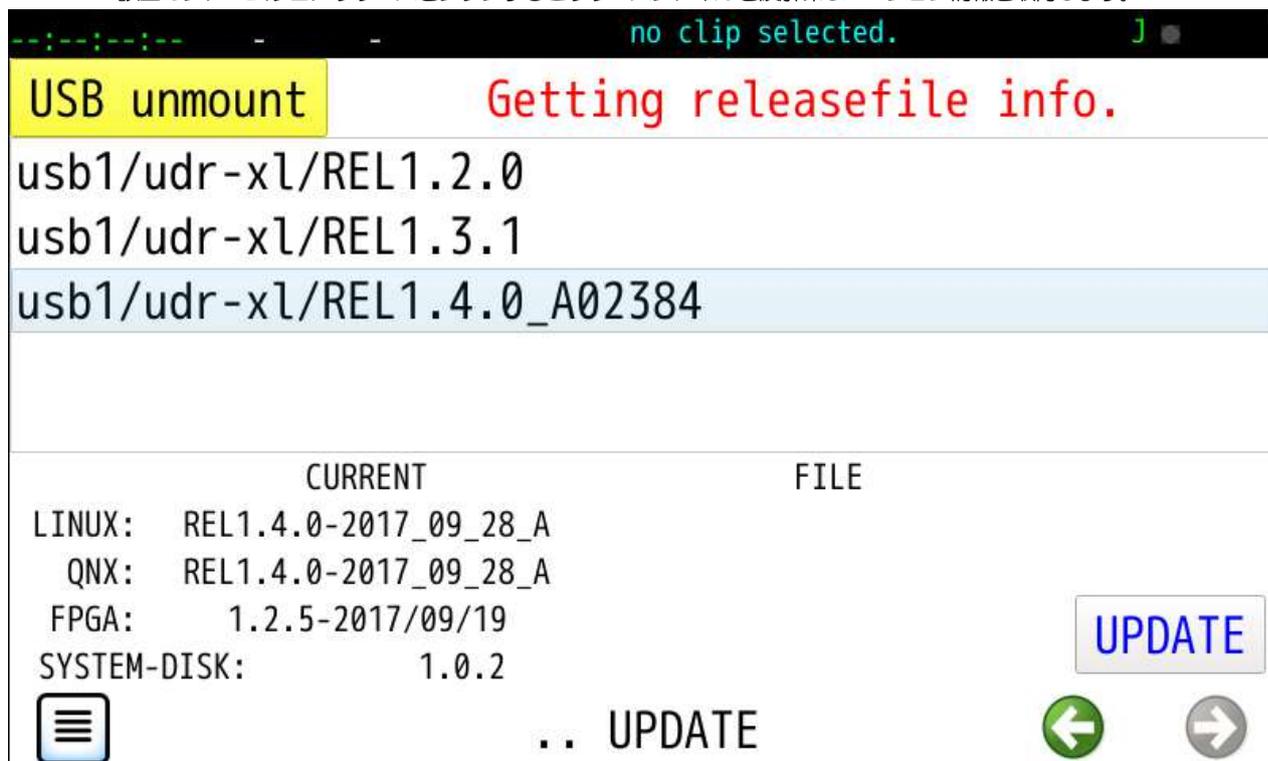


USB マウント



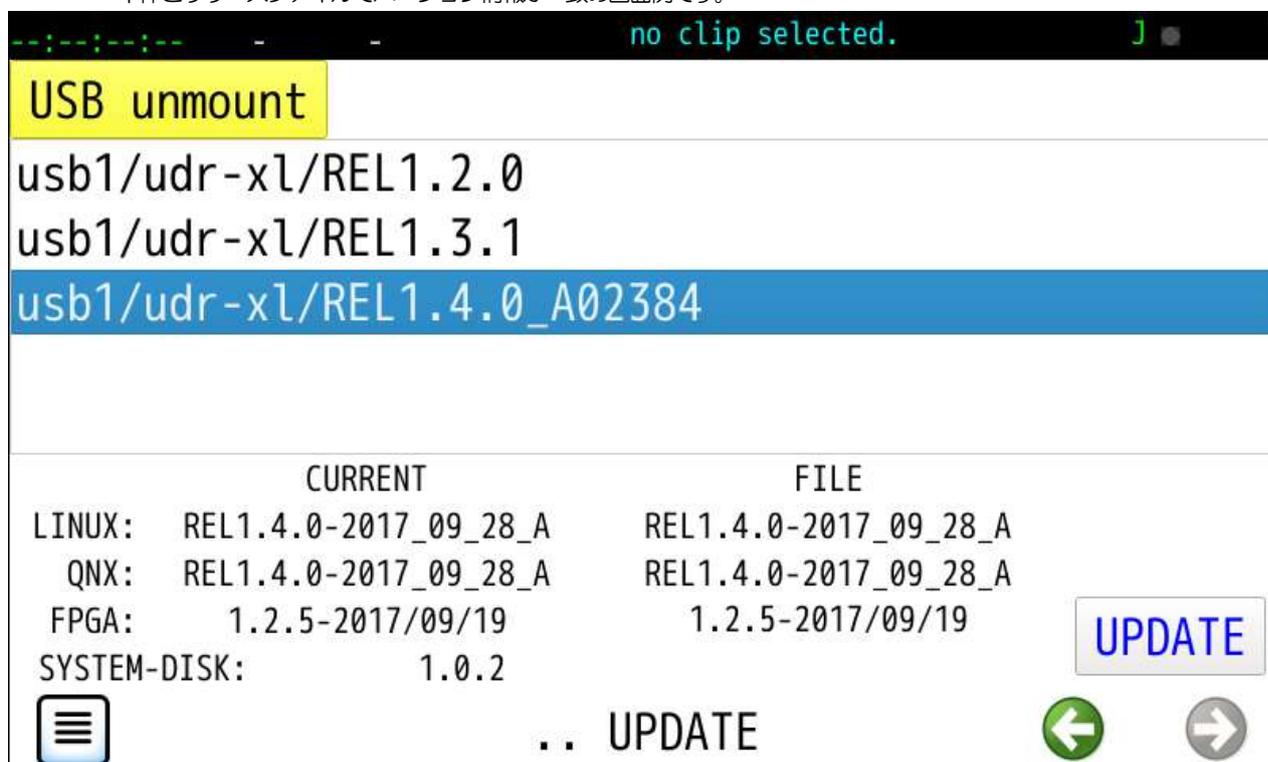
リリースファイル選択

該当のファームウェアリリースをタップするとリリースファイルを仮解凍しバージョン情報を取得します。



リリースバージョン表示 (一致)

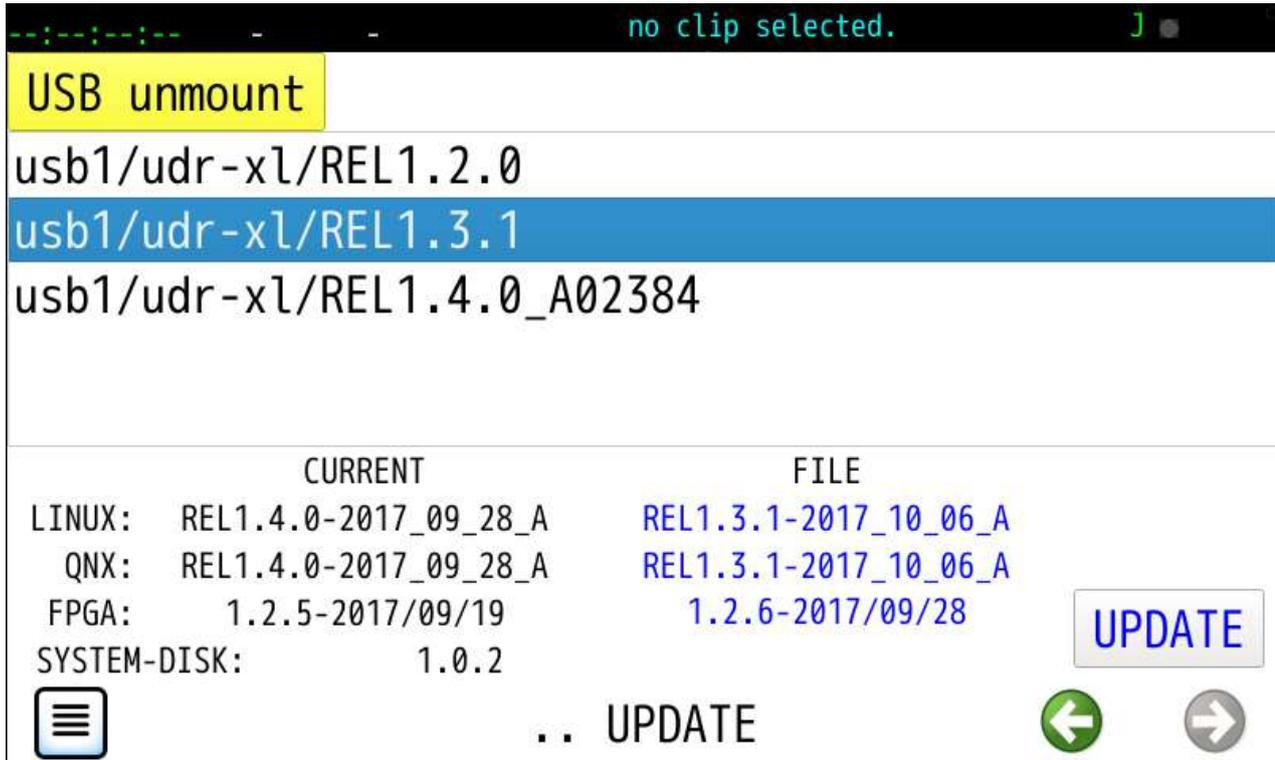
本体とリリースファイルでバージョン情報が一致の画面例です。



[目次に戻る](#)

リリースバージョン表示 (別バージョン)

本体とリリースファイルでバージョン情報が異なる画面例です。



実行確認

UPDATE ボタンのタップで確認画面になります。



[目次に戻る](#)

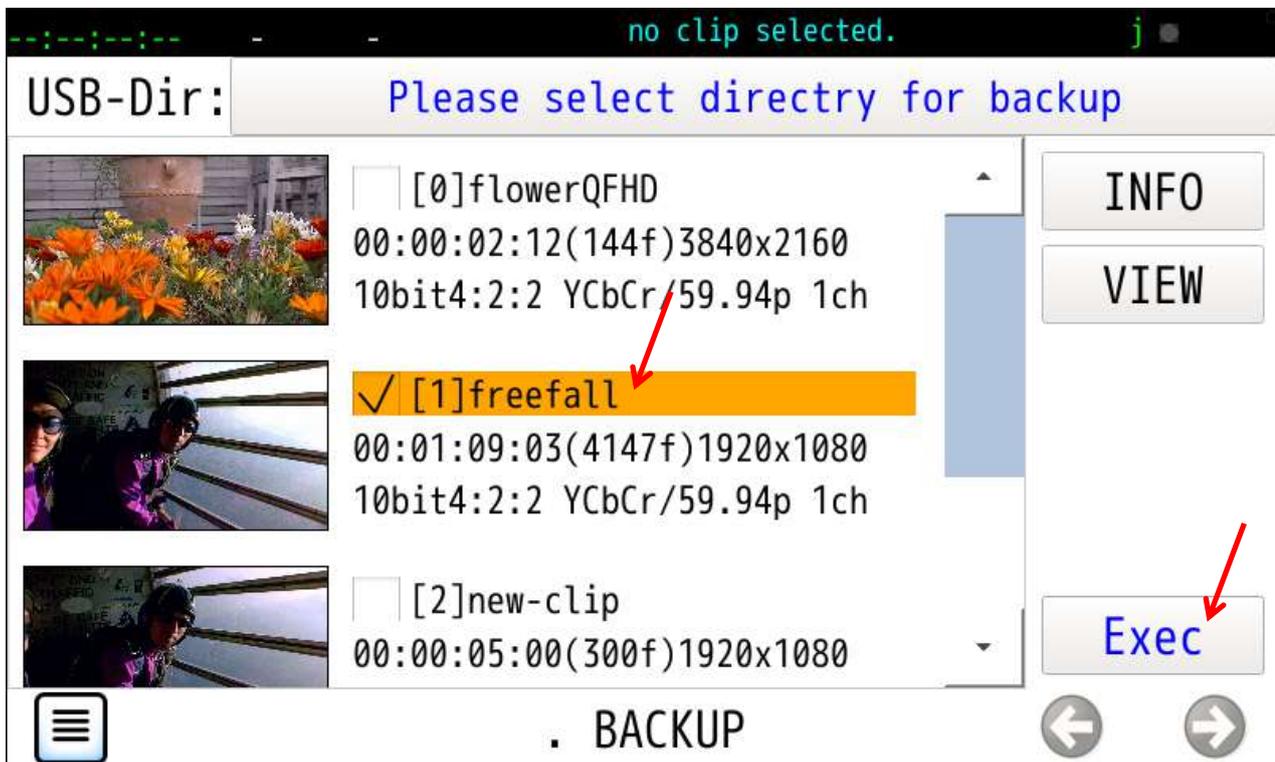
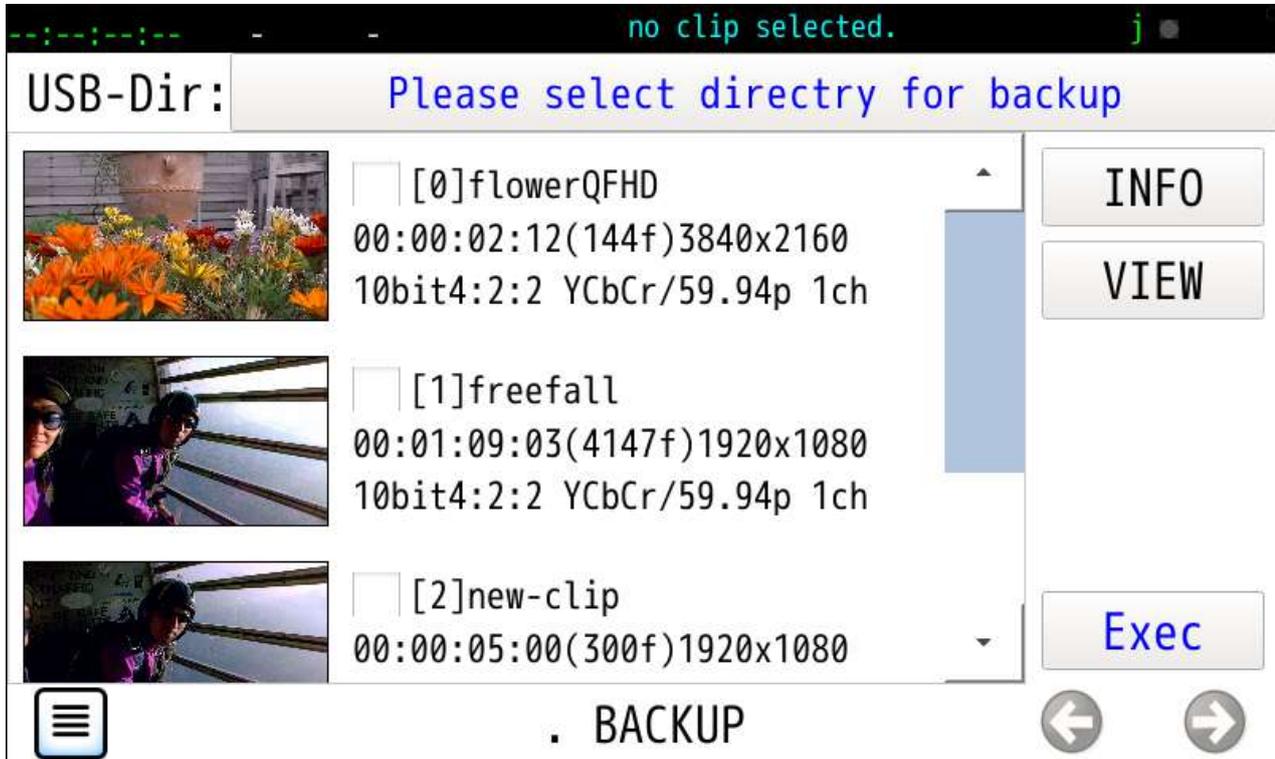
26.7 BACKUP 画面

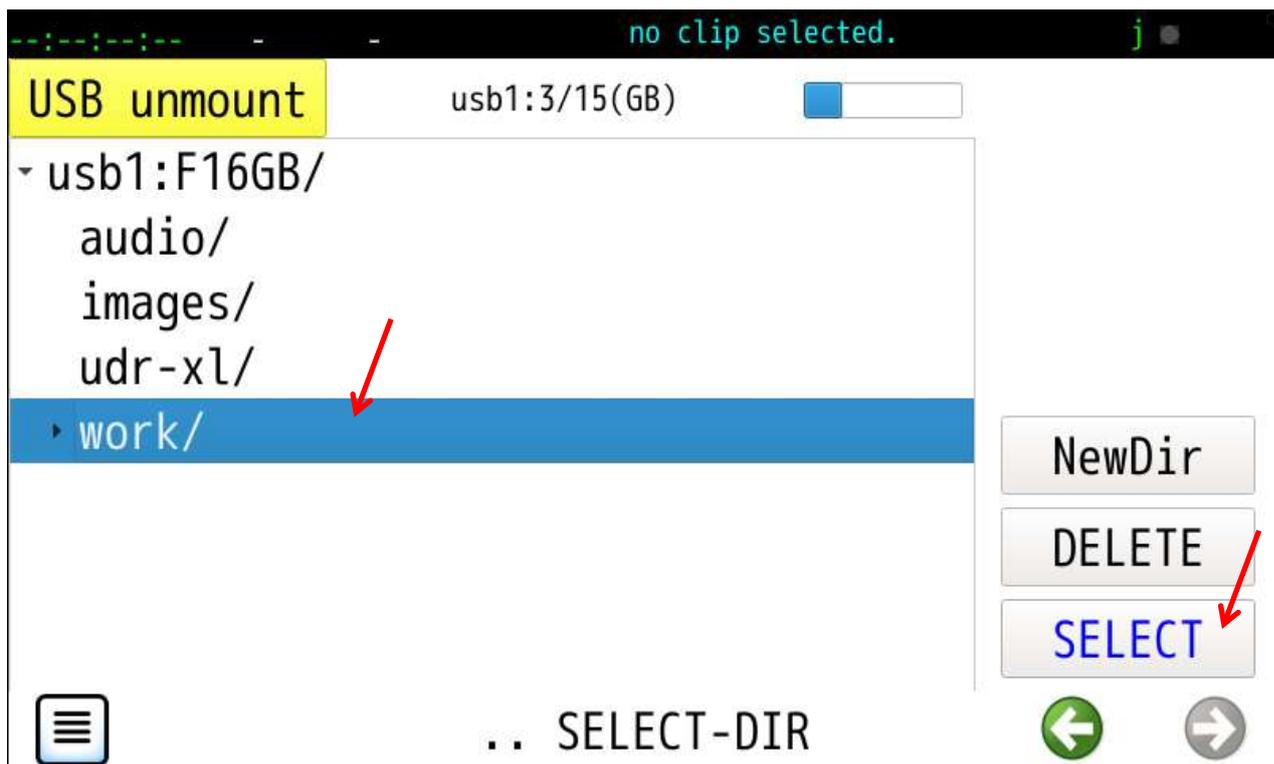
操作画面

SYSTEM > BACKUP

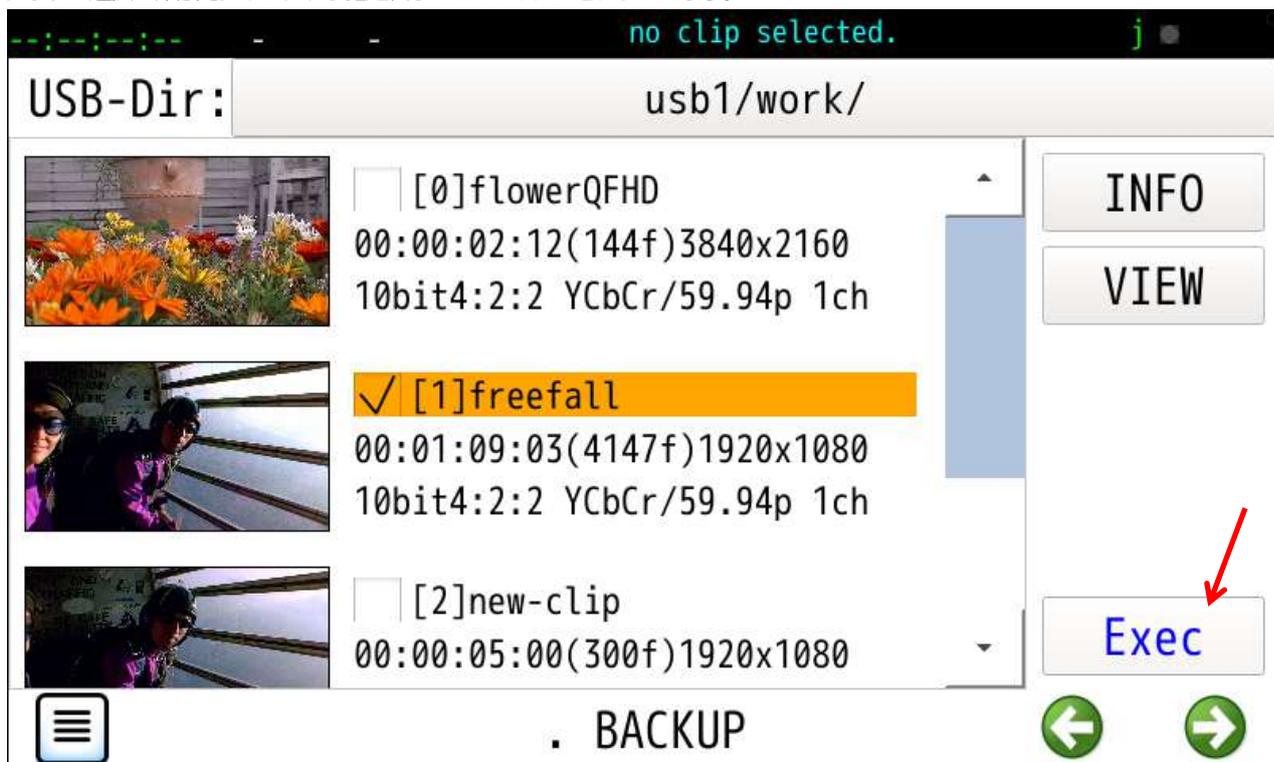
機能

複数クリップを選択し、クリップ情報・映像・音声データをまとめて保存します。



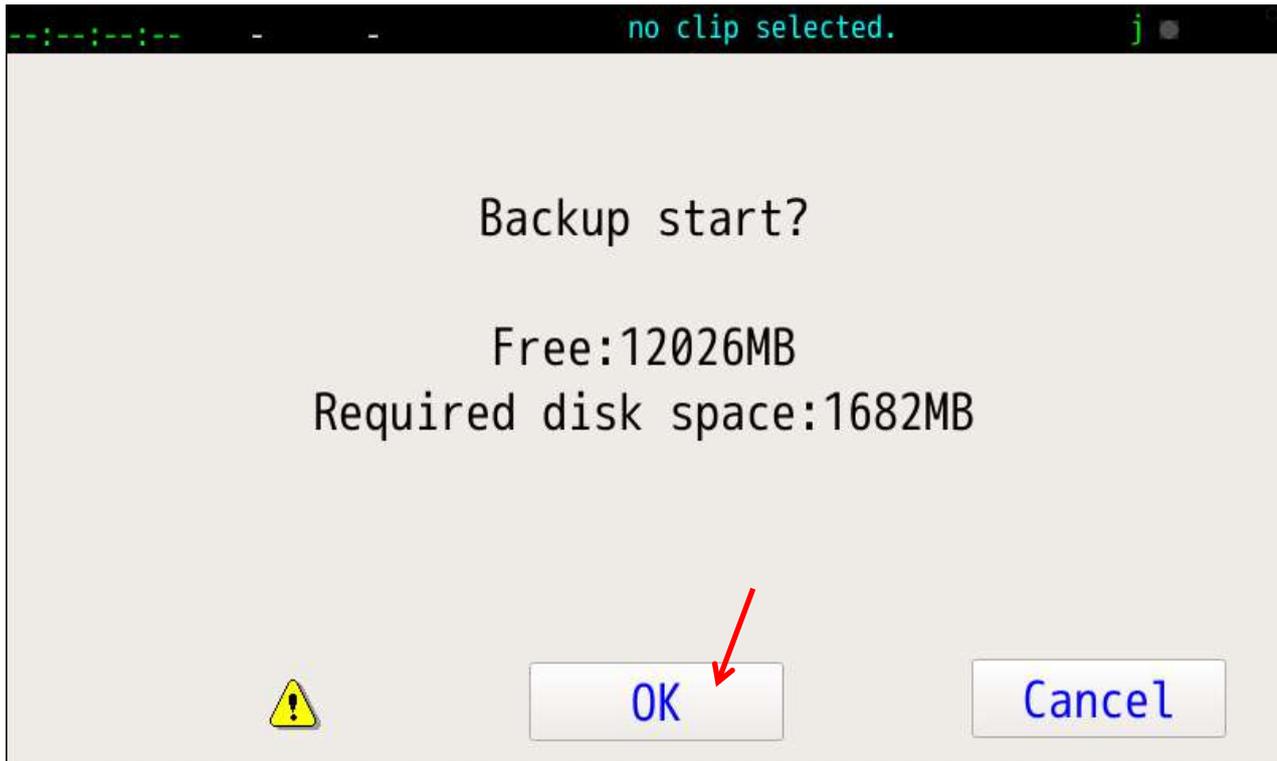


クリップ選択と保存先ディレクトリ指定終了で Exec ボタンをタップします。



USB メディアの残り容量不足でエラーメッセージ画面を表示します。

[目次に戻る](#)



バックアップ処理で進捗シケータが表示されます。

左青 1クリップ内/バックアップ

右緑 複数クリップ時のトータル/バックアップ進捗



[目次に戻る](#)

バックアップ完了画面例



Done ボタンでクリップ選択がクリアされ初期の画面に戻ります。

[目次に戻る](#)

バックアップで生成のディレクトリ構造

クリップ名からスラッシュ文字をアンダースコアに替え該当クリップを格納するディレクトリ名とします。



[目次に戻る](#)

26.8 RESTORE 画面

操作画面

SYSTEM > RESORE

機能

BACKUP で保存されたクリップを UDR-XL40 / XL40e に戻します。

UDR-XL40 / XL40e 内に同一名のクリップが既に存在する場合は既存クリップ名の変更

またはリストア先クリップディレクトリの指定を行います。

USBメディアを接続しマウント成功でメディア内のすべての領域を検索し

テキストファイル clipinfo.txt の存在するディレクトリを一覧表示します。



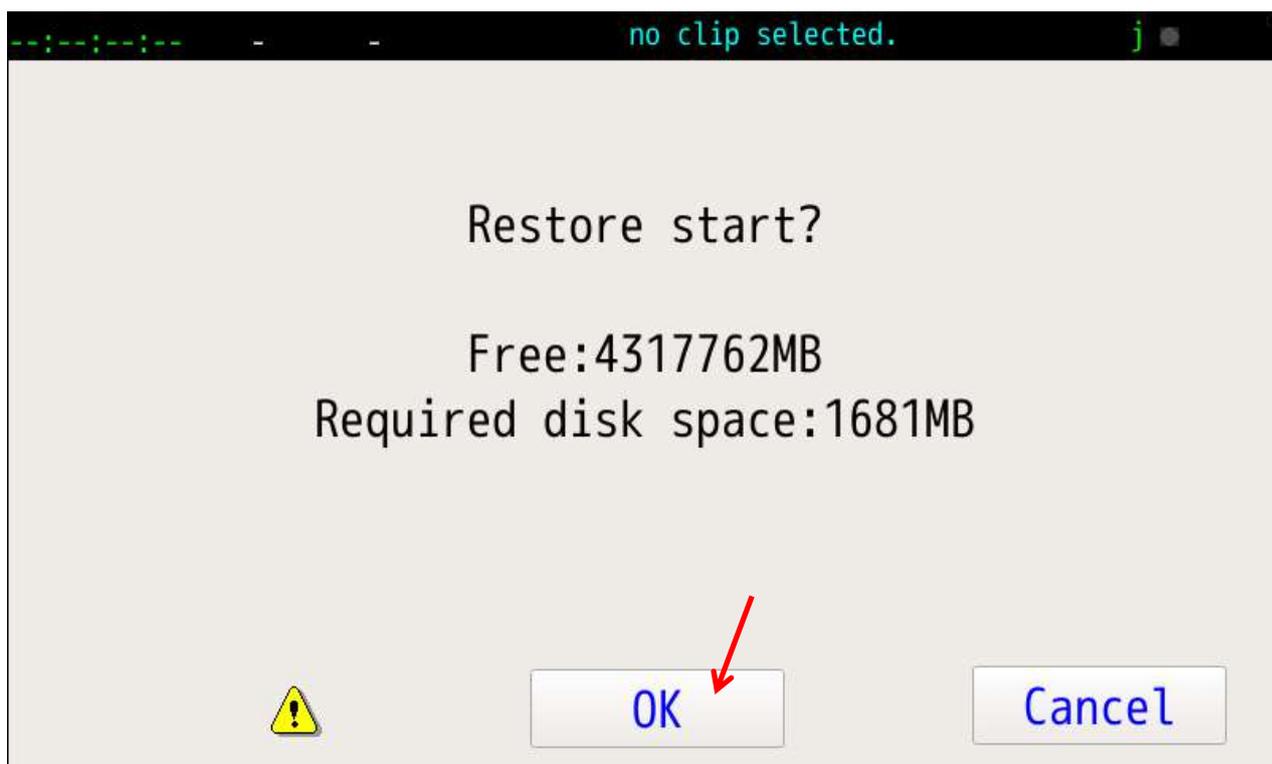
複数または1つのバックアップされたクリップを選択します。



既に登録されているクリップディレクトリを指定し、このディレクトリ下にリストアすることもできます。



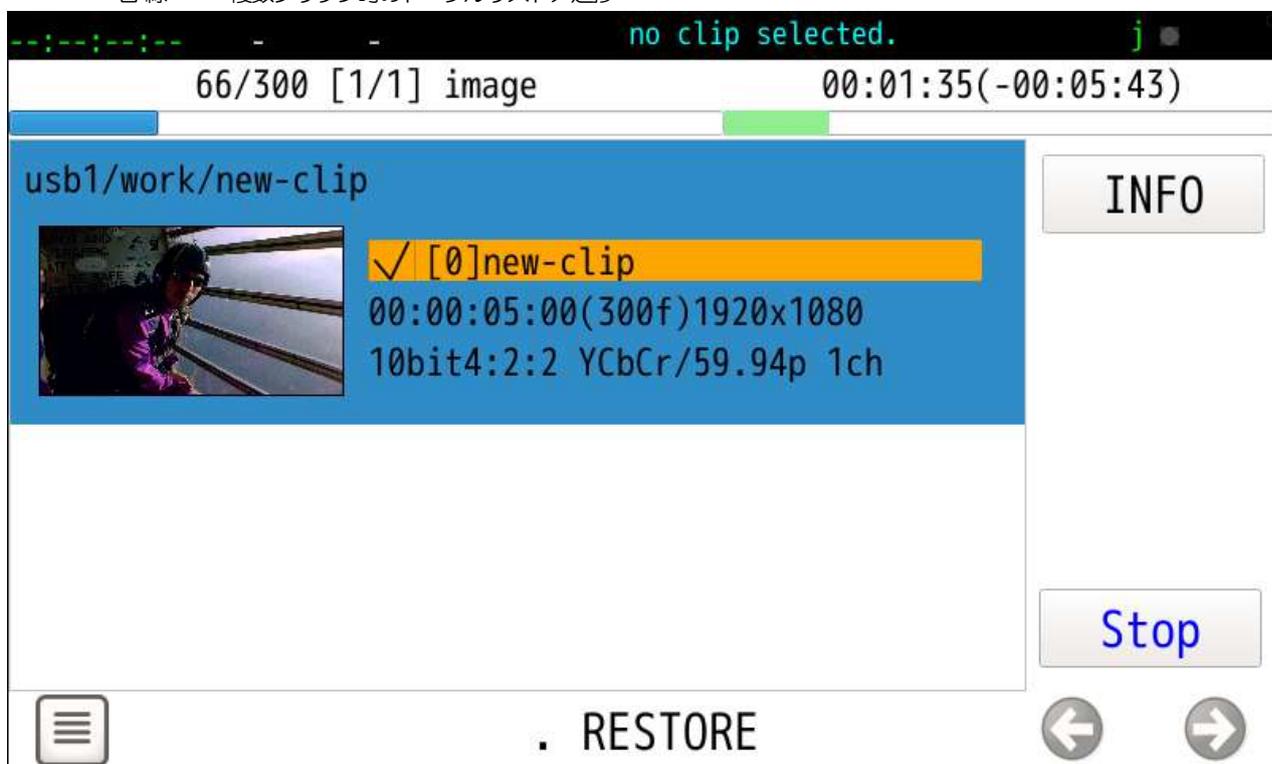
[目次に戻る](#)



リストア進捗シケータが表示されます。

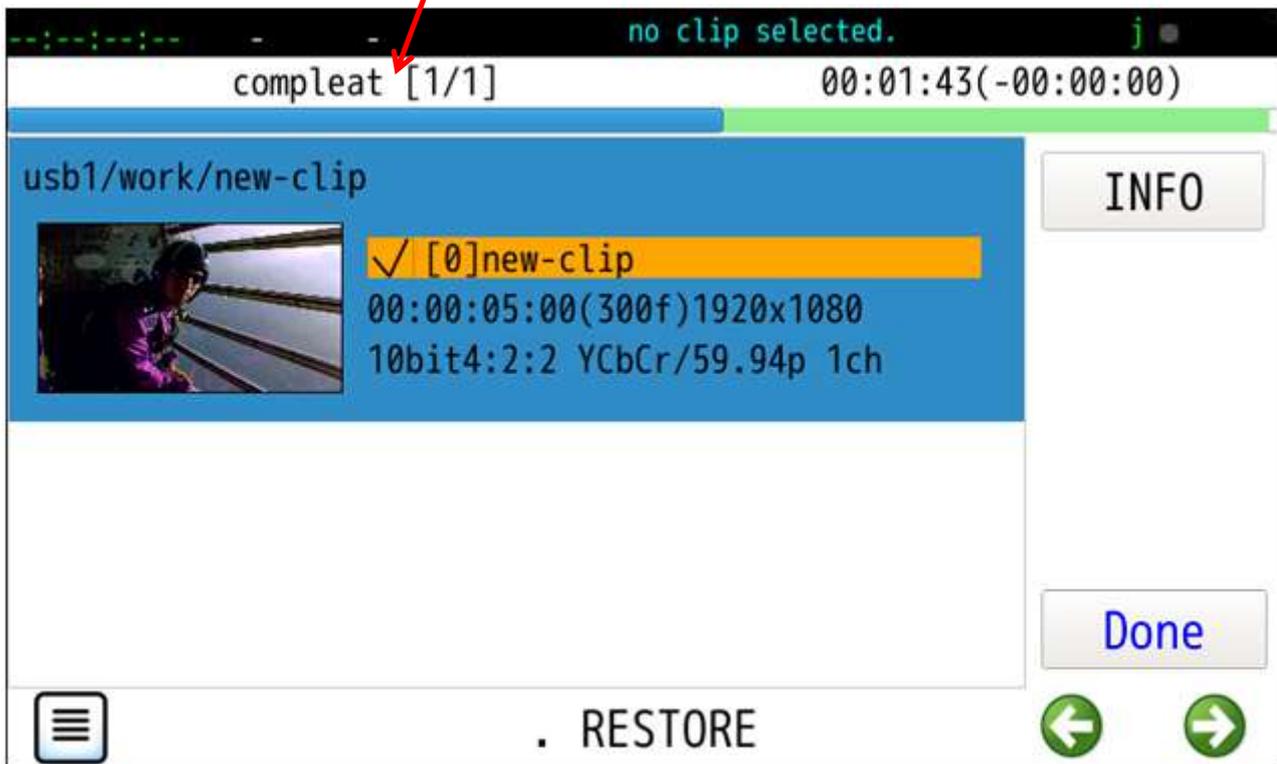
左青 1クリップ内リストア進捗

右緑 複数クリップ時のトータルリストア進捗



[目次に戻る](#)

リストア完了
complete 文字列が表示されます。



[目次に戻る](#)

27 ご利用のヒント・リンク

27.1 ビデオフォーマット指定

操作画面

[VIDEO](#)

27.2 再生クリップ指定

操作画面

[CLIP](#)

現在のビデオフォーマットと一致したクリップのみ選択可能です。

27.3 デュアルグリーン

操作画面

[DualGreen](#)

27.4 ビデオ同期

操作画面

[REFERENCE](#)

27.5 録画モード

操作画面

[REC-MODE](#)

次の4モードが選択できます。

- | | |
|------------|--------------------------|
| • NEW-CLIP | 録画実行で新規クリップが作られます。 |
| • APPEND | 指定クリップの最後部から録画を開始します。 |
| • TRUNC | 指定クリップのデータを消去し先頭から録画します。 |
| • IN/OUT | 指定クリップのIN/OUT点間で録画します。 |

NEW-CLIP モード

[操作画面](#)

APPEND モード

[操作画面](#)

RUNK モード

IN/OUT モード

[操作画面](#)

[目次に戻る](#)

27.6 タイムコードジェネレータ

操作画面

[TCG](#)

27.7 ループ再生

操作画面

[LOOP](#)

27.8 スクリプト再生

操作画面

[SCRIPT](#)

27.9 アップロード&ダウンロード進捗

操作画面

[UP/DOWNLOAD](#)

27.10 画像アップロード（インジェスト）

操作画面

[UP/DOWNLOAD > UPLOAD](#)

27.11 WAV アップロード（インジェスト）

操作画面

[UP/DOWNLOAD > UPLOAD](#)

27.12 画像ダウンロード

操作画面

[UP/DOWNLOAD > DOWNLOAD](#)

27.13 WAV ダウンロード

操作画面

[UP/DOWNLOAD > DOWNLOAD](#)

[目次に戻る](#)

27.14 画像ファイルフォーマットオプション

操作画面

FILE-OPT > FORMAT-OPT

以下は各画像ファイルフォーマットのオプションです。

画像ファイルのダウンロードで参照されます。

YUV のみアップロードでも参照されます。

DPX

DPX_TYPE (DPX ファイルタイプ)

DPX10-444	10bitRGB4:4:4 (デフォルト)
DPX10-422	10bitYCbCr4:2:2
DPX16-444	16bitRGB4:4:4
DPX16-GRAY	16bit グレyscale

TIFF

TIFF_TYPE (TIFF ファイルタイプ)

TIFF16	16bitRGB4:4:4 (デフォルト)
TIFF8	8bit4RGB4:4:4

TIFF_COLOR (TIFF カラーモード)

TIFF-RGB	RGB (デフォルト)
TIFF-GRAY	グレイスケール

UDR

UDR_BIT_DEPTH (UDR ファイル画素ビット数)

10bit
12bit
8bit

* デフォルトはクリップの画素ビット数です。

UDR_MULTI_F (1 ファイル複数フレームモード)

デフォルトはモードオフの連番ファイルになります。

YUV

YUV_TYPE (YUV ファイルタイプ)

YUV8-PACKED
YUV10-PACKED
YUV16-PACKED
YUV8-PLANER
YUV16-PLANER
YUV8-420
YUV16-420
SUFFIX-PACKED
SUFFIX-PLANER

*SUFFIX-PACKEDとSUFFIX-PLANERは連番ファイルのサフィックスからデータタイプを判定します。

.	yuv	YUV8
.	yuv10	YUV10
.	.yuv16	YUV16

YUV_XSIZE

YUV_YSIZE

XSIZE および YSIZE をゼロに指定すると

ファイルバイトサイズから次の組み合わせの画角サイズを判定します。

1920x1080, 2048x1080, 3840x2160, 4096x2160

YUV_MULTIF (1 ファイル複数フレームモード)

デフォルトはモードオフの連番ファイルになります。

27.15 画像ファイル対応フォーマット

YUV

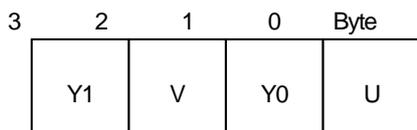
【YUV8 Packed 形式】

8bit の画像データ格納用です。

1Byte 毎に、U、Y0、V、Y1・・・という並びが一般的です。

(画像データの並びは、V、Y0、U、Y1・・・などという形式もあります。)

2byte/pixel となります (1920x1080 サイズの場合は、4147200byte)



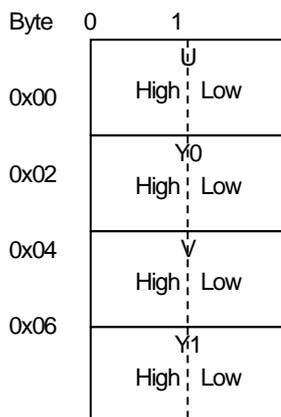
【YUV16 Packed 形式】

10,12bit の画像データ格納用です (上位より 10,12bit を有効データとして使用)。

YUV 形式の各データを 2byte に拡張した形式です。

4byte/pixel となります (1920x1080 サイズの場合は、8294400byte)

0byte 目が上位 bit、1byte 目が下位 bit の Big Endian 並びでファイルに入ります。

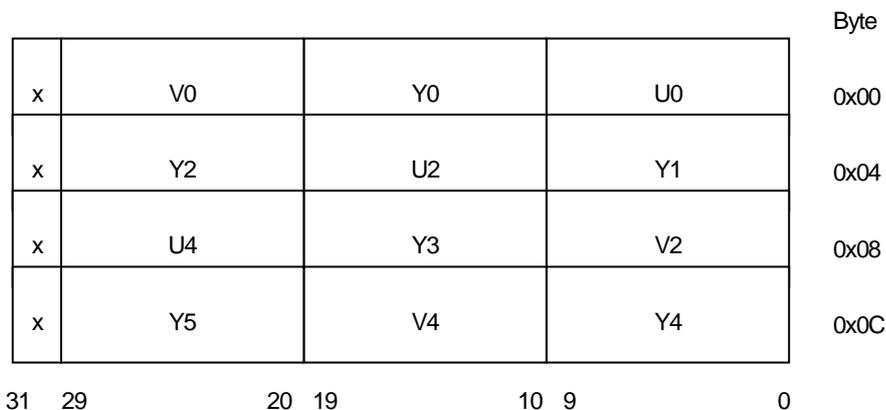


【YUV10 Packed 形式】

10bit の画像データ格納用です。

「ハイビジョン・システム評価用標準動画像 第二版」の TypeB の一部と TypeC は、この形式となります。

16byte で 6pixel となります (1920x1080 サイズの場合は、5529600byte)

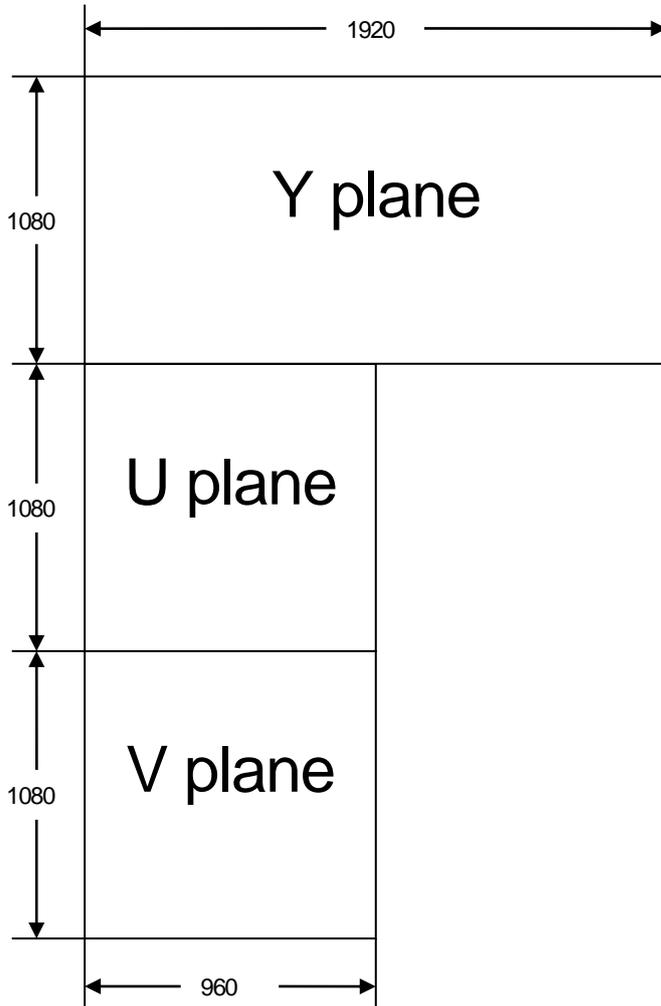


【Planer 形式】

8bit または 16bit の画素値格納単位です。

16bit では有効 bit を MSB 詰めの Little Endian 並びでファイルに入ります。

*画角サイズ：1920×1080の場合



DPX

- DPX10 10bitRGB4:4:4
DPX2.0 Fig. C.3 Method Aデータ構造です。
32bit のMSB 側に 10bitRGB 画素値を詰め、LSB 側 2bit にゼロを入れます。
- DPX10-422 10bitYCbCr4:2:2
DPX2.0 Fig. C.3 Method Aデータ構造です。
CbY0CrY1 の並びで順次入れます。
- DPX16 16bitRGB4:4:4
DPX2.0 Fig. C.6 データ構造です。
UDR-XL40 / XL40e クリップ RGB 各画素値を 16bit 格納領域に MSB 詰めます。

TIFF

- TIFF16 16bitRGB4:4:4
- TIFF8 8bit4RGB4:4:4

UDR

- 8/10/12bit 4:2:2/4:4:4 各種

[目次に戻る](#)

27.16 WAV ファイルフォーマット

操作画面

[UP/DOWNLOAD > UPLOAD](#)

UDR-XL40 / XL40e でアップロード・ダウンロード可能なWAV ファイルフォーマットは以下の通りです。

ビット数

16bit または 24bit

サンプリング周波数

クリップ登録時に指定の48KHz または 96KHz かご利用いただけます。

チャンネル数

1ファイル複数チャンネルまたはモノラル

BWF

WAV ファイル拡張フォーマット BWF のアップロード

27.17 マトリックス係数

操作画面

[FILE-OPT > MATRIX](#)

27.18 クリップ名と階層構造

操作画面

CLIP-INFO NEW-CLIP CLIP-NAME

クリップ名はスラッシュ文字を通常の文字をはさみ複数入れることができます。

クリップ選択画面はこのスラッシュ文字を利用しツリー状に表示します。

例

test/yokohama/Nakamachidai

test/Tokyo

クリップ名に利用可能な文字

ASCII 文字 (1 文字1バイト)

英数字

スラッシュ

ハイフン

アンダースコア

ドット

* UDR-XL40 / XL40e 前/パネル操作で入力可能な文字はこちらのみです。

* 空白文字はご利用いただけません。

日本語文字

Windows PC プログラム XLGUI で入力可能です。

UDR-XL40 / XL40e 前/パネルのクリップ選択画面は日本語クリップ名が表示可能です。

* 2バイトコードのスラッシュはご利用いただけません。

クリップ名最大文字数

英数字の単位で 63 バイトです。

クリップ名変更

クリップ情報画面 CLIP-INFO のクリップ名ボタンから変更できます。

[目次に戻る](#)

27.19 クリップ間データ転送

操作画面

CLIP > TOOL > **FRAME-COPY**

クリップ間のフレーム単位転送を行います。

同一クリップ内の異なる領域間コピーも可能です。

同一クリップ内転送で転送元と転送先の領域が重複し

かつ転送元の開始フレーム番号が転送先開始フレーム番号より若い場合

転送処理は領域の終端から行います。

27.20 クリップ複写

操作画面

CLIP > TOOL > **CLIP DUPLICATE**

指定クリップと同じ仕様の別名クリップを作成後にデータを複写します。

新規のクリップは書き込み可能モードです。

27.21 クリップ データクリア

操作画面

CLIP > TOOL > **CLIP CLEAR**

指定クリップの画像データに黒を入れオーディオに無音を入れます。

デフォルトでは拗ねての画像音声領域を対象にします。

チャンネルおよびフレーム単位の領域指定もできます。

27.22 テストパターン描画

操作画面

CLIP > TOOL > **TEST-PATT**

数種類のテストパターンが描画可能です。

最大値および最小値の指定を指定できます。

CZP は 1 フレームあたり 1 度で順次画像が切り替わります。

27.23 クリップサムネイル

操作画面

CLIP > TOOL > **THUMBNAIL**

この THUMBNAIL 画面操作にてクリップは選択画面等で表示のサムネイルデータを指定することができます。

クリップ登録直後でサムネイル映像データが未指定の場合、自動でクリップ先頭から 10% の場所の映像をサムネイルデータにし表示します。

サムネイル画像指定は次の 2 種があります。

- 該当クリップ上のフレーム番号指定。
- USB メディア上の DPX / TIFF / YUV / UDR 画像ファイルを指定
 - * 画像ファイルの画角は任意で、自動的にサムネイル用画角に変換されます。

* 過去にサムネイル画像を明示的に指定したクリップに別の映像データをアップロードした場合は追加のサムネイル指定前は依然のサムネイルが残り表示されます。

[目次に戻る](#)

27.24 クリップパラメータ変更

操作画面

CLIP > [INFO](#)

この CLIP INFO 画面で次の項目が変更できます。

- クリップ名
- フレーム数
- フレーム周波数
- 書き込み禁止
- ドロップフレーム
- タイムコードオフセット
- コメント

コメントの文字数は英数字換算で 63 文字です。

27.25 クリップバックアップ

操作画面

SYSTEM > [BACKUP](#)

27.26 クリップリストア

操作画面

SYSTEM > [RESTORE](#)

27.27 システム情報一括確認

操作画面

[INFO](#)

次の項目を 1 つの画面に表示します。

- ファームウェアバージョン
- ホスト名
- IP アドレス、 ネットマスク
- クリップ格納メディア使用量状況

筐体内温度と冷却ファンの回転状態

[Temperature](#)

モジュール別のバージョン

[Version Details](#)

パネル画面で利用している OSS（オープンソースソフトウェア）に関する法的通知

[Legal Notices](#)

[目次に戻る](#)

27.28 ログ

操作画面

SYSTEM > LOG

ログは UDR-XL40 / XL40e の起動毎に 1 ファイル 1 行増えます。

ログファイル一覧

ファイル名の右に日時が表示されます。

ログ参照

複数行のログファイルを一度に選択し参照できます。

USB メディア保存

USB への格納形式は次の 2 種を選択できます。

- ・参照中のログをテキストファイルとして USB メディアに保存
 - ・複数のログを指定し 1 つの圧縮ファイルで USB メディアに保存
- * エラー等の原因が特定できない場合などログ

ログクリア

外部に UDR-XL を持ち出すなどで操作ログが流出しないよう消去できます。

27.29 マニュアル・ソフトの USB メディア経由取得

操作画面

LIBRARY

UDR-XL40 / XL40e 本体に格納のマニュアルおよび XLGUI 制御 PC ソフトインストーラ等を USB メディアにコピーできます。

27.30 USB メディア接続

USB フラッシュメモリ/USB ドライブの接続

接続

8GB など小容量フラッシュメモリは UDR-XL40 / XL40e 前パネル USB ポート(USB 3.0)に直接接続できます。

上記以外の USB メディアは電源供給型のハブを介して接続します。

* UDR-XL40 / XL40e 背面の USB ポートもご利用いただけます (USB2.0)

フォーマット

FAT16 / FAT32 / exFAT および NTFS に対応します。

接続後のアクセスタイミング

接続初期に USB メディアの LED が点滅します。

点滅が消えたことを確認後に UDR-XL40 / XL40e 前パネル各画面の USB mount ボタンをタップします。

27.31 前パネルマウス操作

前パネルの静電容量タイプタッチパネル操作の代わりに USB マウスが利用できます。

SYSTEM > PREFERENCES 画面の CURSOL-ENABLE をオンにするとカーソルが表示されます。

前パネル画面上の各ボタン等はカーソルを合わせマウス右クリックでタップと同じ動作になります。

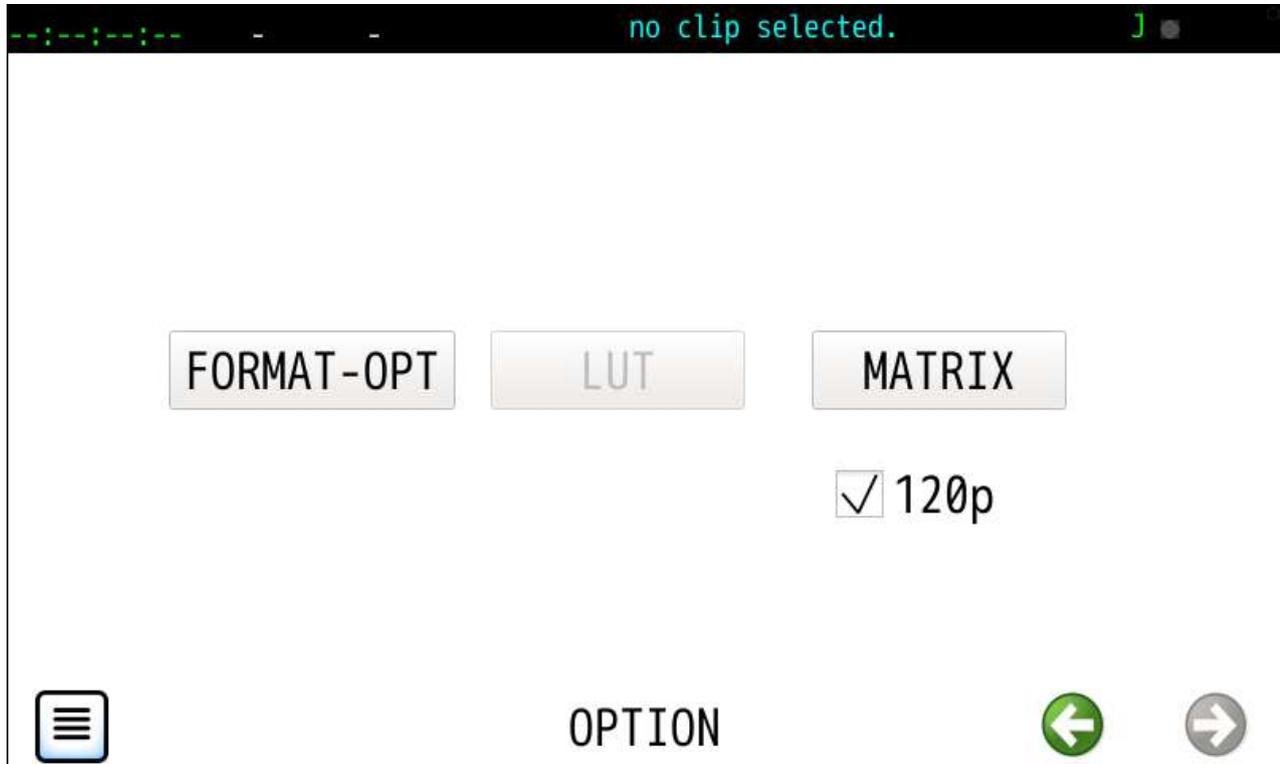
* 前パネル右上部の LOCK スイッチによる操作禁止機能は USB マウスには効きません。

MENU ボタン動作対応

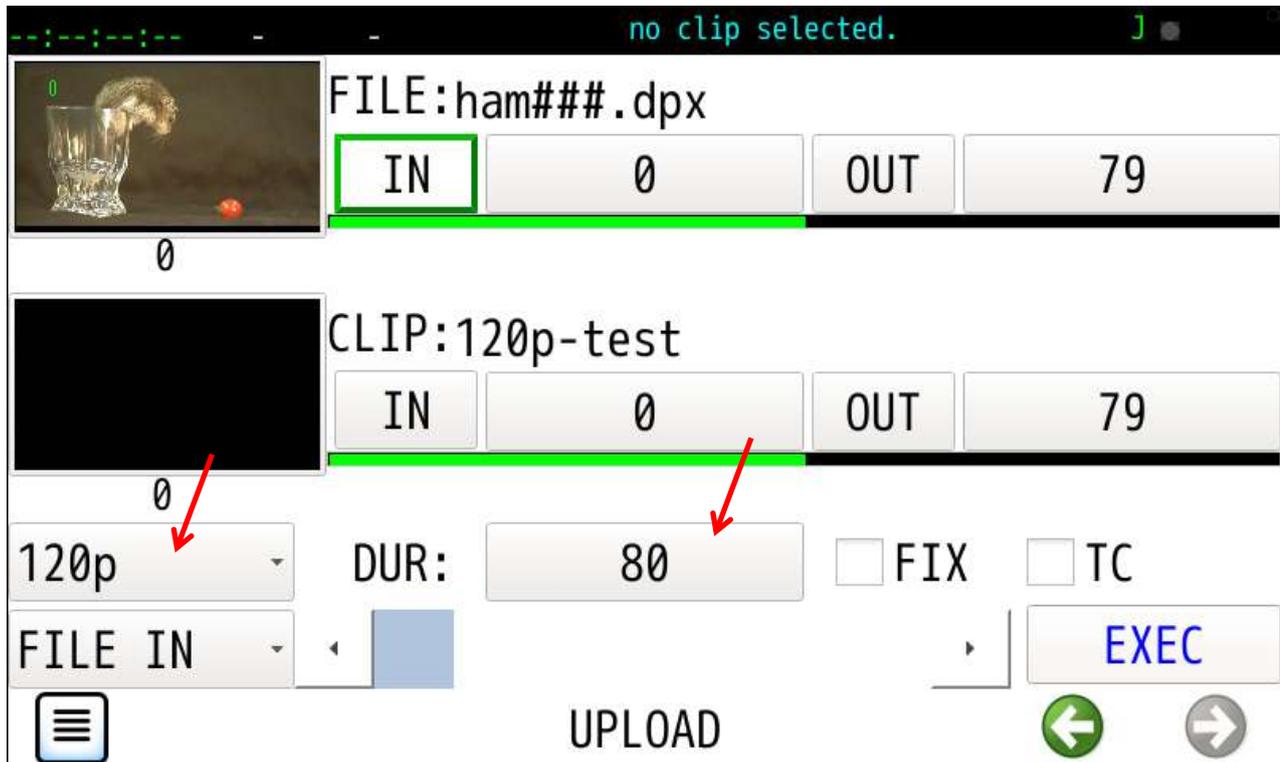
カーソルを画面右端最上部の数画素範囲に置きますとマウス右クリックで MENU ボタンと同じ動作になります。

27.32 120p 画像ファイル対応

2ch 仕様のクリップに 120p 映像データをアップロード・ダウンロードできます。
 アップロード・ダウンロード操作の画像ファイル選択前に次の画面の例のように 120p にチェックを入れます。
 同一フレーム番号のチャンネル1がチャンネル2よりも前の時間の映像フレームとして処理されます。



次の画面例のように通常はチャンネル指定の箇所に 120p が表示されます。
 画面表示直後のデューレーション値は指定された画像ファイルのフレーム数を 1/2 したものです。



[目次に戻る](#)

28 更新履歴

Revision	Date	Revision Description
1.0.0	2018/09 /26	初版
1.0.1	2019/11 /25	誤字修正
1.1.0	2020/08 /31	FW1.7.0 対応
1.1.1	2020/11 /10	FW1.8.0 対応
1.2.0	2022/08 /02	UDR-XL40e に関する情報を追記し、文書名を「UDR-XL40 / XL40e / パネル操作マニュアル」に変更 FW2.0.0 対応

株式会社 計測技術研究所

ビジュアルウェア・カスタマ・サポート

URL : <https://www.keisoku.co.jp/vw/>

E-mail : VW-support@hq.keisoku.co.jp



株式会社 計測技術研究所 ビジュアルウェア・カスタマ・サポート

UDRseries

UDR-XL40 / XL40e ノパネル操作マニュアル